

筑波大学臨床医学系

業績目録

1982

筑波大学臨床医学系

序

この目録は昭和57年の1年間における筑波大学臨床医学系の業績をまとめたものであります。

初回の業績集以来、本号で3回目に達しました。前号における原著数331編に対し、本号では原著数453編と臨床医学系における研究活動は軌道に乗りつつあると考えております。これらの業績集が私共の学系における研究の概要をお伝えするのに役立てば幸いです。

昭和59年3月

臨床医学系長

東 條 静 夫

凡 例

1. 収 録 の 対 象

筑波大学臨床医学系所属の教官が著者ないし発表者（共著者を含む）の業績を対象とした。

2. 記 載 方 針

業績は昭和57年1月1日～12月31日に発表されたものを対象とし、当該教官が所属する研究グループ毎にまとめた。夫々の業績を本業績目録に収録するか否かの判断は、各研究者に委ね、予め配布された用紙に記載された業績はすべて収録した。

3. 業 績 の 分 類

各種の業績を次の6種に分類し以下の要領で *chronological order* に記載した。

i. 原 著

ii. 総 説

欧文雑誌名は *Index Medicus* に準じ和文は公式の略称を用いる。

iii. 著 書

単行本の場合は、著書名：書名，発行所名，発行地，発行年，

分担執筆の場合は、著書名：表題，書名（編集者），版数（初版は不要），

発行所，発行地，発行年，初頁—終頁。

iv. 学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

発表者名：題名，学会名（場所），月，年（西暦）。

v. 班研究報告

著者名：題名，報告書名，年次，初頁—終頁。

vi. その他（放送，座談会，講演会などで学術的なもの）

発表者名：題名，放送局名，月，日，年，または誌名，巻：頁，年。

なお、著者名は原則として全員を記載し、臨床医学系教官名はゴシック文字とした。

目 次

循環器内科グループ	1
消化器内科グループ	13
呼吸器内科グループ	27
腎内科グループ	29
内分泌・代謝グループ	35
リウマチ・アレルギーグループ	43
血液グループ	47
神経内科グループ	53
精神医学グループ	61
皮膚科グループ	65
小児科グループ	71
循環器外科・呼吸器外科グループ	81
消化器外科グループ	105
脳神経科・救急グループ	115
泌尿器科グループ	127
内分泌代謝外科グループ	135
整形外科グループ	137
小児外科グループ	147
形成外科グループ	155
眼科グループ	159
産婦人科グループ	163
耳鼻咽喉科グループ	173
麻酔グループ	177
歯科・口腔外科グループ	183
放射線医学グループ	185
臨床病理グループ	193

1982年

臨床医学系教官（昭和57年1月1日～12月31日）

○印は、期間内採用等
△印は、期間内辞職等

微三毅立志徹郎子太肇生彦晃二文三理治登也忠武迪嚴徹次秀彥明弘二郎治宏淳
建岳廣敏順光邦圭清榮真勝恒洋一志紀安健太誠利重幸
場野野尾田林田原保田本橋田井澤本本崎利崎吹形口崎根井田正辺辺田木所堀
馬瀆平深福福藤藤舟前松松丸三三光宮村目毛矢矢山山山山吉依林渡渡和助手五田野
○
仁郎昭實司修郎誠幸男則広喜東彦雄徹堯之弥健士秀一夫樹樹朗一雄夫郎夫人介男美史堯尚
重秀元廣全正治裕治泰靖茂秀正龍允力悠德莠邦正秀紘治凱俊和正良忠晴汎
藤藤野科沢崎田司藤木原瀬橋橋橋内島澤城田野肥藤川沢野原村村山澤越本田勢勢田川田
○佐佐更塩柴柴庄進鈴蘇高高高竹竹箱玉角轟伴土肉中中中中中中長名西根能能野長花谷
江夫幸男男也徹潔尚二剛英梓雄雄明士夫藏一敷教郎夫樹司夫夫信郎子迪夫平彦孝久章操志
祥貴勝統盛敦健由行幸昌武道悌紘正二信茂賢久土義一惠哲捷光幸徹
杵本藤島塚野橋原見村川川崎崎野花岡子島井北池村貝原子物出出野野関山山澤藤田井庭井
白榎遠大大大大大大岡小小小尾尾小垣影金柁川川菊木久葛桑監小小小河河小小是近齋酒坂櫻
○
甫夫士次吉康郎二司隆正陽郎博之子夫弘夫夫郎衛治正宏一治雄久宏夫彦一翼夫正樹惹
宗俊武修素博靖健修義了光一慶久幸利哲英次悠一隆雄詔康光忠俊道直
内川保崎崎石下測肥田村田浩松富村井藤井尾下下吉柳本坂瀬川橋島倉川藤藤廻山賀杵
木北久島嶋白杉田土中成林平福本三武村矢山山講相春秋鰐阿石石井板市伊伊井入字白
○
祥晏巖和治一渾之明一三吉文夫德吾齊夫史雄男雄一豊郎夫三帥美文夫夫郎郎郎實利
雅克寛洋賢祐俊龍準謙正隆重周静裕孝一鎮原次信靖演利治隆八一太勝
貞井藤崎崎野川島菅川泉磯宮田口田田條藤西本谷川敬江川部川橋川村木沢沢子藤
秋浅伊岩岩上及大大北小小小崎澤添滝東内中根長堀牧藪吉吉教授阿石石大岡柏金金加

1982年（循環器内科グループ）

原 著

- No. 1 1月 杉下靖郎, 小関迪, 松田光生, 飯田要, 飯田啓治, 伊藤巖, 大島統男, 秋貞雅祥:
虚血性心疾患診断法としての左室壁運動の検査.
臨床成人病 12: 71-79, 1982
- No. 2 1月 杉下靖郎, 小関迪, 松田光生, 伊藤巖:
運動反応性よりみた左室機能分析.
最新医学 37: 200-203, 1982
- No. 3 1月 Yamaguchi I., Togo T., Sekiguchi T., Ito I. ;
The effects on sinus node function of increases in right atrial pressure.
"Cardiac pacing. Electrophysiology and pacemaker technology"
edited by G. A. Feruglio. pp. 51-55, Piccin Medical Books, 1982
- No. 4 1月 小川剛, 杉下靖郎, 伊藤巖:
冠動脈疾患患者に対する運動療法の末梢循環動態におよぼす影響ならびにそれと運動許容度改善との関連性について.
治療 64: 135-140, 1982
- No. 5 1月 飯田要, 山口徹, 小川剛, 杉下靖郎, 伊藤巖, 蘇原泰則, 三井清文, 松本邦彦, 秋貞雅祥, 小形岳三郎:
Chronic primary chylopericardium の1例.
心臓 14: 97-103, 1982
- No. 6 3月 Sugishita Y., Koseki S., Matsuda M., Yamaguchi T., Ito I. :
Influence of ergometer exercise on aortic pressure-diameter relationship in healthy men.
Jpn Heart J 23: 315-327, 1982
- No. 7 3月 田村勤, 山口徹, 松田光生, 小関迪, 杉下靖郎, 伊藤巖, 榎田光夫, 町井潔:
胸骨左縁および季肋下からのMモード心エコー図による左室 asynergy の評価.
J Cardiology 12: 55-64, 1982
- No. 8 4月 来栖武雄, 山口巖, 鈴木博之, 関口達彦, 飯田要, 東郷利人:
洞不全症候群および完全房室ブロックにおける右室ペーシングに対する洞結節の反応.
臨床心臓電気生理 5: 141-148, 1982
- No. 9 4月 鯉坂隆一, 飯泉智弘, 丹羽明博, 藤原秀臣, 谷口興一, 武内重五郎:
虚血性心疾患の呼吸・循環指標に対する塩酸 Dilazep の効果.
臨床と研究 59: 261-266, 1982
- No. 10 4月 安東克之, 藤田敏郎, 佐藤雄二, 山下亀次郎, 野田汎史:
若年性本態性高血圧症におけるレニン・アンジオテンシン系の役割.
日腎誌 24: 61-66, 1982
- No. 11 4月 野田汎史, 緒方蓉子, 浅井克晏:
大学における循環器集団検診について一筑波方式一.
保健の科学 24: 278-284, 1982

- No. 12 4月 野田汎史, 安東克之, 佐藤雄二, 藤田敏郎:
高血圧症に対する持効性 Furosemide 製剤 Eutensin (Hoe058R) の臨床的研究
—クロスオーバー法による Trichlormethiazide との比較, 検討—.
薬理と治療 10: 3187-3195, 1982
- No. 13 5月 松田光生, 関口達彦, 杉下靖郎, 山口徹, 伊藤巖:
超音波パルス・ドップラー法による左室拡張期血流波型の検討—肥大型心筋症にお
けるカルシウム拮抗薬の効果—.
日本超音波医学会講演論文集 (40) pp. 415-416, 1982
- No. 14 5月 飯田啓治, 松田光生, 杉下靖郎, 小関迪, 山口徹, 飯田要, 伊藤巖:
肥大型心筋症における拡張機能の運動反応性および肥大との関連について.
日本超音波医学会講演論文集 (40) pp. 429-430, 1982
- No. 15 5月 関口達彦, 松田光生, 山口徹, 杉下靖郎, 伊藤巖:
超音波パルスドップラー法による肺血流速度波型の分析—心房細動例における検
討—.
日本超音波医学会講演論文集 (40) pp. 531-532, 1982
- No. 16 5月 新田政男, 鯉坂隆一, 丹羽明博, 谷口興一:
イソプロテレノール負荷による血行動態と心エコー図.
日本超音波医学会講演論文集 (40) pp. 367-368, 1982
- No. 17 5月 山口巖, 東郷利人, 鈴木博之, 関口達彦, 来栖武雄:
Sick sinus 症候群に対する isosorbide dinitrate 舌下投与による電気生理学的
効果.
臨床心臓電気生理 5: 1-5, 1982
- No. 18 5月 東郷利人, 山口巖, 鈴木博之, 関口達彦, 来栖武雄, 飯田要, 杉下靖郎, 伊藤巖:
WPW 症候群における diltiazem 静注の電気生理学的効果.
心臓ペースング. 第6回心臓ペースング研究会
プロシーディングス pp. 149-150, 1982
- No. 19 5月 鈴木博之, 山口巖, 東郷利人, 杉下靖郎, 伊藤巖:
洞不全症候群の overdrive suppression test における junctional escape beat
出現の意義についての検討.
心臓ペースング. 第6回心臓ペースング研究会
プロシーディングス pp. 177-178, 1982
- No. 20 7月 Fujita T., Sato Y., Ando K., Noda H., Ueno N., Murakami K.:
Dynamic responses of active and inactive renin and plasma norepine-
phrine during exercise in normal man.
Jpn Heart J 23: 545-551, 1982
- No. 21 9月 杉下靖郎, 松田光生, 飯田啓治, 伊藤巖, 越永重四郎, 上野正彦:
スポーツと突然死.
臨床成人病 12: 1605-1612, 1982
- No. 22 9月 Fujita T., Ando K., Noda H., Sato Y., Yamashita N., Yamashita K.:
Hemodynamic and endocrine changes associated with captopril in diur-
etic-resistant hypertensive patients.
Am J Med 73: 341-347, 1982

- No. 23 10月 Sugishita Y., Koseki S., Matsuda M. :
Indications, applications and future prospects of diagnostic examinations
in clinical cardiology.
Jpn Circulat J 46 : 1138-1146, 1982
- No. 24 10月 小川剛, 伊藤巖 :
冠動脈疾患患者における運動療法後の末梢循環動態の変化.
心臓 14 : 1224-1233, 1982
- No. 25 10月 小川剛, 飯田要, 小関迪, 杉下靖郎, 伊藤巖 :
心筋梗塞患者の運動療法における心機能の変化と運動耐容能改善との関連性について.
治療 64 : 151-157, 1982
- No. 26 10月 小川剛, 関口達彦, 杉下靖郎, 伊藤巖, 井島宏 :
末梢動脈閉塞性疾患における segmental pneumoplethysmography の有用性.
第1回血管に関する無侵襲診断法研究会記録集 pp. 15-16, 1982
- No. 27 12月 Sugishita Y., Koseki S., Matsuda M., Iida K., Ito I. :
Relationship between regional myocardial dysfunction and ECG changes
during exercise-induced myocardial ischemia in patients with angina
pectoris.
Jpn Heart J 23 Suppl : 627-629, 1982
- No. 28 12月 松田光生, 桑子賢司, 杉下靖郎, 伊藤巖, 赤塚孝雄, 櫛谷征昭, 松尾睿, 川村悠, 岩田
完成, 笠原照明 :
経静脈左心系コントラスト・エコー図法の試み.
日本超音波医学会講演論文集 (41) pp. 331-332, 1982
- No. 29 12月 飯田啓治, 杉下靖郎, 松田光生, 松本龍馬, 伊藤巖 :
肥大型心筋症のカテコラミンに対する反応性.
日本超音波医学会講演論文集 (41) pp. 167-168, 1982
- No. 30 12月 山口巖, 東郷利人, 鈴木博之, 杉下靖郎, 伊藤巖 :
WPW 症候群における diltiazem 静注の電気生理学的効果.
薬理と治療 10 Suppl 2 : 278-279
- No. 31 12月 山口徹, 田村勤, 松田光生, 小関迪, 杉下靖郎, 伊藤巖 :
断層法を併用した季肋下からの左室Mモード心エコー図記録の臨床的意義.
超音波医学 9 : 313-321, 1982
- No. 32 12月 磯部光章, 榎田光夫, 一色高明, 小泉克己, 桑子賢司, 梅田徹, 山口徹, 町井潔, 鈴木
聖, 遠田栄一 :
心エコー図による肥大型心臓の拡張期動態 : β 遮断剤およびCa拮抗剤の効果.
J Cardiology 12 : 939-952, 1982

総 説

- No. 1 1月 伊藤巖, 杉下靖郎, 小関迪, 松田光生, 山口巖, 小川剛, 山口徹, 垣花昌明 :
内科最近の動き : 循環器.
内科 49 : 4-13, 1982

- No. 2 1月 山口徹：
リウマチ性僧帽弁閉鎖不全症。
臨床成人病 12：137-144, 1982
- No. 3 2月 山口巖，鈴木博之：
狭心症の病態生理：不整脈。
臨床医 8：202-206, 1982
- No. 4 3月 杉下靖郎：
心筋炎。
メディカルコンパニオン 2：269-272, 1982
- No. 5 3月 杉下靖郎，松田光生，飯田啓治，飯田要，山口徹，小関迪：
特発性心筋症の運動時の病態。
臨床成人病 12：469-476, 1982
- No. 6 4月 伊藤巖：
大動脈炎症候群。
医薬ジャーナル 18：95-99, 1982
- No. 7 4月 杉下靖郎：
心電図一運動負荷試験。
medicina 19：616-618, 1982
- No. 8 4月 杉下靖郎：
循環器疾患の指導・管理の実際，女性の特殊性。
治療 64：625-628, 1982
- No. 9 6月 小川剛，石井正徳，杉下靖郎：
心臓リハビリテーション—急性心筋梗塞患者を中心に—。
臨床成人病 12：1007-1015, 1982
- No. 10 6月 小川剛，関口達彦，佐久間徹，田中啓治：
難治性慢性うっ血性心不全に対するカテコラミン長期点滴療法。
ICU と CCU 6：461-471, 1982
- No. 11 7月 伊藤巖：
大動脈炎症候群に伴う高血圧の予後と内科的治療。
外科 44：675-677, 1982
- No. 12 7月 杉下靖郎：
左室壁の動きの評価の循環器学的意義—運動負荷試験を中心に—。
New Town Conference 心臓核医学 4：44-47, 1982
- No. 13 7月 山口巖，杉下靖郎：
Sick sinus 症候群。
臨床成人病 12：1245-1251, 1982
- No. 14 9月 垣花昌明：
亜急性細菌性心内膜炎の診断。
臨床成人病 12：105-109, 1982
- No. 15 11月 杉下靖郎，鯉坂隆一，小関迪：
虚血性心疾患における負荷試験による薬効判定。
日本臨床 40：2444-2452, 1982

No. 16 11月 鯉坂隆一, 杉下靖郎:
狭心症.

臨床成人病 12: 1945-1947, 1982

著 書

No. 1 1月 垣花昌明:

心電図理解のための解剖・生理.

心電図判読のナーストレーニング (真島三郎, 村山正博監修)
pp. 29-44, ライフ・サイエンス・センター, 東京, 1982

No. 2 3月 伊藤巖:

前胸部不快感を主訴とし, 上肢血圧の左右差を呈する中年の主婦.

アレルギー・免疫病ケーススタディー (高橋昭三, 安倍達編)
pp. 161-164, 医学書院, 東京, 1982

No. 3 6月 杉下靖郎:

弁膜症と妊娠.

循環器の臨床 2 後天性心弁膜疾患 (榊原仟ほか12名編)
pp. 241-248, 朝倉書店, 東京, 1982

No. 4 7月 上田英雄, 杉下靖郎編:

成人病患者の生活指導指針.

東京医学社, 東京, 1982

No. 5 7月 杉下靖郎:

心不全.

成人病患者の生活指導指針 (上田英雄, 杉下靖郎編)
pp. 35-48, 東京医学社, 東京, 1982

No. 6 7月 杉下靖郎:

循環器疾患と妊娠.

臨床循環器病ハンドブック (佐野豊美編)
pp. 980-987, 金原出版株式会社, 東京, 1982

No. 7 7月 垣花昌明:

異常循環動態.

循環器疾患と看護 (諸岡成徳, 河井笑子編)
pp. 41-86, 文光堂, 東京, 1982

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

No. 1 2月 杉下靖郎, 小関迪, 松田光生, 飯田要, 飯田啓治, 伊藤巖:

シンポジウム「False Positive」: 冠状動脈非狭窄例における負荷心電図所見の分析.
第14回循環器負荷研究会 (東京), 2月, 1982

No. 2 3月 杉下靖郎, 松田光生, 越永重四郎, 上野正彦:

シンポジウム「突然死の実態と対策」: 運動と突然死.

第46回日本循環器学会総会 (東京), 3月, 1982

No. 3 3月 小関迪, 杉下靖郎, 松田光生, 山口徹, 小川剛, 山口巖, 飯田要, 伊藤巖:

冠状動脈に有意の狭窄が認められない, いわゆる狭心症患者の運動負荷中にみられる諸指標の変動.

第46回日本循環器学会総会 (東京), 3月, 1982

- No. 4 3月 松田光生, 杉下靖郎, 飯田要, 飯田啓治, 伊藤巖, 畠山立子, 上平恒:
心筋梗塞部位の核磁気共鳴映像化に関する基礎的研究.
第46回日本循環器学会総会(東京), 3月, 1982
- No. 5 3月 松田光生, 杉下靖郎, 山口徹, 関口達彦, 伊藤巖:
肥大型心筋症における左室内駆出血流動態の検討.
第46回日本循環器学会総会(東京), 3月, 1982
- No. 6 3月 山口巖, 東郷利人, 飯田要, 関口達彦, 鈴木博之, 杉下靖郎, 伊藤巖:
ヒト洞結節活動電位直接記録法による overdrive suppression test および洞房
伝導時間の検討.
第46回日本循環器学会総会(東京), 3月, 1982
- No. 7 3月 山口徹, 杉下靖郎, 松田光生, 田村勤, 東郷利人, 飯田啓治, 飯田要, 伊藤巖:
巨大陰性T波症例における高血圧症の関与に関する臨床的研究.
第46回日本循環器学会総会(東京), 3月, 1982
- No. 8 4月 杉下靖郎, 松田光生, 小川剛, 飯田啓治, 山口徹, 小関迪, 山口巖, 伊藤巖:
肥大型心筋症の病態規定因子に関する研究.
第79回日本内科学会総会(東京), 4月, 1982
- No. 9 4月 杉下靖郎:
特別講演: 運動と心臓突然死.
秋田県循環器疾患治療研究会(秋田), 4月, 1982
- No. 10 4月 来栖武雄, 山口巖, 鈴木博之, 関口達彦, 飯田要, 東郷利人:
洞不全症候群および完全房室ブロックにおける右室ペーシングに対する洞結節の反
応.
第10回臨床心臓電気生理研究会(金沢), 4月, 1982
- No. 11 5月 赤塚孝雄, 松田光生, 山口徹, 杉下靖郎, 笠木公一, 兵藤一行, 重光貞彦:
動態画像と生体信号の同時記録総合解析システムの開発研究.
第21回日本ME学会大会(仙台), 5月, 1982
- No. 12 5月 松田光生, 関口達彦, 杉下靖郎, 山口徹, 伊藤巖:
超音波パルス・ドップラー法による左室拡張期血流波型の検討—肥大型心筋症にお
けるカルシウム拮抗薬の効果—.
日本超音波医学会第40回研究発表会(東京), 5月, 1982
- No. 13 5月 飯田啓治, 松田光生, 杉下靖郎, 小関迪, 山口徹, 飯田要, 伊藤巖:
肥大型心筋症における拡張機能の運動反応性および肥大との関連について.
日本超音波医学会第40回研究発表会(東京), 5月, 1982
- No. 14 5月 関口達彦, 松田光生, 山口徹, 杉下靖郎, 伊藤巖:
超音波パルスドップラー法による肺血流速度波型の分析—心房細動例における検
討—.
日本超音波医学会第40回研究発表会(東京), 5月, 1982
- No. 15 5月 山口徹, 小川剛, 飯田啓治, 松田光生, 小関迪, 山口巖, 杉下靖郎, 伊藤巖:
心尖部肥大型心筋症の心電図と心機能に対するカテコールアミンの効果.
日本循環器学会関東甲信越地方会第104回例会(東京), 5月, 1982

- No. 16 5月 山口巖, 東郷利人, 鈴木博之, 杉下靖郎, 伊藤巖:
WPW 症候群における diltiazem 静注の電気生理学的効果.
第1回 Ca 拮抗薬研究会 (東京), 5月, 1982
- No. 17 5月 東郷利人, 山口巖, 鈴木博之, 関口達彦, 来栖武雄, 飯田要, 杉下靖郎, 伊藤巖:
WPW 症候群における diltiazem 静注の電気生理学的効果.
第6回心臓ペースング研究会 (長崎), 5月, 1982
- No. 18 5月 鈴木博之, 山口巖, 東郷利人, 杉下靖郎, 伊藤巖:
洞不全症候群の overdrive suppression test における junctional escape beat
出現の意義についての検討.
第6回心臓ペースング研究会 (長崎), 5月, 1982
- No. 19 6月 Sugishita Y., Koseki S., Matsuda M., Iida K., Ito I. :
Relationship between regional myocardial dysfunction and ECG changes
during exercise-induced myocardial ischemia in patients with angina
pectoris,
9th International Congress on Electorocardiology, 23rd International
Symposium on Vectorcardiography (Tokyo), June, 1982
- No. 20 6月 Yamaguchi I., Togo T., Suzuki H., Sugishita Y., Ito I. :
The electrophysiologic effects of intravenous diltiazem in the Wolff-
Parkinson-White syndrome.
9th International Congress on Electrocardiology, 23rd International
Symposium on Vectorcardiography (Tokyo), June, 1982
- No. 21 6月 Ito I. :
Clinical observations of 124 cases of Takayasu's arteritis.
VIII World Congress of Cardiology (Moscow), June, 1982
- No. 22 6月 Matsuda M., Sugishita Y., Yamaguchi T., Tamura T., Sekiguchi T., Iida K.,
Togo T., Ito I. :
Pulsed Doppler echocardiographic study of pulmonary hypertension.
VIII World Congress of Cardiology (Moscow), June, 1982
- No. 23 6月 Yamaguchi I., Togo T., Ito I. :
The electrophysiologic effects of intravenous diltiazem in the Wolff-
Parkinson-White syndrome.
VIII World Cogress of Cardiology (Moscow), June, 1982
- No. 24 6月 Yamaguchi I., Suzuki H., Togo T., Sugishita Y., Ito I. :
The relationship between sinoatrial entrance block and sinus recovery
time on high right artrial overdrive.
VIII World Congress of Cardiology (Moscow), June, 1982
- No. 25 6月 Yamaguchi I., Suzuki H., Togo T., Sugishita Y., Ito I. :
Effects of isosorbide dinitrate on the sick sinus syndrome.
International Conference of Arrhythmias (Marseilles), June, 1982
- No. 26 6月 Hiroshi Koto, Shinkichi Ogawa, Tsuneo Koro, Hiroshi Noda :
Echocardiographic study on athletic heart.
XXIIth World Congress On Sports Medicine (Austria), June, 1982

- No. 27 7月 松田光生, 杉下靖郎:
心筋梗塞部の核磁気共鳴映像化に関する基礎的研究.
第5回 New Town Conference (東京), 7月, 1982
- No. 28 7月 松田光生, 杉下靖郎, 飯田啓治, 飯田要, 畠山兵衛, 畠山立子, 上平恒:
心筋梗塞部組織のプロトン縦緩和時間(T_1)—熱測定法による水分量分析との対比.
第2回核磁気共鳴医学研究会大会 (東京), 7月, 1982
- No. 29 7月 松田光生:
心筋梗塞部組織のNMR計測.
Riverside Study Session on Hemodynamics 82 (岐阜), 7月, 1982
- No. 30 8月 杉下靖郎, 松田光生, 鯉坂隆一, 飯田啓治, 飯田要, 松本龍馬, 伊藤巖:
シンポジウム「心機能評価のための運動負荷試験」: 各種心疾患における運動時心機能の評価.
第15回循環器負荷研究会 (東京), 8月, 1982
- No. 31 8月 加藤弘, 紅露恒男, 野田汎史:
定量負荷 UCG, STIs による身体トレーニング効果の検討.
第15回循環器負荷研究会 (東京), 8月, 1982
- No. 32 9月 小川剛, 石井正徳, 関口達彦, 飯田要, 杉下靖郎, 伊藤巖:
低負荷運動試験の意義.
第5回心臓リハビリテーション研究会 (東京), 9月, 1982
- No. 33 9月 杉下靖郎, 松田光生, 越永重四郎, 上野正彦:
運動時の心臓突然死の実態に関する研究.
第37回日本体力医学会大会 (島根), 9月, 1982
- No. 34 9月 加藤弘, 紅露恒男, 野田汎史, 小川新吉:
トレーニングと心拡大.
第37回日本体力医学会 (島根), 9月, 1982
- No. 35 9月 佐久間徹, 東郷利人, 垣花昌明, 松田光生, 小川剛, 杉下靖郎, 伊藤巖:
心室細動をおこし, 胸痛発作時に心電図 ST 上昇を認めた僧帽弁逸脱症候群の1例.
日本循環器学会関東甲信越地方会第105回例会 (栃木), 9月, 1982
- No. 36 10月 松田光生, 桑子賢司, 杉下靖郎, 伊藤巖, 赤塚孝雄:
FC-43 emulsion を用いた経静脈左心系コントラスト心エコー図法.
第25回臨床心臓図学会 (徳島), 10月, 1982
- No. 37 10月 鯉坂隆一, 藤田享宜, 飯田啓治, 松田光生, 杉下靖郎, 伊藤巖:
インプロテレノール負荷心エコー図法の臨床的有用性について.
第25回臨床心臓図学会 (徳島), 10月, 1982
- No. 38 10月 東郷利人, 山口巖, 鈴木博之, 来栖武雄, 杉下靖郎, 伊藤巖:
老年者における心室性期外収縮と心胸比との関係.
第24回日本老年医学会総会 (京都), 10月, 1982
- No. 39 10月 小川剛, 関口達彦, 石井正徳, 飯田要, 杉下靖郎, 伊藤巖:
心筋梗塞患者に対する low level exercise test (LLET) の意義.
第24回日本老年医学会総会 (京都), 10月, 1982

- No. 40 10月 石井正徳, 小川剛, 関口達彦, 飯田要, 小関迪, 杉下靖郎, 伊藤巖:
左室機能障害を伴う心筋梗塞患者における運動療法の効果.
第24回日本老年医学会総会(京都), 10月, 1982
- No. 41 10月 山口巖:
シンポジウム「心臓刺激伝導系—基礎と臨床」: 洞結節機能とその異常.
第19回日本臨床生理学会(徳島), 10月, 1982
- No. 42 11月 垣花昌明, 野田汎史, 杉下靖郎, 伊藤巖:
冠動脈スパズムにおけるエルゴノビンとメトキサミンの比較.
第23回日本脈管学会総会(岐阜), 11月, 1982
- No. 43 11月 関口達彦, 小川剛, 石井正徳, 杉下靖郎, 伊藤巖:
塩酸ニカルジピンの降圧効果とその他の血行力学におよぼす影響.
第23回日本脈管学会総会(岐阜), 11月, 1982
- No. 44 11月 野田汎史, 藤田敏郎:
若年性高血圧症に対する食塩およびカリウム負荷時の血圧反応性について.
第23回日本脈管学会総会(岐阜), 11月, 1982
- No. 45 11月 鈴木博之, 山口巖, 東郷利人, 来栖武雄, 野口祐一, 二宮治彦:
心房細動時にのみ副伝導路伝導が疑われた徐脈—頻脈症候群の1例.
第11回臨床心臓電気生理研究会(徳島), 11月, 1982
- No. 46 11月 野田汎史, 藤田敏郎:
Ca拮抗剤塩酸ニカルジピンの本態性高血圧症に対する降圧効果—血行動態面について—.
第25回日本腎臓学会総会(東京), 11月, 1982
- No. 47 11月 野田汎史, 浅井克晏:
若年性境界域高血圧症に対する食塩負荷試験について.
第20回全国大学保健管理研究集会(東京), 11月, 1982
- No. 48 12月 松田光生, 桑子賢司, 杉下靖郎, 伊藤巖, 赤塚孝雄, 櫛谷征昭, 松尾睿, 川村修, 岩田完成, 笠原照明:
経静脈左心系コントラスト・エコー図法の試み.
日本超音波医学会第41回研究発表会(仙台), 12月, 1982
- No. 49 12月 飯田啓治, 杉下靖郎, 松田光生, 松本龍馬, 伊藤巖:
肥大型心筋症のカテコラミンに対する反応性.
日本超音波医学会第41回研究発表会(仙台), 12月, 1982
- No. 50 12月 野口祐一, 関口達彦, 小川剛, 富沢巧治, 杉下靖郎, 伊藤巖, 山口徹, 来栖武雄, 広江道昭, 関口守衛:
心室中隔の非対称性肥厚と左室流出路の閉塞を伴った大動脈炎症候群の1例.
日本循環器学会関東甲信越地方会第106回例会(東京), 12月, 1982

班研究報告

- No. 1 3月 伊藤巖, 野中泰延, 行徳祐一, 斉藤嘉美:
大動脈炎症候群における凝固線溶素の検討.
厚生省特定疾患系統的血管病変に関する調査研究班,
1981年度研究報告集, pp. 147-151, 1982

- No. 2 3月 杉下靖郎, 松田光生, 小川剛, 飯田啓治, 山口徹, 小関迪, 山口巖, 伊藤巖:
肥大型心筋症の病態の変化に関する因子に関する研究.
厚生省特定疾患特発性心筋症調査研究班,
昭和56年度研究報告書, pp.290-294, 1982
- No. 3 3月 杉下靖郎, 山口徹, 松田光生, 田村勤, 小関迪, 飯田啓治, 東郷利人, 飯田要, 伊藤巖:
肥大型心筋症の病態と二次性因子, とくに高血圧との関係.
厚生省特定疾患特発性心筋症調査研究班,
昭和56年度研究報告書, pp.177-183, 1982
- No. 4 3月 杉下靖郎, 山口徹, 小川剛, 飯田啓治, 松田光生, 小関迪, 山口巖, 伊藤巖:
心尖部肥大型心筋症の心電図と心機能に対するカテコールアミンの効果.
厚生省特定疾患特発性心筋症調査研究班,
昭和56年度研究報告書, pp.207-214, 1982
- No. 5 3月 杉下靖郎, 松田光生, 飯田啓治, 小関迪, 山口徹, 田村勤, 東郷利人, 飯田要, 伊藤巖:
肥大型心筋症の左室拡張機能の運動反応性.
厚生省特定疾患特発性心筋症調査研究班,
昭和56年度研究報告書, pp.215-217, 1982
- No. 6 3月 紅霞恒男, 野田汎史, 小川新吉, 伊藤良雄, 小林太刀夫, 木村登:
高血圧治療のための運動処分.
運動処方研究(筑波大学運動処方特別プロジェクト研究組織) pp.155-171, 1982
- No. 7 5月 杉下靖郎:
収縮弛緩特性諸指標の予備力と相互関係.
昭和54~56年度循環器病研究委託費による研究成果報告書
「心臓の収縮弛緩における特性に関する研究」 pp. 1-9, 1982
- No. 8 8月 飯田啓治, 杉下靖郎, 松田光生, 伊藤巖:
二次性ASHの心エコー図を中心とした検討.
厚生省特定疾患特発性心筋症調査研究班,
昭和57年度第1回総会, 8月, 1982
- No. 9 11月 野田汎史, 浅井克晏:
若年性境界域高血圧症に対する食塩負荷試験について.
第20回全国大学保健管理研究集会報告書. 1982 pp.150-151,
- その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)
- No. 1 1月 伊藤巖:
大動脈炎症候群の臨床.
第3回茨城県ノイキノン研究会
特別講演, 水戸京成ホテル(水戸市), 1月21日
- No. 2 2月 伊藤巖:
成人病予防と健康.
大和証券健康講演会, 大和証券水戸支店(水戸市), 2月5日
- No. 3 2月 小川剛, 飯田要:
狭心症に関する医師国家試験問題.
臨床医 8:344-347, 1982

- No. 4 3月 伊藤巖：
高血圧治療の最近の動向。
第1回高血圧懇話会，特別講演，土浦第一ホテル（土浦市），3月12日
- No. 5 3月 山口巖：
重症心室性不整脈—Torsade de pointes—。
第9回茨城心臓血管研究会，3月20日
- No. 6 3月 杉下靖郎：
突然死—ゴール前後が要注意—。
NHKテレビ，3月24日
- No. 7 3月 杉下靖郎：
突然死—ゴール前後にバタリー—。
読売新聞，3月25日
- No. 8 3月 伊藤巖：
高血圧の治療。
西蒲原郡医師会学術講演会，三笠屋（新潟県西蒲原郡巻町），3月30日
- No. 9 4月 杉下靖郎：
妊娠分娩時の循環動態と心疾患。
日本短波放送，「病態生理基礎医学講座」—循環器編I，
循環障害とその背景，4月30日
- No. 10 5月 杉下靖郎：
運動時突然死の特徴。
メディカル・トリビューン 15 (18) : 6，1982，5月6日
- No. 11 6月 伊藤巖：
大動脈炎症候群の治療。
日本短波放送「今日の治療」，6月21日
- No. 12 6月 野田汎史：
ペルジピンの高血圧症に対する効果について。
ペルジピン臨床研究会（水戸），6月
- No. 13 6月 野田汎史：
若年性本態性高血圧症に対する塩酸プラゾシンの急性効果について—血行動態及び
ホルモン動態—。
塩酸プラゾシン研究会（水戸），6月
- No. 14 7月 杉下靖郎：
突然死。
ランナーズ 7 : 18-19，1982
- No. 15 11月 伊藤巖：
大動脈炎症候群。
第70回循環器研究会，新宿農協会館（東京），11月17日
- No. 16 12月 杉下靖郎：
目でみるトレーニング—心音図—。
medicina 19 : 2328-2331，2447，1982

No. 17 12月 杉下靖郎：

RI 診断のトピックス。

へき地生態科学研究所 第22回臨床医学研修会，12月10日，1982

1982年（消化器内科グループ）

原 著

- No. 1 1月 松崎靖司, 川北勲, 井廻道夫, 三田村圭二, 榎村博正, 谷中昭典, 蔡承熹, 東郷順子, 宮本二郎, 中原朗, 小山捷平, 山形迪, 武藤弘, 福富久之, 大菅俊明, 崎田隆夫, 深尾立, 岩崎洋治:
腹腔鏡にて確診し, 摘出し得た肝海綿状血管腫の一症例.
Gastroenterological Endoscopy 24 (1): 130-135, 1982
- No. 2 2月 崎田隆夫:
シロ糖硫酸エステルアルミニウム塩の胃潰瘍治療効果に関する調査研究—胃内視鏡観察を中心として—.
診療と新薬 19 (2): 31-44, 1982
- No. 3 2月 川北勲, 菊池正教, 東郷順子, 蔡承熹, 宮本二郎, 中原朗, 福富久之, 崎田隆夫, 藤井敬二, 中村恭一:
著明な表層拡大を示したⅡc型sm胃癌の1例.
胃と腸 17 (2): 153-157, 1982
- No. 4 2月 川北勲:
早期胃癌の診断と治療における現況と進歩.
医学と薬学 7 (2): 393-400, 1982
- No. 5 2月 Fukutomi H., Miyamoto J., Sakita T.:
Endoscopic measurement of gastric blood flow of patients suffering from gastric ulcer, Basic aspects of microcirculation.
Excerpta Medica: 251-258, 1982
- No. 6 4月 崎田隆夫, 福富久之, 川北勲, 中原朗, 加藤大典:
レーザーの内視鏡への応用—適応と限界—アルゴンイオンレーザーによる診断と治療—消化器—.
臨床外科 37 (4): 523-526, 1982
- No. 7 5月 蔡承熹, 菊池正教, 川北勲, 宮本二郎, 中原朗, 福富久之, 崎田隆夫, 藤井敬二, 中村恭一:
術前に深達度smと診断されたⅡc型早期胃癌(深達度m)の1例.
胃と腸 17 (5): 555-559, 1982
- No. 8 5月 名越和夫, 中原朗, 折居和雄, 岡村隆夫, 大菅俊明, 岩崎洋治:
肝癌の血管造影診断.
日本消化器病学会誌 79 (5): 1123-1128, 1982
- No. 9 6月 鷺野谷秀夫, 川北勲, 蔡承熹, 榎村博正, 谷中昭典, 宮本二郎, 中原朗, 山形迪, 小山捷平, 熊谷博彰, 武藤弘, 福富久之, 崎田隆夫, 菊池正教:
胃癌における紫外線励起蛍光観察.
Progress of Digestive Endoscopy 20: 110-113, 362, 1982
- No. 10 6月 竹島徹, 中野雅行, 岡村隆夫, 中原朗, 崎田隆夫, 岩崎洋治:
広汎な粘膜浸潤を伴った多発性乳頭型胆嚢症の1例,
胃と腸 17 (6): 641-645, 1982

- No. 11 6月 柴田裕身, 名越和夫, 武藤弘, 谷中昭典, 中原朗, 宮本二郎, 東郷順子, 川北勲, 山形迪, 小山捷平, 高瀬靖広, 三田村圭二, 岡村隆夫, 福富久之, 岩崎洋治, 崎田隆夫, 中野雅行, 小形岳三郎:
ERCP と血管造影によって発見された膵体部の前癌状態にある微小病変の1例.
Progress of Digestive Endoscopy 20: 340-343, 1982
- No. 12 6月 宮本二郎, 高瀬靖広, 竹島徹, 東郷順子, 中原朗, 川北勲, 山形迪, 小山捷平, 武藤弘, 福富久之, 崎田隆夫:
ヒト胃癌における胃血行動態—ガストリン, セクレチンに対する反応性.
Progress of Digestive Endoscopy 20: 105-109, 1982
- No. 13 7月 松崎靖司, 井廻道夫, 三田村圭二, 大菅俊明, 崎田隆夫:
腸疾患における血清胆汁酸分画の変動(速報).
日本消化器病学会雑誌79(7): 98, 1982
- No. 14 7月 Imawari M., Matsuzaki Y., Mitamura K., Osuga T.:
Synthesis of vitamine D-binding proteins by rat liver and kidney.
J. Biol. Chem 257: 8153-8157, 1982
- No. 15 8月 Koyama S., Yoshioka T., Sakita T.:
Suppression of cell-mediated anti-tumor immunity by complete Freund's adjuvant.
Cancer Research 42: 3215-3219, 1982
- No. 16 9月 小山捷平, 東郷順子, 宮本二郎, 中原朗, 川北勲, 柴田裕身, 山形迪, 武藤弘, 福富久之, 崎田隆夫, 大原潔, 秋貞雅祥:
食道癌に対する硫酸 Pepleomycin と放射線併用療法.
癌と化学療法 9(9): 1561-1567, 1982
- No. 17 9月 榎村博正, 中原朗, 川北勲, 谷中昭典, 松崎靖司, 蔡承熹, 東郷順子, 宮本二郎, 柴田裕身, 井廻道夫, 山形迪, 小山捷平, 三田村圭二, 武藤弘, 福富久之, 大菅俊明, 崎田隆夫, 金沢曉太郎, 相吉悠治:
超音波ガイド下穿刺吸引細胞診が有用であった adrenal myelolipoma の1例.
日本消化器病学会誌 79(9): 1788-1793, 1982
- No. 18 9月 三田村圭二, 井廻道夫, 松崎靖司, 大菅俊明:
血中B型肝炎ウィルス DNA の定量的測定法.
肝臓 23(9): 111-112, 1982
- No. 19 9月 三田村圭二, 井廻道夫, 松崎靖司, 大菅俊明, 津田文夫, 真弓忠:
血中B型肝炎ウィルス DNA と DNA ポリメラーゼ活性との関連について.
肝臓 23(9): 113-, 1982
- No. 20 10月 小山捷平, 吉岡貴幸, 崎田隆夫:
T細胞増殖因子(TCGF)の免疫・生物学的研究—TCGFによる TCGF 依存性抑制性T細胞株の樹立.
医学のあゆみ 123(3): 173-176, 1982
- No. 21 10月 金地嘉春, 鬼塚正孝, 相吉悠治, 金沢曉太郎, 榎村博正, 中原朗, 崎田隆夫:
副腎 Myelolipoma の1例.
ホルモンと臨床 30(10): 1101-1104, 1982

No. 22 11月 長尾房大, 竹本忠良, 崎田隆夫, 他15名:
H₂-receptor Antagonist (Ranitidine) の上部消化管出血に対する止血効果の臨床検討.

臨床外科 37 (11): 1735-1744, 1982

No. 23 11月 大塚定徳, 松崎靖司, 井廻道夫, 川北勲, 山形迪, 三田村圭二, 大菅俊明, 崎田隆夫, 中村治雄, 阿部師:
巨赤芽球性貧血, 高ガストリン血症, 胆汁酸, ビタミンD代謝異常を認めた短腸管症候群の1例.

代謝 19 (11): 97-104, 1982

No. 24 12月 榎村博正, 福富久之, 川北勲, 蔡承熹, 熊谷博彰, 中原朗, 山形迪, 小山捷平, 三田村圭二, 武藤弘, 崎田隆夫:
光化学反応を利用した癌治療の基礎的研究.

日本レーザー医学会誌 3 (1): 469-476, 1982

No. 25 12月 蔡承熹, 川北勲, 榎村博正, 中原朗, 熊谷博彰, 福富久之, 崎田隆夫:
胃粘膜のレーザー励起蛍光観察.

日本レーザー医学会誌 3 (1): 71-76, 1982

No. 26 12月 中村日出子, 小山捷平, 東郷順子, 宮本二郎, 中原朗, 川北勲, 武藤弘, 福富久之, 崎田隆夫, 鈴木恵子, 藤井敬二:
全身性に転移した胃平滑筋肉腫と微小直腸カルチノイドを合併した1剖検例.

Progress of Digestive Endoscopy 21: 216-220, 1982

No. 27 12月 柴田裕身, 武藤弘, 小山捷平, 谷中昭典, 中原朗, 川北勲, 山形迪, 福富久之, 大菅俊明, 崎田隆夫, 折居和雄, 小林幸雄, 菊池正教, 中村恭一:
5年間経過観察をすることができた早期胃癌の1例.

Progress of Digestive Endoscopy 21: 224-227, 1982

No. 28 12月 松崎靖司, 高瀬靖広, 井廻道夫, 三田村圭二, 大菅俊明, 岩崎洋治:
内視鏡的食道静脈瘤栓塞療法の効果判定指標としての血清総胆汁酸とその分画.

肝臓 24 (4): 467, 1982

No. 29 12月 Imawari M., Kozawa K., Yoshida T., Osuga T.:
A simple and sensitive assay for 25-hydroxyvitamin D, 24,25-dihydroxyvitamin D and 1,25-dihydroxyvitamin D in human serum,

Clin Chim Acta 124: 63-73, 1982

総説

No. 1 1月 内視研究グループ:
フォトルボ医学・医療の最前線を行く:
がん治療に挑むレーザー内視鏡. ディテールマン 10 (1): 3-9, 1982

No. 2 2月 崎田隆夫, 武藤弘:
陥凹型早期胃癌の内視鏡診断1. IIc型, IIc+III型, III+IIc型, III型早期胃癌.
消化器外科 5 (2): 231-235, 1982

No. 3 2月 崎田隆夫:
腹痛, 基礎と臨床「慢性胃炎」—診断基準—.

現代医療 14: 227-230, 1982

- No. 4 3月 崎田隆夫：
消化性潰瘍の病因・診断・治療一序にかえて。
最新医学 37 (3) : 429-430, 1982
- No. 5 3月 崎田隆夫, 川北勲：
陥凹型早期胃癌の内視鏡診断 2. IIb型早期胃癌, 微小胃癌, 表層拡大型早期胃癌,
多発早期胃癌。
消化器外科 5 (3) : 326-331, 1982
- No. 6 3月 崎田隆夫：
医療機器の革命—2—内視鏡。
オプトロニクス 1 (4) : 59-61, 1982
- No. 7 3月 武藤弘：
胃粘液と胃粘膜の傷害に対する抵抗性。
最新医学 37 : 453-460, 1982
- No. 8 4月 崎田隆夫：
胃隆起性病変の画像上の大きさの限界。
日本医事新報 No. 3026 : 55, 1982
- No. 9 4月 大菅俊明：
胆汁酸とそのはたらき。
クリニカ 9 (4) : 217-221, 1982
- No. 10 4月 大菅俊明：
急性腹症, 胆石症。
総合臨床 31 (4) : 825-828, 1982
- No. 11 4月 福富久之, 樫村博正：
内視鏡検査。
総合臨床, 救急計画法 31 : 195-200, 1982
- No. 12 5月 大菅俊明, 井廻道夫, 三田村圭二, 松崎靖司：
＜各種疾患とリポタンパク代謝異常＞肝・胆道疾患。
内科 49 (5) : 857-863, 1982
- No. 13 5月 崎田隆夫：
急性胃炎の診断治療。
診断と治療 19 (5) : 1149-1150, 1982
- No. 14 5月 福富久之, 崎田隆夫：
消化性潰瘍の成因と疫学。
クリニカ 9 (5) : 5-11, 1982
- No. 15 6月 川北勲, 中原朗, 蔡承熹, 樫村博正, 福富久之, 崎田隆夫：
レーザー光の胃癌診断への応用—レーザー光励起螢光観察—。
Progress of Digestive Endoscopy 20 : 57-61, 1982
- No. 16 6月 崎田隆夫, 福富久之, 中原朗：
胃癌 特集 癌(悪性腫瘍)治療の実際。
内科 49 (6) : 1172-1178, 1982

- No. 17 6月 崎田隆夫：
胃癌早期診断学の歩み（1）.
茨城県医師会報 343：26-32, 1982
- No. 18 6月 大菅俊明：
血清胆汁酸分画測定の臨床的意義（質疑応答）.
日本医事新報 No. 3032：134, 1982
- No. 19 6月 福富久之：
消化性潰瘍治療の実際.
クリニカ 9（6）：62-66, 1982
- No. 20 7月 崎田隆夫：
早期胃癌とレーザー.
Medical Companion 2（7）：1912, 1981
- No. 21 7月 崎田隆夫：
胃癌早期診断学の基礎になった胃カメラ.
Kolben 14：17-19, 1982
- No. 22 7月 崎田隆夫：
胃癌早期診断学の歩み（2）.
茨城県医師会報 344：8-13, 1982
- No. 23 7月 崎田隆夫：
胃潰瘍の薬物療法.
臨床と研究 39（7）：181-184, 1982
- No. 24 8月 崎田隆夫：
胃癌早期診断学の歩み（3）.
茨城県医師会報 345：24-27, 1982
- No. 25 8月 田中直見, 大菅俊明：
血清胆汁酸と分画.
日本臨床 40 秋季臨時増刊号：285-287, 1982
- No. 26 8月 松崎靖司, 大菅俊明, 井廻道夫, 三田村圭二, 広瀬道子：
血清胆汁酸測定の臨床的意義.
クリニカルニュース 3（3）：62-69, 1982
- No. 27 8月 大菅俊明：
胆石症診療の進歩.
病院 41（8）：702-703, 1982
- No. 28 9月 崎田隆夫：
胃癌早期診断学の歩み（4）.
茨城県医師会報 346：22-24, 1982
- No. 29 9月 大菅俊明, 三田村圭二, 井廻道夫, 松崎靖司：
胆汁酸による経口胆石溶解療法.
綜合臨床 31（9）：2433-2438, 1982
- No. 30 9月 大菅俊明：
胆石症における脂質, 胆汁酸代謝異常.
三和医報 8：7-12, 1982

- No. 31 10月 山形迪, 福富久之, 崎田隆夫:
消化性潰瘍の治療 Cimetidine による潰瘍治療効果の再検討.
Excerpta Medica TAG 81-4 (V-1): 107-116, 1982
- No. 32 10月 大菅俊明:
胆石成因に無視できない胆嚢内鉤物学的因子.
メディカルトリビューン: 12, 1982
- No. 33 11月 崎田隆夫, 榎村博正, 福富久之:
消化疾患への酵素剤の応用.
薬局 33 (11): 1397-1401, 1982
- No. 34 12月 常岡健二, 崎田隆夫, 他29名:
びらん, 出血, 発赤を主とする急性胃粘膜病変に対する Cetraxate の臨床的薬効
評価—多施設二重盲検比較試験による内視鏡的検討—.
臨床評価 10 (3): 787-803, 1982
- No. 35 12月 大菅俊明:
胆汁酸による経口胆石溶解療法の理論的基礎と作用機序.
胆と膵 3 (12): 1523-1529, 1982
- No. 36 Sakita T., Kawakita I., Fukutomi H., Nakahara A., Kato D.:
The diagnosis of cancer using a laser beam.
Asian Medical Journal 25 (7), 1982
- No. 37 福富久之, 川北勲:
胃癌,
医学百科辞典, 講談社発行, 1982
- 著 書
- No. 1 1月 福富久之:
消化器内視鏡所見の記録と保存.
消化器内視鏡マニュアル (竹本忠良編),
pp. 103-105, 南江堂, 東京, 1982
- No. 2 3月 井廻道夫:
肝とビタミン, ビタミンD.
肝臓機能と形態 (織田敏次, 岡博編),
pp. 159-164, 中外医学社, 東京, 1982
- No. 3 3月 井廻道夫:
腹部膨隆, 腹水.
内科学症候編 (小坂樹徳編),
pp. 333-339, 診断と治療社, 東京, 1982
- No. 4 4月 武藤弘, 熊谷純一, 岡博, 梅田典嗣, 丹羽寛文, 陳啓山:
胃液分泌—胃潰瘍の経過との関連および cyclic nucleotide の役割.
織田敏次教授退官記念論文集, pp. 163-166, 1982
- No. 5 4月 丹羽寛文, 中村孝司, 半井英夫, 武藤弘:
内視鏡的立場よりみた十二指腸潰瘍の経過.
織田敏次教授退官記念論文集, pp. 125-132, 1982

No. 6 7月 崎田隆夫：

癌は制圧できるか—基礎・検査・治療—

レーザー光線の癌診断治療への応用，

pp. 74-79, メディコピア⑦，東京，1982

No. 7 11月 福富久之：

胃潰瘍。

消化管の生検（竹本忠良編），pp. 221-227, 中外医学社，1982

No. 8 12月 井廻道夫：

骨疾患，看護学双書 11.

代謝・栄養障害と看護（金沢康徳，杉山ます江編），

pp. 215-226, 文光堂，東京，1982

学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

No. 1 7月 川北勲：

早期胃癌の診断と治療における最近の進歩。

第2回茨城県消化器病懇話会，（水戸市），7月，1981

No. 2 2月 榎村博正，中原朗，谷中昭典，松崎靖司，蔡承熹，東郷順子，宮本二郎，柴田裕身，井廻道夫，川北勲，山形迪，小山捷平，三田村圭二，武藤弘，福富久之，大菅俊明，崎田隆夫，金沢暁太郎，相吉悠治：

超音波診断が有用であった Adrenal Myelolipoma の1例。

第168回日本消化器病学会関東甲信越地方会（東京），2月，1982

No. 3 3月 松崎靖司，井廻道夫，三田村圭二，大菅俊明，崎田隆夫：

腸疾患における血清胆汁酸分画の検討。

第68回日本消化器病学会総会（広島），3月，1982

No. 4 3月 山形迪，柴田裕身，市川富美子，福富久之，武藤弘，小山捷平，川北勲，宮本二郎，谷中昭典，崎田隆夫：

Histamine H_2 -receptor Antagonist の胃液分泌に与える影響—殊に治療後の胃酸分泌機能の経過的变化について。

第68回日本消化器病学会総会（広島），3月，1982

No. 5 3月 山形迪，福富久之，武藤弘，川北勲，中原朗，榎村博正，谷中昭典，市川富美子，崎田隆夫，柴田裕身：

Histamine H_2 -receptor Antagonist による消化性潰瘍治療後再発における胃液分泌機序について。

第68回日本消化器病学会胃分泌研究会（広島），3月，1982

No. 6 3月 大菅俊明：

血清胆汁酸測定の臨床的意義。

第68回日本消化器病学会総会シンポジウム（広島），3月，1982

No. 7 3月 松崎靖司，井廻道夫，三田村圭二，大菅俊明：

ポスターシンポジウム，高速液クロマトグラフィーによる腸疾患における血清胆汁酸分画の検討。

第68回日本消化器病学会総会（広島），3月，1982

- No. 8 5月 崎田隆夫：
早期癌発見の現状。
第24回日本消化器内視鏡学会総会（横浜），5月，1982
- No. 9 5月 中原朗，福富久之：
シンポジウム，経内視鏡的レーザーの臨床一治療を主体として—レーザーによる隆起性病変治療とその適応。
第24回日本消化器内視鏡学会総会（横浜），5月，1982
- No. 10 5月 宮本二郎，福富久之：
難治性胃潰瘍及び肝転移胃癌症例における胃血行動態。
第24回日本消化器内視鏡学会総会（横浜），5月，1982
- No. 11 5月 蔡承熹，川北勲，福富久之，中原朗，熊谷博彰，宮本二郎，谷中昭典，山形迪，小山捷平，武藤弘，柴田裕身，高瀬靖広，崎田隆夫，菊池正教，加藤大典：
胃粘膜の組織レベルにおけるレーザー蛍光観察。
第24回日本消化器内視鏡学会総会（横浜），5月，1982
- No. 12 5月 小山捷平，柴田裕身，東郷順子，宮本二郎，中原朗，川北勲，山形迪，武藤弘，福富久之，崎田隆夫，金沢暁太郎，岩崎洋治，菊池正教：
胃体部に発生した多発性胃カルチノイドとびまん性好銀性細胞の増生。
第24回日本消化器内視鏡学会総会（横浜），5月，1982
- No. 13 5月 小松義成，小山捷平，東郷順子，宮本二郎，井廻道夫，中原朗，川北勲，柴田裕身，山形迪，武藤弘，三田村圭二，福富久之，大菅俊明，崎田隆夫，鈴木恵子，小形佑三郎：
脾癌とB細胞由来悪性リンパ腫の合併した1剖検例。
第169回日本消化器病学会関東甲信越地方会（東京），5月，1982
- No. 14 5月 平井信二，川北勲，高野信孝，松本好正，谷中昭典，蔡承熹，樫村博正，松崎靖司，宮本二郎，中原朗，山形迪，小山捷平，井廻道夫，三田村圭二，武藤弘，福富久之，大菅俊明，崎田隆夫，岡村隆夫，菊池正教：
術前に小腸造影とTcシンチグラムにより確信し得たメッケル憩室の1症例。
第169回日本消化器病学会関東甲信越地方会（東京），5月，1982
- No. 15 5月 柴田裕身，武藤弘，小山捷平，谷中昭典，蔡承熹，樫村博正，中原朗，川北勲，山形迪，福富久之，大菅俊明，崎田隆夫，折居和雄，小林正貴，池園洋，菊池正教，中村恭一：
5年経過観察をえた早期癌の1例。
第34回日本消化器内視鏡学会関東甲信越地方会（東京），5月，1982
- No. 16 5月 谷中昭典，武藤弘，柴田裕身，蔡承熹，樫村博正，中原朗，川北勲，山形迪，小山捷平，福富久之，大菅俊明，崎田隆夫：
十二指腸ポリープの病理組織学的および病態生理学的検討。
第34回日本消化器内視鏡学会関東地方会（東京），5月，1982
- No. 17 5月 中村日出子，小山捷平，東郷順子，宮本二郎，中原朗，川北勲，山形迪，武藤弘，福富久之，崎田隆夫，鈴木恵子，藤井敬二：
全身性に転移した胃平滑筋肉腫と微小直腸カルチノイドの1剖検例。
第34回日本消化器内視鏡学会関東地方会（東京），5月，1982

- No. 18 6月 **Sakita T.** (Lecturer), Colcher H. (Introducer), :
Opening Ceremony, Schindler Lecture, The progress of endoscopic diagnosis and treatment of early gastric cancer.
The World Congresses in Stockholm
Sweden, (Stockholm), June, 1982
- No. 19 6月 Fujita K., **Sakita T.**, Mori S., Niwa H., Miki K., Yoshiya K., Susaka H., Umeda N., Kaneko E., Fujita Y. :
Eree Paper Session, Gastric mass survey with the gastrocameras :
Analysis of the twenty one years' date.
The World Congresses in Stockholm,
Sweden (Stockholm), June, 1982
- No. 20 6月 Moriga M., Miyoshi A., Yabana T., Mori H., **Fukutomi H.**, Kubota Y. :
Poster Session, Effect of YM-11170 on nocturnal gastric secretion in man.
The World Congresses in Stockholm,
Sweden (Stockholm), June, 1982
- No. 21 6月 **Nakahara A.**, Orie K., **Kawakita I.**, **Yamagata S.**, **Takase Y.**, **Fukutomi H.**, **Iwasaki Y.**, **Sakita T.** :
Free Paper Session, The indication of endoscopical treatment of early cancer in the alimentary tract,
The World Congresses in Stockholm,
Sweden (Stockholm), June' 1982
- No. 22 6月 **Takase Y.**, **Ozaki A.**, Orie K., **Sarashina H.**, **Nagoshi K.**, **Sakita T.**, **Iwasaki Y.** :
Film Session, Injection sclero—therapy of esophageal varices for emergency and elective cases.
The World Congresses in Stockholm,
Sweden (Stockholm), June, 1982
- No. 23 6月 Orie K., **Takase Y.**, **Ozaki A.**, **Okamura T.**, **Sakita T.**, **Iwasaki Y.** :
Poster Session, Lithotomy of bile duct stone by Yag laser with a choledochofiberscope.
The World Congresses in Stockholm,
Sweden (Stockholm), June, 1982
- No. 24 6月 **Fukutomi H.**, **Yamagata S.**, **Takase Y.**, **Sakita T.** :
Poster Session, Endoscopical measurement of gastric blood flow of the patients with gastric ulcer.
The World Congresses in Stockholm,
Sweden (Stockholm), June, 1982
- No. 25 6月 **Nagoshi K.**, **Nakahara A.**, **Ishikawa N.**, **Takase Y.**, **Sarashina H.**, Orie K., **Iwasaki Y.** :
Poster Session, Computed tomography and angiography examination in evaluation of primary carcinoma of the liver.
The World Congresses in Stockholm,
Sweden (Stockholm), June, 1982

- No. 26 6月 川北勲：
講演，肝・胆・脾の細胞診。
茨城県臨床衛生検査技師会，細胞診研究班，6月，1982
- No. 27 7月 池蘭洋，荒木恒敏，篠原直宏，中村恭一，川北勲，牧野哲也，西沢護：
平坦型早期胃癌発見の現状。
第39回胃癌研究会（東京），7月，1982
- No. 28 7月 中原朗，折居和雄，川北勲，高瀬靖広，福富久之，岩崎洋治，崎田隆夫：
早期消化管癌に対する内視鏡的レーザー治療法の適応。
第39回胃癌研究会（東京），7月1982
- No. 29 8月 小山捷平，荒山悦子，深尾立，崎田隆夫：
人癌細胞に対し誘導される Killer 細胞の Fluorescence Activated Cell Sorter (FACS-4) による解析。
第41回日本癌学会総会（大阪），8月，1982
- No. 30 8月 小山捷平，荒山悦子，深尾立，崎田隆夫，藤本重義：
人癌における TCGF 依存性抑制性 T 細胞の培養とその免疫学的性状。
第41回日本癌学会総会（大阪），8月，1982
- No. 31 9月 Koyama S., Yoshioka T., Sakita T., Fujimoto S. :
Tumor antigen-specific suppressor T cells from peripheral blood lymphocytes and spleen cells in gastric cancer patients.
13th International Cancer Congress (Seattle, U.S.A.), September, 1982
- No. 32 10月 小山捷平，深尾立：
シンポジウム，「消化器癌と免疫，特に病態と治療」胃癌患者における抑制性 T 細胞の存在意義と単クローン抗体を用いた FACS による解析。
第24回日本消化器病学会（山形市），10月，1982
- No. 33 10月 山形迪，福富久之：
ワークショップ「消化管疾患の治療の見直し」—Histamine H₂-receptor antagonist 治療後再発機序における胃液分泌の意義。
第24回日本消化器病学会（山形市），10月，1982
- No. 31 10月 蔡承熹，川北勲，福富久之，樫村博正，島倉秀也，中原朗，熊谷博彰，宮本二郎，松本好正，東郷順子，谷中昭典，山形迪，小山捷平，柴田裕身，武藤弘，崎田隆夫，高瀬靖広，菊池正教，加藤大典：
ポスターセッション，レーザー光励起蛍光像の組織学的検討。
第24回日本消化器病学会総会（山形市），10月，1982
- No. 35 10月 中原朗，松本好正，谷中昭典，蔡承熹，樫村博正，東郷順子，宮本二郎，折居和雄，川北勲，山形迪，小山捷平，高瀬靖広，武藤弘，福富久之，岩崎洋治，崎田隆夫：
ポスターセッション，早期癌に対するレーザー治療の内視鏡的経過観察。
第24回日本消化器学会（山形），10月，1982
- No. 36 10月 高瀬靖広，折居和雄，小林幸雄，岡村隆夫，岩崎洋治，川北勲，福富久之，崎田隆夫：
シネクリニク，食道静脈癌に対する内視鏡的栓塞療法の手技。
日本消化器病学会総会（山形），10月，1982

- No. 37 10月 谷中昭典, 武藤弘, 柴田裕身, 島倉秀也, 蔡承熹, 樫村博正, 東郷順子, 宮本二郎, 中原朗, 川北勲, 山形迪, 小山捷平, 福富久之, 崎田隆夫:
消化性潰瘍の再発と胃液分泌.
日本消化器病学会総会(山形), 10月, 1982
- No. 38 10月 松崎靖司, 井廻道夫, 正田純一, 三田村圭二, 大菅俊明, 崎田隆夫, 小沢邦寿:
消化管疾患における血清胆汁酸一胃全摘後の血清胆汁酸分画について一.
第24回日本消化器病学会総会(山形), 10月, 1982
- No. 39 11月 川北勲, 蔡承熹, 樫村博正, 中原朗, 熊谷博彰, 福富久之, 崎田隆夫:
胃粘膜のレーザー励起螢光観察.
第3回日本レーザー医学会(東京), 11月, 1982
- No. 40 11月 樫村博正, 川北勲:
大腸癌の診断における内視鏡検査の意義.
茨城県消化器病懇話会(水戸), 11月, 1982
- No. 41 12月 蔡承熹, 小山捷平, 谷中昭典, 高野信孝, 東郷順子, , 中原朗, 川北勲, 柴田裕身, 山形迪, 武藤弘, 福富久之, 崎田隆夫:
シメチジンが効果を示した Barrett 食道潰瘍の1例.
第35回日本消化器内視鏡学会関東地方会(土浦), 12月, 1982
- No. 42 12月 島倉秀也, 谷中昭典, 高野信孝, 東郷順子, 蔡承熹, 樫村博正, 松本好正, 宮本二郎, 川北勲, 小山捷平, 山形迪, 柴田裕身, 武藤弘, 福富久之, 崎田隆夫, 宮淳, 島崎修次:
外傷性食道粘膜裂傷の内視鏡像.
第35回日本消化器内視鏡学会関東地方会(土浦), 12月, 1982
- No. 43 12月 柴田裕身, 宮本二郎, 松本好正, 武藤弘, 谷中昭典, 山形迪, 小山捷平, 福富久之, 崎田隆夫:
難治性球後部潰瘍の1例.
第35回日本消化器内視鏡学会関東地方会(土浦), 12月, 1982
- No. 44 12月 東郷順子, 高野信孝, 松本好正, 宮本二郎, 島倉秀也, 樫村博正, 蔡承熹, 谷中昭典, 中原朗, 川北勲, 山形迪, 小山捷平, 柴田裕身, 武藤弘, 福富久之, 崎田隆夫:
虚血性大腸炎の2例.
第35回日本消化器内視鏡学会関東地方会(土浦), 12月, 1982
- No. 45 12月 菊池正教, 川北勲:
シンポジウム 場の違いによる胃癌の発育・進展.
第35回日本消化器内視鏡学会関東地方会(土浦), 12月, 1982
- No. 46 12月 松崎靖司, 井廻道夫, 三田村圭二, 大菅俊明, 高瀬靖広, 岩崎洋治:
食道静脈瘤内視鏡的栓塞療法前後における血清胆汁酸分画変動.
第17回日本肝臓学会東部会(東京), 12月, 1982

班研究報告

- No. 1 6月 大菅俊明, 三田村圭二, 井廻道夫, 松崎靖司, 崎田隆夫:
腸疾患における血清胆汁酸分画測定の鑑別診断的意義.
厚生省特定疾患消化吸収障害調査研究班,
昭和56年度業績集. pp. 225-231, 1982

- No. 2 8月 小山捷平：
ヒト担癌生体の抑制性細胞の性状とその作用機序。
文部省がん特別研究1，藤本班「がん細胞の免疫学的エスケープメカニ
ズムの解析とその解消」，昭和57年度研究報告集録，pp. 295-299，1982
- No. 3 月 大菅俊明，井廻道夫，松崎靖司，三田村圭二，崎田隆夫：
腸疾患における胆汁酸の経口負荷試験。
厚生省特定疾患消化吸收障害調査研究班，石川班，
昭和55年度業績集，pp. 201-206，1982
- No. 4 月 崎田隆夫他：
癌の診断と治療のためのレーザー内視鏡機械の開発。
56年度厚生省がん研究助成金による研究報告，pp. 860-871，1982
- その他（放送，座談会，講演会などで学術的なもの）
- No. 1 2月 崎田隆夫（司会），三好秋馬，三輪剛：
新しい消化性潰瘍薬の治療成績。
診療手帳，75：2-9，1982
- No. 2 2月 福富久之：
胃隆起性病変の診断。
学術講演（東京），2月13日，1982
- No. 3 2月 福富久之，加藤大典，白根禮吉，迎康子：
光がひらく情報新時代。
「生体情報のニューメディア」，座談会，
NHK ETV，2月10日，1982
- No. 4 3月 福富久之：
早期胃癌の内視鏡診断の進歩。
山梨県医師会講演，3月13日，1982
- No. 5 5月 福富久之，山田達哉：
胃隆起性病変の診断，
茨城県胃精密検診実施登録医療機関研修会講演，5月22日，1982
- No. 6 5月 大菅俊明：
胆石症。
NHK TV「きょうの健康」，5月12日，1982
- No. 7 6月 大菅俊明：
七転八倒（癪の種，胆石）。
NHK TV「健康クリニック」，6月10日，1982
- No. 8 9月 大菅俊明：
胆石症研究の最近の進歩。
第36回中部地西老年医学談話会（名古屋），9月4日，1982
- No. 9 9月 大菅俊明：
胆汁酸研究の最近の進歩。
近畿地区胆汁酸研究会（大阪），9月16日，1982

- No. 10 9月 大菅俊明：
胆石症に関する最近の進歩。
学術講演会（宮崎），9月22日，1982
- No. 11 9月 大菅俊明：
胆石床の臨床と問題点。
第4回三重胆道膵疾患研究会（津），9月25日，1982
- No. 12 9月 福富久之：
胃・十二指腸潰瘍に対する最近の動行。
広島医師会，9月18日，1982
- No. 13 11月 福富久之：
胃癌に対する内視鏡的レーザー治療。
日本短波放送，11月8日，1982
- No. 14 11月 福富久之：
胃集検と精密検査のあり方。
がん検診のつどい講演（水戸），11月25日，1982
- No. 15 11月 大菅俊明：
消化器病診療の前線。
第4回茨城医学総会特別講演，11月7日，1982
- No. 16 12月 大菅俊明・
胆石溶解剤の現状と将来。
第1回兵庫県肝胆膵研究会，（神戸），12月4日，1982
- No. 17 月 崎田隆夫，多賀須幸男，丹羽寛文，福富久之：
内視鏡検査のすすめ。
診断医学，3-11，1982

1982年（呼吸器内科グループ）

原 著

- No. 1 12月 木村敬二郎，長谷川鎮雄，遠藤勝幸，高野佐重喜：
肺，胸腔内腫瘍の超音波診断—胸膜，胸壁および横隔膜への浸潤について—。
日本超音波学会誌，講演集 699-700，1982

- No. 2 12月 長谷川鎮雄，藤岡浩，本間敏明，内田義之：
呼吸器疾患にたいするセアプローゼSの臨床使用経験。
現代医療，14，788-790，1982

総 説

- No. 1 4月 長谷川鎮雄：
肺気腫について。
日本胸部疾患学会誌 20，4，367-368，1982

- No. 2 4月 長谷川鎮雄：
呼吸困難。
総合臨床，31，241-246，1982

- No. 3 12月 長谷川鎮雄：
呼吸のみかた。
臨床看護 8，2069-2072，1982

学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

- No. 1 4月 長谷川鎮雄，木村敬二郎，長谷川堯，渡辺宏，大塚盛男，本間敏明，藤岡浩，内田義之：
133Xe，81mKr，99mTcO₄⁻を併用した局所肺機能検査による臨床的肺気腫症の診断について。
第79回日本内科学会講演会（東京），4月，1982

- No. 2 4月 大塚盛男，渡辺宏，木村敬二郎，長谷川堯，長谷川鎮雄，鈴木俊雄：
単クローン抗体による過敏性肺炎およびサルコイドーシスにおける気管支肺胞洗滌液中 T-cell subset の検討。
第22回日本胸部疾患学会総会（東京），4月，1982

- No. 3 4月 本間敏明，藤岡浩，内田義之，長谷川堯，木村敬二郎，渡辺宏，大塚盛男，長谷川鎮雄：
臨床的肺気腫症の早期診断について。
第22回日本胸部疾患学会総会（東京），4月，1982

- No. 4 7月 田中健彦，河野祐子，井上健一郎，高山順治，廣瀬英生，岩間徹，上田隆司，青木幹雄，河野一郎，大塚盛男，渡辺宏：
過敏性肺炎（Pegeon-Breeders' lung）の1例—気管支洗滌法によるリンパ球 subset の検討。
第55回日本胸部疾患学会関東地方会（東京），7月，1982

- No. 5 10月 藤岡浩，本間敏明，内田義之，長谷川鎮雄：
肺癌症例の喀痰細胞診における乳酸脱水素酵素（LDH）の検討—第1報—。
第21回日本臨床細胞学会秋季大会（東京），10月，1982

- No. 6 10月 藤岡浩, 本間敏明, 内田義之, 長谷川鎮雄, 加藤大典, 大塚俊道:
肺癌症例にたいするレーザー顕微鏡を用いた細胞診の検討.
第21回日本臨床細胞学会秋季大会(東京), 10月, 1982
- No. 7 10月 本間敏明, 藤岡浩, 内田義之, 長谷川鎮雄:
実験犬における Body-Box を中心とした肺機能検査の検討—第1報—.
第19回日本臨床生理学会総会(徳島), 10月, 1982
- No. 8 10月 内田義之, 本間敏明, 藤岡浩, 長谷川鎮雄, 嵯峨井勝:
呼気ガス炭化水素測定 of 臨床応用—第1報—.
第19回日本臨床生理学会総会(徳島), 10月, 1982
- その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)
- No. 1 1月 長谷川鎮雄:
種々の呼吸器疾患における基本的X線像(その7).
第7回水戸チェストカンファレンス(水戸), 1月, 1982
- No. 2 3月 長谷川鎮雄:
肺炎の臨床診断と治療の実際について.
西茨城医師会学術講演会(笠間市), 3月, 1982
- No. 3 5月 長谷川鎮雄:
種々の呼吸器疾患における基本的X線像(その8).
第9回水戸チェストカンファレンス(水戸), 5月, 1982
- No. 4 5月 長谷川鎮雄:
呼吸器疾患を中心とした最近の抗生物質の諸問題.
日立内科医会講演会(日立市), 5月, 1982
- No. 5 6月 長谷川鎮雄:
肺癌治療の現況について.
第11回県南呼吸器同好会(土浦), 6月, 1982
- No. 6 7月 長谷川鎮雄:
種々の呼吸器疾患における基本的X線像(その9).
第10回水戸チェストカンファレンス(水戸), 7月, 1982

1982年（腎臓内科グループ）

原 著

- No. 1 1月 小山哲夫, 稲毛博実, 佐野元昭, 成田光陽, 東條静夫:
急性血清病腎炎における血小板の役割について.
日腎誌 24: 27-36 (1), 1982
- No. 2 2月 矢崎恒忠, 加納勝利, 北川龍一, 大場正二, 渡辺孝太郎, 東條静夫:
馬蹄腎に腎結核を合併した慢性腎不全に陥った1症例.
腎と透析 12 (2), 221-223, 1982
- No. 3 4月 寺崎太郎, 佐野元昭, 渡辺孝太郎, 植草義史, 奥田諭吉, 上遠野栄一, 成田光陽, 東條静夫, 佐藤重仁, 渡辺徹, 近藤陽一:
救命し得たパラコート中毒2例の腎組織像について.
腎と透析 12: 467-472 (4), 1982
- No. 4 3月 小山哲夫, 成田光陽, 稲毛博実, 石田裕, 佐野元昭, 東條静夫:
全身性エリテマトーデスにおける免疫複合体の性状とその腎組織障害性について.
日腎誌 24: 267-273 (3), 1982
- No. 5 4月 青柳一正, 大場正二, 宮崎三弘, 飯田恵実, 渡辺孝太郎, 成田光陽, 東條静夫:
ラット単離肝細胞におけるグアニジノコハク酸の生合成について. I 尿素によるその合成促進.
日腎誌24 (4), 345-351, 1982
- No. 6 9月 石田裕, 大場正二, 宮崎三弘, 小山哲夫, 成田光陽, 東條静夫, 鈴木正明:
慢性腎不全患者における血清フェリチン値の研究.
腎と透析, 13 (3), 453-456, 1982
- No. 7 4月 宮崎三弘, 大場正二, 野口祐一, 寺崎太郎, 稲毛博実, 渡辺孝太郎, 成田光陽, 東條静夫:
DIC 急性腎不全を伴ったレプトスピラ症について.
腎と透析13 (4), 599-603, 1982
- No. 8 9月 佐野元昭, 寺崎太郎, 大場正二, 石田裕, 成田光陽, 東條静夫:
膜性腎症における糸球体病変の進行過程に関する病理学的研究.
日腎誌 24 (9), 997-1007, 1982
- No. 9 10月 青柳一正, 大場正二, 成田光陽, 東條静夫:
ラット単離肝細胞におけるグアニジノコハク酸の生合成について: II 尿素回路のメンバーおよびD, L ノルバリンによるその合成阻害.
日腎誌 24 (10), 1137-1146, 1982
- No. 10 10月 大場正二, 青柳一正, 東條静夫:
ラット肝におけるグアニジノコハク酸の合成について—尿素オルニチンおよびD-L ノルバリンの効果—.
日腎誌 24 (10), 1147-1155, 1982
- No. 11 2月 K. Rinsho, K. Aoyagi, :
Urinary hydroxyproline excretion as a marker of bone metastasis in prostatic cancer.
Tohoku J. Exp. Med, 137: 461-462, 1982

No. 12 10月 青柳一正, 大場正二, 宮崎三弘, 永瀬宗重, 飯田恵美, 成田光陽, 東條静夫:
 ラット単離肝細胞におけるグアニジノ化合物の代謝について—グアニジンサイクル
 の検討とグアニジノ酢酸の合成.
 第5回グアニジノ化合物研究会講演要旨集 p. 145-150, 1982

No. 13 12月 青柳一正, 大場正二, 宮崎三弘, 永瀬宗重, 飯田恵美, 成田光陽, 東條静夫:
 ラット肝におけるグアニジノコハク酢およびグアニジノ酢酸の合成について.
 第1回尿毒症病態研究会講演集 p. 51-53, 1982

No. 14 5月 稲毛博実, 成田光陽:
 尿路感染症における Cefmetazole の使用経験.
 Progress in Medicin 2 : 127, 1982

総 説

No. 1 3月 東條静夫:
 Alport 症候群. 症候群 1982—概念の変遷とその今日的意義.
 日本臨床通巻第482号, 1982

No. 2 5月 太田義章, 佐野元昭, 東條静夫:
 アミロイド腎.
 Geriatric Medicine 20 : 804-810, 1982

No. 3 5月 東條静夫:
 Schönlein-Henoch 紫斑病性腎炎の治療.
 日本医事新報 No. 3030, 122, 1982

No. 4 1月 東條静夫:
 腎疾患の診断・予後推定アルゴリズム「ネフローゼ症候群」.
 検査診断の世界 2 : 37-41 (1), 1982

No. 5 2月 東條静夫, 寺崎太郎:
 IgA 腎症,
 SRL 宝函 6 : 1-5 (2), 1982

No. 6 7月 太田義章, 東條静夫:
 ネフローゼ症候群と腎静脈血栓症.
 総合臨床 31, 2046-2052 (7), 1982

No. 7 10月 宮崎三弘, 東條静夫:
 臨床薬理入門<6>腎臓病と薬.
 臨床看護 8 (10), 1522-1536, 1982

No. 8 8月 稲毛博実, 東條静夫:
 腎炎の治療—最近の進歩—抗凝固療法.
 臨床科学 18 (8), 943-951, 1982

No. 9 9月 東條静夫:
 抗凝固療法.
 Medicina 19 (9), 1590-1591, 1982

No. 10 12月 渡辺孝太郎, 東條静夫:
 腎疾患の治療—指導・管理の実際—急性腎炎.
 治療 Vol64 (12), 1975-1981, 1982

- No. 11 12月 大場正二, 東條静夫:
臨床検査 Q&A, 腎クリアランスの体表面積による補正について.
Medical Technology 12 (12), 1207-1208, 1982
- No. 12 5月 小山哲夫, 成田光陽:
ネフローゼ症候群最近の進捗.
メディカルコンパニオン. 2 : p. 1082, 1982
- No. 13 1月 成田光陽:
薬剤性腎障害.
現代医学14 : p. 19, 1982

著 書

- No. 1 5月 東條静夫, 成田光陽, 小山哲夫:
腎疾患における抗凝固療法—とくに Warfarin 長期療法について—.
上田泰編「腎糸球体障害」東京医学社,
東京 1982 (5), p. 107-113
- No. 2 5月 東條静夫, 佐野元昭, 土田弘基:
巣状糸球体硬化症 (FGS) の臨床像と病理.
上田泰編「腎糸球体障害」東京医学社,
東京 1982 (5), p. 154-159
- No. 3 5月 東條静夫, 佐野元昭, 寺崎太郎:
神経性疾患にみられた MPGN 病変.
上田泰編「腎糸球体障害」東京医学社,
東京 1982 (5), p. 211-215
- No. 4 5月 東條静夫, 小山哲夫, 成田光陽:
ループス腎炎の発症機構に関する研究.
上田泰編「腎糸球体障害」東京医学社,
東京 1982 (5), p. 232-236
- No. 5 5月 東條静夫, 鈴木治男:
糖尿病患者の予後と GFR および蛋白尿.
上田泰編「腎糸球体障害」東京医学社,
東京 1982 (5), p. 334-337
- No. 6 2月 東條静夫, 鈴木治男:
腎尿路感染症.
織田敏次編「臨床医学示説」内科⑥,
近代医学社, 東京 p. 171-191, 1982
- No. 7 2月 東條静夫, 鈴木治男:
腎の循環障害.
織田敏次編「臨床医学示説」内科⑥,
近代医学社, 東京 p. 193-219, 1982
- No. 8 2月 東條静夫, 石田裕:
臨床検査 Mook 腎疾患と血漿蛋白異常.
金原出版, 東京 p. 204-215, 1982

No. 9 3月 A. Ozaki, K. Fukao, M. Sano, T. Okamura. & Y. Iwasaki, :
Five days preservation of canine kidneys using a preservation machine.
Organ preservation-basic and applied aspects- (Ed. by Pegg, D. E.
Jacobsen, I. A. & Halasz, N. A.) p. 245-248, MTP press limit.
International Medical Publishers, Lancaster. 1982

No. 10 5月 成田光陽 :
膠原病による腎障害.

今日の治療指針, 医学書院 (東京), p.405, 1982

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

No. 1 4月 青柳一正, 大場正二, 宮崎三弘, 永瀬宗重, 東條静夫 :
ラット単離肝細胞に対するクリオプロテクタントの影響と尿素合成能を中心として.

第9回臓器保存研究会 (千葉), 4月, 1982

No. 2 9月 K. Aoyagi, S. Ohba, M. Narita, S. Tojo, :
Regulation of biosynthesis of guanidinosuccinic acid in isolated hepatocytes and *in vivo*.

Third international congress on nutrition and metabolism
in renal disease. Marseilles (France)

No. 3 10月 青柳一正, 大場正二, 宮崎三弘, 永瀬宗重, 飯田恵実, 成田光陽, 東條静夫 :
ラット単離肝細胞におけるグアニジン化合物の代謝について—グアニジンサイクル
の検討とグアニジノ酢酸の合成.

第5回グアニジン化合物研究会 (大阪), 10月, 1982

No. 4 4月 成田光陽, 小山哲夫, 稲毛博実, 石田裕, 太田義章, 大場正二, 宮崎三弘, 寺崎太郎,
青柳一正, 渡辺孝太郎, 佐野元昭, 鈴木治男, 東條静夫 :
各種腎疾患における血小板の役割について.

第79回日内会総会 (東京), 1982

No. 5 5月 太田義章, 久賀圭祐, 稲毛博実, 鈴木治男, 成田光陽, 東條静夫 :
下大静脈および腎静脈血栓をともなった膜性腎症.

第12回日腎東部部会 (東京), 5月, 1982

No. 6 5月 大場正二, 佐野元昭, 中村日出子, 石田裕, 青柳一正, 成田光陽, 東條静夫 :
腎疾患多発家系内に見られた腎炎兄弟例について.

第12回日腎東部部会 (東京), 5月, 1982

No. 7 5月 宮崎三弘, 渡辺孝太郎, 野口祐一, 寺崎太郎, 小山哲夫, 成田光陽, 東條静夫 :
救命しえた Leptospirosis による急性腎不全症例について.

第12回日腎東部部会 (東京), 5月, 1982

No. 8 11月 稲毛博実, 小山哲夫, 鈴木治男, 太田義章, 石田裕, 成田光陽, 東條静夫, 丸山佳子 :
腎疾患各病型における血小板動態について—抗血小板剤を中心として—.

第25回日腎総会 (東京), 11月, 1982

No. 9 11月 青柳一正, 永瀬宗重, 大場正二, 宮崎三弘, 飯田恵実, 成田光陽, 東條静夫 :
グアニジノコハク酸の合成経路について—グアニジンサイクルの検討—.

第25回日腎総会 (東京), 11月, 1982

No. 10 11月 太田義章, 小山哲夫, 石田裕, 稲毛博実, 佐野元昭, 成田光陽, 東條静夫, 丸山佳子:
膜性腎症の発症に関して尿細管上皮抗原の関与.

第25回日腎総会(東京), 11月, 1982

No. 11 11月 寺崎太郎, 佐野元昭, 宮崎三弘, 成田光陽, 東條静夫:

IgA 腎症の電子顕微鏡的研究-spherical microparticles と糸球体基底膜の断裂について.

第25回日腎総会, 11月(東京), 1982

No. 12 11月 大場正二, 青柳一正, 宮崎三弘, 永瀬宗重, 飯田恵実, 渡辺孝太郎, 成田光陽, 東條静夫:

誘導結合プラズマ発光分析法による血清及び透析用水質のトレースエレメントの測定について.

第25回日腎総会(東京), 11月, 1982

No. 13 11月 石田裕, 小山哲夫, 成田光陽, 東條静夫:

in vivo における Immune complex の solubilization の意義について.

第25回日腎総会(東京), 11月, 1982

No. 14 12月 青柳一正, 宮崎三弘, 永瀬宗重, 飯田恵実, 成田光陽, 東條静夫:

ラット肝におけるグアニジノコハク酸およびグアニジノ酢酸の合成について.

第1回尿毒症病態研究会(東京), 12月, 1982

No. 15 5月 梅山知一, 小川由英, 高橋茂喜, 加納勝利, 佐野元昭, 薮田敬次郎:

新生児期に発見された成人型嚢胞腎の1例.

第12回日腎東部部会(東京), 1982

No. 16 11月 佐野元昭, 寺崎太郎, 土田弘基:

間質性腎炎一臨床例の病理学的検討一.

第25回日腎総会ワークショップ(東京), 11月, 1982

No. 17 11月 小山哲夫, 成田光陽:

糸球体内血液凝固一成因と治療一, 腎疾患における抗凝固療法の治療効果と適応

第25回日腎総会シンポジウム(東京), 11月, 1982

班研究報告

No. 1 月 東條静夫, 成田光陽, 小山哲夫, 稲毛博実, 石田裕, 太田義章, 大場正二, 宮崎三弘,
青柳一正, 寺崎太郎, 渡辺孝太郎, 佐野元昭, 鈴木治男, 丸山佳子:

各種腎疾患における血小板の役割について

厚生省特定疾患「腎糸球体障害調査研究班」

昭和56年度研究業績 p. 180-187, 1982

No. 2 月 東條静夫, 佐野元昭, 寺崎太郎:

IgA 腎症進行例の病理組織学的研究.

厚生省特定疾患「腎糸球体障害調査研究班」

昭和56年度研究業績 p. 314-324, 1982

No. 3 月 東條静夫, 小山哲夫, 成田光陽:

全身性エリテマトーデスにおける免疫複合体の性状とその腎組織障害性について.

厚生省特定疾患「腎糸球体障害調査研究班」

昭和56年度研究業績 p. 450-457, 1982

その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 2月 青柳一正:

聖マリアンナ医科大学講演会: 尿素サイクルをめぐる最近の話題.

1982年（内分泌代謝グループ）

原 著

- No. 1 2月 **Koide Y., Kugai N., Kimura S., Fujita T., Kameya T., Tomomo Y., Yamashita K. :**
 A case of pituitary adenoma with possible simultaneous secretion of thyrotropin and follicle-stimulating hormone.
J. Clin. Endocrinol Metab. 54 : 397-403, 1982
- No. 2 2月 **Kawai K., Orci L., Unger R H :**
 High somatostatin uptake by the isolated perfused dog pancreas consistent with an "Insulo-Acinar" axis.
Endocrinology 110 : 660-662, 1982
- No. 3 2月 **Katori A., and Yamashita K. :**
 Stimulatory effect of pertussis toxin on tissue cyclic AMP levels in canine thyroid slices.
Endocrinol. Japon. 29 : 261-263
- No. 4 3月 **Kimura S., Kugai N., Tada R., Kojima I., Abe K., Ogata E. :**
 Sources of calcium mobilized by α -adrenergic stimulation in perfused rat liver.
Horm. Metabol. Res. 14 : 133-138
- No. 5 3月 **藤田敏郎 :**
 Bartter 症候群におけるアンギオテンシンおよびカテコラミン不応性に対するプロスタグランディンと体液量の影響（第1回琵琶湖カンファレンス）.
 総合臨床 第31巻 : 549
- No. 6 4月 **Fujita T. :**
 The effect of high-sodium intake and furosemide on blood pressure and other related variables in salt-sensitive hypertension.
Jap. J. Med. 21 : 157-158
- No. 7 4月 **安東克之, 藤田敏郎, 佐藤雄二, 山下亀次郎, 野田汎史 :**
 若年性本態性高血圧症におけるレニン・アンジオテンシン系の役割.
 日本腎臓学会雑誌 24巻 : 399-404
- No. 8 5月 **Koide Y., Oda K., Shimizu K., Shimizu A., Nabeshima I., Kimura S., Maruyama M., Yamashita K. :**
 Hyponatremia without inappropriate secretion of vasopressin in a case of myxedema coma.
Endocrinol. Japon. 29 : 363-368
- No. 9 5月 **Kimura S., Yamamoto M., Itakura M., Koide Y., Kugai N., Abe K., Ogata E. :**
 Paradoxical response to parathyroid hormone of renal handling of phosphate in hyperparathyroid rats.
Endocrinology 111 : 1666-1670

- No. 10 5月 **Koide Y., Kimura S., Tada R., Kugai N., Yamashita K. :**
Inhibition by trifluoperazine of glycogenolytic effects of phenylephrine,
vasopressin and angiotensin II in perfused rat liver.
Endocrinol. Japon. 29 : 369-377
- No. 12 6月 **Itakura M., Yamashita K. :**
The chronologically synchronous elevation of phosphoribosylpyrophosphate
and cyclic AMP in regenerating rat liver.
J. Clin. Chemistry and Clinical Biochemistry 20 (6)
- No. 13 6月 **Kawai K., Unger RH. :**
Inhibition of glucagon secretion by exogenous glucagon in the isolated
perfused dog pancreas.
Diabetes 31 : 512-515
- No. 14 7月 **Fujita T., Ando K., Sato Y., Yamashita K., Nomura M., Fukui T. :**
Independent roles of prostaglandins and the renin-angiotensin system in
abnormal vascular reactivity in Bartter's syndrome.
Am. J. Med. 73 : 71-76
- No. 15 7月 **Kimura S., Beppu T., Kugai N., Koide Y., Fujita T., Iida K., Yamashita N.,
Yamashita K., Seyama Y. :**
A case of cerebrotendineous xanthomatosis : Effect of ursodeoxycholic
acid administration on serum bile acids and cholestanol.
Jap. J. Med. 21 : 210-215
- No. 16 7月 **Fujita T., Sato Y., Ando K., Noda H., Ueno N., Murakami K. :**
Dynamic responses of plasma active and inactive renin and norepine-
phrine during exercise in normal man.
Jap. Heart J. 23 : 545-551
- No. 17 8月 **Yamashita K., Koide Y., Aiyoshi Y. :**
Effects of substance P on thyroidal cyclic AMP levels and thyroid hor-
mone release from canine thyroid slices.
Current Problems in Thyroid Research, Ed. by Ui N. et al. p.49-59.
Excerpta Medica Elsevier Science Publishing Co.
- No. 18 8月 **Kawai K., Ogata E., Takano K., Hizuka N., Yamashita K., Shizume K. :**
Effects of testosterone and estradiol on serum somatomedin A and gro-
wth rate of rats.
Endocrinol. Japon. 29 : 435-442
- No. 19 8月 **Kawai K., Yamashita K., Ogata E. :**
Effects of bovine parathyroid extract and [Asu¹⁻⁷]-eel calcitonin on ³⁵S
incorporation into chick embryonic cartilage.
Endocrinol. Japon. 29 : 479-482
- No. 20 9月 **Fujita T., Ando K., Sato Y., Yamashita K. :**
Effect of indomethacin on responses to (Sar¹-Ileu⁸)-angiotensin II.
Clin. Pharmacol. Therap. 32 : 366-370

- No. 21 9月 Fujita T., Ando K., Noda H., Sato Y., Yamashita N., Yamashita K. :
Hemodynamic and endocrine changes associated with captopril in diuretic-resistant hypertensive patients.
Am. J. Med. 73 : 341-437
- No. 22 10月 Kawai K., Ipp E., Orci L., Parrelet A., Unger RH. :
Circulating somatostatin acts on the islets of Langerhans by way of a somatostatin-poor compartment.
Science 218 : 477-478
- No. 23 10月 Sekine K., Kojima I., Fujita T., Uchino K., Itozaki S., Ogata E. :
Factitious Bartter's syndrome induced by surreptitious intake of furosemide.
Endocrinol. Japon. 29 : 653-657
- No. 24 10月 須磨崎亮, 宇賀直樹, 藤田昌宏, 藪田敬次郎, 藤田敏郎 :
新生児高レニン血性高血圧症の1例 アンギオテンシン変換酵素阻害剤の使用と内分泌学的検索.
日本小児学会雑誌第86巻 : 60-66
- No. 25 10月 福田潔, 佐久間真理子, 小出義信, 藤田敏郎, 板倉光夫, 久貝信夫, 平松慶博, 山下亀次郎 :
腎血管性高血圧症の1例—P.T.A.およびカプトプリルが著効を示した症例—.
ホルモンと臨床 30巻 : 57-60
- No. 26 10月 小原孝男, 藤本吉秀, 伊藤悠基夫, 相吉悠治, 金沢暁太郎, 久貝信夫, 小出義信 :
Familial hypocalciuric hypercalcemia の1家系.
ホルモンと臨床 30巻増刊 : 248-250
- 1981年 5月 Cumming R., Koide Y., Krigman MR., Beavo JA., Steiner AL. :
The immunofluorescent localization of regulatory and catalytic subunits of cyclic AMP-dependent protein kinase in neuronal and glial cell types of the central nervous system.
Neuroscience 6 : 953-961

総 説

- No. 1 1月 山下亀次郎, 川井紘一 :
細胞間コミュニケーションとその異常.
病態生理 1 : 110-115
- No. 2 1月 久貝信夫 :
Gonadal dysgenesis, Tubular dysgenesis.
Medicina 19 : 46-47
- No. 3 1月 小出義信 :
粘液水腫昏睡.
Medicina 19 : 50-51
- No. 4 1月 小出義信 :
ホルモン作用とカルモデュリン.
Medicina 19 : 66-67

No. 5 1月 藤田敏郎：
Bartter 症候群.
Medicina 19 : 30-31

No. 6 1月 藤田敏郎：
食塩と高血圧.
医学のあゆみ 120 : M94-M101

No. 7 3月 山下亀次郎：
高浸透圧非ケトン血性昏睡.
日本臨床 40 : 444-445 臨時増刊号

No. 8 5月 山下亀次郎, 川井紘一：
グルカゴン.
日本臨床 40 : 1043-1051

No. 9 8月 Fujita T., Delea CS., Bartter FC. :
The role of the renin-angiotensin and prostaglandin systems in salt-sensitive and non-salt-sensitive hypertension in man.
The Role of Salt in Cardiovascular Hypertention
(Academic Press) : p 207-219

著 書

No. 1 3月 山下亀次郎：
糖尿病性昏睡，
今日の治療指針（阿部正和他編）pp. 481-482 医学書院，東京

学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

No. 1 1月 川井紘一，板倉光夫，藤田敏郎，小出義信，久貝信夫，山下亀次郎：
糖尿病における運動療法の意義に関する検討。
第19回日本糖尿病学会関東甲信越地方会（東京），1月

No. 2 1月 板倉光夫，藤田敏郎，小出義信，久貝信夫，山下亀次郎：
成人にみられた非定型的糖原病Ⅰ型の1症例：糖代謝調節機構に関する検討。
第19回日本臨床代謝学会総会（京都）

No. 3 2月 Fujita T., Noda H., Ando K. :
Increased erythrocyte Li-Na countertransport (Li-Na) in young subjects with borderline hypertension (BH) : Its relationship to family history of essential hypertension (EH).
第9回国際高血圧学会 (Mexico)

No. 4 2月 Fujita T, Sato Y :
Natriuresis as the protective effect of potassium chloride against DOCA-Salt hypertension.
第9回国際高血圧学会 (Mexico)

No. 5 4月 久貝信夫，小出義信，板倉光夫，藤田敏郎，川井紘一，山下亀次郎：
活性ビタミンDによる副甲状腺ホルモン分泌抑制効果：基礎的検討及び臨床的意義。
第79回日本内科学会講演会（東京）

- No. 6 5月 相吉悠治, 金澤暁太郎, 山下亀次郎:
甲状腺 cyclic AMP 系における α , β アドレナジック受容体機構の変換に関する研究.
第55回日本内分泌学会総会 (東京)
- No. 7 5月 川井紘一, Unger RH.:
ホルモン分泌相互作用からみた膵ラ氏島細胞間隙の compartments.
第55回日本内分泌学会総会 (東京)
- No. 8 5月 久貝信夫, 小出義信, 山下亀次郎:
副甲状腺ホルモン分泌に対する各種ビタミンDの影響 (I).
第55回日本内分泌学会総会 (東京)
- No. 9 5月 小出義信, 織田貫爾, 清水倉一, 鍋島家昌, 木村哲, 山下亀次郎:
低Na血症を伴った粘液水腫昏睡の1例.
第55回日本内分泌学会総会 (東京)
- No. 10 5月 出村信隆, 小出義信, 山下亀次郎:
肝グリコーゲン分解調節に対する細胞外液Ca濃度の影響.
第55回日本内分泌学会総会 (東京)
- No. 11 5月 藤田敏郎, 安東克之, 佐藤雄二, 山下亀次郎, 福井俊夫:
Bartter 症候群における Angiotensin (A II) 不応性の成因に関する検討.
第55回日本内分泌学会総会 (東京)
- No. 12 5月 板倉光夫, 山下亀次郎:
産生増加型痛風の病因に関する研究: ラット再生肝におけるプリン体生成速度亢進の機序.
第26回日本リウマチ学会総会 (岡山)
- No. 13 6月 Kawai K., Hisatomi A., Unger RH.:
A-cell insensitivity to somatostatin and paradoxical stimulation of glucagon secretion by somatostatin in alloxan diabetic pancreas.
42nd Annual Meeting of American Diabetes Association (San Francisco, USA)
- No. 14 6月 Itakura M., Yamashita K.:
Chronologically synchronous elevation of cyclic AMP and 5-phosphoribosyl-1-pyrophosphate in regenerating rat liver.
4th International Symposium on Human Purine and pyrimidine metabolism. (Maastricht, The Netherlands)
- No. 15 6月 川井紘一, 久富昭孝, Unger RH.:
Bicyclic somatostatin analogue の糖及び脂質代謝におよぼす影響.
第25回日本糖尿病学会総会 (札幌)
- No. 16 6月 小出義信, 出村信隆, 久貝信夫, 山下亀次郎:
肝グリコーゲン分解調節と細胞外液Ca濃度.
第25回日本糖尿病学会総会 (札幌)
- No. 17 8月 Kawai K., Hisatomi A., Unger RH.:
The functional compartments of the islet interstitium and their abnormality in diabetes.
7th Asia & Oceania Congress of Endocrinology (Tokyo, Japan)

- No. 18 8月 Sato Y., Fujita T., Yamashita K. :
Role of renal sympathetic tone in potassium-induced natriuretic and antihypertensive actions in DOCA-Salt rats.
7th Asia & Oceania Congress of Endocrinology (Tokyo, Japan)
- No. 19 8月 Fujita T., Sato Y., Yamashita K. :
Importance of natriuresis in the antihypertensive effect of potassium in animals and man.
7th Asia & Oceania Congress of Endocrinology (Tokyo, Japan)
- No. 20 8月 川井紘一 :
脾内外分泌機能とソマトスタチン.
蔵王シンポジウム (蔵王)
- No. 21 8月 木村哲, 小出義信, 尾形悦郎 :
Hormones and intracellular messengers.
第21回河口湖カンファレンス (河口湖)
- No. 22 10月 川井紘一, 小出義信, 伴野悠士, 大塚定徳, 板倉光夫, 藤田敏郎, 久貝信夫, 山下亀次郎 :
脳幹部腫瘍により Cushing 症候群を呈したと考えられる 1 例.
第55回日本内分泌学会秋季大会 (京都)
- No. 23 10月 小原孝男, 伊藤悠基夫, 藤本吉秀, 相吉悠治, 久貝信夫 :
妊娠中毒症を契機に発見された副甲状腺癌の 1 例.
第55回日本内分泌学会秋季大会 (京都)
- No. 24 10月 安東克之, 藤田敏郎 :
Kの降圧利尿機序における交感神経系の役割—本態性高血圧患者の食塩負荷における検討—.
第5回日本高血圧学会総会 (宮城)
- No. 25 10月 佐藤雄二, 藤田敏郎 :
カリウムの降圧利尿機序における交感神経系の役割—DOCA—食塩高血圧ラットにおける検討—.
第5回日本高血圧学会総会 (宮城)
- No. 26 10月 板倉光夫, 前田典昭, 山下亀次郎 :
再生肝におけるグルカゴンとプリン代謝.
第55回日本生化学会大会 (大阪)
- No. 27 10月 前田典昭, 板倉光夫, 山下亀次郎 :
再生肝におけるグルカゴンと cyclic AMP.
第55回日本生化学会大会 (大阪)
- No. 28 11月 藤田敏郎, 佐藤雄二 :
DOCA—食塩高血圧ラットにおけるカリウムの降圧作用機序.
第12回高血圧成因カンファレンス (東京)
- No. 29 11月 野田汎史, 藤田敏郎 :
若年性本態性高血圧症に対する食塩およびカリウム負荷時の血圧反応性について.
第23回日本脈管学会総会 (岐阜)

No. 30 11月 藤田敏郎：

Salt-Sensitive 本態性高血圧症における腎体液機構の異常について。

第25回日本腎臓学会総会（東京）

No. 31 11月 佐藤雄二，藤田敏郎，山下亀次郎：

DOCA-食塩高血圧ラットにおけるK投与時の尿中 Kallikrein 排泄の動態。

第25回日本腎臓学会総会（東京）

No. 32 11月 野田汎史，藤田敏郎：

Ca拮抗剤塩酸ニカルジピンの本態性高血圧症に対する降圧効果。血行動態面について。

第25回日本腎臓学会総会（東京）

班研究報告

No. 1 3月 山下亀次郎，藤田敏郎，久見信夫，小出義信，板倉光夫，川井絃一：

糖尿病患者のための運動処方。

筑波大学運動処方特別プロジェクト研究報告書，
運動処方研究，1982，p. 229-238

1982年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No. 1 2月 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎 :
抗MJ抗体—臨床的意義と対応抗原の物理化学的検討—.
臨床免疫 14 : 133-140, 1982
- No. 2 4月 Sakurai T., Fujita T., Kono I., Kabashima T., Yamane K., Tamura N., Kashiwagi H. :
Complement-mediated solubilization of immune complexes in systemic lupus erythematosus.
Clin Exp Immunol 48 : 37-42, 1982
- No. 3 4月 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎, 大島宣雄 :
温度低下に伴う血漿粘性の変化とレイノー現象.
リウマチ 22 : 125-128, 1982
- No. 4 4月 野田汎史, 緒方蓉子, 浅井克晏 :
大学における循環器集団検診について—筑波方式—.
保健の科学 24 : 278-284, 1982
- No. 5 8月 竹島徹, 桜井徹志, 畠山六郎, 秋貞雅祥 :
PSSの食道病変—食道内圧と食道シンチグラムによる検討.
日平滑筋誌 18 : 146-148, 1982
- No. 6 8月 渡辺毅, 山添悦子, 加納克己, 浅井克晏 :
—総合大学における学生の喫煙行動に関する調査研究.
公衆衛生 46 : 572-575, 1982
- No. 7 10月 塩川優一, 本間光夫, 景山孝正, 青木虎吉, 高橋昭三, 腰野富久, 鈴木輝彦, 柏木平八郎, 権田信之, 星野孝, 飯塚晴夫, 内田詔爾, 津布久雅男, 吉村隆, 小島碩夫, 井上幸雄, 勝正孝, 浅葉義一, 松葉健, 工藤尚, 吉松俊一, 菅原幸子, 和田伊津子 :
慢性関節リウマチに対する Amfenac sodium (AHR-5850) の長期投与試験成績.
基礎と臨床 16 : 6538-6548, 1982
- No. 8 12月 Nakao Y., Mukai R., Kabashima T., Ohshima Y., Hamaguchi H., Kashiwagi H., Okada N. :
A novel antibody which precipitates 7.5 S RNA is isolated from a patient with autoimmune disease.
Biochem Biophys Res Comm 109 : 1332-1338, 1982

総 説

- No. 1 3月 柏木平八郎 :
Leukocytoclastic Vasculitis.
診断と治療 70 : 721-723, 1982
- No. 2 4月 浅井克晏 :
高熱.
総合臨床 31 : 1140-1143, 1982

- No. 3 5月 柏木平八郎：
顆粒球輸血。
最新医学 37：914-917, 1982
- No. 4 7月 柏木平八郎, 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志：
Overlap 症候群と MCTD。
現代医療 14：1311-1315, 1982
- No. 5 9月 柏木平八郎：
強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎。
医薬ジャーナル 18：1589-1592, 1982
- No. 6 11月 河野一郎, 桜井徹志, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎：
フィブロンネクチンと補体。
免疫と疾患 4：605-608, 1982
- No. 7 12月 柏木平八郎：
全身性エリテマト-デスの中樞神経障害—その臨床像, 診断および治療—。
診断と治療 70：2416-2420, 1982
- No. 8 12月 柏木平八郎：
自己免疫性疾患の臨床。
茨城県医師会報 No. 349：1-11, 1982

著 書

- No. 1 2月 浅井克晏：
物理的原因による疾患—気圧の変化。
内科学書全改訂新版第3巻（中尾喜久, 他監著）,
中山書店, 東京, 1982, pp. 1039-1042
- No. 2 7月 柏木平八郎：
基本的臨床免疫学。
アレルギー性疾患・膠原病と看護, 成人看護学各論3（柏木平八郎,
高橋美智編）。金原出版, 東京, 1982, pp. 371-376
- No. 3 7月 柏木平八郎：
主要症状とその病態生理。
同上, pp. 377-383
- No. 4 7月 柏木平八郎：
患者のみかた。
同上, pp. 385-386
- No. 5 7月 柏木平八郎：
主な検査。
同上, pp. 387-391
- No. 6 7月 柏木平八郎：
主な治療。
同上, pp. 393-395
- No. 7 7月 柏木平八郎：
主な疾患の理解。
同上, pp. 397-406

No. 8 8月 柏木平八郎:

肺アレルギー; 皮膚アレルギー; 食品アレルギー; 薬物アレルギー; 自己免疫疾患; 免疫反応; 自己免疫疾患の臨床, 国試ガイドラインによる内科のまとめ.

アレルギー性疾患, 膠原病・自己免疫疾患, 感染症
(藤森一平, 安倍達, 柏木平八郎編), 南山堂, 東京,
1982, pp. 8-15; pp. 19-37; pp. 50-69

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

No. 1 3月 内藤寛, 山根一秀, 河野一郎, 梶島悌蔵, 桜井徹志, 柏木平八郎:

Pulse 療法が著効を奏した強直性脊椎炎の1例.

第318回内科学会関東地方会 (東京), 3月, 1982

No. 2 2月 柏木平八郎, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志:

全身性エリテマトーデスにおける免疫複合体の可溶化現象の臨床的意義.

第79回日本内科学会講演会 (東京), 4月, 1982

No. 3 5月 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:

Fibronectin と Clq との結合性.

第26回日本リウマチ学会総会 (岡山), 5月, 1982

No. 4 5月 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:

単球の免疫複合体処理能.

第26回日本リウマチ学会総会 (岡山), 5月, 1982

No. 5 6月 久賀圭祐, 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:

Sulfamethoxazole-Trimethoprim 合剤が奏効した SLE の空洞性肺病変.

第320回内科学会関東地方会 (東京), 6月, 1982

No. 6 6月 桜井徹志, 長沢俊郎, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎:

Amegakaryocytic thrombocytopenia を呈し, プレドニゾン大量療法で回復した SLE の1例.

第10回日本臨床免疫学会総会 (大阪), 6月, 1982

No. 7 6月 梶島悌蔵, 大越教夫, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:

精神症状および同名半盲を呈した SLE の1例.

第10回日本臨床免疫学会総会 (大阪), 6月, 1982

No. 8 9月 富沢巧治, 山口高史, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:

Celiacomesenteric trunk および inferior mesenteric artery の血栓症を合併し, 血行再建により救命し得た SLE の1例.

第322回内科学会関東地方会 (東京), 9月, 1982

No. 9 11月 野田汎史, 浅井克晏:

若年性境界域高血圧症に対する食塩負荷試験について.

第20回全国大学保健管理研究集会 (東京), 11月, 1982

No. 10 11月 浅井克晏:

大学保健管理センターとマイコン.

第20回全国大学保健管理研究集会 (東京), 11月, 1982

No. 11 11月 河野一郎:

スポーツ教育と医科学 (シンポジウム).

第2回日本スポーツ教育学会大会 (筑波), 11月, 1982

班研究報告

No. 1 3月 柏木平八郎, 桜井徹志:

全身性エリテマトーデスの新しい活動性指標: 血清の免疫複合体溶解能と臨床的活動性の相関.

厚生省特定疾患膠原病治療研究班.

昭和56年度研究業績, 1982, pp. 23-25

No. 2 3月 本間光夫, 恒松徳五郎, 水島裕, 古屋暁一, 柏崎禎夫, 柏木平八郎, 市川陽一, 中山昇二, 藤森一平, 佐久田健四郎, 宮脇昌二, 西海正彦, 藤井俊宥, 伊藤拓, 大島久二:
ループス腎炎に対するパルス療法の対照試験.

厚生省特定疾患膠原病治療調査研究班,

昭和56年度研究業績, 1982, pp. 277-283

No. 3 3月 本間光夫, 恒松徳五郎, 水島裕, 古屋暁一, 柏崎禎夫, 宮田亮, 柏木平八郎, 阿部重人, 谷本潔昭, 市川陽一, 長沢俊彦, 中山昇二, 吉沢久嘉, 鳥飼勝隆, 佐久田健四郎, 宮脇昌二, 山口雅也, 杉之下俊彦, 渡辺睦道, 砂原勝己, 鈴木康夫:

SLEにみられる無菌性骨壊死の成因 (SLE-ステロイド剤副作用調査報告書),

厚生省特定疾患, 膠原病治療調査研究班,

昭和56年度業績, 1982, pp. 292-300

No. 4 3月 本間光夫, 恒松徳五郎, 水島裕, 古屋暁一, 柏崎禎夫, 宮田亮, 柏木平八郎, 阿部重人, 谷本潔昭, 市川陽一, 長沢俊彦, 中山昇二, 藤森一平, 西山茂夫, 吉沢久嘉, 鳥飼勝隆, 佐久田健四郎, 橋本武則, 宮脇昌二, 山口雅也, 安達正則, 西海正彦, 杉之下俊彦, 永山洋一, 川合眞一:

SLEの臨床経過と治療.

厚生省特定疾患, 膠原病治療調査研究班,

昭和56年度業績, 1982, pp. 301-313

1982年（血液グループ）

原 著

- No. 1 2月 **Toshiro Nagasawa, Masaki Nakazawa and Tsukasa Abe :**
A liquid culture system for murine megakaryocyte progenitor cells.
Blood 59 : 250-257, 1982
- No. 2 3月 長澤俊郎, 中沢正樹, 阿部帥 :
ホジキン病脾細胞培養上清を用いたヒト骨髓巨核球前駆細胞の培養.
医学のあゆみ 120 : 1047-1048, 1982
- No. 3 4月 **Toshiro Nagasawa, Tsukasa Abe and Takashi Hanada :**
Inhibitory effects of T cells on *In Vitro* granulopoiesis, erythropoiesis,
and immunoglobulin production in patients with aplastic anaemia.
Scand J Haematol 28 : 389-398, 1982
- No. 4 5月 青木泰子, 関口達彦, 佐々木秀直, 依田安弘 :
脳実質および髄膜に転移をきたした非ホジキンリンパ腫の1例.
診断と治療 70 : 1062-1065, 1982
- No. 5 6月 **Takeshi Kageoka and Richard E. Tashian :**
Reactivation and immunological studies on a Japanese variant of red cell
carbonic anhydrase I, CA I Hiroshima-1.
Int J Biochem 14 : 553-556, 1982
- No. 6 7月 **Takashi Hanada, Tsukasa Abe, Katashi Fukao, Mitsuto Jagamoto, Hitoshi
Takita :**
Severe aplastic anaemia treated with anti-lymphocyte globulin. —The
relationship between clinical course and erythroid colony suppression.
Scand J Haematol 29 : 128-134, 1982
- No. 7 7月 **Yasuhiro Yoda, Tsukasa Abe :**
Tissue iron distribution and isoferritin profile in a patient with hereditary
sideroblastic anemia.
Acta Haematol Jpn 45 : 24-31, 1982
- No. 8 7月 **Takashi Hanada, Toshiro Nagasawa, Tsukasa Abe :**
Dual effect of monocyte-conditioned medium on in vitro hematopoiesis.
Exp Hematol 10 : 561-567, 1982
- No. 9 8月 Shigehiko Imagawa, Nobuo Makino, **Tsukasa Abe** and Yoshiki Sugita :
Kinetic studies on the ligand binding of glycosylated hemoglobin.
Biochem Biophys Res Commun 107 : 1355-1360, 1982
- No. 10 11月 小林正貴, 山口高史, 中村日出子, 依田安弘 :
心内奇形を伴わず右胸心および内臓逆位を合併した多脾症の1例.
診断と治療 70 : 2303-2306, 1982

- No. 11 11月 大塚定徳, 松崎靖司, 井廻道夫, 川北勲, 山形迪, 三田村圭二, 大菅俊明, 崎田隆夫, 中村治雄, 阿部帥:
巨赤芽球性貧血, 高ガストリン血症, 胆汁酸, ビタミンD代謝異常を認めた短腸管症候群の1例.

代謝 19: 97-104, 1982

- No. 12 12月 中村治雄, 依田安弘, 深尾立, 石川詔雄:

メシル酸ガベキサート (FOY) による DIC の治療経験.

現代医療 14: 2007-1012, 1982

- No. 13 12月 Yasuhiro Yoda, Tsukasa Abe, Keiji Mitamura Kenji Saito, Kenichi Kawada, Yasusuke Onozawa, Yamao Adachi, Takeo Nomura:

Deficient natural killer (NK) cell activity in paroxysmal nocturnal haemoglobinuria (PNH).

Brit J Haematol 52: 559-562, 1982

総説

- No. 1 6月 長澤俊郎:

血小板結合 IgG.

Medical Technology 10: 489-491, 1982

- No. 2 9月 長澤俊郎:

白血病性リンパ球の機能.

臨床免疫 14: 786-792, 1982

著書

- No. 1 2月 阿部帥:

悪性貧血の精神症状.

内科Q&A, 血液疾患 (高久史磨, 宮崎保編), pp. 45-46, 金原出版, 東京, 1981

- No. 2 2月 阿部帥:

胃全摘後における貧血症.

内科Q&A, 血液疾患 (高久史磨, 宮崎保編), pp. 47-48, 金原出版, 東京, 1981

- No. 3 6月 長澤俊郎, 中沢正樹, 阿部帥:

ヒト骨髓巨核球前駆細胞 (ヒトCFU-M) の培養法と成熟過程の観察.

造血幹細胞とその異常 (柴田昭, 高久史磨編), pp. 22-26, 医歯薬出版, 東京, 1982

- No. 4 6月 阿部帥, 花田尚, 長澤俊郎:

末梢血リンパ球, 単球の CFU-E および BFU-E に及ぼす影響—とくに単球について.

造血幹細胞とその異常 (柴田昭, 高久史磨編), pp. 62-67, 医歯出版, 東京, 1982

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

- No. 1 2月 T. Abe, T. Hanada, T. Nagasawa, M. Kojima:

Dual effect of monocyte-conditioned medium on in vitro hematopoiesis.

9th international RES congress. (Davos, Switzerland) February 1982

- No. 2 4月 今川重彦, 阿部帥, 山下亀次郎, 木村定雄:
 糖尿病患者におよぼす Glycosylated Hemoglobin の重分画について.
 第44回日本血液学会総会 (東京), 4月, 1982
- No. 3 4月 長澤俊郎, 阿部帥:
 Ploidy 分布からみたマウス巨核球コロニーの観察.
 第44回日本血液学会総会 (東京), 4月, 1982
- No. 4 4月 花田尚, 阿部帥:
 Tリンパ球の CFU-E 増強作用に対する末梢単球培養上清の影響.
 第44回日本血液学会総会 (東京), 4月, 1982
- No. 5 4月 阿部帥, 依田安弘, 川田健一, 小野沢康輔, 足立山夫, 古沢新平, 野村武夫:
 再生不良性貧血における NK 活性.
 第44回日本血液学会総会 (東京), 4月, 1982
- No. 6 4月 依田安弘, 阿部帥, 広沢信作, 川田健一, 小野沢康輔, 足立山夫, 田代昭男, 宍戸英雄, 野村武夫:
 急性白血病寛解例における NK 活性.
 第44回日本血液学会総会 (東京), 4月, 1982
- No. 7 5月 中村治雄, 中沢正樹, 長澤俊郎, 依田安弘, 阿部帥:
 後天性 von Willebrand 病を合併した IgG(λ) 型多発性骨髄腫の1例.
 日本臨床血液学会第76回例会 (千葉), 5月, 1982
- No. 8 5月 花田尚, 阿部帥:
 末梢血単球による造幹細胞の調節.
 第22回日本網内系学会総会 (東京), 5月, 1982
- No. 9 6月 長澤俊郎, 中沢正樹, 花田尚, 中村治雄, 依田安弘, 阿部帥:
 骨髄巨核球の成熟障害が認められた Hypomegakaryocytic Thrombocytopenia の1例.
 第77回日本臨床血液学会例会 (福島), 6月, 1982
- No. 10 8月 T. Nagasawa, M. Nakazawa, and T. Abe:
 Maturation and proliferation of murine megakaryocytic colonies in liquid culture system.
 ISEH 11th annual meeting for experimental hematology.
 (Baltimore, U.S.A.) August 1982
- No. 11 8月 H. Ijima, M. Hori, T. Abe, T. Nagasawa and M. Akisada:
 Angiographically abnormal findings of finger and/or toe in essential thrombocythemia.
 The joint meeting of the 19th congress of the international society of hematology and the 17th congress of international society of blood transfusion. (Budapest, Hungary) August 1982
- No. 12 8月 Yasuhiro Yoda, Tsukasa Abe:
 Deficient natural killer cell activity in paroxysmal nocturnal haemoglobinuria.
 The Joint meeting of the 19th congress of the international society of hematology and the 17th congress of international society of blood transfusion (Budapest, Hungary) August 1982

- No. 13 8月 Toshiro Nagasawa, Masaki Nakazawa and Tsukasa Abe :
In vitro culture of human megakaryocytic colonies using spleen cell conditioned medium from Hodgkin's disease.
 The joint meeting of the 19th congress of the international society of haematology and the 17th congress of international society of blood transfusion (Budapest, Hungary) August, 1982
- No. 14 9月 今川重彦, 中沢正樹, 中村治雄, 長澤俊郎, 依田安弘, 阿部帥 :
 Adult Fanconi 症候群を伴った IgG-BJP(K) 型多発性骨髄腫の1例.
 日本臨床血液学会第78回例会 (東京), 9月, 1982
- No. 15 10月 阿部帥, 花田尚, 深尾立 :
 再生不良性貧血におけるTリンパ球の病因的意義と免抑制療法の効果.
 第24回日本臨床血液学会総会 (出雲), 10月, 1982
- No. 16 10月 長澤俊郎, 阿部帥, 桜井徹志 :
 巨核球減少性血小板減少症の血清中のヒト骨髄巨核球刺激因子について.
 第24回日本臨床血液学会総会 (出雲), 10月, 1982
- No. 17 10月 依田安弘, 阿部帥, 田代昭男, 広沢信作, 小野沢康輔, 足立山夫, 宍戸英雄, 野村武夫 :
 Hemopoietic Dysplasia におけるNK活性.
 第24回日本臨床血液学会総会 (出雲), 10月, 1982
- No. 18 10月 花田尚, 阿部帥, 滝田齊 :
 アンチトロンビンⅢ (ATⅢ) 濃縮製剤による小児 DIC の治療.
 第24回日本臨床血液学会総会 (出雲), 10月, 1982
- No. 19 11月 青木泰子, 王質彬, 中沢正樹, 中村治雄, 影岡武士, 長澤俊郎, 依田安弘, 阿部帥, 森尚義 :
 経過中全身性クリプトネッカス症を合併した Lennert Lymphoma の1例—とくにクリプトネッカス抗原価測定の意義について.
 日本臨床血液学会第79回例会 (東京), 11月, 1982
- No. 20 11月 影岡武士, 郷力和明, 藤田幹雄, 佐藤千代子, 山村香保留, 金子順子, 石井健一郎, 増成直美, 北川妙, 荒川裕子 :
 広島と長崎における電気泳動的グルコース-6-リン酸脱水素酵素 (G6PD) 変異体の出現頻度及びそれらの酵素学的特性.
 第27回日本人類遺伝学会 (東京), 11月, 1982
- No. 21 11月 金子順子, 増成直美, 木村康一, 藤田幹雄, 郷力和明, 影岡武士, 高橋規郎, 佐藤千代子, 迫竜二, 鎌石昇太郎, 河本定久 :
 でんぷんゲル電気泳動法で, 日本人 (広島・長崎) に検出された赤血球酵素のまれな変異型について. 1. Phosphoglucomutase₁ (PGM₁)
 第27回日本人類遺伝学会 (東京), 11月, 1982

班研究報告

- No. 1 3月 阿部帥, 花田尚, 深尾立 :
 再生不良性貧血に対する免疫抑制療法の効果.
 厚生省特定疾患, 特発性造血障害調査研究班,
 昭和56年度研究業績報告書, 1982, pp. 382-388

No. 2 3月 中村治雄, 阿部帥 :

菌血症に併発した DIC におけるエンドトキシンの意義.

厚生省特定疾患, 汎発性血管内血液凝固症調査研究班,
昭和56年度研究業績報告書, 1982, pp. 63-65

その他 (放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 3月 三輪史朗, 影岡武士 :

米国医学校における人類遺伝学の教育.

"Human genetics teaching in U.S. medical schools" by Barton
Childs, Carl A. Huether and Edmond A. Murphy, which
appeared in Am. J. Hum. Genet. 33 : 1-10, 1981. の抄訳
Jpn J Human Genet 27 : 47-52, 1982

1982年（神経内科グループ）

原 著

- No. 1 1月 佐々木秀直, 尾崎行雄, 大越教夫, 金澤一郎, 中西孝雄:
Ramsay Hunt 症候群類似の症状を呈し ACTH 単独欠損症を伴った1例.
臨床神経 22 (1): 66-73, 1982
- No. 2 1月 村本治, 南光進一郎, 小阪憲司, 長尾佳子, 安藤一也, 高須俊明:
家族性 Alzheimer 病と考えられる姉妹例—症例報告と白血球異数染色体の検討—.
脳と神経 34 (1): 71-76, 1982
- No. 3 3月 Nakanishi T.:
Action potentials recorded by fluid electrodes.
Electroenceph. Clin. Neurophysiol. 53: 343-345, 1982
- No. 4 4月 Izumi K., Munekata E., Barbeau A., Nakanishi T., Yoshida M., Yamamoto H., Fukuda T.:
Effects of taurine on tolerance to (D-Ala², Met⁵) enkephalinamide in rats.
European J. Pharmacology. 82: 55-63, 1982
- No. 5 7月 Muramoto O., Kanazawa I.:
Neurotransmitter changes in the cerebellum of olivo-ponto-cerebellar atrophy.
Neurochemical Research 7: 815-852, 1982
- No. 6 7月 塩沢全司, 尾崎行雄, 佐々木秀直, 松野博志, 小沼武雄:
正側同時撮影による直接2倍拡大連続脳血管撮影.
医学のあゆみ 122: 238-240, 1982
- No. 7 8月 葛原茂樹, 金澤一郎, 中西孝雄, 江頭泰平:
酸化エチレン中毒によるポリニューロパチー—2症例の報告と神経, 筋生検所見—.
臨床神経 22 (8): 707-713, 1982
- No. 8 8月 尾崎行雄, 葛原茂樹, 中西孝雄:
多数の rimmed vacuoles と核内 filament 様封入体を認めた distal myopathy の1孤発例.
神経内科 17: 171-178, 1982
- No. 9 8月 Chou S.M., Kuzuhara S., Nonaka I.:
Involvement of the Onuf nucleus in Werdnig-Hoffmann disease.
Neurology 32: 990-884, 1982
- No. 10 8月 Ohno S., Kanazawa I.:
Mapping of the neural activity in the cerebellum of the mouse during stepping by means of 2-deoxyglucose autoradiography.
Neuroscience Letters 32: 119-123, 1982

- No. 11 8月 Izumi K., Fukuda T., Koja T., Shimizu T., **Yoshida M.**, Barbeau A. :
Taurine and tolerance to opioid peptides. Sulfur Amino Acids : Biochemical and Clinical Aspects.
Alan R. Liss, Inc., New York, pp. 183-193, 1982
- No. 12 9月 **Kanazawa I.** :
Regional distribution of markers for neurotransmitters in the basal ganglia of 'choreic' disorders.
Proceedings of the 12th World Congress of Neurology. International Congress series No. 568, Neurology pp. 220-232, 1982, Excerpta Medica, Amsterdam
- No. 13 9月 Yoshizawa T., Tukada A., Maki Y., **Kanazawa I.** :
Transverse myelitis associated with Mycoplasma pneumoniae infections.
European Neurology 22 : 48-51, 1982
- No. 14 10月 **Kanazawa I.**, Sutoo D., Yoshida K., Yamashita M., Munekata E. :
A novel tripeptide and its excitatory effect of neurones in the cat spinal cord.
Neuroscience (Suppl.) 7 : s110, 1982
- No. 15 10月 **Muramoto O.**, Ando K., **Kanazawa I.** :
Central noradrenaline metabolism in cerebellar ataxic mice.
Brain Research 237 : 387-395, 1982
- No. 16 10月 **Kanazawa I.**, Tatsumi S., Nagano H., Muramoto O. :
Developmental profiles of substance P and GABA contents in the substantia nigra of rat.
Neuroscience Letters 34 : 149-152, 1982
- No. 17 11月 **Nakanishi T.**, **Tamaki M.**, Arasaki K., Kudo N. :
Origins of the scalp-recorded somatosensory far field potentials in man and cat.
Buser P.A., Coff W.A., Okuma T. ed. Kyoto Symposia (EEG Suppl No. 36) Elsevier Biomedical Press. 336-348, Amsterdam, 1982
- No. 18 11月 Izumi K., Munekata E., Yamamoto H., Yoshida M., **Nakanishi T.**, Wong P., Barbeau A. :
Central neuropharmacology of D-Ala²-N¹-Enkephalinamide and its interactions with taurine in rats.
Huxtable R. J., Pasantes-Morales H. ed. Taurine in nutrition and Neurology. Plenum. pp. 325-343, 1982
- No. 19 12月 金澤一郎 :
ハンチントン舞踏病の神経伝達物質異常は疾患特異的か。
臨床神経 22 : 1092, 1982

- No. 20 12月 祖父江逸郎, 高柳哲也, 中西孝雄, 椿忠雄, 宇尾野公義, 木下真男, 井形昭弘, 宮崎元滋, 吉田充男, 安藤一也, 丸山勝一, 満間照典, 仁瓶礼之, 佐久間昭, 加藤恭一:

脊髄小脳変性症に対する Thyrotropine Releasing Hormone Tartrate の治療
研究—二重盲検比較対照臨床試験による検討—.

神経研究の進歩 26:1190-1214, 1982

- No. 21 6月 田沢潤一, 湊志仁, 阿部恒男, 尾崎行雄, 稲月文明, 蓮村靖, 武内重五郎, 広川勝昱:
劇症型急性アルコール性肝炎の2例.

肝臓 23(6):649-655, 1982

総 説

- No. 1 1月 金澤一郎:
大脳基底核の Substance P.

医学のあゆみ 20:184-199, 1982

- No. 2 2月 村本治:
痴呆の新しい治療の試み.

神経進歩 26:175-188, 1982

- No. 3 3月 中西孝雄:
Hoffmann 症候群, Kocher-Decré-Semelaigne 症候群.

日本臨床 (1982年春季増刊) pp. 666-667, 1982

- No. 4 3月 中西孝雄:
筋緊張症 (ミオトニー).

今日の治療指針 pp. 198, 1982

- No. 5 4月 村本治, 中西孝雄:
パーキンソン病, 薬物療法の最近の進歩.

現代医療 14:638-142, 1982

- No. 6 7月 葛原茂樹:
筋原性疾患, 筋緊張と関連疾患.

日本臨床 40:1547-1552, 1982

- No. 7 8月 村本治:
小脳の機能とその障害, 小脳疾患と神経伝達物質.

神経精神薬理 4:535-545, 1982

- No. 8 8月 金澤一郎, 須藤伝悦:
脊髄ニューロンの神経伝達物質.

神経研究の進歩 26:623-626, 1982

- No. 9 11月 金澤一郎:
基底核疾患,

内科セミナー PN 5:34-48, 1982

著 書

- No. 1 3月 中西孝雄:
不随意運動.

内科学 (小坂樹徳監修), pp. 624-631
診断と治療社, 東京, 1982

- No. 2 5月 金澤一郎：
診断検査。
臨床医学示説 内科（織田敏次編），pp. 134-204
近代医学出版社，東京，1982
- No. 3 5月 金澤一郎：
治療総論。
臨床医学示説 内科（織田敏次編），pp. 205-212
近代医学出版社，東京，1982
- No. 4 7月 中西孝雄：
神経科，
看護の人間科学（森亘，小林登，伊藤幸子編），pp. 163-186
文光堂，東京，1982
- No. 5 7月 尾崎行雄，中西孝雄：
運動機能。
診断マニュアル（織田敏次，阿部裕編），pp. 360-379
永井書店，大阪，1982
- No. 6 10月 玉城允之，中西孝雄：
小脳変性症。
脳波のチェックポイント Q&A（大田原俊輔，大友英一，加川瑞夫，
西浦信博編），pp. メディカル，リサーチセンター，東京，1981
- No. 7 12月 中西孝雄，尾崎行雄，永田博司，中村治雄，金澤一郎：
パラコートジクロリド（グラモキシソン）とトリクロールフォン（ネグボン）によっ
て起こった末梢性ニューロパチー。末梢神経障害—成因と病態—
（祖父江逸郎編），pp. 162-131 永井書店，大阪，1982
- No. 8 12月 中西孝雄，玉城允之：
運動神経伝導速度測定に関する2，3の問題。末梢神経障害，—成因と病態—
（祖父江逸郎編），pp. 71-77 永井書店，大阪，1982
- No. 9 12月 荒崎圭介，中西孝雄：
F波の臨床的問題点。末梢神経障害—成因と病態—
（祖父江逸郎編），pp. 71-77 永井書店，大阪，1982
- 学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）
- No. 1 1月 金澤一郎，須藤伝悦：
ネコ脊髄における新しい神経ペプチドについて。
第5回神経科学協会（横浜），1月，1982
- No. 2 2月 佐々木秀直，金澤一郎，中西孝雄，竹松宏，小形岳三郎：
下部頸椎々体の化膿性炎症によりミエロパチーを起こし，IgE 異常高値を呈した1
例。
第80，日本神経学会関東地方会（東京），2月，1982
- No. 3 3月 高原茂樹，佐々木秀直，金澤一郎，中西孝雄，島村香也子：
Gerstmann-Sträussler 症候群（spinocerebellar ataxia with dementia and
plaque-like deposits）の1剖検例。
第12回臨床神経病理研究会（東京），3月，1982

- No. 4 3月 金澤一郎：
脊髄のペプチド。
第17回脳のシンポジウム（京都），3月，1982
- No. 5 4月 Kanazawa I., Sutoo D., Yoshida K., Yamasita M., Munekata E.：
A novel tripeptide and its excitatory effect on neurones in the cat spinal cord.
The 1st World Congress of the International Brain Research Organization (Lausanne, Switzerland) April, 1982
- No. 6 4月 Kanazawa I.：
Distribution of neurotransmitters in the human cerebellum.
The 11th Human Brain Tissue Studies Symposium (Bad Hall, Austria) April, 1982
- No. 7 5月 葛原茂樹，尾崎行雄，山田滋雄，中西孝雄：
Tubulomembranous structures の認められた遠位型ミオパチーの3症例。
第23回日本神経学会総会（東京），5月，1982
- No. 8 5月 吉田紀明，中西孝雄，出水干二：
 β -エンドルフィンによる Wet-dog shake とシナプス分画中アミノ酸。
第23回日本神経学会（東京），5月，1982
- No. 9 5月 村本治，上遠野栄一，中西孝雄，杉下守弘，安藤一也：
Alzheimer病患者的の図形模写能力に対する physostigmine の効果。一特にその時間経過について。
第23回日本神経学会総会（東京），5月，1982
- No. 10 5月 玉城允之，尾崎行雄，中西孝雄：
球脊髄性筋萎縮症にみられる手指振戦の発現機序について—電気生理学的検討—。
第23回日本神経学会総会（東京），5月，1982
- No. 11 5月 金澤一郎：
指定発言。Are transmitter abnormality in Huntington's chorea specific to the disease?
第25回日本神経学会総会（東京），5月，1982
- No. 12 5月 金澤一郎，須藤伝悦，吉田薫，山下勝幸，宗像英輔：
ネコ脊髄における新しい神経伝達物質候補ペプチドについて。
第23回日本神経学会総会（東京），5月，1982
- No. 13 6月 葛原茂樹，佐々木秀直，金澤一郎：
Gerstmann-Sträussler-Scheinker病 (Spinocerebellar ataxia with dementia and plague-like deposits) の1剖検例。
第81回日本神経学会関東地方会6月，1982
- No. 14 8月 金澤一郎：
中枢神経とペプチド。
第3回岐阜神経科学セミナー（岐阜），8月，1982
- No. 15 8月 金澤一郎：
運動制御の物質的基礎—神経伝達物質と運動制御「運動司令の形成と発現」。
文部省特定研究「脳の動物的神経機構」夏のワークショップ（群馬。水上），8月，1982

- No. 16 10月 金澤一郎：
小脳の神経伝達物質について一特にカテコールアミンとペプチドを中心に一。
「脊髄小脳変性症治療剤開発研究班」,
ワークショップ（東京），10月，1982
- No. 17 10月 大越教夫，金澤一郎，中西孝雄，東畑肇，小泉準三：
抗癌剤カルモフルによると思われる中枢神経症状を呈した1例。
第82回日本神経学会関東地方会（東京），10月，1982
- No. 18 10月 中西孝雄：
体性感覚遠隔電場電位。
第12回日本脳波・筋電図学会学術大会 教育講演（鳥取），10月，1982
- No. 19 10月 荒崎圭介，中西孝雄，工藤典雄：
F波の発生機序—幼若ラットにおける recurrent discharge の解析—。
第12回日本脳波・筋電図学会学術大会（鳥取），10月，1982
- No. 20 11月 吉沢和朗，大越教夫，葛原茂樹，金澤一郎，中西孝雄：
四肢の運動時粗大振戦とM蛋白血症を伴った慢性ポリニューロパチーの1例。
第83回日本神経学会関東地方会，11月，1982

班研究報告

- No. 1 3月 中西孝雄，尾崎行雄，佐久間秀夫，小嶋瑞：
色素異常，剛毛，浮腫，免疫グロブリン異常などを伴う慢性多発神経炎のリンパ節
病理組織像について。
厚生省神経疾患研究委託費，「末梢神経の変性と再生過程に関する研究」，
昭和56年度研究報告書，1982，pp. 104-116
- No. 2 3月 中西孝雄，葛原茂樹：
遠位型ミオパチーの5例—筋萎縮の分布とその筋病変について—。
厚生省「神経疾患，研究託費」筋ジストロフィー症の発症機序に
関する臨床的研究 昭和56年度研究報告書，1982，pp. 97-103
- No. 3 3月 中西孝雄，尾崎行雄，村本治：
色素異常，剛毛，浮腫，免疫グロブリン異常などを伴う慢性多発神経炎に関する全
国アンケート調査結果中間報告。
厚生省神経疾患研究委託費「末梢神経の変性と再生過程に関する研究」，
昭和56年度報告書，1982，pp. 121-148
- No. 4 3月 中西孝雄，吉田紀明：
Spinocerebellar ataxia with dementia and plague-like deposits (Straüss-
ler's disease) の一症例に対する TRH-T の効果。
厚生省新薬開発研究，脊髄小脳変性症治療剤開発研究班，
昭和56年度研究業績，1982，pp 235-240
- No. 5 3月 中西孝雄，荒崎圭介，島田康夫，作田学：
多発神経炎における触圧覚受容野について。
厚生省特定疾患スモン調査研究班，
昭和56年度研究業績 1982，pp. 154-155

- No. 6 3月 向山昌邦, 村本治, 埜中征哉, 真野行生, 安藤一也:
De Sanctis-Cacchione 症候群の末梢神経病変.
厚生省神経疾患研究委託費「末梢神経の変性と再生過程に関する研究」,
昭和56年度研究報告書, 1982, pp. 62-
- No. 7 3月 安藤一也, 村本治:
小脳失調マウスの中脳ノルアドレナリン代謝.
厚生省特定疾患 運動失調症調査研究班,
昭和56年度研究業績, 1982, pp. 171-176
- No. 8 3月 金澤一郎, 村本治:
Multiple system atrophy 2症例の小脳における神経伝達物質の分析.
厚生省特定疾患 運動失調症調査研究班,
昭和56年度研究報告書, 1982, pp. 16-19
- Np. 9 3月 金澤一郎:
舞踏運動と神経伝達物質.
厚生省特定疾患 変性性神経疾患調査研究班,
昭和56年度研究報告書, 1982, pp. 294-297
- その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)
- No. 1 1月 中西孝雄:
きょうの健康.
パーキンソン病. NHK, 1月26日, 1982
- No. 2 5月 中西孝雄:
編集後記.
脳と神経 34(5): p. 523, 5月1日, 1982
- No. 3 6月 村本治:
「痴呆」—最近の基礎と臨床—.
Neurotransmitter からの Approach 6月26日, 1982
- No. 4 8月 亀山正邦(司会), 平山恵造, 安藤一也, 浜口勝彦, 中西孝雄:
神経学的所見のとり方.
内科 50(2): pp. 306-323, 1982
- No. 5 8月 中西孝雄:
編集後記.
臨床神経 22: p. 771, 8月1日, 1982
- No. 6 12月 中西孝雄:
振動感覚.
医学大事典 25: 169, 12月10日, 1982

1982年度（精神医学グループ）

原 著

- No. 1 4月 竹内龍雄：
性障害を示した不安神経症の一精神療法例。
季刊精神療法 8：159-167, 1982
- No. 2 4月 市川忠彦，倉持弘，関忠盛：
ほぼ3年間にわたる全生活史健忘の1症例。
臨床精神医学 11：507-515, 1982
- No. 3 5月 市川忠彦，茂呂和生，矢野和之，羽田忠：
Creutzfeldt-Jakob 病の脳波の継時的変化。
臨床脳波 24：369-370, 1982
- No. 4 9月 市川忠彦：
後頭部に持続性に棘波様の波を示すてんかんの臨床脳波的検討。
お茶の水医学雑誌 30：137-154, 1982
- No. 5 11月 市川忠彦，須田一：
抗てんかん剤の長期服用中に発症した SLE について。
精神医学 24：1227-1230, 1982
- No. 6 12月 森温理，岡田導夫，野口拓郎，大原健士郎，阿部輝夫，井上道雄，尾内迪生，故塩崎正勝，白石博康，神保真也，高橋義人，成田四郎，長谷川和夫，原田敏雄，平山正実，広瀬徹也，藤谷豊，水嶋節雄，森克己：
二重盲検法による viloxazine と imipramine とのうつ病に対する薬効比較。
臨床評価 10：709-735, 1982

総 説

- No. 1 7月 嶋崎素吉：
精神分裂病とうつ病。
教育心理 30：40-42, 1982

著 書

- No. 1 5月 竹内龍雄：
神経症の治療。
臨床医学示説6，精神科3（横井晋編）pp. 31-42，
近代医学出版社，千葉，1982
- No. 2 9月 大原健士郎，小泉準三，高橋三郎編：
現代の精神医学。
金原出版，1982
- No. 3 9月 小泉準三：
精神障害の分類。
現代の精神医学（大原，小泉，高橋編）pp. 63-84，金原出版，1982
- No. 4 9月 小泉準三：
精神分裂病。
現代の精神医学（大原，小泉，高橋編）pp. 267-280，金原出版，1982

- No. 5 9月 白石博康：
薬物依存。
現代の精神医学（大原健士郎，小泉準三，高橋三郎編），
pp. 229-240，金原出版，1982
- No. 6 月 小泉準三：
飢餓精神病。
医科学大事典 pp. 47，講談社，1982
- No. 7 月 小泉準三：
外因好発型。
医科学大事典 pp. 105，講談社，1982
- No. 8 月 小泉準三：
器質性精神症候群。
医科学大事典 pp. 122，講談社，1982
- No. 9 月 小泉準三：
器質性脳症候群。
医科学大事典 pp. 123，講談社，1982
- 発表会（シンポジウム，特別講演を含む）
- No. 1 2月 竹内龍雄，小泉準三，白石博康，宮本真理，宮本洋：
転換症状から鮮明な幻覚状態に移行したヒステリーの1例。
東京精神医学懇話会第4回学術集会（東京），2月，1982
- No. 2 3月 小泉準三：
精神科治療の歴史的変遷と最近の動向。
昭和56年度精神病院技術者研修会（水戸），3月，1982
- No. 3 4月 長瀬精一，市川忠彦，白石博康，小泉準三：
結節硬化の1臨床例。
第28回茨城精神医学集談会（水戸），4月，1982
- No. 4 4月 長瀬精一，白石博康，小泉準三，浜口秀夫，近藤郁子：
精神症状を伴った Klinefelter 症候群の1臨床例。
第28回茨城精神医学集談会（水戸），4月，1982
- No. 5 4月 長瀬精一，白石博康，小泉準三：
コルヒチンと温清飲で症状の軽快をみた Neuro-Behçet 症候群の1臨床例。
第28回茨城精神医学集談会（水戸），4月，1982
- No. 6 7月 白石博康，宮本真理，小泉準三，竹内龍雄，市川忠彦，能勢忠男，中野秀樹：
健忘症候群，抑うつ状態，両側の著しい求心性視野狭窄などを呈し，脳CTで両側後頭葉と海馬領域に広汎な low density を認めた1臨床例。
東京精神医学懇話会第5回学術集会（東京），7月，1982
- No. 7 10月 大越教夫，金沢一郎，竹内龍雄，東畑薫，小泉準三：
抗癌剤カルモフルールによると思われる中枢神経症状を呈した1例。
第82回日本神経学会関東地方会（東京），10月，1982

- No. 8 10月 大福浩二郎, 白石博康, 東畑薫, 小泉準三:
健忘症候群, 視覚失認, 両側の著しい求心性視野狭窄などを呈し, 脳CTで後頭葉, 頭頂葉の一部, 海馬等の両側に広汎な low density を認めた後大脳動脈領域の梗塞と思われる1臨床例(失認症状についての補遺).
東京精神医学懇話会第6回学術集会(東京), 10月, 1982
- No. 9 11月 東畑薫, 白石博康, 市川忠彦, 小泉準三, 榊原謙, 井島宏, 岡部克己:
左中大脳脈領域の梗塞により発症した失語一とくに脳CTによる low density 領域と失語症状の関連性について.
第29回茨城精神医学集談会(水戸), 11月, 1982
- No. 10 11月 上月英樹, 宮本真理, 白石博康, 市川忠彦, 小泉準三:
クロイツフェルト・ヤコブ病が疑われる1臨床例.
第29回茨城精神医学集談会(水戸), 11月, 1982
- No. 11 11月 大福浩二郎, 白石博康, 小泉準三, 市川忠彦:
痴呆, けいれん発作などを伴った小脳性失調症の1臨床例.
第29回茨城精神医学集談会(水戸), 11月, 1982
- No. 1 1月 松原達哉, 嶋崎素吉, 勝倉孝治:
推薦入学生の心理的問題.
第15回学生相談研究会議(筑波), 1月, 1982
- No. 2 2月 嶋崎素吉, 竹内龍雄:
いわゆる student apathy の臨床的類型化について.
第3回大学精神衛生研究会議(京都), 2月, 1982
- No. 3 8月 嶋崎素吉:
思春期の非行をめぐって.
第8回茨城県学校保健学会(特別講演), (水戸), 8月, 1982

班研究報告

- No. 1 2月 嶋崎素吉, 竹内龍雄:
いわゆる student apathy の臨床的類型化について.
第3回大学精神衛生研究会議報告書, 1982, pp. 95-101

1982年（皮膚科グループ）

原 著

- No. 1 2月 Uyeno K., Ohtsu A. :
Interferon Treatment of Viral Warts and Some Skin Diseases.
The Clinical Potentential of Interferons pp.149-165, 1982
- No. 2 3月 高橋秀東, 大見尚 :
Miconazole Cream (フロリードD) の皮膚真菌症に対する治療効果.
基礎と臨床 16 : 1671-1676, 1982
- No. 3 3月 高橋秀東 :
Lichen nitidus の1例.
皮膚臨床 24 : 203-204, 1982
- No. 4 6月 馬場徹 :
Chilblain lupus, Auto-immune annular eryhema, Lupus erythematosus profundus.
皮膚臨床 24 : 819-830, 1982
- No. 5 6月 大津晃, 上野賢一 :
HLBI の皮膚科的応用.
第1回 HLBI 研究会記録 55-60, 1982
- No. 6 7月 上野賢一 :
口唇ヘルペス・口角炎・アフタ性口内炎の治療.
日医新報 3038 : 135, 1982
- No. 7 7月 鷺野谷秀夫, 馬場徹 :
紫外線撮影の皮膚科学における臨床への応用.
日本医学写真学会雑誌 20 : 122-125, 1982
- No. 8 8月 Ochiya T., Baba T., Mizushima A., Onozaki K., Yaoita H. :
Induction of Macrophage Disappearance Reaction by Immunoabsorbed MIF.
Cellular Immunology 71 : 346-352, 1982
- No. 9 8月 高瀬孝子, 内藤琇一, 上野賢一 :
Lick-dermatitis の2例.
臨床皮膚 36 : 747-749, 1982
- No. 10 8月 上野賢一 :
ウィルス性疣贅の β -IFN 療法.
臨床とウィルス 10 : 115-120, 1982
- No. 11 9月 高瀬孝子, 内藤琇一, 高橋秀東, 矢尾板英夫, 上野賢一 :
Naevus lipomatosus cutaneous superficialis (Hoffmann-Zurhelle) の1例.
皮膚臨床 24 : 1177-1182, 1982
- No. 12 9月 Yaoita H., Onozaki K., Baba T., Kitajima Y., Ohki K., Nozawa Y. :
Studies on mechanisms of acantholysis in pemphigus.
Proc Jpn Soc Invest Dermatol 7 : 49-50, 1982

No. 13 9月 **Baba T., Ochiya T., Mizushima A., Onozaki K., Yaoita H. :**
Suppression of cutaneous delayed type hypersensitivity by macrophage
migration inhibitory factor.

Proc Jpn Soc Invest Dermatol 7 : 181, 1982

No. 14 11月 高稿秀東, 大見尚, 矢尾板英夫, 上野賢一 :
Pagetoid spreadを示した脂腺癌の1例.

臨皮 36 : 1073-1080, 1982

No. 15 12月 上野賢一, 大津晃, 和田和枝 :
皮膚科領域でのインターフェロン療法.

臨床科学 18 : 1444-1452, 1982

No. 16 12月 星野稔, 上野賢一 :
眼瞼部に生じた分離扁平母斑の1例.

皮膚臨床 24 : 1444-1445, 1982

No. 17 12月 大津晃, 上野賢一 :
HLBIの局所投与について.

第2回HLBI研究会記録 130-133, 1982

No. 18 12月 **Ohmi T., Ohtsu A., Takahashi H., Uyeno K. :**
Ultrastructural study of Merkel cell neoplasm.

J Clin Electron Microscopy 15 : 493-494, 1982

総 説

No. 1 1月 上野賢一 :
老年者の急性症状とその対策, 皮疹.

老人科診療 3 : 53-59, 1982

No. 2 6月 上野賢一 :
皮膚癌.

内科 49 : 1372-1378, 1982

著 書

No. 1 8月 上野賢一 :
皮膚疾患.

臨床医のための老年科診療指針 (原沢道美, 亀山正邦編).
pp. 363-371, 医学書院, 東京, 1982

No. 2 8月 上野賢一 :
放射線療法.

現代皮膚科学大系 第5巻B 治療Ⅱ (久木田淳他編),
pp. 135-155, 中山書店, 東京, 1982

No. 3 9月 上野賢一 :
湿疹群, 蕁麻疹群他.

カラーフォト皮膚病 第1巻 (簗野倫, 上野賢一他編),
金原出版, 東京, 1982

No. 4 11月 上野賢一 :
基底細胞腫.

臨床腫瘍学 (石川七郎編) pp. 35-43, 朝倉書店, 東京, 1982

学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

- No. 1 1月 星野稔，上野賢一：
眼瞼部に生じた分離扁平母斑の1例。
第591回日皮東京地方会（東京），1月，1982
- No. 2 2月 高瀬孝子，上野賢一，美誉志康：
Microsporum canis による体部白癬の母子例。
第592回日皮東京地方会（東京），2月，1982
- No. 3 2月 和田和枝，大津晃，上野賢一：
 β -インターフェロン局注で治癒した老人性角化腫の1例。
第592回日皮東京地方会（東京），2月，1982
- No. 4 3月 金沢一也，矢尾板英夫：
Linear Ig A 水疱症の1例について。
水疱症研究会（金沢），3月，1982
- No. 5 3月 江口清美，稲田哲雄，馬場徹，矢尾板英夫：
ヒト培養表皮細胞における紫外線照射後の不定期 DNA 合成について。
第593回日皮東京地方会（東京），3月，1982
- No. 6 3月 馬場徹，落谷孝広，矢尾板英夫：
遅延型皮膚過敏症の抑制機構の解析—特に炎症細胞の反応性について—。
第593回日皮東京地方会（東京），3月，1982
- No. 7 3月 矢尾板英夫，江口清美，小野崎菊夫，北島康雄，大木和夫，野沢義則：
水疱症の発生機構について（1）天疱瘡。
第593回日皮東京地方会（東京），3月，1982
- No. 8 3月 金沢一也，鈴木正之，馬場徹，高橋秀東，矢尾板英夫：
Linear IgA 水疱症について。
第593回日皮東京地方会（東京），3月，1982
- No. 9 3月 鈴木正之，奥山早苗，佐久間満里子，金沢一也，馬場徹，矢尾板英夫：
木村氏病のリンパ腔構造について。
第593回日皮東京地方会（東京），3月，1982
- No. 10 3月 高瀬孝子：
M. Canis 感染症の茨城県での統計。
昭和57年春期茨城県皮膚科集談会（土浦），3月，1982
- No. 11 3月 和田和枝，上野賢一：
老人性角化腫のインターフェロン療法。
昭和57年春期茨城県皮膚科集談会（土浦），3月，1982
- No. 12 3月 高橋秀東，斉藤義雄：
血管芽細胞腫（中川）の1例。
昭和57年春期茨城県皮膚科集談会（土浦），3月，1982
- No. 13 4月 大見尚，高橋秀東，大津晃，上野賢一：
診断例（未分化癌？）。
第9回皮膚科電顕研究会（東京），4月，1982

- No. 14 4月 高橋秀東, 大見尚, 矢尾板英夫, 上野賢一:
[Angioblastoma (Nakagawa) の血管内皮細胞にみられた結晶構造について]
に対する追加演題.
第9回皮膚科電顕研究会(東京), 4月, 1982
- No. 15 4月 高橋秀東, 上野賢一:
鼻根部腫瘍.
昭和57年度皮膚病理同好会(東京), 4月, 1982
- No. 16 4月 馬場徹, 星野稔, 矢尾板英夫:
紫外線によるダリエ病皮膚疹の誘発.
第81回日皮学会総会(東京), 4月, 1982
- No. 17 4月 金沢一也, 鈴木正之, 馬場徹, 矢尾板英夫:
Granular IgA 水疱症(疱疹状皮膚炎)と linear IgA 水疱症.
第81回日皮学会総会(東京), 4月, 1982
- No. 18 4月 金沢一也, 高瀬孝子, 奥山早苗, 馬場徹, 矢尾板英夫:
パルス療法で著効を示した CNS・SLE 並びに psoriasis pustulosa について.
第81回日皮学会総会(東京), 4月, 1982
- No. 19 4月 大津晃, 大見尚, 高橋秀東, 佐久間満里子, 奥山早苗, 和田和枝, 上野賢一:
皮膚悪性リンパ腫の Human Interferon 局注療法.
第81回日皮学会総会(東京), 4月, 1982
- No. 20 4月 Kitajima Y., Mori S., Yaoita H.:
Junctional complex and membrane ultrastructure in cultured human
keratinocytes.
第81回日皮学会総会(東京), 4月, 1982
- No. 21 4月 上野賢一:
Interferon の臨床応用 ウィルス性疣贅.
第23回臨床ウィルス談話会シンポジウム「臨
床ウィルス学の新展開」(京都), 4月, 1982
- No. 22 5月 Uyeno K:
Radiotherapy of mycosis fungoides with soft X-rays.
The 16th International Congress of
Dermatology (Tokyo), 5月, 1982
- No. 23 5月 Yaoita H:
Ultrastructural studies of dermatitis herpetiformis and overlap cases.
The 16th International Congress of
Dermatology (Tokyo), 5月, 1982
- No. 24 5月 Yaoita H:
Epidermolysis bullosa acquisita.
The 16th International Congress of
Dermatology (Tokyo), 5月, 1982
- No. 25 5月 Yaoita H:
Effects of antiepidermal autoantibodies on fluidity cell membrane.
The 16th International Congress of
Dermatology (Tokyo), 5月, 1982

- No. 26 5月 Yaoita H. :
How to fix tissue for IEM without loss of the antigenicity.
The 16th International Congress of
Dermatology (Tokyo), 5月, 1982
- No. 27 6月 Yaoita H., Kanazawa K., Suzuki M. :
Immunoelectroscopy in Dermatology.
International Workshop of Investigative
Dermatology (Kyoto), 6月, 1982
- No. 28 7月 高橋秀東, 矢尾板英夫, 上野賢一 :
水頭症小児にみられた infantile acropustulosis.
第6回日本小児皮膚科学会 (東京), 7月, 1982
- No. 29 9月 大見尚, 大津晃, 高橋秀東, 上野賢一 :
Merkel cell neoplasm.
第14回日本臨床電顕学会総会 (東京), 9月, 1982
- No. 30 9月 矢尾板英夫, 馬場徹, 小野崎菊夫, 北島康雄, 大木和夫, 野沢義則 :
天疱瘡の発症機構について.
第7回日本研究皮膚科学会 (京都), 9月, 1982
- No. 31 9月 馬場徹, 落谷孝広, 矢尾板英夫 :
マクロファージ消失反応と遅延型皮膚過敏症の抑制.
第7回日本研究皮膚科学会 (京都), 9月, 1982
- No. 32 10月 馬場徹, 落谷孝広, 金沢一也, 矢尾板英夫 :
SLE 患者血清中に見られた spreading 阻止活性について.
第46回日皮学会東日本連合地方会 (東京), 10月, 1982
- No. 33 10月 高瀬孝子, 大見尚, 馬場徹, 上野賢一 :
局所温熱療法で治癒した sporotrichosis の4例.
第46回日皮学会東日本連合地方会 (東京), 10月, 1982
- No. 34 10月 高橋東秀, 大見尚, 上野賢一 :
Angioblastoma (Nakagawa) に認められた microbody.
第34回日皮学会西部支部総会 (宮崎), 10月, 1982
- No. 35 10月 金沢一也, 馬場徹, 上野賢一 :
Albright 症候群の皮膚病変.
第34回日皮学会西部支部総会 (宮崎), 10月, 1982
- No. 36 10月 星野稔, 金沢一也, 高橋秀東, 上野賢一 :
全身の紅皮症様皮疹で発症したと思われる null cell type, non Hodgkin lymphoma.
第34回日皮学会西部支部総会 (宮崎), 10月, 1982
- No. 37 11月 中嶋紅美子, 馬場徹 :
Widespread DLE.
昭和57年秋期茨城県皮膚科集談会 (水戸), 11月, 1982
- No. 38 11月 上野賢一, 大見尚, 大津晃, 高橋秀東 :
Merkel cell neoplasm.
昭和57年秋期茨城県皮膚科集談会 (水戸), 11月, 1982

その他（放送，座談会，講演会などで学術的なもの）

- No. 1 1月 山崎修道，肥田野信，野波英一郎，上野賢一：
インターフェローンその基礎と臨床。

皮膚臨床 24：39-53，1982（座談会）

- No. 2 2月 上野賢一：
アザやホクロがふえる。

朝日新聞 健康相談 289，1982

- No. 3 3月 上野賢一：
皮膚のかゆみ。

Clinician, No. 309：69-71，1982

- No. 4 7月 上野賢一：
カボジー肉腫。

医科学大事典 7：266-267，1982

- No. 5 7月 塩川優一，野波英一郎，肥田野信，上野賢一：
エリテマトーデスの診断とオーバーラップ症候群。

皮膚臨床 24：785-794，1982（座談会）

- No. 6 9月 香川三郎，野波英一郎，肥田野信，上野賢一：
新しい抗真菌剤について。

皮膚臨床 24：785-794，1982（座談会）

- No. 6 9月 香川三郎，野波英一郎，肥田野信，上野賢一：
新しい抗真菌剤について。

皮膚臨床 24：1139-1147，1982（座談会）

- No. 7 10月 戸田浄，西川武二，泰正氏，実川久美子，木村俊次，関利仁，高森建二，中村進一，野波英一郎，肥田野信，上野賢一：
第16回国際皮膚科学会について—その1—，

皮膚臨床，4：1241-1247，1982（座談会）

- No. 8 11月 戸田浄，西川武二，泰正氏，実川久美子，木村俊次，関利仁，高森建二，中村進一，野波英一郎，肥田野信，上野賢一：
第16回国際皮膚科学会について—その2—。

皮膚臨床 24：1353-1362，1982（座談会）

- No. 9 11月 上野賢一：
悪性黒色腫の厚さ（深遠度）と予後との関係。

JAMA 日本版 3：18-20，1982（抄訳）

1982年（小児科グループ）

原 著

- No. 1 2月 Hamano K., Sumazaki R., Takita H., Takahashi M., Sutoo D. :
Studies of plasma, white blood cell and liver amino acids patterns in infants with hepatic failure.
Acta Paediatr Jpn 23 : 220, 1981
- No. 2 3月 Nagasawa T., Abe T., Hanada T. :
Inhibitory effects of T cells on in vitro granulopoiesis, erythropoiesis, and immunoglobulin production in patients with aplastic anaemia.
Scand J Haematol 28 : 389-398, 1982
- No. 3 4月 須磨崎亮, 宇賀直樹, 藤田昌宏, 藤田敬次郎, 藤田敏郎 :
新生児高レニン血性高血圧症の1例; アンギオテンシン変換酵素阻害剤の使用と内分泌学的検索.
日児誌 86 (4) : 590-596, 1982
- No. 4 4月 平野岳毅 :
ターナー症候群と Graves 病の関連.
JAMA (日本語版), 151, 1982
- No. 5 7月 Hanada T., Abe T., Fukao K., Jogamoto M., Takita H. :
Severe aplastic anaemia treated with anti-lymphocyte globulin; The relationship between clinical course and erythroid colony suppression by T cells.
Scand J Haematol 29 : 128-134, 1982
- No. 6 7月 城賀本満登, 花田尚, 滝田齊 :
Recurrent acute idiopathic thrombocytopenic purpura の1幼児例.
小児科臨床 35 : 1545-1548, 1982
- No. 7 7月 中原智子, 花田尚, 城賀本満登, 滝田齊 :
Kasabach-Merritt 症候群.
小児科 23 : 巻頭一目でみる小児科一, 1982
- No. 8 7月 Hanada T., Nagasawa T., Abe T. :
Dual effect of monocyte-conditioned medium on in vitro hematopoiesis.
Exp Hematol 10 : 561-567, 1982
- No. 9 8月 Fujiwara J., Nakahara S., Jogamoto M., Yabuta K., Akatsuka T., Masuda F. :
Analysis of development of positive supporting reflex and standing posture in infants using computer assisted measurements of foot pressure.
Brain & Development 4 : 3-4, 1982
- No. 10 8月 Hirano T., Singh J., Srinivasan G., Pildes R. :
Postnatal thyroid function in low birth weight infant : A cross-sectional assessment of free thyroxine and thyroid hormone binding globulin.
Eur J Pediatr 139 : 244-246, 1982

総 説

- No. 1 1月 滝田 齊：
小児科救急治療のコツ；黄疸。
治療 64：87-92, 1982
- No. 2 1月 藪田敬次郎：
小児救急治療のコツ；下痢，脱水。
治療 64（1）：65-69, 1982
- No. 3 1月 藪田敬次郎：
小児救急治療のコツ，嘔吐。
治療 64（1）：70-73, 1982
- No. 4 2月 藪田敬次郎：
小児の酸塩基平衡障害。
小児内科 14（2）：137-153, 1982
- No. 5 7月 中村了正：
遺伝性疾患の診断と予防。
茨城県母性衛生学会誌 2：25-28, 1982
- No. 6 10月 鴨田知博，中村了正：
小児の採血法。
臨床医 8：1817-1822, 1982

著 書

- No. 1 2月 滝田 齊：
唇裂および口蓋裂。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp. 307-310，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 2 2月 滝田 齊：
嚙口創。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編）， p. 311，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 3 2月 滝田 齊：
口内炎。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編）， pp. 312-314，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 4 2月 滝田 齊：
口角炎。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編）， p. 315，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 5 2月 滝田 齊：
歯の異常。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編）， pp. 316-317，
近代医学出版社，船橋，1982

- No. 6 2月 滝田齊：
舌の異常。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp.318-319，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 7 2月 滝田齊：
唾液腺の異常。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp.320-321，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 8 2月 滝田齊：
食道の先天性異常。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp.322-325，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 9 2月 滝田齊：
食道の後天性疾患。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp.326-328，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 10 2月 滝田齊：
食道噴門弛緩症および痙攣。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp.329-331，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 11 2月 滝田齊：
幽門痙攣および狭窄症。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp.332-336，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 12 2月 滝田齊：
胃および十二指腸潰瘍。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp.337-338，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 13 3月 藤原順子：
神経系疾患検査法；髄液。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp.264-267，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 14 3月 藤原順子：
神経放射線学的検査。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp.268-272，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 15 3月 藤原順子：
電気生理学的検査。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp.273-277，
近代医学出版社，船橋，1982

- No. 16 3月 藤原順子：
熱性痙攣。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp. 278-279，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 17 3月 藤原順子：
大発作てんかん，てんかん重積症。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp. 280-283，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 18 3月 藤原順子：
小発作。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編）， p. 284，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 19 3月 藤原順子：
点頭てんかん，焦点性発作。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編）， p. 285，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 20 3月 藤原順子：
精神運動発作，自律神経発作。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編）， p. 286，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 21 3月 藤原順子：
急性小児片麻痺，異常血管網症（モヤモヤ病）。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編）， p. 287，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 22 3月 藤原順子：
化膿性髄膜炎。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編），pp. 288-291，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 23 3月 藤原順子：
無菌性髄膜炎，結核性髄膜炎。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編）， p. 292，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 24 3月 藤原順子：
脳炎。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編）， p. 293，
近代医学出版社，船橋，1982
- No. 25 3月 藤原順子：
脳膿瘍，多発性神経炎。
臨床医学示説 第4巻（大国真彦編）， p. 294，
近代医学出版社，船橋，1982

- No. 26 5月 藪田敬次郎：
下痢と栄養。
新病態栄養学双書 第10巻 小児（松見富士夫編），pp. 143-151，
第一出版，東京，1982
- No. 27 5月 藪田敬次郎：
脱水症における栄養。含アシドーシスにおける栄養，
新病態栄養学双書 第10巻 小児（松見富士夫編），pp. 172-177，
第一出版，東京，1982
- No. 28 3月 藪田敬次郎：
検査食。
新病態栄養学双書 第10巻 小児（松見富士夫編），pp. 244-253，
第一出版，東京，1982
- No. 29 3月 中村了正：
遺伝性果糖不耐容症。
新臨床小児科全書 4巻，先天性代謝異常・内分泌・代謝疾患（多
田啓也編），pp. 183-190，金原出版，東京，1982
- No. 30 6月 中村了正：
小児とくすり。
疾患と治療薬（清水喜八郎，福室憲治編），pp. 563-575，
南江堂，東京，1982
- No. 31 7月 滝田齊：
回転異常症候群。
医科学大事典（武見太郎編），第6巻，pp. 171-172，講談社，
東京，1982
- No. 32 8月 中村了正：
糖代謝異常症総論。
新小児医学大系 第7巻D，出生前小児科学Ⅳ（小林登，多田啓
也，藪内百治編），pp. 3-15，中山書店，東京，1982
- No. 33 8月 中村了正，大塚欽一：
糖原病。
新小児医学大系 第7巻D，出生前小児科学Ⅳ（小林登，多田啓
也，藪内百治編），pp. 16-52，中山書店，東京，1982
- No. 34 10月 藪田敬次郎：
腎尿細管障害総論。
先天性代謝病免疫病ハンドブック（山村雄一監修），pp. 760-762，
中山書店，東京，1982
- No. 35 10月 藪田敬次郎：
Fanconi 症候群。
同上，pp. 784-785，中山書店，東京，1982
- No. 36 10月 藪田敬次郎：
小児における酸塩基平衡（総論）。
小児科，要点整理，問題演習（木村三生夫他編），pp. 164-171，
金原出版，東京，1982

No. 37 10月 須磨崎亮, 滝田齊 :

慢性肝炎の免疫抑制療法に関する最近の考え方.

小児科の進歩 2 (前川喜平, 今村栄一編), pp. 201-202,
診断と治療社, 東京, 1982

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

No. 1 4月 花田尚, 阿部帥 :

T リンパ球の CFU-E 増強作用に対する末梢血単球培養上清の影響.

第44回日本血液学会総会 (東京), 4月, 1982

No. 2 4月 阿部帥, 中沢正樹, 中村治雄, 長澤俊郎, 依田安弘, 花田尚, 深尾立 :

再生不良性貧血の免疫抑制療法について.

第79回日本内科学会総会 (東京), 4月, 1982

No. 3 5月 花田尚, 阿部帥 :

末梢血単球による造血幹細胞の調節.

第22回日本網内系学会総会 (東京), 5月, 1982

No. 4 6月 Jogamoto M., Sumazaki R., Takita H. :

Triglyceride value in stool of healthy infants fed on milk with high
oleic safflower oil added.

The 2nd International Symposium On Infant Nutrition
And The Development of The Gastrointestinal Tract
(Niagara Falls, Canada), June, 1982

No. 5 6月 中原智子, 須磨崎亮, 城賀本満登, 平野岳毅, 藪田敬次郎 :

偽性副甲状腺機能低下症の1例.

第21回日本小児科学会茨城地方会 (筑波), 6月, 1982

No. 6 6月 川嶋浩一郎, 平野岳毅, 藤原順子, 藪田敬次郎, 南風原幸子 :

不完全型中枢性尿崩症のみられた脳発達奇形の1症例.

第21回日本小児科学会茨城地方会 (筑波), 6月, 1982

No. 7 6月 鴨田知博, 藤原順子, 中村了正 :

サンドホフ病の出生前診断.

第21回日本小児科学会茨城地方会 (筑波), 6月, 1982

No. 8 6月 城賀本満登, 中原智子, 須磨崎亮, 藤原順子, 松村明, 能勢忠男, 中田義隆, 藤田光江 :

学童にみられた特発性脳血管障害の2例.

第21回日本小児科学会茨城地方会 (筑波), 6月, 1982

No. 9 6月 南風原幸子, 藤原順子, 長畑正道 :

長時間ビデオによる新生児行動の解析.

第24回日本小児神経学会総会 (神戸), 6月, 1982

No. 10 6月 須磨崎亮, 小口八恵, 鴨田知博, 柴崎正修, 椋島悌蔵 :

特殊な抗核抗体の検出された若年性関節リウマチの2症例.

第21回日本小児科学会茨城地方会 (筑波), 6月, 1982

No. 11 6月 小口八重, 中原智子, 須磨崎亮, 宇賀直樹 :

最近5年間における当科入院低出生体重児の臨床的検討.

第21回日本小児科学会茨城地方会 (筑波), 6月, 1982

- No. 12 6月 長澤俊郎, 中澤正樹, 花田尚, 中村治雄, 依田安弘, 阿部帥:
骨髄巨核球の成熟障害が認められた Hypomegakaryocytic Thrombocytopenia
の1例.
第77回日本臨床血液学会例会(福島), 6月, 1982
- No. 13 7月 須磨崎亮, 鴨田知博, 花田尚, 滝田齊, 小形岳三郎, 中野雅行:
薬剤性激症肝炎が疑われた1女児例におけるプラスマフェレーシスの効果について.
第8回急性肝不全治療研究会(東京), 7月, 1982
- No. 14 7月 松葉裕美, 目崎登, 久保武士, 岩崎寛和, 小口八恵, 中原智子, 須磨崎亮, 宇賀直樹:
当院における低出生体重児の予後についての検討.
第18回日本新生児学会総会(大阪), 7月, 1982
- No. 15 8月 藪田敬次郎:
新生児, 乳児の体液浸透圧調節とその異常, 体液のホメオスターシス.
第64回日本医学会シンポジウム(箱根), 8月, 1982
- No. 16 8月 小口八恵, 城賀本満登, 須磨崎亮, 藪田敬次郎:
頭部皮下膿瘍穿刺後, 急性腎不全, 低Na血症をきたした新生児の1例.
体液懇話会(東京), 8月, 1982
- No. 17 9月 中原智子, 花田尚, 滝田齊:
Kasabach-Merritt 症候群における ^{111}In 標識血小板シンテグラフィ.
第24回日本小児血液研究会(大阪), 9月, 1982
- No. 18 9月 花田尚, 奥山早苗, 鴨田知博, 滝田齊:
赤白血病における赤芽球系前駆細胞(CFU-E)の検討.
第24回日本小児血液研究会(大阪), 9月, 1982
- No. 19 9月 城賀本満登, 川嶋浩一郎, 花田尚, 滝田齊, 佐久間秀夫, 小島瑞:
眼球突出, 肝脾腫をきたした骨好酸球肉芽腫の幼児例.
第24回日本小児血液研究会(大阪), 9月, 1982
- No. 20 9月 Hamano K., Farkas E., Robain O.:
Immuno pathological study of herpes simplex encephalitis.
International Congress Of Neuropathology (Wien).
September, 1982
- No. 21 10月 須磨崎亮, 柴崎正修, 滝田齊:
川崎病におけるT細胞サブセットの変動について.
第14回日本小児感染免疫学研究会集会(東京), 10月, 1982
- No. 22 10月 花田尚, 阿部帥, 滝田齊:
アンチトロンビンⅢ(AT-Ⅲ)濃縮製剤による小児DICの治療.
第24回日本臨床血液学会総会(出雲), 10月, 1982
- No. 23 10月 平野岳毅, 城賀本満登:
極小未熟児の甲状腺—とくに遊離サイロキシンと, 甲状腺ホルモン結合蛋白について.
第16回日本小児内分泌研究会(大阪), 10月, 1982

- No. 24 10月 城賀本満登, 平野岳毅:
一過性甲状腺ホルモンに対する末梢不応症を呈した先天性巨大細胞封入体症の1例.
第16回日本小児内分泌研究会 (大阪), 10月, 1982
- No. 25 10月 Bonifas-Galup P., Hamano K., Sebrosa C.J., Plouin P.:
Différents aspect EEG, de la Leuco-Eucéphalite-Subaigüe-Sclérosante (LESS), et corrélations électroclinique.
Etude sur 46 cas, La société d'EEG, de France (Paris), October, 1982
- No. 26 10月 阿部帥, 花田尚, 深尾立:
再生不良性貧血におけるTリンパ球の病因的意義と免疫抑制療法の効果.
第24回日本臨床血液学会総会 (出雲), 10月, 1982
- No. 27 11月 川嶋浩一郎, 須磨崎亮, 堀米仁志, 武井治郎, 滝田齊, 高橋正彦:
Parenteral Nutrition による肝障害15例の解析.
第9回日本小児栄養発育研究会 (久留米), 11月, 1982
- No. 28 11月 須磨崎亮, 鴨田知博, 滝田齊, 小形岳三郎, 中野雅行:
Flavoxate hydrochloride 服用後に劇症肝炎を起こした1女児例.
第9回日本小児消化器病研究会 (久留米), 11月, 1982
- No. 29 11月 鴨田知博, 須磨崎亮, 川嶋浩一郎, 蘇田敬次郎:
母乳栄養の超未熟児に Ca, P を補給し, 皮下組織に石灰化をきたした症例.
第9回日本小児栄養発育研究会 (久留米), 11月, 1982
- No. 30 11月 近岡弘, 大川秀明, 神垣昌人, 滝田誠司, 奥山和男 (昭和大学小児科), 中村了正:
遺伝性高チロジン血症 (肝腎型) の1例.
第25回小児代謝研究会 (大阪), 11月, 1982
- No. 31 11月 古川恵一, 林河宏, 中山恵, 田中敏章, 吉原昭次 (虎の門病院小児科), 中村了正:
食道静脈瘤に内視鏡的硬化療法を施行した遺伝性高チロジン血症の1症例.
第25回小児代謝研究会 (大阪), 11月, 1982
- No. 32 11月 花開さなえ, 目沢憲一, 琴寄義雄, 斎藤正政, 千代木正 (日本医大小児科), 中村了正:
糖尿病 IIb 型 (Childhood type?) の姉弟例.
第25回小児代謝研究会 (大阪), 11月, 1982
- No. 33 11月 川嶋浩一郎, 藤原順子, 中田義隆:
新生児乳児の頭蓋内疾患における頭部断層エコーの検討,
第22回日本小児科学会茨城地方会 (水戸), 11月, 1982
- No. 34 11月 鴨田知博, 謝花充, 藤原順子, 花田尚:
グロブリン大量療法が奏効した ITP の1例.
第22回日本小児科学会茨城地方会 (水戸), 11月, 1982
- No. 35 11月 小口八恵, 堀米仁志, 武井治郎, 鴨田知博, 城賀本満登, 平野岳毅, 近藤郁子:
染色体異常が確認された Prader-Willi 症候群の2例.
第22回日本小児科学会茨城地方会 (水戸), 11月, 1982
- No. 36 11月 中原智子, 須磨崎亮, 柴崎正修, 佐野元昭:
学校検尿で発見された MPGN の1例.
第22回日本小児科学会茨城地方会 (水戸), 11月, 1982

No. 37 11月 堀米仁志, 鴨田知博, 佐藤秀郎:

総動脈幹症(A₄型)にsingle coronary arteryを合併した新生児の1例.

第22回日本小児科学会茨城地方会(水戸), 11月, 1982

班研究報告

No. 1 3月 滝田齊, 柴崎正修, 須磨崎亮:

Variable immunodeficiencyに合併した蚊刺アレルギー症の1例,

厚生省「免疫不全症候群」の成因, 治療および予防に関する調査研究班,

昭和56年度研究報告書, 1982, pp. 226-228

No. 2 6月 藤原順子, 中原智子, 城賀本満登, 藪田敬次郎:

新生児, 乳児の足圧測定による陽性支持反射と立位の発達の定量的解析(その2).

厚生省「長期疾患療育児の養護, 訓練, 福祉に関する総合的研究班」,

昭和56年度研究報告書, 1982, pp. 65-68

その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 1月 藤原順子:

新生児乳児の脳損傷児の早期診断について.

茨城県結城郡医師会, 水海道医療センター主催講演会, 2月, 1982

No. 2 9月 藪田敬次郎:

小児の脱水と処置.

日本医師会, 医学講座, 日本短波放送, 9月16日, 1982

No. 3 10月 藪田敬次郎, 前田貞亮, 長谷川博, 小越章平, 越川昭三:

座談会, 輸液療法は完成したか.

内科 50(4), 704-721, 1982

No. 4 12月 藪田敬次郎, 森岡恭彦, 吉田尚:

座談会, 脱水.

Medical News No, 257, 2-12, 1982

1982年（循環器外科・呼吸器外科グループ）

原 著

- No. 1 1月 井島宏：
解離性大動脈瘤 entry 切除閉鎖術。
臨床胸部外科 2（1）：140-143, 1982
- No. 2 1月 榊原謙，前田肇，桜井淳一，入山正，伊藤翼，岡村健二，井島宏，三井利夫，堀原一：
心筋梗塞による心室中隔穿孔の1治験例。
外科 44（1）：76-79, 1982
- No. 3 1月 前田肇，入山正，伊藤翼，岡村健二，井島宏，桜井淳一，三井利夫，堀原一：
開心術中の心筋保護における工夫。
日本胸部外科学会雑誌 30（1）：21-27, 1982
- No. 4 2月 井島宏：
下肢血栓性静脈炎—手術適応と術式の選択。
外科 44（2）：133-139, 1982
- No. 5 2月 近藤孝，島崎修次，近藤陽一，深尾立，堀原一：
救急医学教育におけるコンピュータシミュレーションの導入。
救急医学 6（2）：217-221, 1982
- No. 6 2月 堀原一：
統合カリキュラムにおける試験と評価。
医学教育 13（1）：32-34, 1982
- No. 7 2月 蘇原泰則，三井清文，堀原一：
肺微小循環観察のための拡散換気生体肺固定法。
日本胸部外科学会雑誌 30（2）：149-156, 1982
- No. 8 3月 小川剛，関口達彦，杉下靖郎，伊藤巖，井島宏：
末梢動脈閉塞性疾患における segmental pneumoplethysmography の有用性について。
第1回血管に関する無侵襲診断法研究会抄録集：15-16, 1982
- No. 9 3月 大島統男，井島宏：
四肢動脈閉塞性疾患における RI 動態検査。
第1回血管に関する無侵襲診断法研究会抄録集：45-46, 1982
- No. 10 4月 堀原一：
肝機能補助装置プロジェクトについて。
日本臨床 40（4）：848-851, 1982
- No. 11 4月 檜山輝男，前田肇，堀原一：
心臓内奇形腫。
胸部外科 35（4）：250-250, 1982
- No. 12 4月 三井利夫，伊藤翼，井島宏，前田肇，岡村健二，入山正，桜井淳一，堀原一：
胸腹部大動脈瘤に対する動脈瘤空置バイパス手術。
日本胸部外科学会雑誌 30（4）：598-601, 1982

- No. 13 4月 岡村健二, 榊原謙, 小石沢正, 福田幾夫, 桜井淳一, 伊藤翼, 前田肇, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
活動期感染人工弁置換の経験—手術時期と手技の考察を中心に—.
日本心臓血管外科学会雑誌 12 (2): 89-91, 1982
- No. 14 6月 Maeta H., Hiyama T., Okamura T., Iriyama T., Yamaguchi T., Tamura T., Mitsui T. and Hori M.:
Successful excision of intracardiac teratoma.
J. Thorac. Cardiovasc. Surg. 83 (6): 909-913, 1982
- No. 15 6月 三井利夫, 伊藤翼, 井島宏, 前田肇, 岡村健二, 入山正, 桜井淳一, 福田幾夫, 堀原一:
真性胸部大動脈瘤に対する血栓空置バイパス術.
日本心臓血管外科学会雑誌 12 (3): 189-191, 1982
- No. 16 7月 蘇原泰則, 三井清文, 堀原一:
肺細小動脈の血流速度に関する研究.
日本胸部外科学会雑誌 30 (7): 1250-1256, 1982
- No. 17 7月 岡村健二, 桜井淳一, 入山正, 伊藤翼, 前田肇, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
大動脈弁下部の mycotic aneurysm を合併した大動脈弁閉鎖不全の手術.
手術 36 (7): 845-848, 1982
- No. 18 7月 榊原謙, 岡村健二, 桜井淳一, 入山正, 伊藤翼, 井島宏, 前田肇, 三井利夫, 堀原一:
血小板減少, 好酸球増多を合併した大動脈弁僧帽弁膜症の1手術治験例.
胸部外科 35 (7): 558-562, 1982
- No. 19 7月 入山正, 伊藤翼, 岡村健二, 井島宏, 前田肇, 三井利夫, 堀原一:
高度三尖弁閉鎖不全と右左短路を伴った心房中隔欠損兼肺動脈弁狭窄症の1治験例.
日本胸部外科学会雑誌 30 (7): 1291-1295, 1982
- No. 20 7月 Sohara Y., Mitsui K. and Hori M.:
Blood flow velocity and architecture of the pulmonary artery system in the dog.
Microvascular Res. 24: 223-224, 1982
- No. 21 7月 伊藤翼, 前田肇, 入山正, 井島宏, 岡村健二, 三井利夫, 堀原一:
右冠状動脈肺動脈起始症.
胸部外科 35 (7): 493-493, 1982
- No. 22 9月 伊藤翼, 堀原一:
Vascular endoscopy for major vascular surgery.
Langenbeck's Archiv für Chirurgie 357: 196-197, 1982
- No. 23 9月 前田肇, 入山正, 堀原一:
開心術における理想的心筋冷却温を得るための配慮と心臓内持続灌流冷却法.
胸部外科 35 (9): 700-703, 1982
- No. 24 9月 三井利夫, 伊藤翼, 井島宏, 前田肇, 岡村健二, 入山正, 桜井淳一, 福田幾夫, 堀原一:
心房レベルでの開心術と房室伝導障害—房室結節入力 summation の臨床的検討—.
日本外科学会雑誌 83 (9): 940-943, 1982

- No. 25 10月 Hori M. :
Artificial liver : The concept and working hypothesis of hybrid organ :
From a 25 year old anecdote to the 21st century model.
Trans. Amer. Soc. Artif. Intern. Organs 28 : 639-641, 1982
- No. 26 10月 Galletti P.M., Hori M., Sharp D.W. and Stanley J.C. :
Hybrid artificial organs.
Trans. Amer. Soc. Artif. Intern. Organs 28 : 639-646, 1982
- No. 27 10月 三井清文 :
周囲臓器合併切除および上大静脈再建を要する縦隔の悪性腫瘍の手術.
外科 44 (10) : 1020-1026, 1982
- No. 28 11月 樗木等, 大沢幹夫, 酒井章, 園田和彦 :
再弁置換後, 収縮性心膜炎によると思われる装甲心の1治験例.
胸部外科 35 (11) : 882-886, 1982
- No. 29 11月 兵藤一行, 武田徹, 赤塚孝雄, 秋貞雅祥, 松田光生, 前田肇 :
X線画像による造影剤分布の経時的変化追跡についての1考察.
第2回医療情報学連合大会論文集 : 245-248, 1982
- No. 30 12月 中野清治, 橋本明政, 黒沢博身, 石井潔, 林久恵, 小柳仁, 酒井章 :
僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症. 術前心機能よりみた予後判定.
日本胸部外科学会雑誌 30 (12) : 1891-1897, 1982

総 説

- No. 1 1月 高橋美智, 堀原一, 久保武士, 田村やよひ :
医学・看護領域へのシミュレーションの導入.
看護教育 23 (1) : 20-33, 1982
- No. 2 1月 井島宏 :
ショックのメカニズム.
メディカルコンパニオン 2 (1) : 45-48, 1982
- No. 3 2月 三井利夫, 堀原一 :
人工ペースメーカーによる突然死の予防.
臨床科学 18 (2) : 157-164, 1982
- No. 4 2月 Hori M. :
Medical Education Programs : Evaluation and feedback. Chairman's opening remarks.
Proc., Improving University Teaching, Univ. of Maryland, pp. 54-57, 1982
- No. 5 2月 堀原一 :
IUT 医学教育セミナーを司会して.
筑波フォーラム No. 16 : 97-101, 1982
- No. 6 3月 堀原一 :
フレッシュマンセミナー—医学セミナー.
筑波フォーラム No. 17 : 23-28, 1982

- No. 7 3月 堀原一, 赤塚孝雄, 久保武士:
医学専門学群における CAI (Computer Assisted Instruction) の活用.
筑波フォーラム No. 17: 47-54, 1982
- No. 8 3月 伊藤翼, 堀原一:
心臓の生理的ペースングとその方法.
臨床胸部外科 2 (2): 291-294, 1982
- No. 9 4月 堀原一:
カラー図説: 人工肝機能補助装置.
日本臨床 40 (4): 736-737, 1982
- No. 10 4月 井島宏, 堀原一:
血管病変とレオロジー.
臨床と研究 59 (4): 1079-1083, 1982
- No. 11 5月 堀原一:
不整脈 (座長のまとめ).
日本胸部外科学会雑誌 30 (5): 838-839, 1982
- No. 12 6月 堀原一, 赤塚孝雄:
生涯教育のための CAI.
臨床医 8 (6): 986-987, 1982
- No. 13 6月 三井利夫:
ME に関する医師国家試験問題.
臨床医 8 (6): 1020-1023, 1982
- No. 14 7月 堀原一, 三井利夫, 三井清文, 井島宏, 前田肇, 岡村健二, 伊藤翼, 入山正, 蘇原泰則, 遠藤勝幸, 鈴木有二, 桜井淳一, 福田幾夫, 小石沢正, 榊原謙, 鈴木宏昌, 湊直樹:
カンファレンス訪問: 筑波大学臨床医学系外科, 1. 弓部大動脈瘤破裂例に対する動脈瘤空置バイパス術.
胸部外科 35 (7): 568-571, 1982
- No. 15 7月 蘇原泰則, 堀原一:
臓器血液分布と血流配分.
呼吸と循環 30 (7): 715-718, 1982
- No. 16 8月 堀原一, 田中勲:
ワークショップ “より良い客観試験をめざして” 報告.
医学教育 13 (4): 264-269, 1982
- No. 17 8月 堀原一, 三井利夫, 三井清文, 井島宏, 前田肇, 岡村健二, 伊藤翼, 入山正, 蘇原泰則, 遠藤勝幸, 鈴木有二, 桜井淳一, 福田幾夫, 小石沢正, 榊原謙, 鈴木宏昌, 湊直樹:
カンファレンス訪問: 筑波大学臨床医学系外科, 2. 心筋梗塞の既往をもつ80歳肺癌症例の手術適応.
胸部外科 35 (8): 650-653, 1982
- No. 18 9月 堀原一:
人工肝臓の開発.
診断と治療 70 (9): 1835-1838, 1982
- No. 19 9月 三井利夫:
除細動器の使い方と装置の特徴.
治療 64 (9): 1539-1545, 1982

- No. 20 9月 三井利夫：
人工臓器。
資格試験 23 (9) : 3-7, 1982
- No. 21 10月 三井利夫：
ペースメーカー — この1年の進歩。
人工臓器 11 (5) : 883-884, 1982
- No. 22 10月 井島宏：
人工血管 — この1年の進歩。
人工臓器 11 (5) : 884-886, 1982
- No. 23 10月 鈴木有二, 三井清文, 堀原一：
臍胸。
外科 44 (11) : 1258-1263, 1982
- No. 24 10月 三井清文, 堀原一：
人工物移植と感染 — 予防措置を含む。
外科 44 (11) : 1349-1353, 1982
- No. 25 10月 桜井淳一, 堀原一：
心マッサージ法とペースング法。
臨床医 8 (増刊号) : 1691-1701, 1982
- No. 26 10月 前田肇：
Swan-Ganz カテーテル挿入法。
臨床医 8 (増刊号) : 1754-1755, 1982
- No. 27 11月 桜井淳一, 堀原一：
循環器疾患における ME の進歩 — 外科領域。
循環器科 12 (5) : 415-429, 1982
- No. 28 11月 小形岳三郎, 遠藤勝幸：
肺癌の組織分類。
臨床医 8 (11) : 2263-2266, 1982
- No. 29 12月 Bowers J.Z., 堀原一：
最近の米国医学教育についての2, 3の問題。
医学教育 13 (6) : 432-434, 1982
- No. 30 12月 三井利夫：
DDD ペースメーカー。
手術 36 (12) : 1405-1413, 1982

著 書

- No. 1 3月 堀原一：
ICU。
医科学大事典 第1巻, pp. 13-19, 講談社, 東京, 1982
- No. 2 3月 井島宏：
静脈血行再建術。
臨床外科 Year Book 1982-83 (和田達雄監修),
pp. 139-146, メジカルビュー社, 東京, 1982

- No. 3 3月 岡村健二：
循環器外科。
臨床外科 Year Book 1982-83 (和田達雄監修)，
pp. 371-377, メジカルビュー社, 東京, 1982
- No. 4 4月 三井利夫：
人工ペースメーカー。
臨床医学示説 第2巻 外科 ⑤B (浅野献一編)，
pp. 419-441, 近代医学出版社, 船橋, 1982
- No. 5 4月 三井利夫：
伝導障害の診断とペースメーカー治療—房室ブロックについて—。
ペースメーカー治療—その基礎と臨床—，
pp. 48-66, 日本人工臓器学会, 東京, 1982
- No. 6 4月 伊藤翼, 三井利夫, 堀原一：
心臓ペースメーカー。
人工臓器ガイドランス (渥美和彦編)，
pp. 108-137, メジカルフレンド社, 東京, 1982
- No. 7 5月 堀原一：
ショック。
標準外科学 (武藤輝一, 相馬智編), 第3版,
pp. 73-88, 医学書院, 東京, 1982
- No. 8 6月 前田肇, 堀原一：
ME (医用生体工学)。
臨床医学示説 第2巻 外科① (浅野献一編)，
pp. 265-299, 近代医学出版社, 船橋, 1982
- No. 9 7月 堀原一, 赤塚孝雄：
医学教育 CAI プログラム。
医学教育白書1982年版, pp. 91-95, 日本医学教育学会, 東京, 1982
- No. 10 7月 堀原一：
エディフォーメーション。
医科学大事典 第5巻, pp. 78-79, 講談社, 東京, 1982
- No. 11 12月 堀原一：
心臓ペースメーカー。
医科学大事典 第23巻, pp. 120-124, 講談社, 東京, 1982
- No. 12 12月 堀原一：
人工肝臓。
医科学大事典 第24巻, pp. 167-170, 講談社, 東京, 1982
- No. 13 12月 堀原一：
人工臓器。
医科学大事典 第24巻, pp. 215-217, 講談社, 東京, 1982
- No. 14 12月 前田肇：
人工弁の種類と特徴。
外科診療 Q&A (長尾房大編), 追録第4号,
pp. 1120-1123, 六法出版, 東京, 1982

学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

- No. 1 1月 蘇原泰則，三井清文，遠藤勝幸，鈴木有二，森尚義，小形岳三郎，加藤大典：
悪性腫瘍に対する Hpd phototherapy の検討。
第106回茨城外科集談会（水戸），1月，1982
- No. 2 2月 松代彰子，鈴木有二，蘇原泰則，遠藤勝幸，三井清文，堀原一，小形岳三郎：
術後 re-expansion pulmonary edema のみられた巨大縦隔腫瘍の1例。
第42回日本胸部外科学会関東信越地方会（東京），2月，1982
- No. 3 2月 三井利夫，前田肇，福田幾夫，松代彰子，伊藤翼，井島宏，岡村健二，入山正，桜井淳一，堀原一：
咯血にて来院した上行弓部大動脈瘤症例に対する動脈瘤空置バイパス術，特に空置部血栓閉塞機序について。
第42回日本胸部外科学会関東信越地方会（東京），2月，1982
- No. 4 2月 蘇原泰則，三井清文，堀原一：
肺細小動脈血流速度と肺血管系の構築像。
第7回微小循環研究者のつどい（大阪），2月，1982
- No. 5 2月 三井利夫：
特別講演：心臓ペースングによる突然死の予防。
第17回東北不整脈研究会（仙台），2月，1982
- No. 6 2月 福田幾夫，井島宏，前田肇，伊藤翼，入山正，岡村健二，三井利夫，堀原一：
左冠状動脈瘤を合併した大動脈炎症候群の1例。
第103回日本循環器学会関東甲信越地方会（横浜），2月，1982
- No. 7 3月 Kobayashi S., Mitsui K., Hashimoto, K. and Nakada T. :
Drug sensitivity tests using the short-term selective culture method.
Ⅲ World Conference on Lung Cancer（東京），3月，1982
- No. 8 3月 Mitsui K., Sohara Y., Endo K., Suzuki Y., Kobayashi S. and Nakada T. :
Passive cellular immunotherapy against lung cancer by bronchial artery infusion (BAI) with allogeneic leukocytes.
Ⅲ World Conference on Lung Cancer（東京），3月，1982
- No. 9 3月 小形岳三郎，遠藤勝幸：
Clara cell granules in the peripheral adenocarcinoma of the lung.
Ⅲ World Conference on Lung Cancer（東京），3月，1982
- No. 10 3月 Mitsui K., Sohara Y., Endo K., Suzuki Y. and Hasegawa S. :
Successful management of malignant pleural effusion of lung cancer patients: Leukocytes infusion therapy into pleural cavity.
Ⅲ World Conference on Lung Cancer（東京），3月，1982
- No. 11 3月 前田肇，堀原一，三井利夫：
右心室筋の収縮・拡張における不均一性。
第46回日本循環器学会総会（東京），3月，1982
- No. 12 4月 前田肇，堀原一，三井利夫，井島宏，岡村健二，伊藤翼，入山正：
人工弁の流動特性からみた弁縫着法。
第82回日本外科学会総会（千葉），4月，1982

- No. 13 4月 伊藤翼, 桜井淳一, 三井利夫, 前田肇, 井島宏, 入山正, 岡村健二, 堀原一, 佐藤正明:
大動脈バイパス術における血栓形成の進展機序.
第82回日本外科学会総会 (千葉), 4月, 1982
- No. 14 4月 井島宏, 桜井淳一, 伊藤翼, 前田肇, 入山正, 岡村健二, 三井利夫, 堀原一:
静脈再建術における一時的動静脈瘻併設の意義.
第82回日本外科学会総会 (千葉), 4月, 1982
- No. 15 4月 三井利夫, 伊藤翼, 井島宏, 前田肇, 岡村健二, 入山正, 桜井淳一, 福田幾夫, 堀原一:
シンポジウム: 心疾患における外科的刺激伝導障害の成因と対策. 心房レベルでの
開心術と房室伝導障害—房室結節入力 summation の臨床的検討—.
第82回日本外科学会総会 (千葉), 4月, 1982
- No. 16 4月 伊藤翼, 前田肇, 入山正, 井島宏, 岡村健二, 桜井淳一, 三井利夫, 堀原一:
右冠状動脈肺動脈起始症.
第82回日本外科学会総会 (千葉), 4月, 1982
- No. 17 4月 福田幾夫, 井島宏, 伊藤翼, 三井利夫, 堀原一:
Axillo-femoral および femoro-femoral bypass 術後閉塞例.
第10回血管外科研究会 (千葉), 4月, 1982
- No. 18 4月 蘇原泰則, 三井清文, 堀原一:
肺細小動脈血流速度からみた肺動脈系の構築像.
第22回日本胸部疾患学会総会 (東京), 4月, 1982
- No. 19 4月 三井利夫:
伝導障害の診断とペースメーカー治療—房室ブロックについて—.
日本人工臓器学会卒後教育セミナー (大阪), 4月, 1982
- No. 20 4月 Hori M.:
Panel: Hybrid artificial organ. Artificial liver.
American Society for Artificial Internal Organs (Chicago), 4月, 1982
- No. 21 5月 三井利夫, 伊藤翼, 井島宏, 前田肇, 岡村健二, 入山正, 桜井淳一, 福田幾夫, 堀原一:
シンポジウム: 真性胸部大動脈瘤. 真性胸部大動脈瘤に対する動脈瘤空置バイパス
術.
第12回日本心臓血管外科学会総会 (仙台), 5月, 1982
- No. 22 5月 井島宏, 三井清文, 福田幾夫, 桜井淳一, 堀原一:
強制拍動流灌流法.
第12回日本心臓血管外科学会総会 (仙台), 5月, 1982
- No. 23 5月 岡村健二, 福田幾夫, 桜井淳一, 入山正, 伊藤翼, 前田肇, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
活動期感染人工弁置換の経験—手術時期と手技の考察を中心に.
第12回日本心臓血管外科学会総会 (仙台), 5月, 1982
- No. 24 5月 湊直樹, 福田幾夫, 桜井淳一, 伊藤翼, 井島宏, 堀原一:
間歇性跛行を呈した外傷性腹部大動脈解離の1手術治療例.
第705回外科集談会 (東京), 5月, 1982

- No. 25 5月 三井利夫, 堀原一, 須磨幸蔵, 藤森義蔵, 浅野献一, 三枝正裕, 戸川達男, 豊島健, 内山明彦:
シンポジウム: 人工ペースメーカーの作動異常および生体側合併症とその対策. 我が国における自家製ペースメーカーの作動異常と合併症—1963年~1970年代のペースメーカー療法.
第6回心臓ペースング研究会(長崎), 5月, 1982
- No. 26 6月 三井清文, 蘇原泰則, 遠藤勝幸, 鈴木有二, 鬼塚正孝, 小林俊介, 仲田祐:
癌性胸膜炎に対する胸腔内濃厚白血球(リンパ球)注入療法.
第78回抗酸菌病研究会集談会(仙台), 6月, 1982
- No. 27 6月 三井清文, 蘇原泰則, 鈴木有二, 遠藤勝幸, 鬼塚正孝:
胸部悪性腫瘍に対する上大静脈再建およびバイパス手術.
第78回抗酸菌病研究会集談会(仙台), 6月, 1982
- No. 28 6月 蘇原泰則:
生体肺微小循環に関する研究.
第78回抗酸菌病研究会集談会(仙台), 6月, 1982
- No. 29 6月 蘇原泰則:
肺癌に対する Hpd phototherapy の検討.
第78回抗酸菌病研究会集談会(仙台), 6月, 1982
- No. 30 6月 湊直樹, 鬼塚正孝, 鈴木有二, 三井清文, 蘇原泰則, 遠藤勝幸, 秋貞雅祥, 小形岳三郎:
単クローン性高ガンマグロブリン血症を認めた胸腺腫の1例.
第43回日本胸部外科学会関東信越地方会(東京), 6月, 1982
- No. 31 6月 宮淳, 伊藤翼, 三井利夫, 井島宏, 入山正, 前田肇, 岡村健二, 福田幾夫, 堀原一, 島崎修次:
左腎動脈, 左腸骨動脈閉塞を伴う急性解離性大動脈瘤(I型)2期手術による1治療例.
第43回日本胸部外科学会関東信越地方会(東京), 6月, 1982
- No. 32 6月 福田幾夫, 伊藤翼, 鈴木宏昌, 井島宏, 前田肇, 岡村健二, 三井利夫, 堀原一:
術後対麻痺を合併した破裂性胸腹部大動脈瘤の1例.
第43回日本胸部外科学会関東信越地方会(東京), 6月, 1982
- No. 33 6月 山下衛, 渡辺徹, 渡辺トヨ子, 近藤陽一, 斎藤重行, 八文字玲子, 三井利夫, 内藤裕史:
全身麻酔中の経食道的緊急ペースングの検討.
第29回日本麻酔学会総会(前橋), 6月, 1982
- No. 34 6月 Itoh T., Mitsui T., Hori M. and Yamaguchi I.:
Clinical implication of ventricular overdrive pacing in patients with advanced AV block.
9th International Congress on Electrocardiology(東京), 6月, 1982
- No. 35 6月 鬼塚正孝, 鈴木有二, 蘇原泰則, 遠藤勝幸, 三井清文, 仲田充雄, 木内宗甫, 吉江信夫, 小形岳三郎:
肺癌隣接部に転移を示した舌癌の1手術例.
第74回日本肺癌学会関東部会(東京), 6月, 1982

- No. 36 7月 鬼塚正孝, 鈴木有二, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 三井清文, 大塚盛男, 木内宗甫, 小形岳三郎:
気管腫瘍の1手術.
第108回茨城外科集談会(水戸), 7月, 1982
- No. 37 8月 三井清文, 鈴木有二, 蘇原泰則, 鬼塚正孝, 遠藤勝幸:
切除不能進行肺癌に対する気管支動脈内リンパ球注入療法の成績.
第23回日本肺癌学会総会(京都), 8月, 1982
- No. 38 8月 鈴木有二, 鬼塚正孝, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 三井清文, 大塚盛男, 長谷川寛, 木村敬二郎, 渡辺宏, 長谷川鎮雄, 大原潔:
進行肺癌の主要病像に対する積極的な対処.
第23回日本肺癌学会総会(京都), 8月, 1982
- No. 39 8月 鬼塚正孝, 鈴木有二, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 三井清文:
進行肺癌外科治療における他臓器合併切除例の検討.
第23回日本肺癌学会総会(京都), 8月, 1982
- No. 40 8月 小林俊介, 岡田信一郎, 橋本邦久, 仲田祐, 田草川君彦, 三井清文:
ヒト肺腺癌4例の株化樹立と増殖動態・細胞形態の比較検討.
第23回日本肺癌学会総会(京都), 8月, 1982
- No. 41 8月 井島宏:
リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術.
第10回茨城心臓血管研究会(日立), 8月, 1982
- No. 42 9月 木本誠二, 曲直部寿夫, 稲生綱政, 瀧美和彦, 堀原一:
記念座談会: 人工臓器学会20年をかえりみて.
第20回日本人工臓器学会大会(東京), 9月, 1982
- No. 43 9月 桜井淳一, 伊藤翼, 前田肇, 堀原一:
完全右心バイパス術における右心房内バルーンポンピングの右心房機能補助効果.
第20回日本人工臓器学会大会(東京), 9月, 1982
- No. 44 9月 小石沢正, 伊藤翼, 三井利夫, 堀原一:
高度房室ブロックおよび洞不全症候群における心室 overdrive pacing の意義.
第20回日本人工臓器学会大会(東京), 9月, 1982
- No. 45 9月 児玉亮, 広津敏博, 志村幸雄, 津田圭四郎, 井島宏, 前田肇:
グロー放電による人工血管の生体修飾.
第20回日本人工臓器学会大会(東京), 9月, 1982
- No. 46 9月 宮淳, 鬼塚正孝, 鈴木有二, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 三井清文, 長谷川鎮雄, 角田力弥, 小形岳三郎, 小島瑞:
肋骨原発の Ewing's sarcoma の1手術例.
第109回茨城外科集談会(東海村), 9月, 1982
- No. 47 9月 厚美直孝, 鬼塚正孝, 鈴木有二, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 三井清文, 角田力弥, 小形岳三郎, 小島瑞, 吉田景武, 折居和雄:
高度の気管支狭窄に対し YAG レーザー治療を行った肺癌の1例.
第109回茨城外科集談会(東海村), 9月, 1982
- No. 48 9月 福田幾夫, 鈴木宏昌, 井島宏, 前田肇, 岡村健二, 三井利夫, 堀原一, 伊藤翼:
腹部大動脈に entry を有し, 逆行性に進展した解離性大動脈瘤の1例.
第706回外科集談会(所沢), 9月, 1982

- No. 49 9月 榊原謙, 福田幾夫, 厚美直孝, 井島宏, 岡村健二, 前田肇, 三井利夫, 堀原一:
Nonketotic hyperosmolar coma と nonoliguric renal failure を併発した解離性大動脈瘤術後症例.
第706回外科集談会(所沢), 9月, 1982
- No. 50 9月 足立信也, 三井利夫, 福田幾夫, 榊原謙, 小石沢正, 岡村健二, 前田肇, 井島宏, 堀原一, 近森文夫, 厚美直孝, 宮淳, 山口巖:
洞不全症候群に対する DDD ペーシング.
第105回日本循環器学会関東甲信越地方会(自治医大), 9月, 1982
- No. 51 10月 鬼塚正孝, 三井清文, 鈴木有二, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 堀原一:
CUSA(超音波外科用吸引装置)を用いた肺部分切除術の検討.
第35回日本胸部外科学会総会(名古屋), 10月, 1982
- No. 52 10月 蘇原泰則, 鬼塚正孝, 三井清文, 鈴木有二, 遠藤勝幸, 堀原一, 小形岳三郎, 加藤大典:
アルゴンレーザー光を用いた Hpd 光化学療法 of 悪性腫瘍に対する臨床的検討.
第35回日本胸部外科学会総会(名古屋), 10月, 1982
- No. 53 10月 鈴木有二, 三井清文, 蘇原泰則, 遠藤勝幸, 鬼塚正孝:
EPTFE graft による胸部大静脈再建の実験的・臨床的検討.
第35回日本胸部外科学会総会(名古屋), 10月, 1982
- No. 54 10月 酒井章, 大沢幹夫, 梶木等, 園田和彦:
カリウム付加低温低流量血液冠灌流法による心筋保護の臨床成績.
第35回日本胸部外科学会総会(名古屋), 10月, 1982
- No. 55 10月 入山正, 会田博, 清水健, 前田肇, 桜井淳一, 堀原一:
開心術における大動脈遮断解除時の心筋 reperfusion injury の予防.
第35回日本胸部外科学会総会(名古屋), 10月, 1982
- No. 56 10月 前田肇, 福田幾夫, 桜井淳一, 岡村健二, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
人工心肺を用いない右心室流出路拡大術(wire guided knife).
第35回日本胸部外科学会総会(名古屋), 10月, 1982
- No. 57 10月 三井利夫, 湊直樹, 井島宏, 前田肇, 岡村健二, 桜井淳一, 福田幾夫, 小石沢正, 榊原謙, 堀原一:
僧帽弁狭窄症例における左心房コンプライアンス.
第35回日本胸部外科学会総会(名古屋), 10月, 1982
- No. 58 10月 岡村健二, 榊原謙, 小石沢正, 福田幾夫, 桜井淳一, 伊藤翼, 前田肇, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
僧帽弁狭窄症の術後遠隔成績—左心機能の評価からみた手術術式の検討—.
第35回日本胸部外科学会総会(名古屋), 10月, 1982
- No. 59 10月 伊藤翼, 桜井淳一, 福田幾夫, 井島宏, 前田肇, 岡村健二, 三井利夫, 堀原一:
胸腹部大動脈瘤への新しい外科的アプローチとその根拠.
第35回日本胸部外科学会総会(名古屋), 10月, 1982
- No. 60 10月 井島宏, 福田幾夫, 伊藤翼, 榊原謙, 小石沢正, 前田肇, 岡村健二, 三井利夫, 堀原一:
解離性大動脈瘤 DeBakey III型16症例の検討.
第35回日本胸部外科学会総会(名古屋), 10月, 1982
- No. 61 10月 蘇原泰則, 高橋伸禎, 三井清文, 鈴木有二, 鬼塚正孝, 遠藤勝幸, 川田高俊:
術前 CO₂ narcosis をきたした巨大胸腺腫の1手術例.
第1回胸腺研究会(名古屋), 10月, 1982

- No. 62 10月 三井清文, 蘇原泰則, 鈴木有二, 鬼塚正孝, 遠藤勝幸:
上大静脈再建を行った悪性胸腺腫瘍の3例.
第1回胸腺研究会(名古屋), 10月, 1982
- No. 63 11月 鬼塚正孝, 鈴木有二, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 三井清文:
進行肺癌における隣接臓器合併切除例の検討.
第4回茨城医学会外科分科会(第110回茨城外科集談会)(水戸), 11月, 1982
- No. 64 11月 池袋賢一, 鬼塚正孝, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 三井清文, 鈴木有二, 玉城允之, 金沢一郎,
中西孝雄, 佐藤重仁, 山下衛, 内藤裕史:
重症筋無力症に対する外科療法の成績.
第4回茨城医学会外科分科会(第110回茨城外科集談会)(水戸), 11月, 1982
- No. 65 11月 三井清文, 蘇原泰則, 鬼塚正孝, 遠藤勝幸, 堀原一, 木内宗甫, 三浦健, 鈴木有二, 中
村宏, 岡本浩平, 登内真, 高安俊介:
治療に難渋した外傷性気管断裂の1治験例.
第4回茨城医学会外科分科会(第110回茨城外科集談会)(水戸), 11月, 1982
- No. 66 11月 榊原謙, 足立信也, 厚美直孝, 近森文夫, 福田幾夫, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
大動脈弓分枝閉塞性病変による subclavian steal phenomenon を呈した3症例.
第4回茨城医学会外科分科会(第110回茨城外科集談会)(水戸), 11月, 1982
- No. 67 11月 前田肇, 伊藤翼, 岡村健二, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
体静脈圧の正規分布からみた体静脈還流異常.
第23回日本脈管学会総会(岐阜), 11月, 1982
- No. 68 11月 蘇原泰則, 三井清文, 堀原一:
肺微小血管血流速度の実時間表示に関する検討.
第23回日本脈管学会総会(岐阜), 11月, 1982
- No. 69 11月 井島宏, 伊藤翼, 吉沢卓, 榊原謙, 湊直樹, 福田幾夫, 三井利夫, 堀原一:
血行再建術後の稀な合併症と対策.
第23回日本脈管学会総会(岐阜), 11月, 1982
- No. 70 11月 榊原謙, 桜井淳一, 井島宏, 岡村健二, 前田肇, 三井利夫, 堀原一:
心臓大血管疾患に合併した DIC 症候群の2例.
第23回日本脈管学会総会(岐阜), 11月, 1982
- No. 71 11月 福田幾夫, 井島宏, 伊藤翼, 桜井淳一, 岡村健二, 前田肇, 三井利夫, 堀原一:
対麻痺を合併した大動脈瘤3例の検討.
第23回日本脈管学会総会(岐阜), 11月, 1982
- No. 72 11月 井島宏, 福田幾夫, 湊直樹, 伊藤翼, 三井利夫, 堀原一:
腹部大動脈に entry を有する解離性大動脈瘤の2手術治験例.
第23回日本脈管学会総会(岐阜), 11月, 1982
- No. 73 11月 三井清文, 鬼塚正孝, 蘇原泰則, 遠藤勝幸, 鈴木有二:
心タンポナーデに対する胸骨穿孔術による緊急心臓腔ドレナージ.
第6回茨城県救急医学会(水戸), 11月, 1982
- No. 74 11月 蘇原泰則, 三井清文:
シンポジウム: 呼吸器領域の救急. CO₂ ナルコーシス.
第6回茨城県救急医学会(水戸), 11月, 1982

- No. 75 11月 石川成美, 越智五平, 金子道夫, 監物久夫, 坂庭操, 高橋正彦, 大川治夫, 沢口重徳, 鬼塚正孝, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 三井清文, 近藤陽一, 水谷太郎, 渡辺誠治, 鈴木有二:
小児気管支内異物の治療.
第6回茨城県救急医学会(水戸), 11月, 1982
- No. 76 11月 恒川謙吾, 堀原一:
シンポジウム: ショックと自律神経. 司会のことば.
第35回日本自律神経学会総会(鹿児島), 11月, 1982
- No. 77 11月 前田肇, 堀原一:
シンポジウム: ショックと自律神経. ショックとその補助循環治療における頸動脈
洞神経と腎動脈神経の活動.
第35回日本自律神経学会総会(鹿児島), 11月, 1982
- No. 78 11月 井島宏, 榊原謙, 堀原一:
シンポジウム: 自律神経剤の臨床. アドレナリン作動薬.
第35回日本自律神経学会総会(鹿児島), 11月, 1982
- No. 79 11月 蘇原泰則, 三井清文, 堀原一:
肺微小血管血流速度の実時間測定連続表示法の開発.
第8回微小循環研究会(久留米), 11月, 1982
- No. 80 11月 福田幾夫, 松田光生, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
解離性大動脈瘤に対する超音波パルス・ドップラー法の意義.
第2回血管に関する無侵襲診断法研究会(岐阜), 11月, 1982
- No. 81 11月 兵藤一行, 武田徹, 赤塚孝雄, 秋貞雅祥, 松田光生, 前田肇:
X線画像による造影剤分布の経時的変化追跡についての1考察.
第2回医学・生物学に関する情報学連合大会(東京), 11月, 1982
- No. 82 11月 酒井章, 大沢幹夫, 星野修一, 天野茂夫, 西口克彦:
超末熟児のPDA結紮術における手術器具の工夫.
第44回日本胸部外科学会関東信越地方会(川崎), 11月, 1982
- No. 83 12月 鬼塚正孝, 三井清文, 蘇原泰則, 鈴木有二, 遠藤勝幸, 中川晴夫, 松下和子, 軸屋智昭,
折居和雄:
Guillain-Barré症候群を合併した肺癌の1治験例.
第75回日本肺癌学会関東部会(東京), 12月, 1982
- No. 84 12月 三井清文, 蘇原泰則, 鬼塚正孝, 遠藤勝幸, 鈴木有二, 中川晴夫, 小林俊介, 仲田祐:
気管支動脈内リンパ球注入療法を行った進行肺癌の長期生存例.
第75回日本肺癌学会関東部会(東京), 12月, 1982
- No. 85 12月 木村敬二郎, 長谷川鎮雄, 遠藤勝幸, 高野佐重喜:
肺, 胸腔内腫瘍の超音波診断—胸膜, 胸壁および横隔膜への浸潤について.
日本超音波医学会第41回研究発表会(仙台), 12月, 1982
- No. 86 12月 小林俊介, 岡田信一郎, 佐藤雅美, 橋本邦久, 仲田祐, 三井清文:
In vitro 制癌剤感受性試験法による制癌剤の至適投与法に関する検討.
第79回抗酸菌病研究会集談会(仙台), 12月, 1982

- No. 87 12月 池袋賢一, 福田幾夫, 榊原謙, 小石沢正, 酒井章, 岡村健二, 前田肇, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
解離性大動脈瘤 (DeBakey I 型) 術後の吻合部仮性大動脈瘤の1手術治験例.
第106回日本循環器学会関東甲信越地方会 (東京), 12月, 1982
- No. 88 12月 榊原謙, 小石沢正, 福田幾夫, 酒井章, 井島宏, 三井清文, 島崎修次, 三井利夫, 堀原一, 鈴木恵子, 野口雅之, 小形岳三郎:
Recklinghausen 病に合併した右鎖骨下動脈断裂の1例.
第707回外科集談会 (東京), 12月, 1982

班研究報告

- No. 1 2月 前田肇:
右心室流出部自由壁の収縮・拡張特性.
昭和57年度厚生省循環器病研究委託 (心臓の収縮弛緩における特性に関する研究), 第2回班会議 (大阪), 2月, 1982
- No. 2 6月 前田肇, 堀原一:
右心室自由壁の収縮拡張様式に関する研究.
厚生省循環器病研究委託 心臓の収縮弛緩における特性に関する研究, 昭和54年~56年度研究成果報告書, pp. 71-78, 1982
- No. 3 8月 三井利夫:
僧帽弁膜症における左房肺静脈系動態.
昭和57年度厚生省循環器病研究委託 (静脈系コンプライアンスに関する研究), 第1回班会議 (大阪), 8月, 1982
- No. 4 8月 前田肇:
自律神経反射からみた心臓性ショックと出血性ショックの差異.
昭和57年度厚生省循環器病研究委託 (心臓性ショックの病態と治療), 第1回班会議 (東京), 8月, 1982
- No. 5 10月 入山正, 前田肇, 桜井淳一:
心筋冷却維持装置の作製と心筋保護効果についての研究.
厚生省循環器病研究委託 心臓手術における心筋保護に関する基礎的ならびに臨床的研究, 昭和56年度研究報告集, pp. 337-338, 1982
- No. 6 10月 前田肇:
右心室自由壁の収縮拡張様式に関する研究.
厚生省循環器病研究委託 心臓の収縮弛緩における特性に関する研究, 昭和56年度研究報告集, p. 37, 1982
- No. 7 10月 井島宏:
低圧系伸展受容器反射の影響.
厚生省循環器病研究委託 循環中枢による心臓制御機構の生理学的研究, 昭和56年度研究報告集, pp. 274-275, 1982
- No. 8 10月 伊藤翼:
解離性大動脈瘤の診断と治療における血管内視鏡の応用.
厚生省循環器病研究委託 解離性大動脈瘤の発生機序と診断, 治療に関する研究, 昭和56年度研究報告集, p. 356, 1982

その他（放送，座談会，講演会などで学術的なもの）

- No. 1 1月 堀原一（司会），尾本良三，羽生富士夫，泉雄勝：
外科における超音波診断。

外科 44（1）：14-29，1982

- No. 2 4月 三井清文：
肺癌の外科療法。

茨城県南呼吸器同好会（土浦），4月19日，1982

- No. 3 7月 堀原一：
卒後教育にはもっと大きな問題がある。

Hi-Medic 3（7）：16-16，1982

- No. 4 12月 鬼塚正孝，中川晴夫，鈴木有二，遠藤勝幸，蘇原泰則，三井清文：
肺 small cell carcinoma の脊髄内転移例。

第1回筑波脳神経外科研究会（筑波大学），12月11日，1982

補 遺 （1974年～1980年分）

1974年分

著 書

- 1974年 7月 堀原一：
不整脈に対する心臓ペースングと外科的治療。

内科シリーズ 15巻（上田英雄編），pp.282-294，
南江堂，東京，1974

学会発表

- 1974年 4月 須磨幸蔵，中島一己，石井信行，辻隆之，大島宣雄，堀原一，戸川達男，神谷瞭：
圧負荷による心臓の機能判定と作業状態に関する研究。

第38回日本循環器学会総会（京都），4月，1974

- 1974年 4月 大島宣雄，須磨幸蔵，辻隆之，佐藤育男，堀原一：
Ejection fraction の簡単な測定法。

第13回日本ME学会大会（東京），4月，1974

- 1974年 4月 須磨幸蔵，堀原一，三井利夫，藤森義蔵，三枝正裕，戸川達男，豊島健：
誘導型ペースメーカー10年の使用経験。

第13回日本ME学会大会（東京），4月，1974

1975年分

原 著

- 1975年 8月 三井利夫，田中尊臣，三枝正裕：
ペースメーカー症候群。

胸部外科 28（8）：599-602，1975

- 1975年 8月 水野明，三井利夫，布施勝生，井下宏司，進藤剛毅，山口貴司，中山至誠，古田直樹，
池上武彦：

心房中隔欠損症——遠隔成績と永続性不整脈について。

肺と心 22（3）：213-220，1975

1975年 11月 布施勝生, 水野明, 三井利夫, 古瀬彰, 松本博志, 三枝正裕:
心房中隔欠損症術後の不整脈.

心臓 7 (11): 1278-1284, 1975

1975年 12月 須磨幸蔵, 辻隆之, 三井利夫, 藤森義蔵, 三枝正裕, 堀原一, 浅野献一, 戸川達男, 内山明彦:

ペースメーカー植え込み後11年以上経過し, とくに直接誘導型ペースメーカーで10年以上無事故で経過している房室ブロック症例について.

心臓 7 (14): 1678-1685, 1975

総 説

1975年 4月 三井利夫, 三枝正裕:

心臓ペーシングの歴史と進歩.

現代医療 7 (4): 459-464, 1975

著 書

1975年 11月 三井利夫 (訳):

刺激生成障害.

フリードバーグ心臓病学 (C. K. Friedberg : Disease of the Heart)
(吉利和他監訳), pp.533-567, 広川書店, 東京, 1975

学会発表

1975年 4月 須磨幸蔵, 中島一己, 石井信行, 保浦賢三, 辻隆之, 堀原一, 三井利夫, 藤森義蔵, 三枝正裕, 戸川達男, 豊島健, 根本栄之:

ペースメーカーにおける誘導方式の臨床経験とその応用.

第75回日本外科学会総会 (岡山), 4月, 1975

1975年 4月 須磨幸蔵, 堀原一, 豊島健, 三井利夫, 藤森義蔵, 三枝正裕, 戸川達男:

有芯コイル状電極10年の使用成績.

第14回日本ME学会大会 (東京), 4月, 1975

1975年 5月 三井利夫:

シンポジウム: 人工臓器の現状と将来. ペースメーカー.

第50回日本医科器械学会大会 (東京), 5月, 1975

1975年 5月 須磨幸蔵, 辻隆之, 三井利夫, 藤森義蔵, 三枝正裕, 堀原一, 浅野献一, 戸川達男:

ペースメーカー植込み後11年, 直接誘導型ペースメーカーで10年を経過した房室ブロックの1症例.

第76回日本循環器学会関東甲信越地方会 (東京), 5月, 1975

1975年 9月 進藤剛毅, 三井利夫, 清水進, 古田直樹, 呉大順, 古瀬彰, 水野明, 三枝正裕:

再三にわたり心内膜電極離脱をきたした症例の心臓動態的検討.

第13回日本人工臓器学会大会 (東京), 9月, 1975

1976年分

原 著

1976年 2月 横山正義, 遠藤真弘, 関口守衛, 堀原一:

房室ブロック患者における心臓ペーシング4年生存率について.

内科 37 (2): 317-319, 1976

- 1976年 2月 布施勝生, 水野明, 吉竹毅, 三井利夫, 三枝正裕, 柳沢正義:
心室中隔欠損症を伴った左肺形成不全の1例.
胸部外科 29(2): 135-139, 1976
- 1976年 3月 丹治康浩, 堀原一:
心室細動と受攻期.
呼吸と循環 24(3): 252-252, 1976
- 1976年 4月 須磨幸蔵, 三井利夫, 藤森義蔵, 三枝正裕, 堀原一, 戸川達男:
8年間使用したステンレス鋼有芯コイル電極について.
人工臓器 5(2): 117-120, 1976
- 1976年 5月 丹治康浩, 堀原一:
心室細動と交流刺激.
呼吸と循環 24(5): 388-388, 1976
- 1976年 8月 横山正義, 遠藤真弘, 関口守衛, 今井健雄, 堀原一:
ペースメーカー心筋電極の断線好発部と断線後のペースング持続について.
心臓 8(8): 888-892, 1976
- 1976年 10月 岡井治, 渡辺瞭, 斎藤正男, 堀原一:
循環系の多項式モデル.
医用電子と生体工学 14(5): 399-404, 1976
- 1976年 10月 岡井治, 堀原一:
心拍出血流波形計算器.
医用電子と生体工学 14(5): 411-414, 1976
- 1976年 11月 横山正義, 堀原一:
ペースメーカー植込み後のCRP値, 白血球数, 赤沈の変動.
日本胸部外科学会雑誌 24(11): 1469-1472, 1976
- 1976年 11月 横山正義, 遠藤真弘, 関口守衛, 堀原一:
ペースメーカー植込み後閾値上昇により過常期興奮を生じた1例.
呼吸と循環 24(11): 991-994, 1976
- 1976年 11月 布施勝生, 三井利夫, 水野明, 三枝正裕:
心房中隔欠損症術後症例の洞結節機能低下と房室伝導障害について.
心臓 8(11): 1139-1147, 1976
- 1976年 12月 横山正義, 遠藤真弘, 関口守衛, 堀原一:
ペースメーカーリチウム電池のX線像—ガス様像について.
人工臓器 5(6): 328-331, 1976

総説

- 1976年 3月 Suma K., Sekiguchi M., Takeda Y., Mitsui T., Kimura E. and Hori M.:
Tawara Memorial Note: In commemoration of the Vth International
Symposium on Cardiac Pacing, pp. 3-28, 日本心臓財団・日本循環器学会・
日本ME学会, 1976
- 1976年 3月 堀原一:
医学教育の新構想.
筑波フォーラム No.1: 45-60, 1976

- 1976年 4月 堀原一：
筑波大学医学専門学群の人間生物学カリキュラム。
医学教育 7(2): 96-104, 1976
- 1976年 6月 堀原一：
人間生物学における循環系コースのカリキュラム。
医学教育 7(3): 181-188, 1976
- 1976年 6月 堀原一：
筑波大学医学専門学群における診断学カリキュラムの位置づけ。
医学教育 7(3): 199-201, 1976
- 1976年 8月 横山正義, 遠藤真弘, 小原邦義, 堀原一：
ペースメーカー植え込み時の感染予防について。
胸部外科 29(8): 545-547, 1976

著 書

- 1976年 10月 三井利夫(訳)：
心臓, 先天性疾患。
最新の外科診断と治療 (J.E. Dunphy and L.W. Way : Current Surg. Diag. & Treat.) (石川浩一他監訳), pp. 369-409, 丸善, 東京, 1976

学会発表

- 1976年 3月 杉下靖郎, 三井利夫, 伊藤巖, 村尾覚：
冠狭窄時の冠血流反応性に関する研究。
第40回日本循環器学会総会(岐阜), 3月, 1976
- 1976年 3月 布施勝生, 水野明, 池上武彦, 三枝正裕, 三井利夫：
Pacing 症例における心機能からみた心胸廓比の推移。
第40回日本循環器学会総会(岐阜), 3月, 1976
- 1976年 9月 古瀬彰, 水野明, 三井利夫, 布施勝生, 古田直樹, 須藤憲一, 三枝正裕：
Fallot 四徴症根治手術後の伝導障害の検討。
第29回日本胸部外科学会総会(神戸), 9月, 1976
- 1976年 9月 布施勝生, 呉大順, 三井利夫, 古田直樹, 須藤憲一, 水野明, 三枝正裕：
非透視下鎖骨下静脈穿刺法による緊急 pacing 法。
第29回日本胸部外科学会総会(神戸), 9月, 1976

そ の 他

- 1976年 2月 渥美和彦, 斎藤正男, 水野克己, 中林宣男, 川島康生, 大島宣雄ほか, 堀原一(特別発言)：
シンポジウム：人工臓器の今後における問題点—理工学と医学の接点を中心として。
人工臓器 5(1): 3-8, 1976
- 1976年 3月 堀原一：
講義のない McMaster 大学医学部。
医学振興 No.6, p.3, 日本私立医科大学協会, 1976
- 1976年 9月 堀原一：
医学教育カリキュラム。
Nova Angiologicae 14(5): 1-1, 1976

- 1976年 11月 堀原一（三瀬淳一司会）：
不整脈の診断と治療。人工ペースメーカーの臨床的適応。
第6回西日本循環器研究会（宇部），11月，1976
- 1976年 12月 尾島昭次，牛場大蔵，岡島道夫，鈴木淳一，渋谷憲一，高垣東一郎，中川米造，額田
粂，堀原一，吉岡昭正：
選抜検討委員会報告。
医学教育 7（6）：361-365，1976
- 1977年分**
原 書
- 1977年 1月 金崎世紀子，大島宣雄，堀原一，関口守衛，前島一郎：
急性心筋梗塞発症後の血液粘度と血液酵素レベルの変動。
脈管学 17（1）：55-56，1977
- 1977年 1月 古瀬彰，水野明，三井利夫，布施勝生，井上宏司，須藤剛毅，山口貴司，須藤憲一，三
枝正裕：
大動脈弁置換術後不整脈の検討。
胸部外科 30（1）：53-59，1977
- 1977年 2月 三井清文：
私の好んで行う癌免疫療法（癌局所動脈内濃厚白血球注入療法）。
手術 31（2）：179-187，1977
- 1977年 3月 丹治康浩，堀原一：
マクロシヨックと心室細動。
呼吸と循環 25（3）：212-212，1977
- 1977年 4月 横山正義，遠藤真弘，関口守衛，今井健雄，堀原一：
ペースメーカーの reed switch 故障の1例。
人工臓器 6（2）：80-82，1977
- 1977年 4月 三井清文：
発癌動物に対するリンパ球移入による癌免疫療法と臨床進行癌に対する濃厚白血球注入
療法の成績。
癌の臨床 23（4）：673-676，1977
- 1977年 6月 岡井治，堀原一：
心拍数と総末梢抵抗とからみた自律神経系の緊張度。
自律神経 14（3）：144-148，1977
- 1977年 6月 横山正義，遠藤真弘，関口守衛，林久恵，堀原一，斎藤義明：
使用していない心筋電極によるデマンドペースメーカー偽抑制。
人工臓器 6（3）：138-141，1977
- 1977年 8月 久保武士，山口峻司，加納克巳，赤塚孝雄，堀原一，内藤裕史，阿南功一：
筑波大学における CAI—医学教育コースの開発。
医学教育 8（4）：229-231，1977
- 1977年 8月 赤塚孝雄，堀原一，橋本達一郎，阿南功一：
筑波大学医学専門学群における学習評価システムの開発。
医学教育 8（4）：236-241，1977

- 1977年 9月 岡井治, 堀原一, 長嶋長節:
大動脈血管容積変化による心拍出量の推定.
脈管学 17(6): 571-574, 1977
- 1977年 9月 横山正義, 遠藤真弘, 関口守衛, 堀原一:
遠隔期に閾値上昇のためペースング不全をきたした2症例.
日本胸部外科学会雑誌 25(9): 1211-1215, 1977
- 1977年 10月 布施勝生, 呉大順, 三井利夫, 古田直樹, 幕内晴朗, 水野明, 三枝正裕:
非透視下鎖骨下静脈穿刺法による緊急ペースング法.
心臓 9(10): 895-898, 1977
- 1977年 11月 Okai O. and Hori M.:
Autonomic nervous tone as viewed from heart rate and peripheral resistance.
Proceedings of XVIII International Congress of Neurovegetative Research, pp. 139-145, 1977
- 1977年 12月 横山正義, 遠藤真弘, 関口守衛, 堀原一:
リチウム電池内蔵ペースメーカーの3年遠隔成績.
胸部外科 30(12): 979-982, 1977
- 総 説
- 1977年 4月 堀原一:
推薦入学一筑波大学(医学専門学群を除く)の例を中心に.
医学教育 8(2): 115-117, 1977
- 1977年 6月 堀原一:
筑波大学における最近の Teacher Training プロジェクト.
医学教育 8(3): 188-190, 1977
- 1977年 8月 堀原一, 鈴木淳一:
医学教育における教育工学. 序説.
医学教育 8(4): 211-211, 1977
- 著 書
- 1977年 5月 Tamura F. and. Hori M.:
Volume effect for excitation of ventricular muscle.
Cardiac Pacing (Watanabe Y. 編), pp. 58-65, Excerpta Medica, Amsterdam, 1977
- 学会発表
- 1977年 4月 布施勝生, 三井利夫, 大川真一郎, 杉浦昌也:
シンポジウム: 不整脈の外科, Pacemaker 治療の限界.
第41回日本循環器学会総会(東京), 4月, 1977
- 1977年 9月 三井清文, 井島宏, 三井利夫, 伊藤翼, 前田肇, 岡村健二, 堀原一, 須摩崎亮, 佐野元昭, 小関迪, 杉下靖郎, 伊藤巖:
胸骨穿孔術により心嚢腔ドレナージを行った心タンポナーデ症例の検討.
第686回外科集談会(東京), 9月, 1977

その他

- 1977年 2月 堀原一(木村栄一司会):
人工ペースメーカーの臨床. 人工ペースメーカーの理想と限界.
第12回東日本循環器巡回シンポジウム(東京), 2月, 1977
- 1977年 8月 伊藤翼, 堀原一:
発展する冠状動脈再建術.
Modern Medicine 77-8:100-101, 1977
- 1977年 12月 山村秀夫, 堀原一, 阿曾弘一:
ショックの診かた. 座談会: 1. ショックをめぐる.
Kanebo Medic No. 19:1-8, 1977

1978年分 原 著

- 1978年 3月 Fuse K., Mitsui T., Ohkawa S. and Sugiura M.:
Clinical and pathological factors influencing the prognosis of the long-term paced patients.
Jap. Circul. J. 42(3):269-278, 1978
- 1978年 7月 島津和彦, 横山正義, 和田寿郎, 堀原一:
伸展性外科縫合糸の試作及び臨床使用について.
医科器械学 48(7):347-348, 1978
- 1978年 7月 赤塚孝雄, 堀原一, 橋本達一郎, 阿南功一:
学習評価方法についての一考察.
電子通信学会研究会報告 ET 78-6:7-10, 1978
- 1978年 7月 久保武士, 赤塚孝雄, 山口峻司, 深尾立, 加納克巳, 牧野誠夫, 内藤裕史, 堀原一:
患者シミュレーション CAI コースの開発.
電子通信学会研究会報告 ET 78-6:11-14, 1978
- 1978年 7月 加納克巳, 山口峻司, 牧野誠夫, 久保武士, 堀原一, 赤塚孝雄:
医学 CAI プログラムの学習効果の検討.
電子通信学会研究会報告 ET 78-6:15-18, 1978
- 1978年 10月 Akatsuka T., Hori M., Anan K., Hashimoto T., Kubo T. and Fukao T.:
Development of a computer system for medical education.
Proceedings of International Symposium on Medical Information System, pp.41-44, 1978

総 説

- 1978年 5月 三井利夫:
心臓ペースメーカーによる不整脈の治療.
からだの科学 No.81:28-32, 1978
- 1978年 6月 寺岡甲太, 石原達也, 今井健雄, 堀原一:
最近の植込み型心臓ペースメーカー用電源について.
人工臓器 7(3):501-508, 1978

1978年 9月 Suma K., Yokoyama M., Taniguchi K., Tsuji T., Nishimura M., Harumi K. and Hori M.:

History of cardiology in Japan from Meiji Restoration to the 1950s.

VIII World Congress of Cardiology Abstract II : 95-127, 1978

1978年 12月 堀原一:

問題解決力と創造力の教育.

筑波フォーラム No.5 : 53-56, 1978

著書

1978年 9月 Hori M.:

The changing picture of indications and the choice of cardiac pacemakers in the treatment of arrhythmias.

Cardiology, International Congress Series 470, pp.982-984, Excerpta Medica, Amsterdam, 1978

その他

1978年 1月 堀原一:

医学教育の改革.

MRC-Flash 4(1): 6-9, 1978

1978年 5月 堀原一:

特別講演: ショックの病態と治療.

第17回岐阜循環器疾患研究会(岐阜), 5月, 1978

1979年分

原著

1979年 3月 山口徹, 田村勤, 檜山輝男, 山口巖, 三井利夫, 堀原一:

頻脈治療における paired 刺激の有効性について.

心臓ペースング, 第2回ペースメーカーに関する公開研究会プロシーディングス, pp. 21-24, 日本循環器学会・日本ME学会ペースメーカー委員会, 1979

総説

1979年 3月 橋本達一郎, 堀原一:

医学専門学群における入学者選抜.

筑波フォーラム No.7 : 66-79, 1979

1979年 6月 堀原一:

第20回日本医学会総会と人工臓器.

人工臓器 8(3) 420-421, 1979

1979年 10月 尾島昭次, 堀原一:

医学校における入学者選抜はどう変りつつあるか.

医学教育 10(5): 296-298, 1979

学会発表

1979年 6月 堀原一:

特別講演: 循環の低圧系の臨床生理.

東北医学会(仙台), 6月, 1979 (東北医学雑誌 92(2): 126-126, 1979)

1979年 11月 堀原一, 久保武士, 赤塚孝雄, 深尾立, 橋本達一郎:
急性腹症患者シミュレーションプログラム—医学臨床教育 CAI システムの開発.
第4回 CAI 学会 (東京), 11月, 1979

1980年分

原 著

1980年 3月 山口徹, 田村勤, 檜山輝男, 前田肇, 岡村健二, 入山正, 三井利夫, 堀原一, 松田光生, 小形岳三郎:
右室奇形腫の1治験例.

J. Cardiology 10 (1): 297-310, 1980

1980年 10月 進藤剛毅, 水野明, 古瀬彰, 清水進, 三枝正裕, 布施勝生, 三井利夫:
再三にわたり心内膜電極離脱をきたした2症例の心臓動態的検討—心内膜電極固定困難症—.

心臓 12 (10): 1146-1151, 1980

総 説

1980年 1月 三井利夫:
脈の異常の外科治療.

からだの科学 No.91: 45-49, 1980

1980年 2月 堀原一:
インテグレートッドカリキュラムにおけるコーディネーターの役割とあり方.

医学教育 11 (1): 29-31, 1980

1980年 5月 橋場邦武, 高木誠, 小松作蔵, 桜井淑史, 細田瑳一, 堀原一, 三井利夫, 杉本恒明, 岩喬ほか:
洞不全症候群 (sick sinus syndrome) 患者調査結果の中間報告.

心臓ペースング, 第3回ペースメーカーに関する公開研究会プロシーディングス, pp.27-32, 日本循環器学会・日本ME学会ペースメーカー委員会, 1980

1980年 8月 三井利夫:
外国製心臓ペースメーカーの種類と性能.

日本医事新報 No.2937: 145-146, 1980

1980年 12月 尾島昭次, 堀原一, 牛場大蔵ほか:
私立医学校における55年度入学者選抜の概況.

医学教育 11 (6): 326-336, 1980

学会発表

1980年 6月 Hori M.:
Plenary Symposium: Selection of optimal pacing systems (Furman S. and Neufeld H.N., chairs). Is ventricular pacing obsolete?
1st Asian-Pacific Symposium on Cardiac Pacing (Jerusalem), 6月, 1980

1980年 6月 Hori M. and Escher D. (chairs):
Follow-up of paced patients.
1st Asian-Pacific Symposium on Cardiac Pacing (Jerusalem), 6月, 1980

班研究報告

1980年 3月 堀原一，赤塚孝雄，久保武士：

医療分野におけるCAIの位置づけ。

昭和53，54年度文部省科学研究費補助金試験研究（2）シミュレーションを用いた医学教育：ペーパーペイシェントに基いた医学 CAI システムの開発研究（研究代表者橋本達一郎）研究成果報告書，pp. 8-12，1980

1980年 3月 久保武士，深尾立，赤塚孝雄，堀原一，内藤裕史，山口峻司：

患者シミュレーション CAI コースの開発。

昭和53，54年度文部省科学研究費補助金試験研究（2）シミュレーションを用いた医学教育：ペーパーペイシェントに基いた医学 CAI システムの開発研究（研究代表者橋本達一郎）研究成果報告書，pp. 13-23，1980

1980年 3月 加納克巳，山口峻司，赤塚孝雄，牧野誠夫，久保武士，堀原一：

基礎及び杜学医学における CAI プログラムの試行テスト。

昭和53，54年度文部省科学研究費補助金試験研究（2）シミュレーションを用いた医学教育：ペーパーペイシェントに基いた医学 CAI システムの開発研究（研究代表者橋本達一郎）研究成果報告書，pp. 24-31，1980

その他

1980年 2月 堀原一：

ショックの臨床。

第18回モダンメディシンセミナー：初期診療—鑑別診断と対策（東京），2月，1980（Modern Medicine 臨時特集号：49-54，1980）

1980年 5月 堀原一：

巨視的循環と微小循環。

第27回生命科学公開セミナー：微小循環の基礎と臨床（筑波大学），5月，1980

1982年（消化器外科グループ）

原 著

- No. 1 2月 近藤孝, 島崎修次, 近藤陽一, 深尾立, 堀原一:
救急医学教育におけるコンピューター・シミュレーションの導入.
救急医学 6: 217-221, 1982
- No. 2 2月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 石川詔雄:
膵管・胆道合流異常モデルの研究(Ⅱ)胆汁内逆流膵蛋白分解酵素の活性化について.
日小外 18: 185-191, 1982
- No. 3 3月 竹島徹, 石川詔雄, 越智五平, 深尾立, 岩崎洋治:
上部消化管手術後排ガス前 PGF_{2α}投与と経腸栄養.
現代医療 14(臨): 45-51, 1982
- No. 4 3月 Takase Y., Ozaki A., Orii K., Nagoshi K., Okamura T., Iwasaki Y.:
Injection sclerotherapy of esophageal varices for patients undergoing emergency and elective surgery.
Surgery 92: 474-479, 1982
- No. 5 3月 深尾立, 尾崎梓, 高橋伸禎, 更科広実, 石川詔雄, 岡村隆夫, 岩崎洋治, 野口淳夫, 矢崎恒忠, 加納勝利, 小川由英, 北川龍一:
腎移植患者における Bredinin の拒絶反応抑制効果と末梢血リンパ球サブポピュレーションに与える影響.
移植 Supple: 635-647, 1982
- No. 6 3月 秋貞雅祥, 平松慶博, 石川演美, 舘沢堯, 松本邦彦, 大島統男, 大原潔, 和田光功, 殿岡玲子, 名越和夫, 宮本二郎:
膵疾患の画像診断.
内科 49: 433-438, 1982
- No. 7 3月 Iwasaki Y., Ozaki A., Fukao K., Iwasaki H., Rapaport F.T.:
Withdrawal of immunosuppressive drugs after renal transplantation a world survey.
Transpl. Proc. 14: 225-230, 1982
- No. 8 3月 竹島徹, 桜井徹志, 畠山六郎, 秋貞雅祥:
PSS の食道病態—食道内圧と食道シンチグラムによる検討.
日平滑誌 18(3): 146-148, 1982
- No. 9 3月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 坂庭操, 石川詔雄:
合流異常症例に対する嚢腫消化器吻合の問題点.
膵プロテアーゼ活性化に関する実験モデルよりの検討.
日本胆道外科研究会プロシーディング: 68-69, 1982
- No. 10 4月 竹島徹, 岩崎洋治:
食道裂孔ヘルニアに対する外科的治療法.
手術 36(4): 493-497, 1982

- No. 11 4月 深尾立, 宮 淳, 折居和雄, 岩崎洋治, 依田安弘:
虫垂切除術後に菌交代現象によると思われる重症感染症と血管内凝固症候群を合併した例.
外科診療 24: 462-467, 1982
- No. 12 5月 名越和夫, 中原朗, 折居和雄, 岡村隆夫, 大管俊明, 岩崎洋治:
肝癌の血管造影診断.
日消会誌 79: 1123-1128, 1982
- No. 13 5月 深尾立, 折居和雄, 更科広実, 名越和夫, 高瀬靖広, 竹島徹, 轟健, 岩崎洋治, 飯田俊代, 武田光志:
腸痙攣周囲皮膚炎に対する試作アプロチニン・マクロゴール軟膏の効果.
日臨外医誌 43: 591-594, 1982
- No. 14 5月 更科広実, 高瀬靖広, 尾崎梓, 岩崎洋治:
内痔核の内視鏡的観察—保存的治療効果の判定—.
大腸肛門誌 35: 219-223, 1982
- No. 15 6月 宮本二郎, 高瀬靖広, 竹島徹, 東郷順子, 中原朗, 川北勲, 山形迪, 小山捷平, 武藤弘, 福富久之, 崎田隆夫:
ヒト胃癌における胃血行動態—ガストリン, セクレチンに対する反応—.
Progress of Digestive Endoscopy 20: 105-109, 1982
- No. 16 6月 柴田裕身, 名越和夫, 武藤弘, 谷中昭典, 中原朗, 宮本二郎, 東郷順子, 川北勲, 山形迪, 小山捷平, 高瀬靖広, 三田村圭二, 岡村隆夫, 福富久之, 大管俊明, 岩崎洋治, 崎田隆夫, 中野雅行, 小形岳三郎:
ERCP と血管造影によって発見された膵体部の前癌状態にある小病変の1例.
Progress of Digestive Endoscopy 20: 340-343, 1982
- No. 17 6月 越智五平, 竹島徹, 石川詔雄, 岩崎洋治:
胃全摘術後における排ガス前E D-AC 投与の評価.
JJPEN, 増刊(6): 52-53, 1982
- No. 18 6月 竹島徹, 中野雅行, 岡村隆夫, 中原朗, 崎田隆夫, 岩崎洋治:
広汎な粘膜浸潤を伴った多発性乳頭型胆嚢癌の1例.
胃と腸 17(6): 641-645, 1982
- No. 19 7月 更科広実, 尾崎梓, 岡村隆夫, 深尾立, 高瀬靖広, 竹島徹, 轟健, 名越和夫, 石川詔雄, 折居和雄, 岩崎洋治:
FT-207 術前投与における 5-Fu 組織内濃度の検討.
癌と化学療法 9: 1277-1284, 1982
- No. 20 7月 石川詔雄, 深尾立, 岡村隆夫, 小宮正文, 岩崎洋治:
高速液体ガスクロマトグラフィーによる Soluble fibrin monomer complexes の測定.
血液と脈管 13: 249-252, 1982
- No. 21 7月 石川詔雄, 岩崎洋治:
Soluble fibrin monomer complexes の高速液体クロマトグラフィーによる測定—凝固亢進状態の早期診断への応用—.
医学のあゆみ 122: 712-715, 1982

- No. 22 8月 Hanada T., Fukao K., Jogamoto M., Takita H. :
Severe aplastic anaemia treated with anti-lymphocyte globulin.
Scand. J. Haematol. 29 : 128-134, 1982
- No. 23 9月 岩崎洋治, 岡村隆夫, 西村明 :
肝門部胆管癌の治療について.
日本外科学会雑誌 83 : 852-855, 1982
- No. 24 9月 岡村隆夫, 岩崎洋治, 名越和夫, 折居和雄, 轟健 :
良性胆管狭窄症に対する再建法の新術式.
手術 36 (9) : 1093-1096, 1982
- No. 25 10月 尾崎梓, 深尾立, 岩崎秀生, 岡村隆夫, 岩崎洋治 :
腎移植後免疫抑制剤中止症例.
最新医学 37 : 2066-2068, 1982
- No. 26 10月 深尾立, 尾崎梓, 高橋伸禎, 高瀬靖広, 竹島徹, 名越和夫, 岡村隆夫, 岩崎洋治, 矢崎恒忠, 小川由英, 加納勝利, 野口淳夫, 柏原英彦, 横山健郎, 北川龍一, 奥村康, 中内啓光 :
単クローン抗体による腎移植患者のT細胞サブセットの解析第I報—腎移植後4ヶ月以上経過した移植機能良好者を中心に—.
移植 17 : 372-378, 1982
- No. 27 10月 落合武徳, 浅野武秀, 佐藤博, 柏木登, 深尾立, 雨宮浩, 大坪修, 田口喜雄, 柏原英彦 :
抗リンパ球血清の多施設における controlled study の臨床結果.
移植 17 : 291-400, 1982
- No. 28 10月 中村治雄, 依田安弘, 深尾立, 石川詔雄 :
メシル酸ガベキサート (FOY) による DIC の治療経験.
現代医療 14 : 2007-2012, 1982
- No. 29 12月 Todoroki, T., Koike, S., Tsunemoto, H., Watanabe, I. :
Enhanced radiation lethality in partially synchronized solid mouse tumors.
Cancer Res. 42 : 5231-5235, 1982
- 綜 説
- No. 1 2月 岩崎洋治 :
移植外科,
日本医事新報 No. 3017 : 27-34, 1982
- No. 2 3月 岡村隆夫 :
胆のう癌, 胆管癌,
今日の治療指針 : 372-373, 1982
- No. 3 5月 岩崎洋治 :
移植免疫概説と研究の動向,
免疫と疾患 3 : 577-583, 1982
- No. 4 5月 岩崎洋治, 沢口重徳, 名越和夫, 山崎洋治 :
消化器腫瘍の診断と治療, その他の肝腫瘍の治療,
消化器外科 5 : 901-906, 1982
- No. 5 6月 岩崎洋治 :
移植免疫対策の進歩,
診断と治療 70 : 5-9, 1982

- No. 6 6月 尾崎粹：
腎臓（非凍結保存），
冷凍 57：61-64, 1982
- No. 7 6月 更科広実：
憩室症，
現代の診療 24：293-297, 1982
- No. 8 7月 岩崎洋治，高瀬靖広：
食道静脈の保存的止血法，
肝胆脾 5（1）：73-79, 1982
- No. 9 9月 高瀬靖広：
食道疾患と吐血，下血，
メディカルコンパニオン 2（9）：1134, 1982
- No. 10 11月 高瀬靖広：
食道内視鏡下硬化剤注入療法，
食道静脈瘤—診断と治療法のコツ—，PⅢ-4，
朝日サイエンス社，東京

著 書

- No. 1 4月 Ozaki A., Fukao K., Sano M., Okamura T., and Iwasaki Y.:
Five days preservation of canine kidneys using a preservation machine.
Organ Preservation: 245-248. edited by D.E.Pegg, I.A.Jacobsea,
and N.A.Halasz.. MTP Press. Lancaster. 1982
- No. 2 5月 岩崎洋治：
外科と免疫，
標準外科学（武藤輝一，相馬智編）pp.163-170，
第3版，医学書院，東京，1982
- No. 3 5月 岩崎洋治：
臓器移植，
標準外科学（武藤輝一，相馬智編）pp.171-180，
第3版，医学書院東京，1982
- No. 4 5月 岩崎洋治，高瀬靖広：
食道静脈瘤の非手術的治療法，
消化器外科セミナー7：食道外科の進歩 pp.178-192，
ヘルス出版，東京，1982
- No. 5 5月 岩崎洋治，岡村隆夫：
肝門部胆管癌，
内科 Mook 18，肝癌（服部信編），pp.234-242，
金原出版，東京，1982
- No. 6 5月 高瀬靖広：
食道静脈瘤出血に対する内視鏡的栓塞療法，
消化管出血とその対策—新しい止血法の工夫—（長尾房大，
並木正義編），p.39-46，医学図書出版株式会社，東京，1982

No. 6 6月 深尾立, 岩崎洋治:
免疫と臓器移植.

臨床医学示説 第2巻 外科1 (森山豊監修, 浅野献編集),
pp. 141-199 近代医学出版社, 船橋, 1982

No. 7 7月 岩崎洋治:
抗リンパ球血清, 免疫抑制剤.

免疫学5, 臨床免疫腫瘍免疫 (山村雄一監修),
pp. 115-119, 中山書店, 東京, 1982

No. 9 10月 岩崎洋治:
高位胆管癌の手術.

肝胆, 脾, 脾手術のすべて 第3巻 (陣内伝之助, 村上忠重,
佐藤寿雄編) pp. 218-234, 金原出版, 東京, 1982

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

No. 1 1月 小石沢正, 深尾立, 尾崎梓, 小川由英, 矢崎恒忠, 北川龍一, 岩崎洋治:
多彩なる合併症をおこした慢性拒絶反応の1例.

第15回腎臓移植臨床検討会 (宝塚), 1月, 1982

No. 2 1月 越智五平, 竹島徹, 石川詔雄, 深尾立, 岡村隆夫:
胃全摘術後における排ガス前 ED-AC 投与の評価.

第1回経腸栄養研究会 (東京), 1月, 1982

No. 3 2月 名越和夫, 中原朗, 折居和雄, 石川詔雄, 轟健, 更科広実, 竹島徹, 尾崎梓, 高瀬靖
広, 深尾立, 岡村隆夫, 岩崎洋治:
肝癌の血管造影診断—右肝動脈造影側面像の有用性について—.

第19回日本消化器外科学会 (前橋), 2月, 1982

No. 4 2月 更科広実, 深尾立, 高瀬靖広, 尾崎梓, 竹島徹, 轟健, 名越和夫, 石川詔雄, 折居和
雄, 岡村隆夫, 岩崎洋治:
人工肛門注腸補助器を改良した新型洗腸器の考案.

第19回日本消化器外科学会総会 (前橋), 2月, 1982

No. 5 2月 折居和雄, 高瀬靖広, 小林幸雄, 川田崇雄, 石川詔雄, 名越和夫, 轟健, 更科広実, 竹
島徹, 尾崎梓, 深尾立, 岡村隆夫, 岩崎洋治:
食道静脈瘤に対する内視鏡的栓塞療法の治療効果—とくに経皮経肝門脈造影所見か
ら—.

第19回消外会総会 (前橋), 2月, 1982

No. 6 3月 竹島徹, 高瀬靖広, 岩崎洋治:
食道裂孔ヘルニアに対する外科的治療法—選択的近位迷切, 胃整復, 脚縫縮, 噴門
固定術—.

第11回迷切研究会 (奈良), 3月, 1982

No. 7 3月 竹島徹, 高瀬靖広, 岩崎洋治, 秋貞雅祥, 川北勲:
成人食道裂孔ヘルニアの臨床的検討 (第1報: 病型と頻度, 病因に関する考察),
第68回日消病学会 (広島), 3月, 1982

No. 8 4月 竹島徹, 高瀬靖広, 秋貞雅祥, 岡村隆夫, 深尾立, 尾崎梓, 更科広実, 名越和夫, 石川
詔雄, 折居和雄, 川田崇雄, 小林幸雄, 岩崎洋治:
成人食道裂孔ヘルニアの臨床的検討 (第2報: 病型と臨床経過).

第82回日外会総会 (千葉), 4月, 1982

- No. 9 4月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋治, 坂庭操, 石川詔雄:
合流異常症例に対する囊腫消化管吻合の問題点—実験モデルよりの検討—。
第11回日本胆道外科研究会(東京), 4月, 1982
- No. 10 4月 尾崎梓, 高瀬靖広, 折居和雄, 竹島徹, 深尾立, 岡村隆夫, 更科広実, 石川詔雄, 名越和夫, 岩崎洋治:
リンパ節郭清からみた噴門癌手術。
第82回日本外科学会(千葉), 4月, 1982
- No. 11 4月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋治, 坂庭操, 監物久夫, 高橋正彦, 菊池正教, 石川詔雄:
膵管胆道合流異常の新生犬モデルにおける病変について。
第82回日本外科学会総会(千葉), 4月, 1982
- No. 12 4月 更科広実, 轟健, 折居和雄, 名越和夫, 石川詔雄, 竹島徹, 高瀬靖広, 尾崎梓, 深尾立, 岡村隆夫, 岩崎洋治, 大原潔, 大津裕司:
直腸癌術前照射に併用した抗癌剤と放射線増感剤局注療法の治療効果。
第82回日本外科学会総会(千葉), 4月, 1982
- No. 13 4月 名越和夫, 折居和雄, 石川詔雄, 轟健, 更科広実, 竹島徹, 高瀬靖広, 尾崎梓, 深尾立, 岡村隆夫, 岩崎洋治, 中野雅行:
胆管癌の血管造影診断。
第82回日本外科学会(千葉), 4月, 1982
- No. 14 5月 小林幸雄, 高瀬靖広, 折居和雄, 川田崇雄, 尾崎梓, 深尾立, 岩崎洋治, 川北勲, 大菅俊明, 崎田隆夫:
内視鏡的栓塞療法施行食道静脈瘤症例の予後肝機能との関係—とくに施行1年後—。
第24回日本消化器内視鏡学会総会(横浜), 5月, 1982
- No. 15 5月 蔡承熹, 川北勲, 福富久之, 中原朗, 熊谷博彰, 宮本二郎, 谷中昭典, 山形迪, 小山捷平, 武藤弘, 柴田裕身, 高瀬靖広, 崎田隆夫, 菊池正教, 加藤大典:
胃粘膜の組織レベルにおけるレーザー—螢光観察。
第24回日本消化器内視鏡学会総会(横浜), 5月, 1982
- No. 16 5月 折居和雄, 高瀬靖広:
胆道鏡レーザーの有用性と限界(シンポジウム)。
第24回日本消化器内視鏡学会総会(横浜), 5月, 1982
- No. 17 5月 Ohkawa H., Yamazaki Y., Ishikawa A., Sawaguchi S.:
Experimental analysis on the ill-effects of the cyst-intestinal anastomosis in the cases of the choledochal dilatation.
Fifteenth PAPS, May, 1982
- No. 18 6月 Sarashina H., Ozaki A., Fukao K., Takase Y., Nagoshi K., Orie K., Iwasaki Y.:
Improved method for colon examination and irrigation in patients with colostomy, using the two new devices.
The World Congress in Stockholm, June, 1982
- No. 19 6月 竹島徹, 桜井徹志, 秋貞雅祥, 島山久郎:
PSSの食道病態—食道内圧と胃食道シンチグラムによる検討。
第24回日本平滑筋学会総会ポスターシンポジウム(東京), 6月, 1982

- No. 20 6月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 石川詔雄:
 膵管胆道合流異常モデルにおける胆汁内膵酵素の活性化動態.
 第5回膵管胆道合流異常研究会(東京), 6月, 1982
- No. 21 6月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 石川詔雄:
 膵管胆道合流異常における血清アミラーゼ値上昇機序に関する実験的検討.
 第19回日本小児外科学会総会(東京), 6月, 1982
- No. 22 7月 Takase Y., Ozaki A., Iwasaki Y.:
 Endoscopic sclerotherapy for esophageal varices.
 International Symposium on Idiopathic Portal Hypertension
 (Tokyo), July, 1982
- No. 23 7月 名越和夫, 中原朗, 折居和雄, 岩崎洋治:
 肝臓における経上腸間膜動脈門脈造影の意義について.
 第18回日本肝癌研究会(東京), 7月, 1982
- No. 24 9月 尾崎梓, 大神雅史, 佐野元昭, 深尾立, 岩崎洋治:
 長期イヌ腎灌流保存の研究.
 第18回日本移植学会総会(福岡), 9月, 1982
- No. 25 9月 深尾立, 尾崎梓, 高橋伸禎, 岡村隆夫, 小川由英, 矢崎恒忠, 加納勝利, 北川龍一, 岩崎洋治, 野口淳夫, 柏原英彦, 横山健郎, 落合武徳:
 単クローン抗体(Leuシリーズ)による腎移植患者のリンパ球サブポピュレーションの解析.
 第18回日本移植学会総会(福岡), 9月, 1982
- No. 26 9月 後藤裕子, 野口淳夫, 古川敏紀, 羽柴克子, 深尾立, 尾崎梓, 岩崎洋治, 後藤俊二, 峯沢満:
 日本ザル白血球型抗原に関する研究(Ⅱ).
 第18回日本移植学会総会(福岡), 9月, 1982
- No. 27 9月 羽柴克子, 野口淳夫, 深尾立, 尾崎梓, 岩崎洋治:
 移植患者血清中の単球抗体の検索Ⅱ.
 第18回日本移植学会総会(福岡), 9月, 1982
- No. 28 9月 更科広実:
 クロウン病およびその類似疾患.
 第19回大腸肛門病懇談会(東京), 9月, 1982
- No. 29 9月 柏原英彦, 植松武史, 坂本薫, 大森耕一郎, 蜂巢忠, 横山健郎, 落合武徳, 浅野武秀, 佐藤博, 深尾立, 尾崎梓, 岩崎洋治, 宮島哲也:
 死体腎移植における Recipient 選択基準.
 第18回日本移植学会総会(福岡), 9月, 1982
- No. 30 9月 Ohkawa H., Sawaguchi S., Yamazaki Y., Ishikawa A.:
 On the ill-effect of pancreatico biliary ductal union-canine model experiments and discussion treatment of choice for the anomaly.
 7th World Congress Collegium Internationale Chirurgiae
 Digestivae (Tokyo), September, 1982

- No. 31 9月 Takase Y., Ozaki A., Orii K., Sarashina H., Nagoshi K., Sakita T., Iwasaki Y.:
Injection sclerotherapy of esophageal varices for emergency and elective cases.
7th World Congress of Collegium Internationale Chirurgiae Digestivae (Tokyo), September, 1982
- No. 32 10月 小山捷平, 深尾立:
胃癌患者における抑制性T細胞の存在意義と単クローン抗体を用いたFACSによる解析 (シンポジウム).
第24回日本消化器病学会秋季大会 (山形), 10月, 1982
- No. 33 10月 名越和夫, 折居和雄, 小野陸, 川田崇雄, 小林幸雄, 和田光功, 岡村隆夫, 岩崎洋治:
肝癌の血管造影診断—肝動脈造影像の三次元表示の試み—.
第24回日本消化器病学会秋季大会 (山形), 10月, 1982
- No. 34 10月 蔡承熹, 川北勲, 福富久之, 樫村博正, 島倉秀也, 中原朗, 熊谷博彰, 宮本二郎, 松本好正, 東郷順子, 谷中昭典, 山形迪, 小山捷平, 柴田裕身, 武藤弘, 崎田隆夫, 高瀬靖広, 菊池正教, 加藤大典:
レーザー励起螢光像の組織的検討.
第24回日本消化器病学会合同秋季大会 (山形), 10月, 1982
- No. 35 10月 高瀬靖広, 折居和雄, 小林幸雄, 岡村隆夫, 岩崎洋治, 川北勲, 福富久之, 崎田隆夫:
食道静脈瘤に対する内視鏡的栓塞療法の手技 (シネ).
第24回日本消化器病学会合同秋季大会 (山形), 10月, 1982
- No. 36 10月 市川富美子, 石川詔雄, 竹島徹, 大川治夫:
高速液体ガスクロマトグラフィーを用いたエンテロキナーゼの測定.
第29回日本臨床病理学会総会 (岐阜), 10月, 1982
- No. 37 11月 更科広実:
新型人工肛門注腸補助器と洗腸器の使用法.
第671回千葉医学会例会 (千葉), 11月, 1982
- No. 38 11月 更科広実, 大原潔:
大腸癌の診断と治療—直腸癌における術前照射と局注併用療法—.
第4回茨城県消化器病懇話会 (水戸), 11月, 1982
- No. 39 11月 更科広実, 轟健, 尾崎梓, 高瀬靖広, 名越和夫, 石川詔雄, 竹島徹, 深尾立, 岡村隆夫, 岩崎洋治, 大原潔, 大津裕司:
直腸癌術前照射における局注併用療法の治療効果—内視鏡的效果判定—.
第37回日本大腸肛門病学会総会 (東京), 11月, 1982
- No. 40 11月 渋谷進, 高瀬靖広, 長澤俊郎, 阿部師, 深尾立, 岡村隆夫, 岩崎洋治:
特発性血小板減少性紫斑病における脾臓摘出術の有用性の術前, 術直後の予知について.
第44回日本臨床外科医学会総会 (東京), 11月, 1982
- No. 41 11月 名越和夫, 川田崇雄, 岡村隆夫, 岩崎洋治, 土井幹雄, 中野雅行, 小形岳三郎:
胆管癌の微細動脈におよぼす影響についての計測的研究.
第23回脈管学会 (岐阜), 11月, 1982

- No. 42 12月 大川治夫, 澤口重徳, 坂庭操, 石川詔雄:
 膵管胆管合流異常モデルにおける胆道内膵酵素活性化動態.
 第665回千葉医学会例会 (千葉), 12月, 1982
- No. 43 12月 折居和雄, 高野佐重喜, 川北勲, 小野陸, 岡村隆夫, 岩崎洋治:
 超音波ガイド吸引生検針の開発.
 第41回日本超音波学会 (仙台), 12月, 1982
- No. 44 12月 高瀬靖広:
 食道静脈瘤に対する内視鏡的栓塞療法 (特別講演).
 第3回島根食道疾患研究会 (島根), 12月, 1982
- No. 45 12月 松崎靖司, 井廻道夫, 三田村圭二, 大管俊明, 高瀬靖広:
 食道静脈瘤内視鏡的栓塞療法前後における血清胆汁酸分画変動.
 第17回日本肝臓学会東部会 (東京), 12月, 1982
- No. 46 12月 高野信孝, 東郷順子, 松崎靖司, 井廻道夫, 中原朗, 川北勲, 山形迪, 小山捷平, 三田村圭二, 武藤弘, 福富久之, 大管俊明, 崎田隆夫, 名越和夫, 岡村隆夫, 岩崎洋治, 吉岡健太郎, 日下部篤彦, 伊藤庄三:
 経動脈栓塞療法により完治せしめたと思われる原発性肝癌の1症例.
 第17回日本肝臓学会東部会 (東京), 12月, 1982
- No. 47 12月 蔡承熹, 小山捷平, 中原朗, 川北勲, 柴田裕身, 山形迪, 武藤弘, 福富久之, 崎田隆夫, 竹島徹:
 シメチジンが効果を示した Barrett 食道潰瘍の1例.
 第35回日本消化器内視鏡学会

班研究報告

- No. 1 3月 深尾立, 岩崎洋治, 尾崎梓, 野口淳夫, 羽柴克子:
 腎移植患者の抗単球抗体の検索.
 文部省科研究費特定研究・腎移植に関する基礎的研究班, 代表者岩崎洋治
 昭和56年度研究報告集録, 1982, pp. 143-149
- No. 2 3月 尾崎梓, 深尾立, 岩崎洋治, 岩崎秀生, 岡村隆夫:
 腎移植後免疫抑制剤を中止した症例に関するアンケートの報告,
 文部省科研究費特定研究・腎移植に関する基礎的研究班, 代表者岩崎洋治
 昭和56年度研究報告集録, 1982, pp. 122-126
- No. 3 3月 阿部師, 花田尚, 深尾立:
 再生不良性貧血に対する免疫抑制療法の効果,
 厚生省特定疾患・特発性造血障害調査研究班, 代表者岩崎洋治
 昭和56年度研究業績報告書, 1982, pp. 382-388
- No. 4 3月 石川詔雄, 岩崎洋治:
 膵・胆道系悪性腫瘍におけるDICの診断,
 厚生省特定疾患・汎発性血管内血液凝固症調査研究班, 代表者岩崎洋治
 昭和56年度業績集録, 1982, pp. 24-35

No. 5 8月 名越和夫, 中野雅行, 岡村隆夫, 岩崎洋治:

胆管癌における微細動脈径の計測に関する研究,

厚生省がん研究助成金・胆のう胆管癌の早期診断に関する研究班会議, 代表者葛西洋一, 1982

その他(放送, 座談会, 講演などで学術的なもの)

No. 1 5月 Ozaki A.:

Preservation Machine for Kidney,

Medical Apparatus News May 1982: 8-11

No. 2 9月 高瀬靖広:

食道静脈瘤の内視鏡的治療,

メディカル, アワー No. 175「今日の医学」
日本短波放送, 東京, 1982

No. 3 12月 高瀬靖広:

新しい治療—食道静脈瘤.

テレビ医学講座第53集「ウィルス肝炎」,
日本医師会, 東京, 1982

1982年（脳神経外科・救急グループ）

原 著

- No. 1 1月 榎本貴夫, 牧豊:
茨城県における脳神経奇形の発生状況.
茨城県医師会報 338: 29-32, 1982
- No. 2 1月 水谷太郎, 渡辺徹, 近藤陽一, 近藤孝, 島崎修次:
気道閉塞で死亡した成人急性喉頭蓋炎の症例.
救急医学 6: 97-101, 1982
- No. 3 1月 近藤孝, 島崎修次, 近藤陽一, 深尾立, 堀原一:
救急医学教育におけるコンピュータ・シミュレーションの導入.
日本救急医学会関連地方会雑誌 2: 126-128, 1982
- No. 4 1月 佐藤重仁, 近藤陽一, 渡辺徹, 島崎修次:
強度の肺高血圧症を伴った急性呼吸不全に対する PGE₁ の効果.
日本救急医学会関連地方会雑誌 2: 50-52, 1982
- No. 5 2月 牧豊, 小野幸雄, 秋本宏, 榎本貴夫, 江頭泰平:
外傷性大脳基底核損傷—第2報.
神経外傷 4: 191-199, 1982
- No. 6 2月 近藤孝, 島崎修次, 近藤陽一, 深尾立, 堀原一:
救急医学教育におけるコンピュータ・シミュレーションの導入.
救急医学 6: 217-221, 1982
- No. 7 3月 吉井与志彦, 牧豊, Phillips TL:
脳血管に対する放射線晩発効果に関する研究.
脳と神経 34: 281-289, 1982
- No. 8 3月 榎本貴夫, 牧豊, 能勢忠男, 兵頭明夫, 塚田篤郎:
脳動静脈奇形における CT の診断的意義.
臨床放射線 27: 317-323, 1982
- No. 9 3月 Koga E., Endo S., Nishihara K., Saito Y., Ono Y.:
Long span variations in the delta component of human sleep electroencephalogram. (Abstract)
EEG. Clin. Neurophysiol. 54 (3): p. 26, 1982
- No. 10 3月 渡辺徹, 島崎修次:
重症ショック患者に対するステロイド療法の意義.
茨城救急医学会雑誌 5: 183-187, 1982
- No. 11 4月 中田義隆, 榎本貴夫, 牧豊:
小児水頭症のシャント術後にみられる slit-like ventricle の症例の検討.
小児の脳神経 7 (2) 59-66, 1982
- No. 12 4月 Yoshizawa T., Tsukada A., Maki Y., Kanazawa I.:
Transverse myelitis associated with mycoplasma pneumoniae infection.
European Neurology. 21: 48-51, 1982

- No. 13 4月 水上公宏, 兵頭明夫:
トラビジルの脳血管障害における脳循環動態に及ぼす影響.
臨床と研究 59: 1386-1394, 1982
- No. 14 5月 Hyodo A., Nose T., Maki Y., Enomoto T.:
Pituitary adenoma and meningioma in the same patient.
Neurochirurgia. 25: 66-67, 1982
- No. 15 5月 Sugimoto T., Sugimoto H., Yoshioka T., Ohashi N., Shimazaki S.:
A new indicator to determine the optimal PEEP.
Anaesthesist. 31: 234-238, 1982
- No. 16 6月 Kondo T., Ikeda T., Go J.:
Image processing and quantitative assessment in computer tomography for nonsurgical treatment of brain tumors.
Acta Neurochirurgica. 64: 19-37, 1982
- No. 17 6月 吉井与志彦, 牧豊, 中川邦夫, 坪井康次, 松村明, 鬼塚正孝:
CTによる脳腫瘍評価法について—治療評価のパターン化の試み.
CT研究 4: 341-348, 1982
- No. 18 8月 Koide Y., Kugai N., Kimura S., Fujita T., Kameya T., Azukizawa M., Ogata E., Tomono Y., Yamashita K.:
A case of pituitary adenoma with possible simultaneous secretion of thyrotropin and follicle-stimulating hormone.
J. Clin. Endocrinol. Metab. 54: 397-403, 1982
- No. 19 8月 Fujimoto S., Matsuzawa T., Nakagawa K. and Toda T.:
Cellular interaction between cytotoxic and suppressor T cells against syngenic tumor in the mouse.
Cellular Immunol. 38: 378-387, 1978
- No. 20 9月 Yoshii Y., Phillips T. L.:
Late vascular effects of whole X-irradiation in the mouse.
Acta Neurochirurgica. 64: 87-102, 1982
- No. 21 10月 吉井与志彦, 牧豊, 能勢忠男, 江頭泰平, 大原潔:
転移性脳腫瘍に対する大線量分割放射線治療の試み.
Neurol Med Chir (Tokyo) 22: 797-804, 1982
- No. 22 10月 兵頭明夫, 水上公宏, 宇佐美卓, 田澤俊明, 富樫修, 江口孝:
クモ膜下血腫除去による脳血管攣縮の予防.
第11回脳卒中の外科研究会講演集, 脳血管攣縮, 201-205, 1982
- No. 23 10月 水上公宏, 江口孝, 宇佐美卓, 富樫修, 兵頭明夫, 田澤俊明:
クモ膜下出血後のいわゆる脳血管攣縮: Rigor arterie?
第11回脳卒中の外科研究会講演集, 脳血管攣縮, 15-18, 1982
- No. 24 10月 富樫修, 水上公宏, 宇佐美卓, 兵頭明夫, 田澤俊明, 江口孝:
脳動脈瘤破裂以外の頭蓋内疾患に続発した脳血管攣縮例の分析.
第11回脳卒中の外科研究会講演集, 脳血管攣縮, 44, 1982
- No. 25 10月 田澤俊明, 水上公宏, 河瀬斌, 宇佐美卓, 富樫修, 兵頭明夫, 江口孝:
クモ膜下出血における造影剤増強法 CT 所見と脳血管攣縮との関係.
脳と神経 34: 1011-1017, 1982

- No. 26 11月 吉吉与志彦, 中川邦夫, 江頭泰平, 牧豊:
可視域レーザー光応用による脳腫瘍診療に関する基礎的研究.
日本レーザー医学会誌 3 : 491-498, 1982
- No. 27 11月 江頭泰平, 吉井与志彦, 牧豊:
アルゴンレーザーの脊髄応用のための基礎的研究 (知覚誘発脳波の変化を中心として).
日本レーザー医学会誌 3 : 339-344, 1982
- No. 28 12月 吉井与志彦, 牧豊, Phillips T. L.:
マウス脳に存在する特殊物質の加令および放射線照射の影響に関する研究.
神経進歩 26 (4) : 126-134, 1982
- No. 29 12月 伴野修士, 能勢忠男, 宗像克治, 牧豊, 殿岡玲子:
CTによる pituitary stalk の検討—正常所見を中心として—
CT研究 4 : 413-419, 1982
- No. 30 12月 榎本貴夫, 牧豊, 吉沢卓, 中田義隆:
くも膜嚢胞を伴った両側性弁蓋形成不全の1例.
小児の脳神経 7 (6) 367-372, 1982
- 総 説
- No. 1 1月 高橋正彦, 島崎修次:
小児熱傷患者の全身管理.
小児看護 15 : 86-94, 1982
- No. 2 1月 島崎修次:
外傷・熱傷と栄養—臨床栄養の進歩—.
医学のあゆみ 120 : 531-539, 1982
- No. 3 1月 近藤陽一, 島崎修次, 水谷太郎, 渡辺誠治, 山下衛:
重症呼吸障害とHFPPV—市販のベンチレーターを用いる方法—
救急医学 6 : 37-40, 1982
- No. 4 3月 牧豊:
Crouzon 症候群 (Craniofacial dysostosis)
日本臨床 482 : 168-169, 1982
- No. 5 3月 島崎修次:
暑熱による障害: 熱中症.
救急医学 : 3月臨時増刊 117-120, 1982
- No. 6 3月 牧豊:
Sturge Weber 症候群 (encephalofacial angiomatosis)
日本臨床 482 : 218-219, 1982
- No. 7 4月 牧豊: 完像克治:
頭部外傷の疫学と分類.
総合リハビリテーション 10 : 393-399, 1982
- No. 8 4月 島崎修次, 近藤孝, 伊藤翼, 山下衛, 渡辺徹, 宗像克治, 宮淳:
熱中症—救急計画法—
総合臨床 31 : 1462-1468, 1982

- No. 9 5月 能勢忠男：
天幕下脳血管障害。
茨城県救急医学会雑誌 5：163-170, 1982
- No. 10 7月 島崎修次：
熱傷とその治療—ショックと感染対策—
Medicament News (ライフサイエンス) No.1012号 p.1-3, 1982
- No. 11 7月 島崎修次：
暑熱による障害。
月刊消防 7：19-26, 1982
- No. 12 7月 島崎修次：
気管内チューブ使用法。
日本医事新報 No.3040, pp.159, 1982
- No. 13 8月 島崎修次：
ショック・外傷後の代謝異常とその処置—救急の整形外科—
整形外科 別冊 No.1, p.18-29, 1982
- No. 14 8月 渡辺誠治, 島崎修次, 鈴木宏昌, 菊地直心夫, 近藤孝, 山下衛：
ICUにおける毒物中毒の治療—その一般的処置—
ICUとCCU vol.6 (No.8) 627-632, 1982
- No. 15 9月 島崎修次, 亀崎高夫, 鈴木宏昌, 菊地直心夫, 近藤孝：
重症熱傷の治療成績の向上。
診断と治療 70：67-74, 1982
- No. 16 10月 島崎修次, 亀崎高夫, 鈴木宏昌, 菊地直心夫, 水谷太郎, 近藤孝：
湿熱卒中・日射病・熱射病-特集救急疾患の薬物療法。
救急医学 6：1465-1469, 1982
- No. 17 10月 島崎修次：
熱傷の救急処置—特集・熱傷—。
MEDICO. 13：5489-5493, 1982
- No. 18 12月 牧豊：
補助診断法。
小児脳神経外科 (桑原武夫・中村紀夫編) pp.19-72,
中山書店, 東京, 1982
- 著 書
- No. 1 1月 島崎修次, 近藤孝：
救急急者の緊急検査・体液管理と介助上の pitfall。
救急急者の救命救急処置 pp.89-721,
ライフサイエンスセンター, 1982
- No. 2 3月 島崎修次：
急性電解質異常。
今日の治療指針 (石山俊次, 日野原重明, 阿部正和編) pp.14-15
医学書院, 東京, 1982

- No. 3 3月 島崎修次：
急性酸・塩基平衡異常。
今日の治療指針（石山俊次，日野原重明，阿部正和編）pp.15-16
医書院，東京，1982
- No. 4 5月 島崎修次：
重度外傷の病態—体液の反応—。
第18回卒後教育セミナー＜救急外科＞（日本外科学会教育委員会編）pp.19-59
中外医学社，東京，1982
- No. 5 5月 兵頭明夫，吉澤卓，坪井康次，塚田篤郎，森茂夫訳，Hayward R. 著
脳神経外科エッセンシャル。
牧豊監訳，南江堂，東京，1982
- No. 6 6月 中田義隆：
頭部外傷の診断と処置。
小児科診療Q&A，4号，pp.1318-1321，六法出版，東京，1982
- No. 7 6月 島崎修次：
第4章 熱傷の病態。
熱傷（杉本侃，大浦武彦編）pp.51-119，南江堂，東京，京都，1982
- No. 8 6月 島崎修次：
第5章 熱傷の治療。
熱傷（杉本侃，大浦武彦編）pp.187-230，243-249，258-270，308-317
南江堂，東京・京都，1982
- No. 9 8月 島崎修次：
新しいショックの考え方と管理。
救急医学セミナー7（日本救急医学会教育セミナー委員会編）pp.185-205
へるす出版，東京，1982
- No. 10 9月 島崎修次，菊地直心夫：
老人の救急。
救急エッセンシャル（太田宗夫，日伏久之）pp.226-270
メディカ出版，大阪，1982
- No. 11 9月 水谷太郎，島崎修次：
心臓マッサージ。
救急処置の基本手技（杉本侃編）pp.30-36，
永井書店，大阪，1982

学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

- No. 1 1月 吉井与志彦，中川邦夫，吉澤卓，能勢忠男，牧豊：
CTによる腫瘍の治療評価の諸問題。
第5回脳神経CT研究会（東京），1982
- No. 2 1月 伴野悠士，能勢忠男，宗像克治，牧豊，殿岡玲子：
Pituitary stalk のCTによる検討。
第5回脳神経CT研究会（東京），1982

- No. 3 1月 榎本貴夫, 中田義隆, 松本孝之, 牧豊:
中頭蓋窩における arachnoid cyst と孔脳症のCT像について.
第5回脳神経CT研究会(東京), 1月, 1982
- No. 4 1月 狩野光将, 呉淳東, 甲村英二, 池田卓也, 中尾和民, 森, 茂, 豊永幸利, 近藤孝:
Dynamic CT Scan による頭蓋内病変に関する検討(第2報).
第5回脳神経CT研究会(東京), 1月, 1982
- No. 5 1月 田澤俊明, 水上公宏, 河瀬斌, 宇佐美卓, 富樫修, 兵頭明夫, 荒木五郎, 長田乾, 岩橋健, 美原樹, 岡六四:
脳出血急性期における内造動脈内造影剤注入法CTの意義.
第5回脳神経CT研究会, 東京, 1月, 1982
- No. 6 2月 宗像克治, 榊原謙, 殿岡玲子, 牧豊:
RI-cisternography より見た小児の脊髄クモ膜下腔における髄液循環動態の特徴について.
第11回日本神経放射線研究会(東京), 2月, 1982
- No. 7 2月 近藤陽一, 松代彰子, 渡辺とよ子, 近藤孝, 伊藤翼, 島崎修次:
骨盤骨折に対するショック・パンツの使用経験.
日本救急医学会関東地方会, 東京, 2月, 1982
- No. 8 2月 渡辺とよ子, 島崎修次, 伴野悠士, 能勢忠男, 平松慶博:
頭部・顔面外傷に伴う空気栓塞による死亡症例.
日本救急医学会関東地方会, 東京, 1982
- No. 9 2月 亀崎高夫, 松本孝行, 宗像克治, 伴野悠士, 牧豊:
Neurosarcoidosis のCT follow up について.
第80回日本神経学会関東地方会(東京), 2月, 1982
- No. 10 3月 渡辺徹, 島崎修次:
重症ショック患者に対するステロイド療法の意義.
茨城県救急医学会雑誌 183-187, 1982
- No. 11 3月 盛生倫夫, 島崎修次, 軍司尚四郎, 恩地裕, 関口守衛, 辺見弘, 大和田和夫:
ドクターカー運用研究委員会結果報告書.
ドクターカー運用研究委員会, 自治省, 消防庁(消防研修協会)
昭和56年度, 1982
- No. 12 4月 加藤誠, 河野守正, 中田義隆, 堀江武, 牧野博安, 牧豊:
水頭症患者の術後の脳実質の変化と機能回復との関連について一術後10年以上の追跡例を中心として.
第10回日本小児神経外科研究会(熊本), 4月, 1982
- No. 13 4月 Masahiro Mizukami., Akio Hyodo., Takeshi Kawase., Ken Nagata.:
Postoperative Evaluation of Extracranial Intracranial Arterial (ECIC) Bypass from Hemodynamic and Functional Point of View.
The 1982 Annual meeting of the American Association of Neurological Surgeons, Honolulu, Hawai, April, 1982
- No. 14 5月 吉澤卓, 松本孝之, 榊原謙, 秋本宏, 牧豊:
緊張性硬膜下気腫.
第5回日本脳神経外科学会関東地方会(東京), 2月, 1982

- No. 15 5月 Toshiaki Tazawa., Takashi Eguchi., Takeshi Kawase., Takashi Usami., Osamu Togashi., **Akio Hyodo.**, Masahiro Mizukami.:
Size of Hematoma and Time Course of Intracranial Pressure in Patients with Hypertensive Intracerebral Hemorrhage.
The Vth International Symposium on Intracranial Pressure,
Tokyo, Japan, May, 1982
- No. 16 5月 兵頭明夫, 水上公宏, 宇佐美卓, 田澤俊明, 富樫修, 江口孝:
くも膜下血腫除去による脳血管攣縮の予防.
第11回脳卒中の外科研究会, 弘前, 5月, 1982
- No. 17 5月 富樫修, 水上公宏, 宇佐美卓, 兵頭明夫, 田澤俊明, 江口孝:
脳動脈瘤破裂以外の頭蓋内疾患に続発した脳血管攣縮例の分析.
第11回脳卒中の外科研究会 (弘前), 5月, 1982
- No. 18 5月 兵頭明夫, 水上公宏, 河瀬斌, 宇佐美卓, 田澤俊明, 富樫修, 江口孝:
Overall mortality および morbidity よりみた破裂脳動脈瘤急性期手術とくも膜下血腫除去の有効性.
第7回日本脳卒中学会総会 (弘前), 5月, 1982
- No. 19 5月 水上公宏, 江口孝, 宇佐美卓, 富樫修, 兵頭明夫, 田澤俊明:
くも膜下出血後のいわゆる脳血管攣縮: Rigor arterie?
第11回脳卒中の外科研究会 (弘前), 5月, 1982
- No. 20 5月 田澤俊明, 水上公宏, 河瀬斌, 宇佐美卓, 富樫修, 兵頭明夫:
高血圧性脳出血急性期における血腫増大の CT 診断および induced hypotension and hyperosmotic therapy.
第7回日本脳卒中学会総会 (弘前), 5月, 1982
- No. 21 5月 塚田篤郎, 松村明, 宗像克治, 中川邦夫, 牧豊:
左後頭葉, 次いで左網膜に発生した脳原発悪性リンパ腫.
第6回日本脳神経外科学会関東地方会 (東京), 5月, 1982
- No. 22 5月 伊藤翼, Mario Brock, 島崎修次, 牧豊:
Cerebral blood volume changes under conditions of increased ICP.
The Vth international Symposium on intracranial pressure.
Tokyo, June, 1982
- No. 23 5月 長田乾, 荒木五郎, 岩橋健, 美原樹, 水上公宏, 田澤俊明, 富樫修, 兵頭明夫, 江口孝:
I. 脳幹障害の臨床生理学的研究 II. 脳底動脈閉塞症
第7回日本脳卒中学会総会 (弘前), 5月, 1982
- No. 24 6月 鈴木文晴, 中里明彦, 伊古田裕子, 小出博義, 諸岡啓一, 八坂篤, 中田義隆:
Joubert 症候群の1例—CT スキャンによる脳幹部病変の検討—
第24回日本小児神経学会総会 (神戸), 6月, 1982
- No. 25 6月 宗像克治, 殿岡玲子, 小野幸雄, 牧豊:
けいれん発作を初発症状とした脳腫瘍の検討.
第5回茨城てんかん懇談会 (土浦), 6月, 1982
- No. 26 7月 島崎修次:
救急医療におけるクリティカル・ケア・ナーシング—心肺蘇生法 (CPR)—
総合安全研究会編, 於: 東京ダイヤモンド・ホテル, 7月24日, 1982

- No. 27 8月 Kazuta Yunoki., Katsuhiko Yamaguchi., Masahiro Mizukami., **Akio Hyodo.** :
Evaluation of Occlusive Cerebrovascular Disease Using Ultrasonic Quantitative Flow Measurement.
International Symposium, New Ultrasonic Methods in Cerebrovascular Disease, Freiburg, West Germany, August, 1982
- No. 28 8月 中川邦夫, 牧豊 :
マウス自然発生線維肉腫に対する放射線療法と免疫担当細胞の併用効果.
第41回日本癌学会総会 (大阪), 8月, 1982
- No. 29 9月 宮淳, 島崎修次, 伊藤翼, 佐藤重仁, 鈴木宏昌, 角田肇 :
大量吐血を呈した鈍的胸部外傷後の単独食道指傷.
第10回日本救急医学会総会 (札幌), 9月, 1982
- No. 30 9月 近藤陽一, 佐藤重仁, 渡辺誠治, 水谷太郎, 近藤孝, 島崎修次 :
ドクターカーによる重症患者搬送に伴う医学的問題点.
第10回日本救急医学会総会 (札幌), 9月, 1982
- No. 31 9月 島崎修次 :
熱傷—「救急看護」研修会.
北海道看護センター主催 (札幌), 9月, 1982
- No. 32 9月 島崎修次他 :
(ドクターカー研究委員会) ドクターカー運用の提言—特に消防機関が管理する場合の課題と問題点—.
第10回日本救急医学会総会 (札幌), シンポジウム (救急医療システム), 9月, 1982
- No. 33 9月 伴野悠士, 牧豊, 伊藤政美, 中田義隆 :
Pubertus praecox を呈した一例.
第7回日本脳神経外科学会関東地方会 (東京), 9月, 1982
- No. 34 9月 島崎修次 :
救急医療と感染対策.
(東京) 日本短波放送「医学講座」日本医師会編 9月, 1982
- No. 35 9月 **Maki Y.**, Hayashi T. :
Diagnostic and therapeutic problems of holoprosencephaly.
10th Annual Meeting of the International Society of Paediatric Neurosurgery. (Philadelphia), 9月, 1982
- No. 36 9月 Masahiro Mizukami., **Akio Hyodo.**, Takeshi Kawase. :
Postoperative Evaluation of Extracranial Intracranial (EC/IC) Arterial Bypass Using Ultrasonic Quantitative Flow Measurement (UQFM) and the Computed Mapping of EEG (CME).
The Sixth International Symposium on Microsurgical Anastomoses for Cerebral Ischemia, Kyoto, Japan, September, 1982
- No. 37 9月 **Kunio Nakagawa.**, **Yutaka Maki.**, Muneyasu Urano., and Herman D. Suit :
Effect of radiation therapy combined with immune competent cells against spontaneous murine tumor in vivo.
13th International Cancer Congress (Seattle), 9月, 1982

- No. 38 10月 能勢忠男, 坪井康次, 松村明, 塚田篤郎, 牧豊:
脳腫瘍の外科療法—Fronto-zygomatic approach 変法—
第41回日本脳神経外科学会総会 (東京), 10月, 1982
- No. 39 10月 吉井与志彦, 中川邦夫, 江頭泰平, 牧豊, 加藤大典:
脳腫瘍診療に対する可視域レーザー光応用に関する研究. (第1報)
第41回日本脳神経外科学会総会 (東京), 10月, 1982
- No. 40 10月 小野幸雄, 伴野悠士, 土佐純一, 松村明, 牧豊, 柴山晃子, 遠藤四郎:
末端肥大症患者の終夜睡眠ポリグラフ的研究.
第12回日本脳波・筋電図学会学術大会 (米子), 10月, 1982
- No. 41 10月 兵頭明夫, 水上公宏, 河瀬斌, 長田乾, 柚木和太, 山口克彦:
頭蓋内外血管吻合術後の客観的評価法—超音波定量的血流測定装置ならびに脳波等
電位地図による検討—
第24回脳循環代謝研究会 (東京), 10月, 1982
- No. 42 10月 河瀬斌, 水上公宏, 宇佐美卓, 田澤俊明, 富樫修, 兵頭明夫:
急性期血行再建術の適応と限界—脳梗塞自然再開通例からの検討—
第40回日本脳神経外科学会総会 (京都), 10月, 1982
- No. 43 10月 宇佐美卓, 水上公宏, 河瀬斌, 田澤俊明, 富樫修, 兵頭明夫:
脳血管内 balloon catheter technique の開発と臨床経験.
第40回日本脳神経外科学会総会 (京都), 10月, 1982
- No. 44 10月 田澤俊明, 水上公宏, 河瀬斌, 宇佐美卓, 富樫修, 兵頭明夫:
高血圧性脳出血における頭蓋内圧と局所脳循環の関係.
第40回日本脳神経外科学会総会 (京都), 10月, 1982
- No. 45 10月 兵頭明夫, 水上公宏, 田澤俊明, 富樫修, 江口孝:
前交通動脈瘤に対する手術アプローチの検討.
第41回日本脳神経外科学会総会 (東京), 10月, 1982
- No. 46 10月 水上公宏, 河瀬斌, 兵頭明夫, 長田乾, 柚木和太, 山口克彦:
頭蓋外閉塞性脳血管障害の超音波定量的血流測定装置の有用性と手術成績.
第40回日本脳神経外科学会総会 (京都), 10月, 1982
- No. 47 10月 宗像克治, 小野幸雄, 能勢忠男, 牧豊, 殿岡玲子:
けいれん発作を初発症状として脳腫瘍例の検討.
第12回日本脳波・筋電図学会学術大会 (米子), 10月, 1982
- No. 48 10月 川井紘一, 小出義信, 伴野悠士, 大塚定徳, 板倉光夫, 藤田敏郎, 久貝信夫, 山下亀
次郎:
脳幹部腫瘍により Cushing 症候群を呈したと考えられる1例.
第55回日本内分泌学会秋季大会 (京都), 10月, 1982
- No. 49 11月 江頭泰平, 能勢忠男, 牧豊:
腎移植後経過中に対麻痺を呈した1例.
第12回日本パラプレジア学会 (大阪), 1982
- No. 50 11月 清野秀子, 八文字玲子, 中村紘一, 渡辺誠治, 内藤裕史, 伴野悠士, 小野幸雄:
Acromegaly と (Obstructive) sleep apnea…麻酔導入時に気道確保が容易でない
症例の検討.
第2回日本臨床麻酔学会総会 (東京), 11月, 1982

- No. 51 11月 吉井与志彦, 中川邦夫, 江頭泰平, 牧豊:
可視域レーザー光応用による脳腫瘍診療に関する基礎的研究.
第3回日本レーザー医学会(東京), 11月, 1982
- No. 52 11月 江頭泰平, 吉井与志彦, 牧豊:
アルゴンレーザーの背髄応用のための基礎的研究(知覚誘発脳波の変化を中心にして).
第3回日本レーザー医学会(東京), 11月, 1982
- No. 53 12月 兵頭明夫, 水上公宏, 河瀬斌, 長田乾, 柚木和太, 山口克彦:
脳波の二次元表示による頭蓋内外血管吻合術後の評価.
第11回日本脳波筋電図学会学術大会(東京), 12月, 1982
- No. 54 12月 松村明, 牧豊, 坪井康次, 小林栄喜, 宗像克治:
後頭蓋窩腫瘍摘出後, 天幕上腫瘍内出血をきたした転移性脳腫瘍の1例.
第8回日本脳神経外科学会関東地方会(東京), 12月, 1982
- No. 55 12月 宗像克治, 小林栄喜, 松村明, 牧豊, 安羅岡一男:
てんかん発作で初発し20年後に摘出された脳有鉤囊尾虫症の1例.
第8回日本脳神経外科学会関東地方会(東京), 12月, 1982

班研究報告

- No. 1 2月 牧豊, 中田義隆:
水頭症のCTによる Follow up study. —とくに slit like ventricle 例について.
文部省科学研究費補助金交付研究班, 「小児水頭症の病態および治療法に関する基礎的臨床的研究, 昭和55年業績集」(松本班) pp.65-70, 1982
- No. 2 2月 牧豊, 中田義隆:
脊髄髄膜瘤に伴う水頭症の髄液循環動態.
文部省科研費総合研究, 「小児水頭症の病態および治療法」(松本班)
第3回班会議(東京), 2月, 1982
- No. 3 2月 牧豊, 能勢忠男:
CRF-bulk flow の検査としての Metrizamide CT cisternography 第2報.
厚生省特定疾患正常圧水頭症調査研究班(森安班)
昭和56年度第2回研究報告会(東京), 2月, 1982
- No. 4 2月 島崎修次:
ドクターカー運用研究委員会結果報告書(恩地班).
消防研修協会, (自治省消防庁), 1982
- No. 5 3月 榎本貴夫, 牧豊:
茨城県における脳神経奇形の発生状況—昭和55年のアンケート調査から—
筑波大学筑波環境グループ, 筑波の環境研究(6) pp.68-72, 1982
- No. 6 3月 牧豊, 能勢忠男, 伴野悠士:
Metrizamide CT cisternography 第2報. —正常水頭症における髄液腔, とくに脳表髄液腔の検討—
厚生省特定疾患, 正常水頭症調査研究班(森安班)
56年度報告書 pp.7-12, 1982

- No. 7 6月 牧豊, 吉井与志彦, 江頭泰平, 中川邦夫:
レーザー機器のがん診療への応用—脳腫瘍診療への応用に関する研究—
厚生省がん研究, 「レーザー機器のがん診療への応用」
第1報, 第2報, (早田班) 6月, 11月, 1982
- No. 8 7月 牧豊:
脳腫瘍診療に対するレーザー機器応用に関する研究.
昭和56年度厚生省がん研究助成金による研究報告書,
307-308, 7月, 1982
- No. 9 9月 牧豊:
脳死.
会福祉事業研究開発基金による班研究報告書, 腎移植による腎不全患者
の社会復帰促進対策(岩崎班), 昭和56年度, 1982
- No. 10 10月 北川俊夫, 牧豊, 大原潔:
深部臓器癌に対する手術, 粒子線照射併用技術に関する研究.
厚生省がん研究, 術後粒子線照射(北川班), (東京), 10月, 1982
- その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)
- No. 1 4月 牧豊:
水頭症および脳奇形について.
第2回沖縄脳神経外科懇話会, 4月, 1982
- No. 2 8月 牧豊:
後頭蓋窩の奇形.
第4回長崎脳浮腫研究会(長崎), 8月, 1982
- No. 3 8月 牧豊:
小児脳神経外科の現状と将来.
第6回聖マリア医学会研究会(久留米), 7月, 1982
- No. 4 11月 牧豊:
脳奇形の診断へのアプローチ.
第40回メディカル・アカデミー臨床医学セミナー(東京), 11月, 1982
- No. 5 11月 能勢忠男:
頭部外傷急性期の観点とその対応.
茨城県助看保協会講演会(水戸), 11月, 1982
- No. 6 11月 能勢忠男:
脳血管障害の外科療法.
茨城県石岡医師会講演会(石岡), 11月, 1982
- No. 7 12月 牧豊:
Holoprosencephaly から Prosencephaly へ.
第100回大阪脳外科症例検討会, 荒木千里記念講演(大阪), 12月, 1982

1982年（泌尿器科グループ）

原 著

- No. 1 1月 Yazaki T., Ishikawa S., Ogawa Y., Takahashi S., Nemoto S., Rinsho K., Kanoh S., Kitagawa R. :
Xanthogranulomatous Pyelonephritis in childhood: Case report and review of English and Japanese literature.
J. Urol. 127: 80-83, 1982
- No. 2 1月 梅山知一, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 山崎洋次, 坂庭操 :
高位異所性腎（いわゆる胸部腎）の1小児例.
小児外科 14: 119-123, 1982
- No. 3 2月 矢崎恒忠, 加納勝利, 北川龍一, 大場正二, 渡辺孝太郎, 東條静夫 :
馬蹄鉄腎に腎結核を合併し慢性腎不全に陥った1症例.
腎と透析 12: 221-223, 1982
- No. 4 3月 矢崎恒忠, 北川龍一, 加納勝利, 小川由英, 高橋茂喜, 林正健二, 根本良介, 根本真一, 梅山知一, 石川悟 :
経尿道的膀胱腫瘍切除における大腿内転反射の予防—局所麻酔と閉鎖神経ブロック併用の重要性—.
臨泌 36: 259-263, 1982
- No. 5 4月 林正健二, 加納勝利, 高橋茂喜, 矢崎恒忠, 小川由英, 石川悟, 根本真一, 飯泉達夫, 武島仁, 北川龍一 :
腎細胞癌に対する抗癌剤動脈内注入療法の検討.
泌尿紀要 28: 383-386, 1982
- No. 6 4月 Ogawa Y., Sano M., Aoyagi K., Takahashi S., Yazaki T., Kanoh S., Kitagawa R. :
Microvascular sleeve anastomosis in rat-renal autografts.
日腎会誌 24: 339-344, 1982
- No. 7 5月 根本真一, 矢崎恒忠, 小川由英, 高橋茂喜, 林正健二, 加納勝利, 北川龍一, 石川悟 :
小児黄色肉芽腫性腎盂腎炎の1例.
臨泌 36: 473-476, 1982
- No. 8 5月 矢崎恒忠, 内田克紀, 菅谷公男, 武島仁, 飯泉達夫, 梅山知一, 根本真一, 根本良介, 林正健二, 高橋茂喜, 小川由英, 加納勝利, 北川龍一, 石川悟 :
尿路悪性腫瘍を含む重複癌の臨床的検討.
泌尿紀要 28: 517-521, 1982
- No. 9 5月 矢崎恒忠, 内田克紀, 菅谷公男, 武島仁, 飯泉達夫, 梅山知一, 根本真一, 根本良介, 林正健二, 高橋茂喜, 小川由英, 加納勝利, 北川龍一, 石川悟 :
陰莖癌12例の臨床的検討.
泌尿紀要 28: 531-538, 1982
- No. 10 5月 根本真一, 高橋茂喜, 小川由英, 加納勝利, 北川龍一 :
後腹膜脂肪肉腫の1例.
泌尿紀要 28: 561-565, 1982

- No. 11 7月 **Yazaki T., Iizumi T., Ogawa Y., Takeshima H., Umeyama T., Nemoto R., Rinsho K., Takahashi S., Kanoh S., Kitagawa R. :**
Renal autotransplantation for localized amyloidosis of the ureter.
J. Urol. 128 : 119-121, 1982
- No. 12 7月 矢崎恒忠, 高橋茂喜, 小川由英, 加納勝利, 北川龍一, 西浦弘, 石川悟 :
糖尿病を伴った陰囊壞疽の2例.
臨泌 36 : 681-684, 1982
- No. 13 7月 梅山知一, 矢崎恒忠, 小川由英, 根本真一, 石川悟, 高橋茂喜, 加納勝利, 北川龍一 :
上部尿路閉塞を合併した後腹膜悪性リンパ腫の1例.
泌尿紀要 28 : 893-897, 1982
- No. 14 8月 内田克紀, 矢崎恒忠, 梅山知一, 菅谷公男, 根本真一, 高橋茂喜, 小川由英, 加納勝利, 北川龍一 :
膀胱血管腫の1例.
泌尿紀要 28 : 967-972, 1982
- No. 15 8月 **Rinsho K., Aoyagi K. :**
Urinary Hydroxyproline Excretion as a Marker of Bone Metastasis in Prostatic Cancer.
Tohoku J. exp. Med. 137 : 461-462, 1982
- No. 16 9月 矢崎恒忠, 加納勝利, 小川由英, 高橋茂喜, 林正健二, 根本良介, 根本真一, 梅山知一, 飯泉達夫, 武島仁, 内田克紀, 菅谷公男, 北川龍一, 石川悟 :
尿管S状腸吻合術による尿路変更の経験.
泌尿紀要 28 : 1111-1120, 1982
- No. 17 10月 **Yazaki T., Akimoto M., Tsuboi N., Kawai H., Miyamoto M., Suzuki T. :**
Congenital mesoblastic nephroma.
Urology 20 : 446-450, 1982
- No. 18 10月 矢崎恒忠, 北川龍一, 加納勝利, 小川由英, 高橋茂喜, 林正健二, 根本良介, 根本真一, 梅山知一, 武島仁, 飯泉達夫, 内田克紀, 菅谷公男, 石川悟 :
前立腺肥大症の手術法に関する臨床的検討.
日泌会誌 73 : 1277-1288, 1982
- No. 19 10月 深尾立, 尾崎梓, 高橋伸禎, 高瀬靖広, 竹島徹, 名越和夫, 岡村隆夫, 岩崎洋治, 矢崎恒忠, 小川由英, 加納勝利, 野口淳夫, 柏原英彦, 横山健郎, 北川龍一, 奥村康, 中内啓光 :
単クローン抗体による腎移植患者のT細胞サブセット解析第一報—腎移植後4ヶ月以上経過した移植腎機能良好者を中心に—.
移植 17 : 372-378, 1982
- No. 20 10月 嶋俊和, 森英俊, 西条一止, 加納勝利 :
臨床レポート (22) 癌性疼痛に対する鍼麻酔方式による治療.
医道の日本 41 : 10, 19-28, 1982
- No. 21 10月 **Koiso K., Niiijima T. :**
Treatment of Superficial Bladder Cancer : A 10 Year Follow-up Study.
Jpn. J. Clin. Oncol. 12 (2) : 165-170, 1982

- No. 22 11月 Hara T., Fujime M., Kawabe K., Ueno A., **Koiso K.**, Nijima T.:
Adult Wilms Tumor and Bilateral Germ Cell Tumors of Testes: A Case Report.
J. Urol. 128: 1296-1298, 1982
- No. 23 11月 森英俊, 嶋俊和, 坂井友実, 矢沢一博, 吉川恵士, 西条一止, **加納勝利**, 北川龍一:
神経因性膀胱に対する鍼および皮膚表面電極刺激効果の臨床研究.
全日本鍼灸学会雑誌 32: 40-46, 1982
- No. 24 11月 矢崎恒忠, 小川由英, 梅山知一, 根本真一, 石川悟, 根本良介, 林正健二, 高橋茂喜, **加納勝利**, 北川龍一:
上部尿路結石の検討第1報腎結石手術および残石に関して.
泌尿紀要 28: 1365-1374, 1982
- No. 25 11月 矢崎恒忠, 小川由英, 菅谷公男, 内田克紀, 武島仁, 飯泉達夫, **加納勝利**, 北川龍一:
上部尿路結石の検討 第2報 尿管結石手術の臨床的観察.
泌尿紀要 28: 1375-1379, 1982
- No. 26 11月 菅谷公男, 高橋茂喜, 矢崎恒忠, 石川悟, 根本真一, **加納勝利**, 北川龍一:
陰茎癌とS状結腸癌を合併した1例.
臨泌 36: 1073-1076, 1982
- No. 27 12月 深尾立, 尾崎梓, 高橋伸禎, 更科広美, 石川詔雄, 岡村隆夫, 岩崎洋治, 野口淳夫, 矢崎恒忠, **加納勝利**, 小川由英, 北川龍一:
腎移植患者における Bredinin の拒絶反応抑制効果と末梢血リンパ球サブポピュレーションに与える影響.
移植 17 Supple. 635-647, 1982
- No. 28 12月 根本真一, 石川博通, 石井誠一郎, 遠山隆夫:
結腸憩室炎に起因したS状結腸膀胱瘻の1例.
臨泌 36: 1165-1168, 1982
- No. 29 12月 Akaza H., **Koiso K.**, Nijima T., Oshi M., Asano M.:
Prophylactic Intravesical Chemotherapy: Its Unexpected Course.
Jpn. J. Clin. Oncol. 12 (3): 315-320, 1982
- 総説
- No. 1 2月 石川演美, 舘澤堯, 石川悟, 平松慶博:
癌治療における画像診断, 泌尿器.
癌と化学療法 9: 197-203, 1982
- No. 2 11月 小磯謙吉:
腎盂腎炎.
臨床成人病 12 (11): 2116-2118, 1982
- No. 3 12月 小磯謙吉:
腎エネルギー代謝.
三和医報 9: 1-8, 1982
- No. 4 12月 矢崎恒忠:
腎尿管結石.
治療 64: 2070-2074, 1982

著 書

- No. 1 10月 Koiso K., Isurugi K., Kotake T., Nijima T. :
Peplomycin Treatment for prostatic Cancer. Current Chemotherapy and Immunotherapy.
Vol. 2, pp. 1348-1349, 1982. American Society for Microbiology.
Washington D. C., U. S. A.
- No. 2 12月 小磯謙吉 :
膀胱穿刺.
臨床実技 (宮本昭正, 丸山雄二編), pp. 56-57, 南江堂 (東京), 1982
- No. 3 12月 矢崎恒忠, 北川龍一 :
導尿.
臨床実技 (宮本昭正他編), pp. 258-259, 南江堂 (東京), 1982
- No. 4 12月 矢崎恒忠, 北川龍一 :
前立腺マッサージ.
臨床実技 (宮本昭正他編), pp. 261-263, 南江堂 (東京), 1982
- 学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)
- No. 1 1月 内田克紀, 梅山知一, 矢崎恒忠, 高橋茂喜, 小川由英, 加納勝利, 北川龍一 :
腎血管腫の1例.
第407回日本泌尿器科学会東京地方会 (東京), 1月, 1982
- No. 2 1月 根本良介, 根本真一, 石川悟, 梅山知一, 林正健二, 北川龍一 :
レーザー光広角散乱パターン分析による尿中細胞診の試み.
第407回日本泌尿器科学会東京地方会 (東京), 1月, 1982
- No. 3 1月 小石沢正, 深尾立, 尾崎梓, 小川由英, 矢崎恒忠, 梅山知一, 北川龍一, 岩崎洋治 :
慢性拒絶反応に多彩な合併症を併発した1例.
第15回腎移植臨床検討会 (宝塚市), 1月, 1982
- No. 4 2月 梅山知一, 内田克紀, 石川悟, 根本良介, 加納勝利, 北川龍一 :
体位変換による骨盤部 CT, coronal (冠状) 断面像の描出の試み.
第1回日本臨床画像医学研究会 (東京), 2月, 1982
- No. 5 2月 根本真一, 梅山知一, 武島仁, 飯泉達夫, 小川由英, 林正健二, 北川龍一, 大島統男 :
骨シンチグラムにおける前立腺癌転移巣の拡がり と生化学マーカーとの対比について.
日本臨床画像医学研究会第1回研究会表会
- No. 6 2月 石川悟, 根本真一, 菅谷公男, 矢崎恒忠, 高橋茂喜, 北川龍一, 大島統男 :
ラジオアイソトープアンギオグラフィーによる選択的動脈内注入療法の評価.
第1回日本臨床画像医学研究会 (東京), 2月, 1982
- No. 7 3月 根本真一, 矢崎恒忠, 根本良介, 内田克紀, 武島仁, 北川龍一 :
傍尿道 Mesonephric Adenocarcinoma の1例.
第409回日本泌尿器科学会東京地方会 (東京), 3月, 1982
- No. 8 3月 矢崎恒忠, 加納勝利, 小川由英, 高橋茂喜, 林正健二, 根本良介, 根本真一, 梅山知一, 石川悟, 北川龍一 :
TUR-Bt における閉鎖神経ブロックの経験.
第409回日本泌尿器科学会東京地方会 (東京), 3月, 1982

- No. 9 5月 加納勝利, 矢崎恒忠, 高橋茂喜, 北川龍一:
膀胱腫瘍に対するアドリマイシン長期動注療法の臨床的効果.
第70回日本泌尿器科学会総会 (弘前市), 5月, 1982
- No. 10 5月 林正健二, 高橋茂喜, 矢崎恒忠: 北川龍一:
ホルモン抵抗性前立腺癌の化学療法における効果判定.
第70回日本泌尿器科学会総会 特別示説 (弘前市), 5月, 1982
- No. 11 5月 梅山知一, 小川由英, 林正健二, 高橋茂喜, 加納勝利, 北川龍一:
蓚酸カルシウム結石症における P, Mg と微量金属に関する研究.
第70回日本泌尿器科学会総会 (弘前市) 5月, 1982
- No. 12 5月 根本真一, 石川博通, 林正健二:
骨シンチグラムにおける前立腺癌転移巣の拡がり と生化学マーカーとの関連について.
第70回日本泌尿器科学会総会 (弘前市), 5月, 1982
- No. 13 5月 根本真一, 根本良介, 北川龍一, 鍵田美栄子, 小形岳三郎:
尿細胞診の臨床統計.
第23回日本臨床細胞学会総会 (大阪), 5月, 1982
- No. 14 5月 石川悟, 飯泉達夫, 武島仁, 梅山知一, 根本真一, 矢崎恒忠, 高橋茂喜, 小川由英, 加納勝利, 北川龍一:
自家腎移植術3例の経験.
第12回日本腎臓学会東部々会 (東京), 5月, 1982
- No. 15 5月 石川悟, 根本良介, 北川龍一:
レーザー光線と色素による殺細胞効果に関する基礎的研究.
第70回日本泌尿器科学会総会 (弘前市), 5月, 1982
- No. 16 5月 梅山知一, 小川由英, 高橋茂喜, 加納勝利, 北川龍一:
新生児期に発見された成人型嚢胞腎の1例.
第12回日本腎臓学会東部々会 (東京), 5月, 1982
- No. 17 6月 梅山知一, 内田克紀, 矢崎恒忠, 石川悟:
後部尿道弁.
第13回茨城泌尿器科集談会 (水戸), 6月, 1982
- No. 18 6月 根本真一:
傍尿道 Mesonephric Adenocarcinoma の1例.
第13回茨城泌尿器科集談会 (水戸), 6月, 1982
- No. 19 7月 石川悟, 武島仁, 飯泉達夫, 梅山知一, 矢崎恒忠, 林正健二, 加納勝利:
肺塞栓症の2例.
第411回日本泌尿器科学会東京地方会 (東京), 7月, 1982
- No. 20 8月 加納勝利, 高橋茂喜, 矢崎恒忠, 林正健二, 根本良介, 石川悟, 浜口秀夫, 原田昌興:
ヒト皮膚扁平上皮癌培養株 TSUS-1 の樹立とその性状.
第41回日本癌学会 (大阪), 8月, 1982
- No. 21 8月 石川悟, 根本良介, 加納勝利, 北川龍一, 石坂昭三, 小林克己:
ヒト尿路悪性腫瘍由来培養細胞に対するレーザー光線と色素による殺細胞効果.
第41回日本癌学会総会 (大阪), 8月, 1982

- No. 22 9月 深尾立, 尾崎梓, 高橋伸禎, 岡村隆夫, 小川由英, 矢崎恒忠, 加納勝利, 北川龍一, 岩崎洋治, 野口淳夫, 相原英彦, 横山健郎, 落合武徳:
単クローン抗体 (Leu シリーズ) による腎移植患者のリンパ球サブポピュレーションの解析.
第18回日本移植学会総会 (福岡), 9月, 1982
- No. 23 9月 Kanoh S.:
Long-term intra-arterial infusion chemotherapy with Adriamycin for advanced bladder cancer.
The 2nd Conference on treatment of urinary tract tumors with Adriamycin. (San Francisco), Sept., 1982
- No. 24 9月 Kitagawa R., Kanoh S., Ogawa Y., Takahashi S., Rinsho K., Nemoto R.:
Long-term intra-arterial infusion chemotherapy for advanced bladder cancer.
XIX Congress of the Societe Internationale D'Urologie (San Francisco), Sept., 1982
- No. 25 9月 石川悟, 内田克紀, 矢崎恒忠:
ラジオアイソトープアンギオグラフィーによる膀胱癌の選択的内腸骨動脈内注入療法の評価.
第20回日本癌治療学会総会 (東京), 9月, 1982
- No. 26 9月 林正健二, 根本真一:
前立腺癌の骨転移と尿中ヒドロキシプロリン (Ⅱ)
第20回日本癌治療学会総会 (東京), 9月, 1982
- No. 27 9月 根本真一, 飯泉達夫, 根本良介:
尿細胞診の臨床的検討.
第20回日本癌治療学会総会 (東京), 9月, 1982
- No. 28 9月 中山凱夫, 添田周吾, 坂井重信, 鍾陽明, 小川由英, 石川悟:
外陰部の悪性腫瘍切除後の再建について,
第20回日本癌治療学会総会パネルディスカッション (東京), 9月, 1982
- No. 29 9月 梅山知一, 武島仁, 加納勝利:
骨盤腔における direct coronal CT の試み.
第20回日本癌治療学会総会 (東京), 9月, 1982
- No. 30 9月 相川厚, 武島仁, 石川博通, 池端幸彦, 田村洋一郎, 斎藤英夫, 影山隆久, 稲垣宏, 遠山隆夫:
最近経験した骨盤内臓器全摘術の2例.
第109回茨城県外科集談会 (水戸), 9月, 1982
- No. 31 10月 根本真一, 林正健二, 加納勝利, 飯泉達夫, 内田克紀, 島居徹, 菊池孝治:
当科における副腎疾患手術例の検討.
日本泌尿器科学会第47回東部連合総会 (山形), 10月, 1982
- No. 32 10月 石川博通, 相川厚, 武島仁:
S状結腸膀胱瘻を呈したクローン病の1例.
第47回日本泌尿器科学会東部連合総会 (山形), 10月, 1982

- No. 33 10月 根本良介, 石川悟, 梅山知一, 矢崎恒忠, 菅谷公男, 加藤哲郎, 原田昌興:
前立腺癌の臨床病理学的検討. 3. occult cancer について.
第47回日本泌尿器科学会東部連合総会 (山形), 10月, 1982
- No. 34 10月 小磯謙吉:
シンポジウム「表在性膀胱腫瘍の治療その2」粘膜上皮内癌 (carcinoma ins itu) について.
第47回日本泌尿器科学会東部連合総会 (山形), 10月, 1982
- No. 35 11月 菊池孝治, 島居徹, 飯泉達夫, 根本良介, 林正健二, 加納勝利:
超音波穿刺法による経皮的腎盂造影法で診断を確定しえた症例.
第4回茨城医学会泌尿器科分科会 (水戸), 11月, 1982
- No. 36 11月 菅谷公男, 梅山知一, 石川悟, 矢崎恒忠, 加納勝利, 北川龍一:
尿道下裂に対する one stage 尿道形成術.
第4回茨城医学会泌尿器科分科会 (水戸), 11月, 1982
- No. 37 11月 矢崎恒忠, 加納勝利, 石川悟, 梅山知一, 飯泉達夫, 武島仁, 内田克紀, 菅谷公男:
腎結石手術における残石の検討.
第25回日本腎臓学会総会 (東京), 11月, 1982
- No. 38 11月 小磯謙吉:
シンポジウム「癌化学療法の実況と問題点」泌尿器癌一泌尿器悪性腫瘍の化学療法.
第29回日本化学療法学会東日本支部総会 (仙台), 11月, 1982
- No. 39 11月 相川厚, 武島仁, 石川博通:
小児完全重複尿管の1例.
第14回茨城県泌尿器科集談会 (水戸), 11月, 1982
- No. 40 11月 相川厚, 石川博通, 武島仁, 篠田正幸, 中島史雄, 中藺昌明, 田崎寛:
男子不妊症患者における血中セロトニン値.
第27回日本不妊学会総会 (東京), 11月, 1982
- No. 41 11月 菊池孝治, 根本良介, 林正健二, 加納勝利:
経皮的腎盂造影 etc について.
第14回茨城県泌尿器科集談会 (水戸), 11月, 1982
- No. 42 11月 石川悟, 加納勝利, 根本良介, 根本真一, 梅山知一:
ヌードマウス可移植陰茎癌細胞株 (TSUS-1) を用いた化学療法の基礎的研究.
第7回泌尿器がん化学療法研究会 (名古屋), 11月, 1982
- No. 43 11月 石川博通, 武島仁, 相川厚:
Immotile-cilia syndrome の1例.
第14回茨城県泌尿器科集談会 (水戸), 11月, 1982
- No. 44 11月 相川厚, 武島仁, 石川博通, 影山隆久:
重症例のスワンガンツカテテルによる管理.
第14回茨城県泌尿器科集談会 (水戸), 11月, 1982
- No. 45 11月 梅山知一, 根本真一, 佐伯英明, 石塚源造, 小泉雄一郎:
全身 CT で確診した10数例.
第14回茨城県泌尿器科集談会 (水戸), 11月, 1982

No. 46 12月 飯泉達夫, 武島仁, 根本良介, 林正健二, 加納勝利, 小磯謙吉:

単腎に発生した腎癌の1例.

第414回日本泌尿器科学会東京地方会(東京), 12月, 1982

班研究報告

No. 1 11月 小磯謙吉:

「膀胱癌の発生と進展に関する研究」—膀胱上皮内癌.

厚生省がん研究, 膀胱癌研究班(東京), 12月, 1982

その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 4月 林正健二:

問題解決型試験を作るコツ.

医学教育13(2): 94, 1982

No. 2 11月 小磯謙吉:

印象記: 国際泌尿器科学会に参加して.

臨床泌尿器科 36(11), 1086-1087, 1982

No. 3 12月 小磯謙吉:

腎疾患「目でみるトレーニング」.

メディチナ19(12), 2268-2271, 1982

1982年（代謝内分泌外科グループ）

原 著

- No. 1 8月 Yamashita K., Koide Y. and Aiyoshi Y. :
Effects of substance P on thyroid cyclic AMP levels and thyroid hormone release from canine thyroid slices.
Proceedings of the Second Asia and Oceania
Thyroid Association Meeting. 49-52, 1982
- No. 2 9月 樫村博正, 中原朗, 川北勲, 谷中昭典, 松崎靖司, 蔡承喜, 東郷順子, 宮本二郎, 柴田裕身, 井廻道夫, 山形通, 小山捷平, 三田村圭二, 武藤弘, 福富久之, 大菅俊明, 崎田隆夫, 金沢暁太郎, 相吉悠治 :
超音波ガイド下穿刺吸引細胞診が有用であった adrenal myelolipoma の1例.
日消病会誌 79 : 1788-1793, 1982
- No. 3 10月 金地嘉春, 鬼塚正孝, 相吉悠治, 金沢暁太郎, 樫村博正, 中原朗, 崎田隆夫 :
副腎 Myelolipoma の1例.
ホルモンと臨床 30 : 1101-1104, 1982
- 学会発表（シンポジウム, 特別講演を含む）
- No. 1 1月 金地嘉春, 相吉悠治, 金沢暁太郎 :
副腎 myelolipoma の1例.
第8回北関東内分泌研究会（栃木県）, 1月, 1982
- No. 2 5月 相吉悠治, 金沢暁太郎, 山下亀次郎 :
甲状腺 cyclic AMP 系における α , β アドレナージック受容体機構の変換に関する研究.
第55回日本内分泌学会総会（東京）, 5月, 1982
- No. 3 8月 K. Yamashita, and Y. Aiyoshi :
Effect of substance P on cyclic AMP levels in canine thyroid slices.
The Second Asia & Oceania Thyroid Association
Meeting (Tokyo, Japan), 8月, 1982
- No. 4 9月 小原孝男, 藤本吉秀, 伊藤悠基夫, 和久宗明, 山下共行, 相吉悠治, 西常博 :
上皮小体癌再発再手術例の経験.
第20回日本癌治療学会総会（東京）, 9月, 1982
- No. 5 10月 相吉悠治, 金沢暁太郎, 藤本吉秀 :
病理解剖例による腺腫様甲状腺腫の検討.
第15回甲状腺外科検討会（倉敷）, 10月, 1982
- No. 6 10月 小原孝男, 伊藤悠基夫, 藤本吉秀, 相吉悠治, 久貝信夫 :
妊娠中毒症を契機に発見された副甲状腺癌の1例.
第55回日本内分泌学会秋季大会（京都）, 10月, 1982
- No. 7 11月 清沢智晴, 渡辺泰徳, 渋谷進, 相吉悠治, 中山凱夫, 添田周吾 :
フローセン肝炎について.
第110回茨城外科集談会（水戸）, 11月, 1982

1982年（整形外科グループ）

原 著

- No. 1 1月 田淵健一：
第8回整形外科スポーツ医学研究会に出席して。
スポーツサイエンス 1：61, 1982
- No. 2 2月 陶山哲夫, 田淵健一, 林浩一郎, 矢吹武, 土肥徳秀：
スポーツ選手における頸部外傷障害について。
整形災害外科 25：237-242, 1982
- No. 3 2月 Hayashi K., Yabuki T., Tabuchi K., Fujii T.：
Repaire of experimental bone defect with a collagen block containing
synthesized apatite.
Arch. Orthp. Traum. Surg. 99：265-269 Feb. 1982
- No. 4 2月 勝田茂, 田淵健一, 高松薫, 田中守：
筋線維組成および体力。運動能力との関連からみたスポーツ適性の開発に関する研究。
デサントスポーツ科学 3：108-113, 1982
- No. 5 4月 吉川靖三：
くる病・骨軟化症のリモデリング。
日本整形外科学会雑誌 56：277-292, 1982
- No. 6 6月 田淵健一：
足関節捻挫の病態と治療。
整形外科 33：687, 1982
- No. 7 7月 吉川靖三, 矢吹武, 大野敦也, 吉田透, 和田野安良：
母子に発現した成人型特発性 Fanconi 症候群。
骨代謝 15：145-154, 1982
- No. 8 7月 友部正大, 陶山哲夫, 大野敦也, 田淵健一, 吉川靖三：
先天性下腿三頭筋形成不全による凹足変形の1例。
足の外科研究会誌 3：74-77, 1982
- No. 9 9月 中村信也, 二ノ宮節夫, 宮永豊, 福林徹, 五十嵐三都男, 加藤文雄：
摘出人工股関節の検討。
整形災害外科 25：1299-1304, 1982
- No. 10 9月 増島篤, 中嶋寛之, 福林徹, 星川吉光, 小林茂, 辻勉, 横関徳二, 中村千行：
菅平夏期診療所におけるラグビー外傷。
東日本スポーツ医学研究会会誌 3：18-21, 1982
- No. 11 9月 河合従之, 福林徹, 星川吉光, 柳迫康夫, 西野仁樹：
家兎膝半月の血行動態と損傷半月の修復機序について。
整形外科基礎科学 9：89-92, 1982
- No. 12 9月 土肥徳秀：
マイコン入門 1. マイコンとははじめ
整形外科 33：1094-1095, 1982

- No. 13 10月 陶山哲夫, 中村茂, 林浩一郎, 田淵健一, 矢吹武, 井口晶雄, 宮川俊平:
下垂足を呈した腰椎椎間板ヘルニア.
整形災害外科 25: 1477-1482, 1982
- No. 14 10月 土肥徳秀:
マイコン入門 2. マイコンと大型計算機を結ぶ.
整形外科 33: 1204-1206, 1982
- No. 15 11月 宮川俊平, 田淵健一, 林浩一郎, 矢吹武, 土肥徳秀, 河野一郎:
ラグビー選手の頸部障害の実態.
スポーツサイエンス 1: 403-408, 1982
- No. 16 11月 福林徹, 黒沢尙:
膝靱帯損傷.
整形災害外科 25: 1791-1799, 1982
- No. 17 11月 星川吉光, 黒沢尙, 福林徹, 中嶋寛之:
半月損傷,
整形災害外科 25: 1801-1810, 1982
- No. 18 11月 陶山哲夫:
頸部外傷障害について. Part I
トレーニングジャーナル 11月: 16, 1982
- No. 19 11月 河路渡, 平林冽, 林浩一郎, 吉野慎一, 浜野恭之:
Cefmetazole の骨・関節組織への移行性に関する基礎的検討.
臨床と研究 59: 3393-3396, 1982
- No. 20 11月 田淵健一, 宮川俊平:
ランニングによる下腿の障害.
スポーツサイエンス 1: 351-364, 1982
- No. 21 11月 陶山哲夫, 田淵健一, 林浩一郎, 矢吹武, 宮川俊平, 上牧裕:
スポーツに於ける頸部障害.
整形災害外科 25: 1739-1747, 1982
- No. 22 11月 土肥徳秀:
マイコン入門 3. データベース. 文献検索
整形外科 33: 1328-1329
- No. 23 12月 吉川靖三:
Postmenopausal osteoporosis の Ca, P 代謝異常.
日本臨床 40: 2738-2744, 1982
- No. 24 12月 矢吹武, 田淵健一, 林浩一郎, 宮川俊平:
スポーツによる頸椎外傷 (ラグビー選手の頸椎変化)
別冊 整形外科 No. 2: 166-171, 1982
- No. 25 12月 万納寺毅彦, 屋宣公, 立花新太郎, 林浩一郎, 矢吹武, 大野敦也, 藤井忠彦:
電気刺激を利用した頸部脊髄症の実験モデル.
整形外科 33: 1907-1910, 1982
- No. 26 12月 河路渡, 平林冽, 林浩一郎, 吉野慎一, 浜野恭之:
整形外科領域の感染症に対する Cefmetazole の臨床成績.
臨床と研究 59: 3783-3786, 1982

- No. 27 12月 林浩一郎, 田淵健一, 矢吹武, 進藤裕幸, 岡野克紀, 宮川俊平, 島崎修一:
徒手整復により良好な経過を示した頸椎前方脱臼の1例.
別冊 整形外科 No. 2.306-309, 1982
- No. 28 12月 岡野克紀, 林浩一郎:
閉鎖性持続洗浄療法に難渋した嫌気性菌骨髓炎の1例.
整形災害外科 25: 2003, 1982
- No. 29 12月 陶山哲夫:
頸部外傷障害について. Part II
トレーニングジャーナル, 12月: 16, 1982
- No. 30 12月 星川吉光, 福林徹, 佐藤茂, 黒沢尚:
局所浸潤麻酔による膝関節鏡視.
関節鏡 7: 33-38, 1982
- No. 31 12月 土肥徳秀:
マイコン入門 4 簡易言語とデータベース.
整形外科 33: 1919-1920, 1982
- 総 説
- No. 1 1月 林浩一郎:
現在の抗性物質.
整形外科 Mook 21: 94-99, 1982
- No. 2 1月 矢吹武:
計測線・計測値. (環椎前弓歯突・起間距離)
整形外科 33: 22, 1982
- No. 3 1月 田淵健一:
計測線・計測値. (Böhler 角または踵骨結節関節角)
整形外科 33: 30, 1982
- No. 4 3月 野村武男, 勝田茂, 平井淳, 勝村龍一, 田淵健一, 中本哲:
運動処方研究(2) 運動処方における性差の検討(3) 健康を目的とした水泳運動の
効果に関する男女差の検討.
筑波大学運動処方特別プロジェクト研究組織, p. 141-153, 1982
- No. 5 3月 田淵健一:
膝関節棚障害.
日本臨床 40: 1250-1251
- No. 6 4月 田淵健一:
計測線・計測値. (側方距踵角度)
整形外科 33: 474
- No. 7 4月 田淵健一:
スポーツ中の怪我の応急処置・治療とリハビリテーション—創傷—.
みんなのスポーツ 4月: 37, 1982
- No. 8 5月 吉川靖三:
ビタミンD抵抗性くる病.
整形外科 33: 500-501, 1982

- No. 9 5月 田淵健一：
スポーツ中の怪我の応急処置・治療とリハビリテーション―挫傷―。
みんなのスポーツ 5月：37, 1982
- No. 10 6月 田淵健一：
スポーツ中の怪我の応急処置・治療とリハビリテーション―切挫創―。
みんなのスポーツ 6月：35, 1982
- No. 11 7月 折茂肇，越川昭三，吉川靖三，土屋裕：
活性ビタミンDの臨床応用。
Progress in Medicine 2：1059-1070, 1982
- No. 12 7月 田淵健一：
スポーツ中の怪我の応急処置・治療とリハビリテーション―突き指（1）―。
みんなのスポーツ 7月：30, 1982
- No. 13 8月 田淵健一：
スポーツ中の怪我の応急処置・治療とリハビリテーション―突き指（2）―。
みんなのスポーツ 8月：47, 1982
- No. 14 9月 林浩一郎，田淵健一，宮川俊平：
スポーツ外傷。
臨床成人病 12：1613-1615, 1982
- No. 15 9月 田淵健一：
スポーツ中の怪我の応急処置・治療とリハビリテーション―腱損傷―。
みんなのスポーツ 9月：34, 1982
- No. 16 10月 田淵健一：
計測線・計測値。（背底距踵骨角度）
整形外科 33：1100, 1982
- No. 17 10月 田淵健一：
スポーツ中の怪我の応急処置・治療とリハビリテーション―腱損傷―。
みんなのスポーツ 10月：50, 1982
- No. 18 10月 田淵健一：
研究会を聞く。
第8回整形外科スポーツ医学研究会 整形外科 33：1211, 1982
- No. 19 11月 田淵健一：
ランニングに伴う傷害・特集によせて。
スポーツサイエンス 1：331, 1982
- No. 20 11月 田淵健一：
計測線・計測値。（肩峰骨頭間距離）
整形外科 33：1256, 1982
- No. 21 11月 田淵健一：
スポーツ中の怪我の応急処置・治療とリハビリテーション―中手骨と手根骨の傷害その1―。
みんなのスポーツ 11月：48, 1982

著 書

- No. 1 3月 林浩一郎：
感染性疾患。
小児の整形外科（井沢淑郎編）p. 86-93, 医歯薬出版, 東京, 1982
- No. 2 3月 林浩一郎：
乳児急性化膿性股関節炎。
小児の整形外科（井沢淑郎編）p. 163-164, 医歯薬出版, 東京, 1982
- No. 3 3月 矢吹武：
炎症性疾患。
臨床医学図説 第9巻 整形外科①B（阿部光俊編）p. 577-589,
近代医学出版社, 千葉, 1982
- No. 4 4月 林浩一郎：
骨関節診断法。
整形外科診察ハンドブック（山本真・林浩一郎編）p. 16-24,
南江堂, 東京, 1982
- No. 5 4月 林浩一郎：
疾患分類表。
整形外科診察ハンドブック（山本真・林浩一郎編）p. 327-336,
南江堂, 東京, 1982
- No. 6 6月 林浩一郎：
運動器疾患。
疾患と治療薬（清水喜八郎, 福室憲治編）p. 371-377,
南江堂, 東京, 1982
- No. 7 6月 吉川靖三：
代謝性骨疾患最近の進歩。
整形外科 Mook No.23, 骨系統疾患（伊丹康人・西尾篤人・
吉川靖三編）p. 187-192, 金原出版, 東京, 1982
- No. 8 7月 林浩一郎：
整形外科三世紀の光芒。
南江堂, 東京, 1982
- No. 9 8月 Yoshikawa S., Nakamura T., Nishii Y. :
Vitamin D dependent rickets with limited response to $1\alpha\text{OHD}_2$ and high
serum $1, 25 (\text{OH})_2 \text{D}$ levels —— long term follow up.
Vitamin D — Chemical biochemical and clinical endocrinology
of calcium metabolism. (Norman A.W. et al eds) pp.1001-1003
walter deGruyter Berlin, N.Y. Aug. 1982
- No. 10 9月 吉川靖三：
Calcium and Phosphorous Metabolism
新臨床整形外科全書 1—B. 骨系統疾患（岩松英吉・小野啓郎編）
pp. 235-256 金原出版, 東京, 1982

- No. 11 9月 吉川靖三：
骨系統疾患。
整形外科学外傷学 改訂第3版（森崎直木編）p.103-125, 文光堂, 東京, 1982
- No. 12 9月 田淵健一：
安全・救急法,
トリムリーダー基礎理論. 余暇開発センター p. 206-219,
ぎょうせい, 東京, 1982
- No. 13 10月 吉川靖三：
paget 病,
先天性代謝病・免疫病ハンドブック（荻田善一, 大浦敏明編）
p. 726-727, 中山書店, 東京, 1982
- No. 14 12月 林浩一郎：
感染を防ぐ手術手技。
図説臨床整形外科講座 第11巻 感染症（林浩一郎編集幹事）
p. 38-41, メジカルレビュー社, 東京, 1982
- No. 15 12月 林浩一郎：
現在の抗生物質。
図説臨床整形外科講座 第11巻 感染症.（林浩一郎編集幹事）
p. 82-85, メジカルレビュー社, 東京, 1982
- No. 16 12月 福林徹：
関節鏡。
臨床実技（宮本昭正・丸山雄二編）p. 122-124, 南江堂, 東京, 1982
- 学会発表（シンポジウム, 特別講演を含む）
- No. 1 2月 Yoshikawa S., Nakamura T., Nishii Y.:
Vitamin D dependent rickets with limited response and high serum 1, 25
(OH)₂D levels.
The fifth workshop on Vitamin D (Williamsburg, U.S.A.) Feb. 1982
- No. 2 2月 赤居正美, 矢吹武, 白崎芳夫, 立石哲也：
直流刺激により形成された家兎腓骨での電氣的仮骨の力学的性質。
第9回骨と電気刺激の研究会（東京）2月, 1982
- No. 3 2月 大野敦也, 林浩一郎, 矢吹武, 吉田透：
コラーゲン圧電膜による電氣的仮骨の定量的評価の試み。
第9回骨と電気刺激の研究会（東京）2月, 1982
- No. 4 3月 吉川靖三, 大野敦也, 吉田透, 中村利孝：
種々の型のくる病, 骨軟化症に対する 1αOHD₃ の効果とその発生病理に対する考察。
第50回日本整形外科学会総会（福岡）3月, 1982
- No. 5 3月 本多純男, 吉川靖三, 山辺登, 君塚葵：
先天性内反足に対する後方解離術について。
第50回日本整形外科学会総会（福岡）3月, 1982
- No. 6 3月 陶山哲夫, 中村茂, 井口晶雄, 田淵健一：
頸椎前縦靱帯骨化症により嚥下障害をきたした1症例。
第58回静岡県整形外科集談会（三島）3月, 1982

- No. 7 4月 中村茂, 陶山哲夫, 井口昌雄, 田淵健一:
7年間放置された陳旧性脈骨結節離骨折の治療経験.
第7回北関東膝を語る会(前橋) 4月, 1982
- No. 8 4月 土肥徳秀, 田淵健一, 吉田透:
前十字靱帯損傷の再建.
第7回北関東膝を語る会(前橋) 4月, 1982
- No. 9 5月 天貝均・田淵健一, 宮川俊平, 岡野克紀, 土肥徳秀, 大野敦也:
スポーツによる大円筋皮下断裂の2例.
第4回関東整形災害外科学会(東京) 5月, 1982
- No. 10 6月 立石哲也, 白崎芳夫, 赤居正美, 矢吹武:
電気仮骨形成評価法に関する研究.
日本バイオレオロジー学会(倉敷) 6月, 1982
- No. 11 6月 宮川俊平, 田淵健一, 土肥徳秀, 林浩一郎, 矢吹武, 上牧裕:
スポーツによる過労性骨障害の症例142名, 160件の検討.
第8回整形外科スポーツ医学研究会(東京) 6月, 1982
- No. 12 7月 吉川靖三, 田淵健一, 西澤良雄, 宮川俊平, 坪井康次, 長紹元:
遅発性特発性内反凹足について.
第7回足の外科研究会(山形), 7月, 1982
- No. 13 7月 吉川靖三:
骨とリン代謝.
第16回骨代謝研究会(東京), 7月, 1982
- No. 14 7月 吉田透, 林浩一郎, 土肥徳秀, 天貝均:
手術場における細菌の検索.
第5回骨・関節感染症研究会.(仙台), 7月, 1982
- No. 15 7月 大野敦也, 吉川靖三, 吉田透, 天貝均:
Albright 症候群の骨動態について.
第16回骨代謝研究会(東京), 7月, 1982
- No. 16 9月 宮川俊平, 田淵健一, 林浩一郎, 矢吹武, 土肥徳秀, 河野一郎, 上牧裕:
ラグビー選手の頸部障害の実態 第II報.
第37回日本体力医学会大会(島根), 9月, 1982
- No. 17 9月 井口昌雄, 陶山哲夫, 中村茂, 別所和也, 宮川俊平:
同胞に発生した myotonic dystrophy の2例.
第60回静岡県整形外科集談会(静岡), 9月, 1982
- No. 18 9月 Fukubayashi T., Kurosawa H., Hoshikawa Y., Sato S., Nishino H.:
Diagnosis and treatment of anterior cruciate ligament insufficiency.
7th congress of the Western Pacific Orthopaedic Association,
(Perth, Australia) Sept., 1982
- No. 19 9月 井口昌雄, 陶山哲夫, 中村茂, 岩谷力, 岩野孝彦:
血友病性偽腫瘍に伴う左大腿骨病的骨折の治療例.
第31回東日本臨床整形外科学会(栃木), 9月, 1982

- No. 20 9月 佐藤茂, 福林徹, 黒沢尙, 土居通泰, 星川吉光, 柳迫康夫, 小出清一:
習慣性膝蓋骨脱臼に対する Elmslie 法について.
第31回東日本臨床整形外科学会 (栃木), 9月, 1982
- No. 21 10月 陶山哲夫, 中村茂, 井口晶雄, 宮川俊平, 田淵健一, 角谷文祐:
腓骨筋腱脱臼の治療経験.
第4回東日本スポーツ医学研究会 (東京), 10月, 1982
- No. 22 10月 高槻先歩, 田淵健一:
第8回アメリカ整形外科スポーツ医学会報告.
第4回東日本スポーツ医学研究会 (東京), 10月, 1982
- No. 23 10月 和田野安良, 田淵健一, 上牧裕, 天貝均, 土肥徳秀, 宮川俊平:
Impingement Exostoses について.
第4回東日本スポーツ医学研究会 (東京), 10月, 1982
- No. 24 10月 福林徹:
半月板縫合の可能性.
第7回北関東膝を語る会. (小山), 10月, 1982
- No. 25 10月 勝田茂, 田淵健一, 田中守:
スポーツ選手の利き手, 非利き手における筋線維組成と作業性肥大,
日本体育学会第33回大会, 10月, 1982
- No. 26 10月 酒井俊郎, 勝田茂, 高松薫, 田淵健一, 田中守:
非鍛練における肩関節屈曲パワーおよび膝関節伸展パワーと筋線維組成との関係.
日本体育学会第33回大会, 10月, 1982
- No. 27 11月 田淵健一:
第8回アメリカ整形外科スポーツ医学会を聞いて.
第1回茨城県スポーツ医学研究会 (水戸), 11月, 1982
- No. 28 11月 田淵健一:
コーチングとスポーツ・クリニック.
第2回スポーツ教育学会 (筑波大学), 11月, 1982
- No. 29 12月 黒沢尙, 夏山之伸, 増島篤, 土居通泰, 佐藤茂, 福林徹:
陳旧性前十字靱帯損傷に対する関節鏡を利用した2重支持再建法の試み.
第8回日本関節鏡学会 (東京), 12月, 1982
- No. 30 12月 堀中普, 福林徹, 中村耕三, 宮下裕芳, 玉井和哉, 能野潔, 小出清一:
若年者の膝関節に生じた PVS の1例.
第470回整形外科集談会東京地方会 (東京), 12月, 1982
- その他 (放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)
- No. 1 3月 田淵健一:
安全・救急法.
トリムリーダー講座, 余暇開発センター, 3月, 1982
- No. 2 6月 田淵健一:
足関節捻挫について.
渋谷区医師会勉強会, 6月, 1982

- No. 3 7月 吉川靖三：
骨軟化症の治療と病態。
第2回福岡カルシウム代謝研究会，特別講演，7月，1982
- No. 4 8月 田淵健一：
足関節捻挫（急性と慢性）。
1982年スポーツ医学セミナー，8月，1982
- No. 5 8月 田淵健一：
スポーツ中の外傷および障害の救急法。
57年度スケート（フィギュア）競技コーチ養成専門教科講習会，8月，1982
- No. 6 9月 吉川靖三，藤田拓男：
骨の成長とその障害。
カネボウメディック日本短波放送，9月，1992
- No. 7 9月 田淵健一：
上肢のスポーツ障害。
第5回茨城県柔道接骨師会，9月，1982
- No. 8 9月 田淵健一：
安全・救急法。
トリム1級リーダー講座，余暇開発センター，9月，1982
- No. 9 9月 田淵健一：
指導者のための応急処置。
57年度バトミントン指導者講習会，9月，1982
- No. 10 10月 田淵健一：
サッカー外傷・足関節と足部，
第3回サッカードクターセミナー，10月，1982
- No. 11 11月 吉川靖三：
骨代謝と代謝性疾患。
青森整形外科研究会，11月，1982
- No. 12 11月 田淵健一：
足関節の捻挫について。
第13回臨床整骨医学研究会，11月，1982
- No. 13 12月 小野村敏信，林浩一郎，河合伸也，森健躬，原田正行，岩崎洋明：
頸椎外科の進歩。（座談会），
別冊 整形外科2：311-331，12月，1982
- No. 14 12月 田淵健一：
スポーツ活動中の怪我の発生。
社会体育指導者協議会，12月，1982
- No. 15 12月 田淵健一：
応急処置の知識。
スポーツクラブリーダー講習会，12月，1982
- No. 16 12月 田淵健一：
足関節捻挫とテーピング。
12月，1982

1982年（小児外科グループ）

原 著

- No. 1 1月 大川治夫, 山崎洋次, 澤口重徳:
 膵管胆道合流異常についての実験外科.
 小児外科 14: 9~16, 1982
- No. 2 2月 OHKAWA H., SAWAGUCHI S., YAMAZAKI Y., ISHIKAWA A. and KIKUCHI M.:
 Experimental analysis of the ill effect of anomalous pancreaticobiliary ductal union.
 J. Pediatr. Surg. 17: 7-13, 1982
- No. 3 2月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 坂庭操, 石川韶雄:
 膵管胆道合流異常モデルの研究 II. 胆汁内逆流膵蛋白分解酵素の活性化について.
 日本小児外科学会雑誌 18: 185-191, 1982
- No. 4 4月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 坂庭操, 石川韶雄:
 合流異常症例に対する嚢腫消化管吻合の問題点, 先天性胆道張症の外科.
 第11回日本胆道外科研究会プロシーディング pp. 68-69, 1982
- No. 5 6月 山根友二郎, 山下武広, 中川武夫, 松岡明, 住吉徹是, 高橋英世, 真家雅彦, 大川治夫:
 二分脊椎の脊髓造影所見について.
 臨床整形外科 17: 557-567, 1982
- No. 6 12月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 坂庭操, 菊池正教:
 膵管胆道合流異常モデルの研究 III. 犬モデルにおける病変の年令差に関する検討.
 日本小児外科学会雑誌 18: 1333-1340, 1982
- No. 7 12月 監物久夫, 澤口重徳, 大川治夫, 高橋正彦, 坂庭操, 金子道夫, 越智五平, 平松慶博:
 小児悪性腫瘍のCT診断の有用性.
 小児外科 14 (12): 1559-1566, 1982
- No. 8 10月 高橋正彦, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 山崎洋次, 坂庭操, 金子道夫, 越智五平:
 未熟児の高カロリー輸液と脂質代謝.
 外科と代謝栄養 16 (3): 440-441, 1982
- No. 9 4月 坂庭操, 大川治夫, 澤口重徳:
 画像処理システムによる肛門運動の画像解析.
 日本平滑筋学会誌 18: 241-253, 1982
- No. 10 10月 坂庭操, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 山崎洋次:
 Microcomputer システムによる24時間下部食道pH測定.
 日本小児外科学会雑誌 18 (6): 23-27, 1982
- No. 11 12月 坂庭操, 澤口重徳, 大川治夫, 池袋賢一:
 直腸肛門管運動の内圧動態画像による解析.
 医学のあゆみ 123 (10): 943-945, 1982
- No. 12 2月 遠藤康夫, 宮崎純, 土田嘉昭, 金子道夫:
 ヒトヨークザック腫瘍の基礎的臨床的研究.
 癌と化学療法 9: 226-235, 1982

- No. 13 4月 金子道夫, 土田嘉昭, 斉藤純夫:
肝腫瘍における α -フェトプロテイン産生能—特に yolk sac由来の α -フェトプロテインとの差異について—.
小児外科 14 (4): 443-451, 1982
- No. 14 6月 土田嘉昭, 金子道夫, 斉藤純夫:
AFP と小児がん—特に AFP の microheterogeneity について—.
小児科診療 45 (6): 927-934, 1982
- No. 15 8月 金子道夫, 土田嘉昭, 斉藤純夫, 本名敏郎, 白木和夫:
乳児閉塞性肝疾患と α -フェトプロテイン—レクチン吸着性分析を含めて—.
小児外科 14 (8): 1041-1048, 1982
- No. 16 9月 土田嘉昭, 金子道夫, 仁科孝子, 斉藤純夫:
慢性腎炎・ネフローゼ症候群を伴ったウィルムス腫瘍症例—とくにその術前・術後の水分・電解質管理について—.
小児科 23 (9): 997-1002, 1982
- No. 17 4月 山崎洋次, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 坂庭操, 宇賀直樹:
新生児外科における高ビリルビン血症の risk factors の検討.
日本小児外科学会雑誌 18: 329-334, 1982
- No. 18 6月 山崎洋次, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 坂庭操:
小児単睾丸症の検討.
小児外科 14: 820-824, 1982
- No. 19 1月 梅山知一, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 山崎洋次, 坂庭操:
高位異所性腎の1小児例.
小児外科 14: 119-123, 1982
- No. 20 6月 鬼塚正孝, 小石沢正, 山崎洋次, 大川治夫, 澤口重徳:
食道閉鎖症における唾液持続吸引法の1工夫.
小児外科 14: 825-827, 1982
- No. 21 12月 松村明, 坂庭操, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 菅沼靖, 山崎洋次, 亀山静夫:
Marfan 症候群に食道裂孔ヘルニアを合併した1例.
小児科 13: 1701-1704, 1982
- 総 説
- No. 1 2月 大川治夫:
昭和55年小児腎悪性腫瘍集計結果.
日本小児外科学会雑誌 18: 245-248, 1982
- No. 2 4月 監物久夫, 澤口重徳:
縦隔神経原性腫瘍.
外科診療 24 (4): 423-430, 1982
- No. 3 1月 高橋正彦, 島崎修次:
小児熱傷患児の全身管理.
小児看護 5 (1): 86-94, 1982

- No. 4 5月 土田嘉昭, 斉藤純夫, 本名敏郎, 牧野駿一, 横森欣司, 金子道夫, 仁科孝子:
小児肝癌—肝芽腫, 成人型肝癌ならびにその他の肝腫瘍—
内科 Mook No.18, 肝癌 74-80, 1982

著 書

- No. 1 8月 澤口重徳:
小児癌の集学的治療チームにおける外科医の役割.
小児癌, pp. 13-24, 蟹書房, 1982
- No. 2 月 澤口重徳:
小児の固型癌, 神経芽細胞腫.
臨床腫瘍学, pp. 1168-1178, 朝倉書店, 1982
- No. 3 5月 内山暁, 大川治夫, 羽鳥文磨:
小児核医学, 呼吸器系疾患.
新小児医学大系 第30巻D (小林登他編) pp.37-51, 中山書店, 1982
- No. 4 5月 内山暁, 大川治夫, 高田博文:
小児核医学, 脾シンチグラフィー.
新小児医学大系 第30巻D (小林登他編) pp.191-198, 1982
- No. 5 6月 大川治夫, 澤口重徳:
腸管疾患.
臨床医学示説 第2巻, 外科I (浅野献一編) pp.342-388,
近代医学出版社 (東京), 1982

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

- No. 1 3月 SAWAGUCHI S.:
Neuroblastoma. Recent Advances in Japan.
U.S.-Japan Workshop on Neural Crest Tumors
- No. 2 2月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋次:
膵管胆道合流異常犬モデル作成手術におけるマイクロサージャリーの利用.
第1回小児外科マイクロサージャリー研究会 (東京), 2月, 1982
- No. 3 4月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 坂庭操, 石川詔雄:
合流異常症例に対する嚢腫消化管吻合の問題点—膵プロテアーゼ活性化に関する実験モデルよりの検討—.
第11回日本胆道外科研究会 (東京), 4月, 1982
- No. 4 4月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 坂庭操, 監物久夫, 高橋正彦, 菊池正教, 石川詔雄:
膵管胆道合流異常の新生犬モデルにおける病変について.
第82回日本外科学会総会 (千葉), 4月, 1982
- No. 5 4月 真家雅彦, 高橋英世, 山下武広, 中川武夫, 山浦晶, 大川治夫:
2分脊椎の治療成績—第2報—中枢神経系の予後について.
第82回日本外科学会総会 (千葉), 4月, 1982
- No. 6 5月 OHKAWA H., YAMAZAKI Y., ISHIKAWA A. and SAWAGUCHI S.:
Experimental analysis on the ill-effects of the cyst-intestinal anastomosis
in the cases of the choledochal dilatation.
15th Pacific Ass. of Pediatric Surgeons (Vancouver) May, 1982

- No. 7 6月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 石川詔雄:
 膵管胆道合流異常モデルにおける胆汁内膵酵素の活性化動態.
 第5回膵管胆道合流異常研究会(東京), 6月, 1982
- No. 8 6月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 石川詔雄:
 膵管胆道合流異常における血清アミラーゼ値上昇機序に関する実験的検討.
 第19回日本小児外科学会総会(東京), 6月, 1982
- No. 9 9月 OHKAWA H., SAWAGUCHI S., YAMAZAKI Y., and ISHIKAWA A.:
 On the ill-effect of pancreatico-biliary ductal union —Canine model
 experiments and discussion on the treatment of choice—.
 7th World Congress Collegium Internationale Chirurgiae
 Digestivae. (Tokyo), September, 1982
- No. 10 10月 大川治夫, 澤口重徳, 監物久夫, 高橋正彦, 坂庭操, 金子道夫:
 胸腹部腫瘍における横隔膜上下に関する占居部位の診断について.
 第11回臨床小児放射線研究会(東京), 10月, 1982
- No. 11 10月 市川富美子, 石川詔雄, 竹島徹, 大川治夫:
 高速液体クロマトグラフィーを用いたエンテロキナーゼの測定.
 第29回日本臨床病理学会総会(岐阜), 10月, 1982
- No. 12 10月 寺師泰代, 太田道男, 松島皓三, 大川治夫, 澤口重徳:
 食道伸長用エロンゲータに関する基礎的研究.
 第3回バイオメカニズム学会(東京), 10月, 1982
- No. 13 12月 大川治夫, 澤口重徳, 監物久夫, 金子道夫, 坂庭操, 古川敏紀:
 疾患治療モデルとしての鎖肛豚の研究.
 第667回千葉医学会例会, 12月, 1982
- No. 14 12月 大川治夫, 澤口重徳, ペンサラムカリル:
 小児外科の手術用顕微鏡使用経験.
 第2回小児外科マイクロサージャリー研究会(東京), 12月, 1982
- No. 15 12月 大川治夫, 澤口重徳, 坂庭操, 石川詔雄:
 膵管胆道合流異常モデルにおける胆道内膵酵素活性化動態.
 第665回千葉医学会例会, 12月, 1982
- No. 16 1月 監物久夫, 澤口重徳, 大川治夫, 高橋正彦, 山崎洋次, 坂庭操, 金子道夫:
 Von Recklinghausen 病に合併した巨大な胸腔内悪性腫瘍の1例.
 昭和56年度関東甲信越地区小児がん登録研究会, 1月, 1982
- No. 17 5月 KEMMOTSU H., SAWAGUCHI S. and OHKAWA H.:
 Idiopathic Gastric Volvulus in the Neonate.
 15th Annual Meeting of Pacific Association of Pediatric
 Surgeons. (Vancouver) May '82
- No. 18 6月 監物久夫, 澤口重徳, 大川治夫, 高橋正彦, 坂庭操, 金子道夫:
 :小児外科領域におけるコンピューター断層撮影法の有用性.
 第19回日本小児外科学会総会, ワークショップ, 6月, 1982
- No. 19 11月 監物久夫, 澤口重徳, 大川治夫, 高橋正彦, 坂庭操, 金子道夫:
 リンパ節転移の成熟化と考えられる神経節腫例.
 昭和57年度小児悪性腫瘍研究会(名古屋), 11月, 1982

- No. 20 2月 高橋正彦：
小児における成分栄養法。
茨城成分栄養研究会（水戸），2月，1982
- No. 21 6月 高橋正彦，澤口重徳，大川治夫，監物久夫，山崎洋次，坂庭操，中野雅行：
新生児期における高カロリー輸液に伴う肝障害の発生原因の検討。
第19回日本小児外科学会総会（東京），6月，1982
- No. 22 6月 高橋正彦：
肝障害時の水電解質代謝。
第12回小児外科代謝研究会（東京），6月，1982
- No. 23 7月 高橋正彦，澤口重徳，大川治夫，監物久夫，山崎洋次，坂庭操，金子道夫，越智五平，
須磨崎亮，宇賀直樹：
未熟児の高カロリー輸液と脂質代謝。
第18回日本新生児学会総会（大阪），7月，1982
- No. 24 7月 高橋正彦，澤口重徳，大川治夫，監物久夫，山崎洋次，坂庭操，金子道夫，越智五平，
須磨崎亮，宇賀直樹：
未熟児の高カロリー輸液に伴う肝障害の発生原因の検討。
第18回日本新生児学会総会（大阪），7月，1982
- No. 25 7月 高橋正彦，澤口重徳，大川治夫，監物久夫，山崎洋次，坂庭操，金子道夫，越智五平：
未熟児の高カロリー輸液と脂質代謝。
第19回日本外科代謝栄養学会（大阪），7月，1982
- No. 26 2月 坂庭操，大川治夫，澤口重徳：
画像処理システムを用いた直腸肛門内圧検査の画像診断。
第12回小児消化管内圧研究会（東京），2月，1982
- No. 27 5月 SAKANIWA M., SAWAGUCHI S. and OHKAWA H. :
Application of an image processing system to anorectal manometry.
15th Annual Meeting of Pacific Association of Pediatric Surgeons. (Vancouver) May 1982
- No. 28 6月 坂庭操，大川治夫，澤口重徳：
画像処理システムによる直腸肛門機能の画像診断。
第19回日本小児外科学会総会（東京），6月，1982
- No. 29 6月 坂庭操，澤口重徳，大川治夫，監物久夫，高橋正彦，山崎洋次，金子道夫：
慢性便秘症の内圧診断—画像処理システムの応用—。
第19回日本小児外科学会総会（東京），6月，1982
- No. 30 6月 坂庭操，大川治夫，澤口重徳：
画像処理システムによる肛門運動の画像解析 1. 正常直腸肛門反射。
第24回日本平滑筋学会総会シンポジウム（東京），6月，1982
- No. 31 5月 KANEKO M., TSUCHIDA Y., SAITO S., NAKAJO T., AKIYAMA H. :
Teratoma in Infancy and Childhood : An Analysis of 217 Cases.
15th Annual Meeting of Pacific Assoc. Ped. Surg.
(Vancouver), May, 1982

- No. 32 6月 金子道夫, 土田嘉昭, 斉藤純夫, 本名敏郎, 牧野駿一, 間浩明, 岩中督:
肝由来の α -フェトプロテインと yolk sac 由来の α -フェトプロテインの差異に関する研究.
第19回日本小児外科学会総会(東京), 6月, 1982
- No. 33 8月 金子道夫, 土田嘉昭, 遠藤康夫:
 α -フェトプロテインのレクチン吸着性分析による小児腫瘍の診断—Affinity Chromatography 法と二次元免疫電気泳動法を用いて—.
第41回日本癌学会総会(大阪), 8月, 1982
- No. 34 8月 遠藤康夫, 土田嘉昭, 宮崎純, 金子道夫:
 α -フェトプロテインのレクチン親和性の分析—診断への応用—.
第41回日本癌学会総会シンポジウム(大阪), 8月, 1982
- No. 35 10月 KANEKO M., TSUCHIDA Y., ENDO Y.:
Evaluation of Lectin-Affinity Subfractionation Methods of α -Fetoprotein for Diagnosis of Pediatric Neoplasms.
10th Annual Meeting of Int. Soc. Oncodev. Biol. Med. (Sapporo), 10月, 1982
- No. 36 10月 TSUCHIDA Y., SAITO S., KANEKO M., ENDO Y., MIYAZAKI J., :
The Microheterogeneity of Alpha-fetoprotein : An Observation in Pediatric Surgical Patients and Nude Mice Xenograft.
10th Ann. Meeting of Int. Soc. Oncodev. Biol. Med. (Sapporo), 10月, 1982
- No. 37 10月 ENDO Y., IINO S., MIYAZAKI J., NAKAYAMA T., TSUCHIDA Y., KANEKO M., :
Analysis of Increased Serum AFP in Liver Diseases.
10th Ann. Meeting of Int. Soc. Oncodev. Biol. Med. (Sapporo), 10月, 1982
- No. 38 11月 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 坂庭操, 越智五平:
臆原発卵黄嚢癌の1例.
第17回日本小児外科学会関東甲信越地方会(筑波大), 11月, 1982
- No. 39 4月 山崎洋次, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 坂庭操:
血小板減少モデルにおけるエンドトキシンショックの研究.
第82回日本外科学会総会(千葉), 4月, 1982
- No. 40 6月 山崎洋次, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 坂庭操, 金子道夫, 花田尚:
小児外科領域におけるDICの検討, とくにアンチトロンビンⅢの動態について.
第19回日本小児外科学会総会(東京), 6月, 1982
- No. 41 6月 山崎洋次, 澤口重徳, 大川治夫, 近藤郁子, 浜口秀夫, 中條俊夫, 秋山洋:
神経芽腫患者タンパク質の遺伝的変異について.
第19回日本小児外科学会総会(東京), 6月, 1982
- No. 42 7月 松代彰子, 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 坂庭操:
臆原発卵黄嚢癌の1例.
第105回茨城外科集談会(水戸), 7月, 1982

- No. 43 7月 菅谷公男, 高橋正彦, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 坂庭操, 金子道夫:
総排泄腔外反症 (cloacal extrophy) の1例.
第105回茨城外科集談会 (水戸), 7月, 1982
- No. 44 9月 石川成美, 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 坂庭操, 越智五平:
新生児にみられた十二指腸穿孔の1例.
第109回茨城外科集談会 (東海村), 9月, 1982
- No. 45 9月 森田理一郎, 高橋正彦, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 坂庭操, 金子道夫, 越智五平:
新生児睪丸軸捻症の1例.
第109回茨城外科集談会 (東海村), 9月, 1982
- No. 46 11月 湊直樹, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 坂庭操, 金子道夫, 鴨田知博, 堀米仁志:
2か月児にみられた functioning neuroblastoma の1例.
第22回日本小児科学会茨城地方会 (水戸), 11月, 1982
- No. 47 11月 石川成美, 大川治夫, 監物久夫, 鬼塚正孝, 遠藤勝章, 蘇原泰則, 三井清文, 近藤陽一:
小児気管支内異物の治療.
第6回茨城救急医学会 (水戸), 11月, 1982
- No. 48 11月 越智五平, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 坂庭操, 金子道夫:
巨大な胆汁性仮性小網嚢胞を呈した先天性胆道拡張症穿孔の1例.
第17回日本小児外科学会関東甲信越地方会 (筑波大), 11月, 1982

班研究報告

- No. 1 10月 大川治夫, 澤口重徳:
胆道内胆汁逆流モデルの胆道系病変 (新生犬, 幼犬, 成犬との差異の検討).
文部省総合研究A, 先天性胆道閉鎖症およびその関連疾患の成因
および治療に関する研究班, 10月, 1982
- No. 2 6月 金子道夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 近藤郁子, 浜口秀夫:
神経芽腫患者リンパ球蛋白質の遺伝学的差異について.
厚生省がん研究助成金「小児がんの発生原因に関する遺伝学的発
達生化学的免疫学的研究」研究班.
- No. 3 6月 金子道夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 近藤郁子, 浜口秀夫:
神経芽細胞腫症例における染色体分析の試み.
文部省がん特「ポリボース並びにその他の遺伝性腫瘍の病態と
その発癌機構に関する研究」研究班

その他 (放送, 座談会講演会などで学術的なもの)

- No. 1 10月 澤口重徳:
急性腹症の応急処置.
日本小児科学会セミナー「小児救急医療とプライマリケア」昭和57年10月8日
- No. 2 1月 大川治夫:
良性腫瘍腫瘍.
第16回小児外科セミナー, 岐阜グランドホテル, 昭和57年1月25日
- No. 3 1月 大川治夫:
小児悪性腫瘍.
第16回小児外科セミナー, 岐阜グランドホテル, 昭和57年1月27日

1982年（形成グループ）

原 著

- No. 1 1月 中山凱夫, 添田周吾, 笠井美彦:
小耳症における耳輪再建の1方法.
形成外科 25: 33-37, 1982
- No. 2 1月 Yoshio Nakayama, Shugo Soeda, Yoshihiko Kasai:
The Importance of Arterial Inflow in the Distal Side of a Flap.
An Experimental Investigation Plast. Reconst. Surg: 69: 61-67, 1982
- No. 3 1月 柳川茂, 高橋久, 添田周吾:
創傷保護剤 Collagen artificial Skin (C.A.S.) の実験的臨床評価—I 細胞培養法
による実験的評価.
形成外科 25: 147-152, 1982
- No. 4 2月 添田周吾, 中山凱夫, 坂井重信, 鐘陽明:
創傷保護剤コラーゲン膜による採皮創などの皮膚欠損創の治療経験.
基礎と臨床 16: 992-1000, 1982
- No. 5 3月 坂井重信, 添田周吾, 中山凱夫, 鐘陽明:
コラーゲン創傷保護剤(C.A.S.)の採皮創 Skin abrasion 創・熱傷創への使用経験.
熱傷 7: 329-339, 1982
- No. 6 5月 中山凱夫, 添田周吾, 坂井重信, 鐘陽明:
接着剤のみによる血管吻合の可能性について.
形成外科 25: 450-454, 1982
- No. 7 11月 坂井重信, 添田周吾, 中山凱夫, 鐘陽明:
Werner 症候群の2例.
日本形成外科学会会誌 2: 858-865, 1982

総 説

- No. 1 8月 添田周吾:
頬部瘢痕の治療.
手術 36: 1005-1016, 1982
- No. 2 8月 添田周吾:
ケロイド（肥厚性瘢痕を含む）の治療について.
皮膚臨床 24: 1054-1055, 1982

著 書

- No. 1 8月 添田周吾:
遊離複合移植術.
現代皮膚科学大系 第5巻B（山村, 久木田, 佐野, 清寺編）,
pp. 279-290, 中山書店, 東京, 1982
- No. 2 8月 添田周吾:
巨大な色素性母斑.
整形, 形成外科診療（大島, 藤野, 牧野編）, pp. 506-507,
六法出版, 東京, 1982

- No. 3 8月 添田周吾：
黒子の悪性変化。
整形，形成外科診療（大畠，藤野，牧野編），pp. 508-509，
六法出版，東京，1982
- No. 4 8月 添田周吾：
黒色小腫瘍の鑑別診断。
整形，形成外科診療（大畠，藤野，牧野編），pp. 510-511，
六法出版，東京，1982
- No. 5 8月 添田周吾：
悪性黒色腫の手術療法。
整形，形成外科診療（大畠，藤野，牧野編），pp. 528-529，
六法出版，東京，1982
- No. 6 10月 添田周吾：
皮膚腫瘍一母斑一。
新小児医学大系 第34巻B，小児形成外科学（小林，多田，藪内編），
pp. 243-259，中山書店，東京，1982
- 学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）
- No. 1 2月 坂井重信，添田周吾，中山凱夫，鐘陽明：
最近5年間の悪性腫瘍例の経験。
第99回形成外科東京地方会（東京），2月，1982
- No. 2 5月 坂井重信，添田周吾，中山凱夫，鐘陽明：
皮形作製領域上の経皮的酸素分圧と動脈血中酸素分圧の関係。
第25回日本形成外科学会総会（金沢），5月，1982
- No. 3 5月 中山凱夫，添田周吾，坂井重信，鐘陽明，松代彰子：
有茎皮弁遠位の阻血部分生着と血管吻合の時間的關係について。
第25回日本形成外科学会総会（金沢），5月，1982
- No. 4 5月 中山凱夫，添田周吾，坂井重信，鐘陽明，松代彰子：
Sleeve Anastomosis の modification について，一端側吻合の狭窄の軽減一。
第25回日本形成外科学会総会（金沢），5月，1982
- No. 5 5月 Shugo Soeda：
Fundamental Techniques of Skin Grafting (Course : Dermatologic Surgery
・ Flaps and grafts)
the 16th Congress of International Dermatology (Tokyo)，5月，1982
- No. 6 9月 中山凱夫，添田周吾，坂井重信，鐘陽明，小川由英，石川悟：
外陰部の悪性腫瘍切除後の再建について（パネル，ディスカッション）。
第20回日本癌治療学会総会（東京），9月，1982
- No. 7 10月 坂井重信，添田周吾，中山凱夫，鐘陽明，松代彰子：
乳房外ページェット病の2例。
第103回形成外科東京地方会（神奈川），10月，1982
- No. 8 10月 中山凱夫，添田周吾，坂井重信，鐘陽明：
皮弁と血管拡張剤について一皮内静脈からの持続注入実験一。
第9回マイクロサージャリー研究会（東京），10月，1982

No. 9 11月 清沢智晴, 渡辺泰徳, 渋谷進, 相吉悠治, 中山凱夫, 添田周吾 :
フローセン肝炎について.

第110回茨城外科集談会 (水戸), 11月, 1982

No. 10 11月 中山凱夫, 添田周吾 :
当科における microsurgery の経験.

第110回茨城外科集談会 (水戸), 11月, 1982

No. 11 11月 添田周吾 :
眼瞼の再建.

日本形成外科学会教育講習会 (神奈川), 11月, 1982

No. 12 12月 中山凱夫, 添田周吾, 坂井重信, 鐘陽明 :
切断指再接着術中の簡単な一冷却法について.

第104回形成外科東京地方会 (東京), 12月, 1982

その他 (放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 10月 添田周吾, 大原国章, 保坂善昭 :
flap の選定 (座談会).

皮膚病診療 4 : 965-978, 1982

1982年（眼グループ）

原 著

- No. 1 1月 河野恵子, 松本雄二郎, 石橋康久:
ソフトコンタクトレンズ連続装用中に発症した *Micrococcus* による角膜潰瘍の1例.
眼科臨床医報 76: 53-56, 1982
- No. 2 4月 本村幸子, 中野秀樹, 浜口秀夫:
Turner 症候群である女兒に発症をみた foveal retinoschisis の1家系.
臨床眼科 36: 291-296, 1982
- No. 3 6月 石橋康久:
新しい抗真菌剤 Ketoconazole (KW-1414) 内服による角膜真菌症2例の治療経験.
臨床眼科 36: 587-592, 1982
- No. 4 6月 石橋康久:
角膜に対する *Candida albicans* の病原性について.
日本眼科紀要 33: 1113-1116, 1982
- No. 5 7月 本村幸子, 能勢晴美, 河野恵子, 松本雄二郎:
涙腺の Pseudolymphoma の1例ならびに眼窩炎性偽腫瘍の臨床病理学的考察.
日本眼科紀要 33: 1321-1328, 1982
- No. 6 7月 石橋康久:
本邦における最近5年間の角膜真菌症について.
日本眼科学会雑誌 86: 651-656, 1982
- No. 7 8月 石橋康久:
Miconazole 静注による角膜真菌症の治療.
日本眼科学会雑誌 86: 846-849, 1982
- No. 8 8月 Nakano H., Iketani N.:
Prognosis of visual functions in optic nerve lesions.
日本眼科紀要 33, 1585-1587, 1982
- No. 9 9月 石橋康久:
角膜真菌症に対しステロイド剤投与期間の違いが与える影響について.
日本眼科学会雑誌 86: 1438-1442, 1982
- No. 10 10月 本村幸子:
眼鏡不応の眼疾患.
眼鏡の科学 6: 53-66, 1982
- No. 11 11月 長沢徳子, 本村幸子:
Acute macular neuroretinopathy の1例. 特異な眼底像の光学的考察.
日本眼科学会雑誌 86: 2044-2049, 1982
- No. 12 11月 能勢晴美, 本村幸子, 河野恵子, 松本雄二郎, 長沢徳子:
筑波大学眼科における眼窩腫瘍の手術成績.
茨城県臨床医学雑誌 第18号: 188, 1982

総 説

- No. 1 1月 大島祐之：
分数視力と小数視力。
日本医事新報 No. 3013：128-129, 1982
- No. 2 3月 大島祐之：
電子化レフракトメーター，その1．機器の原理，機構，
眼科臨床医報 76：291-300, 1982
- No. 3 5月 大島祐之：
屈折検査機器の最近の進歩とその意義。
眼科 Mook, No. 18：1-17, 金原出版, 1982
- No. 4 6月 大島祐之：
電子化レフракトメーター，その2．使用者の立場から。
眼科臨床医報 76：721-734, 1982
- No. 5 8月 大島祐之：
硝子体混濁の取扱い。
日本医事新報 No. 3044：137-138, 1982

著 書

- No. 1 6月 本村幸子：
医師国家試験問題注解付例題（眼科学）
昭和58年度版，pp. 1-105, 金原出版，東京，1982
- No. 2 6月 大島祐之：
急激な視力減退。
プライマリーケアのための私の処方（日野原重明編）
改訂4版，pp. 690-692, 中外医学社，東京，1982
- No. 3 7月 石橋康久：
角膜・強膜疾患。
臨床医学示説（森山豊編），第12巻 眼科2，176-210，
近代医学出版，千葉，1982
- No. 4 7月 大島祐之：
干渉縞視力。
医科学大事典（武見太郎他編），9：50, 講談社，東京，1982
- No. 5 7月 本村幸子：
眼瞼疾患。
臨床医学示説（森山豊編），第12巻，眼科2，
4-67, 近代医学出版，千葉，1982
- No. 6 11月 能勢晴美：
シンチグラフィー。
眼科画像診断（太根節直編），pp. 115-131, 金原出版，東京，1982
- No. 7 12月 大島祐之：
視力。
医科学大事典（武見太郎他編），23：203-204, 講談社，東京，1982

学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

- No. 1 4月 石橋康久：
眼科領域における真菌症の現況。
第56回日本感染症学会総会シンポジウム「日本における
真菌症の現況」（東京），4月，1982
- No. 2 5月 石橋康久：
新しい抗真菌剤 Ketoconazole (KW-1414) 内服による前房内への移行について。
第3回眼薬理研究会（京都），1982
- No. 3 5月 石橋康久：
Miconazole 静注による角膜真菌症の治療。
第86回日本眼科学会総会（京都），5月，1982
- No. 4 5月 石橋康久：
角膜真菌症。
第3回関東医真菌学懇話会解説講演（東京），5月，1982
- No. 5 9月 石橋康久，松本雄二郎：
ケトコナゾール内服による角膜真菌症の治療。
第36回日本臨床眼科学会感染症グループディスカッ
ション（神戸），9月，1982
- No. 6 9月 本村幸子，中野秀樹，河野恵子，松本雄二郎：
Wagner 症候群の一家系。
第36回日本臨床眼科学会総会（神戸），9月，1982
- No. 7 10月 大島祐之：
細隙灯顕微鏡写真からの情報と撮影手技。
第18回日本眼光学学会（千葉），10月，1982
- No. 8 10月 石橋康久，香川三郎：
角膜真菌症に対する Ketoconazole 内服の治療効果について。
第26回日本医真菌学会総会（甲府），10月，1982
- No. 9 10月 Hideki NAKANO, Harumi NOSE：
Presumable optic neuritis accompanied with optic atrophy.
XXth I.S.C.E.V. Symposium, (Iowa City, Iowa, U.S.A.),
October, 1982
- No. 10 10月 Sukeyuki OSHIMA, Sachiko HOMMURA, Harumi NOSE, Shinji WADA and
Ikuo KITAO：
Semi-automatic refractometer allowing one position refractometry.
2nd International Symposium on Visual Optics (Tucson,
Arizona), October, 1982
- No. 11 10月 Sachiko HOMMURA：
Spectacle correction for extremely high myopia.
XXIV International Congress of Ophthalmology
(San Francisco), October, 1982
- No. 12 10月 Sukeyuki OSHIMA, Hideki NAKANO and Yoshie USUKI：
Clinical evaluation for detecting low astigmatism.
Joint Meeting of 24th International Congress of Ophthalmology and
American Academy of Ophthalmology (San Francisco), October, 1982

- No. 13 11月 Harumi NOSE, Tadao NOSE, Yasuhisa NAKAMURA and Kaoru ASANAGI :
Transcranial orbitotomy for orbital tumor surgery.
24th International Congress of Ophthalmology
(San Francisco), November, 1982
- No. 14 11月 臼杵祥江, 中野秀樹, 橋口淳一 :
小蜂による眼障害の1例.
第4回茨城医学会眼科分科会(水戸), 11月, 1982
- No. 15 12月 石橋康久, 松本雄二郎 :
Miconazole 点滴静注療法の角膜真菌症に対する治療効果について.
第48回日本中部眼科学会(京都), 12月, 1982
- No. 16 12月 中野秀樹, 池谷尙剛 :
EER の臨床応用, 原田病について.
第48回日本中部眼科学会網膜と視路の電原現象 G.D. (京都), 12月, 1982
- No. 17 12月 能勢晴美, 河野恵子, 松本雄二郎 :
眼瞼毛孔腫の1例.
第47回中部日本眼科学会, グループディスカッション眼科
臨床病理組織研究会(京都), 12月, 1982
- その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)
- No. 1 8月 Sukeyuki OSHIMA :
Japanese Comments on Doc. ISO/TC172/SC7/WG 3, N 2 :
Report on an improved method for scoring acuity tests and suggested
changes to document ISO/TC172/SC7, N 30;
ISO/TC172/SC7/WG3, N10, pp.2-3, International Organization
for Standardization, (Pforzheim, West Germany), August, 1982

1982年（産科婦人科グループ）

原 著

- No. 1 1月 庄司誠, 木村英三, 中田裕信, 大川清, 蜂屋祥一, 小幡功, 今川信行:
ヒト卵胞成熟機構とステロイド産生機能との関係について—卵胞の形態的観察と卵
胞液中ステロイド濃度との比較検討を通して—.
日本産科婦人科学会雑誌 34: 43-52, 1982
- No. 2 1月 目崎登, 佐々木純一, 西田正人, 久保武士, 岩崎寛和:
ホルモン産生腫瘍を疑わせた閉経後婦人巨大卵巣嚢腫の1例.
日本産科婦人科学会雑誌 34: 115-118, 1982
- No. 3 2月 Satoshi Usuki, Hirokazu Iwasaki and Yoshie Usuki:
Immunohistochemical Localization of Estradiol-17 β and Progesterone in
Rat Ovaries and Electron Microscopic Study.
Follicular Maturation and Ovulation, Ed. by R. Rolland, E.V.
Von Hall, S.G. Hillier, K.P. McNatty and H. Shoemaker,
Excerpta Medica, Amsterdam-Oxford-Princeton, ICN 560:
103-110, 1982
- No. 4 3月 渡辺義隆, 久保武士:
特集/帝王切開をめぐる諸問題. C. 地域別現状 2. 地方 (茨城県)
産科と婦人科 49: 329, 1982
- No. 5 3月 大川清, 木村知夫, 遠武孝育, 木村英三, 中田裕信, 堂園晴彦, 松本和紀, 庄司誠, 小
池清彦, 天崎博文:
卵巣充実性奇形腫の臨床ならびに病理学的研究.
癌の臨床 28: 237-242, 1982
- No. 6 3月 白杵愼, 岩崎まり子, 飯島悟, 佐々木純一, 久保武士, 岩崎寛和:
産科・婦人科領域における Cefazolin の血清及び臓器内移行に関する研究.
産婦人科の世界 34: 299-305, 1982
- No. 7 3月 Takeshi Kubo and Shigeki Minoura:
Diagnosis of Cephalopelvic Disproportion by Means of Linear Discriminant
Function.
Journal of Obstetrics and Gynecology 3: 89-93, 1982
- No. 8 3月 Satoshi Usuki and Hirokazu Iwasaki:
Effects of LH and FSH on Steroidogenesis Before and After LH/FSH
Surge in the Preovulatory Follicles.
Advances in the Biosciences, 34: 209-210, Ed. by T. Fujii &
C.P. Channing, Pergamon Press, Oxford and New York
- No. 9 4月 伊藤俊一, 西田正人, 柴田治郎, 白杵愼, 岩崎寛和:
陰, 外陰真菌症に対する抗真菌剤 FLORID の治療効果および臨床的評価に関する
考察.
産婦人科の世界 34: 455, 1982

- No. 10 5月 角田肇, 白杵慈, 岩崎寛和, 美誉志康, 市川意子:
子宮癌および子宮筋腫に於ける女性性器内嫌気性菌に関する研究.
第12回嫌気性菌感染症研究会講演記録 12: 65-68, 1982
- No. 11 6月 目崎登, 岩崎寛和:
筑波大学における小児婦人科診療の現状について.
思春期学 1: 15-19, 1982
- No. 12 7月 白杵慈:
ラット成熟卵胞の Estrogen 分泌の Gonadotropin による調節.
日本産科婦人科学会雑誌 34: 863-872, 1982
- No. 13 8月 岩崎寛和, 佐々木純一, 飯島悟, 岩崎まり子:
膣欠損症.
産婦人科の世界 34: 夏季増刊号 242, 1982
- No. 14 8月 柴田治郎, 久保武士, 岩崎寛和, 加納勝利, 北川龍一:
一側の腎無形成. 同側の傍頸部嚢腫を伴った盲角子宮.
産婦人科の世界 34: 夏季増刊号 200, 1982
- No. 15 8月 飯島悟, 佐々木純一, 岩崎まり子, 目崎登:
潜在性胎児仮死症例における生化学的情報の評価.
周産期医学 12: 1137-1142, 1982
- No. 16 10月 庄司誠:
顆粒膜細胞の形態よりみたヒト卵胞の成熟・閉鎖機構.
ホルモンと臨床 30: 19-23, 1982
- No. 17 11月 西田正人, 岩崎寛和:
悪性腫瘍に対する黄体ホルモン療法の可能性と限界.
臨床婦人科産科 36: 840-841, 1982
- No. 18 12月 Noboru Mesaki, Satoshi Usuki, Takeshi Kubo and Hirokazu Iwasaki:
The Direct Luteotropic Effect of Prostaglandin E₂ in Rats.
Asia-Oceania Journal of Obstetrics & Gynaecology 8: 405-411, 1982
- No. 19 12月 目崎登, 佐々木純一:
エストロゲン分泌効果を認めた老人の巨大卵巣嚢腫の1例.
ホルモンと臨床 1982 増刊号, 内分泌興味ある症例第二集 114-116, 1982
- 総説
- No. 1 1月 箕浦茂樹, 坂元正一, 久保武士:
児頭骨盤不適合の計量診断.
臨床ME 6: 28-33, 1982
- No. 2 2月 久保武士:
周産期医学における計量診断学. (ME 領域をめぐる最近の動き)
産婦人科の実際 31: 211-216, 1982
- No. 3 3月 岩崎寛和:
特集/帝王切開をめぐる.
産科と婦人科 49: 279, 1982

- No. 4 3月 久保武士：
特集／帝王切開をめぐる諸問題．筑波大学における帝王切開術式．
産科と婦人科 49：283, 1982
- No. 5 3月 久保武士：
周産期における胎児発育の評価．
母子保健 昭和57年3月号, 1982
- No. 6 3月 堀原一，赤塚孝雄，久保武士：
医学専門学群における CAI．
筑波フォーラム 17, 1982
- No. 7 4月 庄司誠，岩崎寛和：
産婦人科の基礎—分娩誘発法—．
産婦人科治療 44：467, 1982
- No. 8 4月 岩崎寛和：
分娩発来機構（私見）．
産婦人科治療 45：493, 1982
- No. 9 4月 久保武士，岩崎寛和：
特集／予後診断—後期妊娠中毒症—胎盤機能不全症候群における児の予後．
産科と婦人科 49：668, 1982
- No. 10 5月 岩崎寛和：
手術とそのコツ—子宮筋腫—腹式子宮全摘出術．
産科と婦人科 49：838, 1982
- No. 11 5月 金子實：
産科，クリニカルポイント：妊娠静脈瘤・痔．
産婦人科の実際 31：741-746, 1982
- No. 12 6月 金子實：
子宮頸癌の治療と単球機能．
産婦人科治療 44：772-773, 1982
- No. 13 6月 久保武士：
ME 機器とその応用—産婦人科—．
臨床医 8：47-49, 1982
- No. 14 6月 目崎登，岩崎寛和：
思春期早発症．
産婦人科の実際 31：907-914, 1982
- No. 15 9月 岩崎寛和：
分娩発来機構におけるオキシトシンレセプターの意義．
医学のあゆみ 122：1041, 1982
- No. 16 9月 金子實：
産科・婦人科手術のコツ（産科篇）．Ⅲ 遂娩手術，骨盤位牽出術—分娩管理法を中心として—
産婦人科の実際12：臨時増刊特集号：1691-1695, 1982

No. 17 12月 目崎登：
妊婦経過と検査値。
臨床検査 26：1589-1596, 1982

No. 18 12月 岩崎寛和：
分娩発来機構の研究と臨床。
産科と婦人科 49：1807, 1982

著 書

No. 1 4月 岩崎寛和：
頭位で陣痛発来後18時間経過して、適時破水したが、児は娩出されず、内診で矢状縫合が明らかでなく大泉門がよく触知された例。
PO case study：産科疾患ケーススタディー（坂元正一，他編），142，
医学書院東京，1982

No. 2 4月 伊藤俊一：
妊娠末期に陣痛発来して入院，約16時間後に内診上，骨盤出口付近で矢状縫合が横に触れた例。
PO case study：産科疾患ケーススタディー（坂元正一，他編），135，
医学書院東京，1982

No. 3 6月 岩崎寛和：
小児婦人科学（編著）。
新小児医学大系 36巻，中山書店，東京，1982

No. 4 6月 岩崎寛和，伊藤俊一：
子宮外妊娠。
臨床医学示説3：産婦人科3A：154（斎藤幹編），
近代医学出版社，船橋，1982

No. 5 6月 伊藤俊一，岩崎寛和：
胞状奇胎。
臨床医学示説3：産婦人科3A：204（斎藤幹編），
近代医学出版社，船橋，1982

No. 6 9月 目崎登，岩崎寛和：
外陰，膣の損傷と性交障害。
産婦人科 Mook 21 「外陰および膣の疾患」
（山辺徹編），47-59，金原出版，東京，1982

学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

No. 1 2月 岩崎寛和：
実験用サル類の繁殖及び出生前医学領域での利用（シンポジウム），
第29回日本実験動物学会懇話会（茨城），1982

No. 2 2月 金子寛：
経口避妊薬について。
日本産科婦人科学会茨城地方部会，県西部地区研修会（下館），1982

No. 3 2月 角田肇，臼杵恭，斎藤正博，岩崎寛和，美譽志康，市川康子：
子宮癌および子宮筋腫における女性々器内嫌気性菌に関する研究。
第12回嫌気性菌感染症研究会（東京），1982

- No. 4 3月 金子實：
早期子宮癌の細胞・組織像。
臨床細胞技士研修会（水戸），1982
- No. 5 4月 岩崎寛和，臼杵愼，目崎登，庄司誠，飯島悟，岩崎まり子，松葉裕美，笠原国武，角田肇，美譽志康，市川意子，佐々木純一：
女性内性器の細菌叢，とくに嫌気性菌の検出率について。
第34回日本産科婦人科学会総会（神戸），1982
- No. 6 4月 岩崎寛和，金子実，伊藤俊一，目崎登，臼杵愼，柴田治郎，庄司誠：
男化現象の新しい治療法。
第34回日本産科婦人科学会総会（神戸），1982
- No. 7 4月 西田正人，柴田治郎，金子実，岩崎寛和：
Progesterone Receptor を持つヒト分化型子宮体内膜腺癌細胞株（Ishikawa 株）の樹立。
第34回日本産科婦人科学会総会（神戸），1982
- No. 8 4月 金子実，柴田治郎，西田正人，飯島悟，岩崎まり子：
子宮頸癌の治療と単球機能の意義。
第34回日本産科婦人科学会総会（神戸），1982
- No. 9 4月 久保武士，稲葉淳一，角田肇，山内宏，目崎登，伊藤俊一，赤塚孝雄：
各種 Variability (STV, LTV) index の比較検討。
第34回日本産科婦人科学会総会（神戸），1982
- No. 10 4月 角田肇，臼杵愼，庄司誠，目崎登，岩崎寛和，美譽志康，市川意子：
少女性器感染症の細菌叢について。
第56回日本感染症学会（横浜），1982
- No. 11 4月 臼杵愼，岩崎寛和：
ラット成熟卵胞の Steroidogenesis に及ぼす各種漢方方剤の効果。
第2回日本産科婦人科学会漢方研究会（神戸），1982
- No. 12 5月 庄司誠，西田正人，金子実，岩崎寛和，鍵田美栄子：
細胞診にて初期浸潤癌を疑わせた atypical metaplasia の1例。
第23回日本臨床細胞学会総会（大阪），1982
- No. 13 5月 岩崎まり子，目崎登，角田肇，山内宏，松葉裕美，庄司誠，西田正人，臼杵愼，伊藤俊一，岩崎寛和：
副角子宮に生じた胎状奇胎の症例。
第63回日本産科婦人科学会関東連合地方部会（東京），1982
- No. 15 5月 飯島悟，柴田治郎，久保武士，松葉裕美，岩崎まり子，稲葉淳一，角田肇，山内宏，岩崎寛和，箕浦茂樹，我妻堯：
未婚若年婦人を対象とした卵巣腫瘍の集団検診。
第63回日本産科婦人科学会関東連合地方部会（東京），1982
- No. 15 5月 久保武士，重光貞彦，稲葉淳一，柴田治郎，岩崎寛和，赤塚孝雄：
骨盤側面画像と産科的結末の関係。
第21回ME学会（仙台），1982

- No. 16 5月 稲葉淳一, 重光貞彦, 久保武士, 岩崎寛和, 柳沢正史, 赤塚孝雄:
各種 STV index と Variability の関係について.
第21回ME学会(仙台), 1982
- No. 17 5月 飯島悟, 赤塚孝雄, 重光貞彦, 稲葉淳一, 岩崎まり子, 久保武士, 岩崎寛和:
超音波断層像からの児体重推定の試み.
第21回ME学会(仙台), 1982
- No. 18 5月 赤塚孝雄, 久保武士, 堀原一, 牧野誠夫, 重光貞彦:
臨床医学カリキュラムのなかでのCAIの評価.
第21回ME学会(仙台), 1982
- No. 19 6月 西田正人, 笠原国武, 岩崎寛和:
当科における子宮内膜症と妊孕性との関係について.
第82回日本不妊学会関東地方部会(東京), 1982
- No. 20 6月 笠原国武, 西田正人, 岩崎寛和:
子宮内膜症の統計的考察.
第53回日本産科婦人科学会茨城地方部会(土浦), 1982
- No. 21 7月 重光貞彦, 赤塚孝雄, 久保武士:
生体の形態計測—輪郭図形の特徴抽出と相対関係の計測.
第21回SICE学会(東京), 1982
- No. 22 7月 目崎登, 佐々木純一, 松葉裕美, 飯島悟, 岩崎まり子, 稲葉淳一, 角田肇, 山内宏,
久保武士, 岩崎寛和:
子宮内胎児発育遅延(IUGR)に対する糖質・アミノ酸療法の評価.
第18回日本新生児学会総会(大阪), 1982
- No. 23 7月 松葉裕美, 目崎登, 久保武士, 岩崎寛和, 小口八恵, 中原智子, 須磨崎亮, 宇賀直樹:
当院における低出生体重児の予後についての検討.
第18回日本新生児学会総会(大阪), 1982
- No. 24 8月 目崎登, 松葉裕美, 岩崎寛和:
当院における小児婦人科疾患診療の現状.
第1回日本思春期学会(鹿児島), 1982
- No. 25 8月 臼杵 慈:
筑波大学に於けるパーロデルの使用経験.
第1回高プロラクチン研究会(水戸), 1982
- No. 26 8月 Satoshi Usuki, Hirokazu Iwasaki and Kazue Takano:
Somatomedin A in Maternal Serum during Pregnancy and Postpartum
Period and Fetal Cord Serum: Relationship to the Various Hormones and
Cystine Aminopeptidase during Pregnancy.
The 7th Asia & Oceania Congress of Endocrinology,
Tokyo, 1982
- No. 27 8月 浜野美恵子, 蔵本博行, 森沢孝行, 加藤良樹, 脇田邦夫, 西田正人:
人子宮内膜癌細胞の in Vitro でのホルモン応答能.
第41回日本癌学会総会(大阪), 1982

- No. 28 8月 久保武士, 重光貞彦:
帝王切開手術適応のクラスタアナリシス,
第10回日本行動計量学会大会 (東京), 1982
- No. 29 9月 金子実, 岩崎寛和:
癌性腹水における Macrophage の役割.
第3回東京大学産婦人科同窓会, 婦人科癌免疫化学療法研究会 (東京), 1982
- No. 30 9月 長谷川寛子, 田代順子, 小松美穂子, 目崎登, 伊藤俊一, 金子実, 岩崎寛和:
基礎体温測定導入による若年婦人の健康管理.
第23回日本母性衛生学会 (京都), 1982
- No. 31 9月 伊藤美知子, 藤原靖子, 坂本真由美, 新井香代子, 佐藤千恵子, 目崎登, 伊藤俊一,
金子実, 岩崎寛和:
早産予防への妊婦管理の一考察.
第23回日本母性衛生学会 (京都), 1982
- No. 32 9月 Satoshi Usuki, Hirokazu Iwasaki and Kazue Takano:
Somatomedin A in Maternal Serum during Pregnancy and Postpartum
Period and Fetal Cord Serum.
6th International Congress on Hormone Steroids, Jerusalem, 1982
- No. 33 9月 Satoshi Usuki and Hirokazu Iwasaki:
Effects of Chinese Herbal Medicine on Estrogen and Progesterone Secre-
tion in Ovaries Incubated in vitro.
6th International Congress on Hormone Steroids, Jerusalem, 1982
- No. 34 9月 稲葉淳一, 重光貞彦, 久保武士, 岩崎寛和, 赤塚孝雄:
胎児心拍間隔測定精度と STV index について.
第5回産科婦人科ME懇話会 (横浜), 1982
- No. 35 9月 飯島悟, 笠原国武, 重光貞彦, 久保武士, 岩崎寛和, 赤塚孝雄:
超音波連続平行断面像よりの胎盤重量推定.
第5回産科婦人科ME懇話会 (横浜), 1982
- No. 36 10月 Jiro Shibata, Takeshi Kubo, Hiroshi Yamanouchi and Hirokazu Iwasaki:
Fetal Growth Retardation and Severity of Preeclampsia.
3rd International Congress of Hypertension in Pregnancy,
Dallas Texas, 1982
- No. 37 10月 Minoru Kaneko, Hirokazu Iwasaki and Takeshi Kubo:
Effects of Peripheral Monocytes in Patients with Cervical Carcinoma
Following Immunopotential Therapy.
Xth World Congress of Gynecology and Obstetrics
San Francisco 1982
- No. 38 10月 Takeshi Kubo, Hirokazu Iwasaki, Takao Akatsuka, Minoru Kaneko and Jiro
Shibata:
Statistical Analyses of Fetal Heart Rate.
Xth World Congress of Gynecology and Obstetrics
San Francisco 1983

- No. 39 10月 **Takeshi Kubo, Takao Akatsuka, Sadahiko Shigemitsu and Hirokazu Iwasaki :**
Quantitative Analysis of X-ray Pelvimetry.
IEEE Computer Society International Symposium on Medical
Imaging and Image Interpretation, Berlin, F. R. Germany 1982
- No. 40 10月 白杵 愼 :
筑波大学における漢方方剤使用の現状.
水戸地区産婦人科医会学術講演会特別講演 (水戸), 1982
- No. 41 10月 目崎 登 :
思春期の性について.
茨城県助産保協会, 母子看護研修会 (水戸), 1982
- No. 42 11月 西田正人, 白杵 愼, 松葉裕美, 岩崎寛和 :
不妊原因としての子宮腔部ビラン.
第27回日本不妊学会総会 (東京), 1982
- No. 43 11月 角田肇, 岩崎まり子, 目崎 登, 西田正人, 伊藤俊一, 久保武士, 岩崎寛和 :
心臓逸所症, 水頭症等多発奇形の1症例.
第64回日本産科婦人科学会関東連合地方部会 (山梨), 1982
- No. 44 11月 重光貞彦, 稲葉淳一, 久保武士, 岩崎寛和, 赤塚孝雄 :
“Chernoff の顔”を使った難産の表示.
第2回医療情報学連合大会 (東京), 1982
- No. 45 11月 金子実, 岩崎寛和 :
卵巣癌の治療と単球, マクロファージの機能.
第6回産婦人科免疫研究会 (東京), 1982
- No. 46 11月 金子実 :
子宮癌の管理.
第2回茨城県癌検診の集い (水戸), 1982
- No. 47 11月 重光貞彦, 稲葉淳一, 久保武士 :
プログラミング, 妊娠栄養指導プログラム.
第5回産婦人科マイクロコンピューター研究会 (東京), 1982
- No. 48 11月 目崎 登 :
女子スポーツ選手の生理機能. <シンポジウム>スポーツのコーチングにおける医
学的諸問題.
第2回日本スポーツ教育学会 (筑波), 1982
- No. 49 11月 伊藤俊一 :
前期破水の取扱い. <シンポジウム>切迫流早産の管理.
第4回茨城県医学会総会産婦人科分科会
(第54回日本産科婦人科学会茨城地方部会), 1982
- No. 50 12月 宮川創平, 岩崎まり子, 西田正人, 岩崎寛和 :
糖尿病妊婦に併発した妊娠末期肝障害の1例.
第55回日本産科婦人科学会茨城地方部会, 1982

No. 51 12月 岩崎寛和：

女性のライフサイクルにおける保健指導「成熟期女性の理解と保健指導」.

日本看護協会北海道支部研修会（札幌）

その他（放送，座談会，講演会などで学術的なもの）

No. 1 1月 高橋美智，久保武士，堀原一，田村やよい：

特集／看護教育とシミュレーション I 教育へのシミュレーションの導入.

<座談会>医学看護領域へのシミュレーションの導入

看護教育 23, 1981

No. 2 7月 岩崎寛和：

思春期婦人科的疾患.

日本医師会講座，日本短波，1982

1982年（耳鼻咽喉科グループ）

原 著

- No. 1 1月 大橋徹, 吉江信夫:
プロム酸Na（コールドパーマ第2液）中毒による内耳障害性高度難聴症例.
日耳鼻, 85, 41-45, 1982
- No. 2 10月 富岡昌, 和田淳, 吉江信夫:
コンピュータ回転検査における迷路優位性の臨床的意義.
日耳鼻, 85, 1161, 1982
- No. 3 10月 仲田充雄, 吉江信夫:
清水式変法による顕微鏡下副鼻腔手術の研究.
日耳鼻, 85, 1244, 1982
- No. 4 10月 大橋徹, 吉江信夫, 阿瀬雄治:
蝸電図による内耳疾患の病態生理学的診断.
日耳鼻, 85, 1321, 1982
- No. 5 10月 吉江信夫:
アルゴンレーザー鼓室成形術.
日耳鼻, 85, 1375, 1982
- No. 6 10月 大橋徹, 吉江信夫, 阿瀬雄治:
SP/AP 比を応用した内耳の機能診断.
Audiology Japan 25, 287-288, 1982
- No. 7 10月 阿瀬雄治, 小出富士夫, 吉江信夫, 大橋徹:
Derived ABR における耳小骨筋反射の影響.
Audiology Japan 25, 311-312, 1982

著 書

- No. 1 5月 吉江信夫:
耳, 機能. 聴覚学 pp. 18-37
症候と検査. 検査（視診と触診, 耳鏡検査, 耳管通気法, 微生物学的検査, 聴力検査, 難聴診断法）pp. 55-81
必修耳鼻咽喉科学, 南江堂, 東京, 1982

学会発表（シンポジウム, 特別講演を含む）

- No. 1 5月 富岡昌, 和田淳, 吉江信夫:
コンピュータ回転検査における迷路優位性の臨床的意義.
第83回日本耳鼻咽喉科学会総会（盛岡）, 5月, 1982
- No. 2 5月 吉江信夫:
アルゴンレーザー鼓室成形術.
第83回日本耳鼻咽喉科学会総会（盛岡）, 5月, 1982
- No. 3 5月 吉江信夫, 仲田充雄:
清水式変法による顕微鏡下副鼻腔手術の研究.
第83回日本耳鼻咽喉科学会総会（盛岡）, 5月, 1982

- No. 4 5月 大橋徹, 吉江信夫, 阿瀬雄治:
 蝸電図による内耳疾患の病態生理学的診断.
 第83回日本耳鼻咽喉科学会総会(盛岡), 5月, 1982
- No. 5 6月 大橋徹, 吉江信夫, 木内宗甫, 阿瀬雄治, 和田淳, 小出富士夫:
 難治性慢性中耳炎の再手術例の検討.
 第9回日耳鼻茨城地方部会(水戸), 6月, 1982
- No. 6 6月 仲田充雄, 吉江信夫:
 Rhinomicrosurgery による副鼻腔手術の検討.
 第9回日耳鼻茨城地方部会(水戸), 6月, 1982
- No. 7 6月 小出富士夫, 吉江信夫, 木内宗甫, 大橋徹, 和田淳, 阿瀬雄治:
 後天性後鼻孔閉塞の1症例.
 第9回日本耳鼻咽喉科学会茨城地方部会(水戸), 6月, 1982
- No. 8 6月 吉江信夫:
 アルゴンレーザー利用の鼓室成形術.
 第9回日耳鼻茨城地方部会(水戸), 6月, 1982
- No. 9 10月 吉江信夫:
 耳鼻咽喉科領域におけるレーザー外科の現況と将来.
 日耳鼻栃木地方部会(栃木県南河内町), 9月, 1982
- No. 10 9月 和田淳, 吉江信夫:
 体動揺エネルギー入出力関係の臨床応用.
 第41回日本平衡神経科学会(山形), 9月, 1982
- No. 11 10月 和田淳, 大橋徹, 富岡昌, 吉江信夫:
 蝸電図と回転検査によるメニエール病の他覚的診断.
 第10回日本臨床耳科学会(福島), 10月, 1982
- No. 12 10月 阿瀬雄治, 小出富士夫, 吉江信夫, 大橋徹:
 Derived ABR における耳小骨筋反射の影響.
 第27回日本オージオロジー総会(東京), 10月, 1982
- No. 13 10月 大橋徹, 吉江信夫, 阿瀬雄治:
 SP/AP 比を応用した内耳の機能診断.
 第27回日本オージオロジー総会(東京), 10月, 1982
- No. 14 11月 阿瀬雄治, 宇佐神正海, 新井泰, 新井峻, 岡田慎一, 小林幸江, 飯田律子:
 聴覚センターにおける ABR 検査時の Tympanogram.
 第10回日耳鼻茨城地方部会(水戸), 11月, 1982
- No. 15 11月 森口真理, 木内宗甫, 松野博志:
 唾液腺造影の一工夫.
 第10回日耳鼻茨城地方部会(水戸), 11月, 1982
- No. 16 11月 小出富士夫, 吉江信夫, 木内宗甫, 大橋徹, 和田淳:
 側頭部蔓状血管腫の一治験例.
 第10回日耳鼻茨城地方部会(水戸), 11月, 1982

No. 17 11月 和田淳, 吉江信夫, 木内宗甫, 大橋徹, 小出富士夫:

巨大な側頭部腫瘤を呈した多形腺腫 round type の1症例.

第10回日耳鼻茨城地方部会(水戸), 11月, 1982

No. 18 11月 阿瀬雄治, 渡辺浩一:

オーディオメーターの JIS 規格改訂について.

第10回日耳鼻茨城地方部会(水戸), 11月, 1982

班研究報告

No. 1 3月 吉江信夫:

聴性電気反応による感音難聴の系統的細別・病態診断の標準化と自動化に関する研究, 昭和55年, 56年度文部省科学研究費(一般研究B)

その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 3月 阿瀬雄治:

音についての基礎知識.

日本オーディオロジー学会聴力測定技術講習会, 3月, 東京

1982年（麻酔科グループ）

原 著

- No. 1 2月 内藤裕史：
ECFMG 試験結果の国別大学別比較。
医学教育 13：64-67, 1982
- No. 2 3月 内藤裕史
筑波大学における中毒センター活動について。
臨床薬理 13：91-92, 1982
- No. 3 3月 内藤裕史：
有機リン剤中毒にヒト血漿コリンエステラーゼ製剤を用いる意義について。
臨床麻酔 6：340, 1982
- No. 4 4月 内藤裕史：
医学教育における第2外国語のあり方。
医学教育 13：99-101, 1982
- No. 5 4月 内藤裕史：
筑波大学における中毒センター活動。
月刊薬事 24：806-807, 1982
- No. 6 5月 内藤裕史：
中毒および医療における化学物質分析。
月刊薬事 24：997, 1983
- No. 7 5月 渡辺とよ子, 山下衛, 近藤陽一, 佐藤重仁, 水谷太郎, 渡辺徹, 内藤裕史：
声帯麻痺を伴った Charcot-Marie-Tooth 病の麻酔および術後管理。
麻酔 31：530-534, 1982
- No. 8 7月 渡辺誠治, 内藤裕史：
中毒の救急治療。
からだの科学 106：103-107, 1982
- No. 9 7月 内藤裕史：
これからの医学研究。
ライフサイエンス 9：(7), 12-15, 1982
- No. 10 9月 佐藤重仁, 内藤裕史：
局所麻酔の効果発見時間と局所麻酔の塩基—その1. 硬膜外麻酔—。
麻酔 31：920-926, 1982
- No. 11 10月 佐藤重仁, 内藤裕史：
局所麻酔の効果発現時間と局所麻酔薬の塩基—その2. 脊髄麻酔—。
麻酔31：1072-1076, 1982
- No. 12 10月 土肥修司, 宮部雅幸, 表哲夫, 長谷川光子：
Prostaglandin E₁による麻酔中の血圧調節。
現代医療 14：1981-1986, 1982

- No. 13 10月 安倍十三夫, 塚本勝, 橋本章, 山口保, 浅井康文, 上田睦, 小松作蔵, 久米田幸広, 土肥修司:
 ファロー五徴症根治手術時, 鎖骨下静脈穿刺法による肺内血腫形成, 敗血症の1治療.
 ICU と CCU 6 : 873-879, 1982
- No. 14 11月 Dohi S., Nishikawa T., Ujike Y., Mayumi T. :
 Circulatory responses to airway stimulation and cervical epidural blockade.
 Anesthesiology 57 : 359-363, 1982
- No. 15 11月 土田英昭, 土肥修司, 西川俊昭, 一瀬広道, 真弓享久, 高橋長雄:
 頸部硬膜外麻酔の baroreflex に及ぼす影響.
 麻酔 31 : S28, 1982
- No. 16 11月 原田有三, 土肥修司, 百留和雄, 松宮直樹, 今久子, 白瀬真理, 高橋長雄:
 開心麻酔に対するシクラゾシン麻酔とモルフィン麻酔の比較.
 麻酔 31 : S120, 1982
- No. 16 11月 内藤裕史:
 中毒センターの運営.
 薬事新報 1200 : 1024-1025, 1982
- No. 18 11月 土肥修司, 松宮直樹, 藤田智, 高橋長雄, 安倍十三夫:
 シクラゾシン, プブレンオルフィンの脳および脊髄血流量に及ぼす影響.
 麻酔 31 : S297, 1982
- No. 19 12月 Nishikawa T., Dohi S. :
 Slowing of heart rate during cardiac output measurement by thermodilution.
 Anesthesiology 57 : 538-539, 1982
- No. 20 12月 山下衛, 服部治夫, 内藤裕史:
 ボタン型アルカリ電池の人工胃液, 人工腸液内での変化.
 月刊薬事 24 : 2459-2461, 1982
- No. 21 12月 山下衛, 鈴木弘之, 土屋隆, 服部忠和, 岩崎三生, 江口潤, 内藤裕史:
 急性プラストサイジン S 中毒の病態と治療.
 救急医学 6 : 1699-1703, 1982
- No. 22 12月 Nakamura K., Watanabe S., Naito H. :
 The organization of the poison control center in Japan.
 Journal de Toxicologie Medicale 2 : 283-285, 1982
- No. 23 12月 Yamashita M., Nakamura K., Sato S., Naito H. :
 The plasma paraquat concentration of dogs administered paraquat with emetic.
 Vet Hum Toxicol, Supplement : 48-49, 1982

No. 23 12月 Nakamura K., Yamashita M., Naito H. :
Efficacy of gut lavage in the removal of paraquat in the dog.
Vet Hum Toxicol, Supplement : 157-158, 1982

No. 25 月 内藤裕史 :
中毒センター報告.
情報 448 : 1-4, 1982

総 説

No. 1 5月 内藤裕史 :
急性中毒症の初期治療.
茨城県医師会雑誌 5 : 83-92, 1982

No. 2 5月 内藤裕史 :
中毒センターとは.
日本医師会雑誌 87 : 1051-1055, 1982

No. 3 5月 内藤裕史 :
筑波大学における中毒センター活動.
ファルマシア 18 : 401, 1982

No. 4 5月 内藤裕史 :
中毒情報センター.
臨床ME 6 : 321-331, 1982

No. 6 8月 渡辺誠治, 島崎修次, 鈴木宏昌, 菊地真心夫, 近藤考, 山下衛 :
ICUにおける毒物患者の治療 : 一般的処置.
ICUとCCU 6 : 627-631, 1982

No. 6 8月 水谷太郎, 内藤裕史 :
ICUにおける毒物患者の治療 : 情報.
ICUとCCU 6 : 633-635, 1982

No. 7 12月 山下衛, 内藤裕史 :
中毒センター.
目でみる救命救急医療シリーズ 5, 1982

著 書

No. 1 月 渡辺徹, 内藤裕史 :
甲状腺手術の麻酔.
外科Mook 27, pp.74-79, 1982

No. 2 9月 山下衛, 内藤裕史 :
薬物中毒の初期治療の基本.
医薬品・化学薬品中毒. pp.46-53, 1982

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

No. 1 5月 渡辺徹, 山下衛, 渡辺とよ子, 毛利勝也, 水谷太郎, 中村紘一, 渡辺誠治, 内藤裕史 :
有機燐農薬中毒に対するヒトコリンエステラーゼ剤の効果.
第9回日本集中治療医学会総会 (福島), 5月, 1982

- No. 2 5月 山下衛, 中村紘一, 佐藤重仁, 八文字玲子, 内藤裕史:
吐剤入りパラコートの子犬における血中濃度.
第9回日本集中医学学会総会(福島), 5月, 1982
- No. 3 5月 山下衛, 渡辺誠治, 近藤陽一, 田中淳介, 内藤裕史:
パラコート中毒患者に対する腸洗浄療法.
第9回日本集中治療医学会総会(福島), 5月, 1982
- No. 4 5月 山下衛, 水谷太郎, 清野秀子, 中村紘一, 渡辺誠治, 内藤裕史:
中毒センターの概要と8ヶ月間の活動の実態.
第9回日本集中治療医学会総会(福島), 5月, 1982
- No. 5 5月 毛利勝也, 山下衛, 近藤陽一, 斎藤重行, 内藤裕史:
中毒の症例情報システム.
第9回日本集中治療医学会総会(福島), 5月, 1982
- No. 6 6月 斎藤重行, 山下衛, 中村紘一, 渡辺誠治, 毛利勝也, 内藤裕史:
中毒センターの概要について.
第5回日本プライマリ・ケア学会(小倉), 6月, 1982
- No. 7 6月 山下衛, 渡辺徹, 渡辺トヨ子, 近藤陽一, 斎藤重行, 八文字玲子, 三井利夫, 内藤裕史:
全身麻酔中の経食道的緊急ペーシングの検討.
第29回日本麻酔学会総会(前橋), 6月, 1982
- No. 8 7月 田中淳介, 内藤裕史:
群発頭痛.
第16回ペインクリニック研究会(広島), 7月, 1982
- No. 9 7月 内藤裕史:
化学物質災害と中毒センター活動.
安全工学協会(東京), 7月, 1982
- No. 10 8月 Yamashita M., Nakamura K., Sato S., Naito H.:
The plasma paraquat concentration of dogs administered paraquat with emetic.
1982 International Congress of Clinical Toxicology, Snowmass, Colorado, USA, August, 1982
- No. 11 8月 Nakamura K., Yamashita M., Naito H.:
Efficacy of gut lavage in the removal of paraquat in the dog.
1982 International Congress of Clinical Toxicology, Snowmass, Colorado, USA, August, 1982
- No. 12 8月 水谷太郎, 山下衛, 清野秀子, 中村紘一, 渡辺誠治, 内藤裕史:
中毒センターの概要と11ヶ月間の活動の実態.
第10回日本救急医学会総会(札幌), 8月, 1982
- No. 13 8月 中村紘一, 山下衛, 田中淳介, 毛利勝也, 内藤裕史:
パラコート胃内注入犬に対する腸洗浄.
第10回日本救急医学会総会(札幌), 8月, 1982

- No. 14 8月 須賀肇, 佐藤信一, 吉野清高, 町島啓, 山下衛, 内藤裕史:
ケイキサレート, カリメート, 活性炭のパラコート吸着量について.
第10回日本救急医学会総会(札幌), 8月, 1982
- No. 15 8月 近藤陽一, 佐藤重仁, 八文字玲子, 斎藤重行, 渡辺誠治, 山下衛, 内藤裕史:
パラコート中毒急性期のショックの血行動態について.
第10回日本救急医学会総会(札幌), 8月, 1982
- No. 16 8月 山下衛, 佐藤清二, 服部治夫, 内藤裕史:
アルカリボタン電池の誤飲とその影響について.
第10回日本救急医学会総会(札幌), 8月, 1982
- No. 17 8月 垣内祥宏, 佐藤信一, 吉野清高, 町島啓, 山下衛, 内藤裕史:
市販トコン末中の主アルカロイド含有量の検討.
第10回日本救急医学会総会(札幌), 8月, 1982
- No. 18 9月 中村紘一, 佐藤重仁, 内藤裕史:
加齢が交感神経遮断に及ぼす影響.
第22回日本麻酔学会関東甲信越地方会(横浜), 9月, 1982
- No. 19 10月 西川俊昭, 土肥修司:
熱希釈法による心拍出量測定時の徐脈.
第23回北海道麻酔学会(札幌), 10月, 1982
- No. 20 11月 山下衛, 鈴木弘之, 土屋隆, 服部忠和, 岩崎三生, 内藤裕史:
プラストサイジンS中毒の4症例.
第2回日本臨床麻酔学会総会(東京), 11月, 1982
- No. 21 11月 清野秀子, 八文字玲子, 中村紘一, 渡辺誠治, 内藤裕史, 伴野悠士, 小野幸雄:
Acromegaly と obstructive sleep apnea...麻酔導入時に気道確保が容易でない症例の検討.
第2回日本臨床麻酔学会総会(東京), 11月, 1982
- No. 22 11月 水口章, 土肥修司, 藤原慎司, 高橋長雄, 真弓享久:
モルフィン脊髄クモ膜下腔投与の体温に及ぼす影響.
第2回日本臨床麻酔学会総会(東京), 11月, 1982
- No. 23 12月 中村紘一, 内藤裕史:
急性石灰窒素中毒—エタノールとの相互作用.
第3回日本臨床薬理学会(浜松), 12月, 1982
- No. 24 12月 水谷太郎, 中村紘一, 内藤裕史:
電話相談からみた日本における急性薬・毒物中毒の現況.
第3回日本臨床薬理学会(浜松), 12月, 1982
- その他(放送, 座談会, 講演などで学術的なもの)
- No. 1 4月 内藤裕史:
中毒防止を目指して治療と研究に取り組む.
農林経済 昭和57年4月1日: 7-9, 1982
- No. 2 6月 内藤裕史:
医学の焦点.
日本短波放送, 6月14日, 1982

1982年（歯・口腔グループ）

原 著

No. 1 2月 舟久保太：

切歯指導板の調節が前方咬合局面に及ぼす影響。

補綴誌 26：116-132, 1982

No. 2 3月 Fukuda H., Hashimoto K., Yoshimasu H., Shioda S.：

A Case of Asymmetrical Facial Deformity.

Bull. Jap. Soc. Jaw Deform. 1：18, 1982

No. 3 4月 舟久保太, 根本一男：

半調節性咬合器の運動経路に関する理論的研究（第7報）。

補綴誌 26：228-241, 1982

No. 4 7月 石井純一, 橋本賢二, 吉増秀実, 福田廣志, 冨塚謙一, 塩田重利：

東京医科歯科大学第1口腔外科における過去3年間の唇顎口蓋裂患者の臨床統計的研究—裂型別にみた変遷と合併奇形について—。

日口蓋誌 7：77, 1982

著 書

No. 1 4月 林都志夫, 平沼謙二, 根本一男, 松本直之, 山縣健佑, 長尾正憲：

全部床義歯補綴学（林都志夫編）。

医歯薬出版, 東京, 1982

No. 2 6月 藍稔, 津留宏道, 根本一男, 平沼謙二, 松本直之, 三谷春保（編）：

パーシャルデンチャーテクニック。

医歯薬出版, 東京, 1982

学会発表（シンポジウム, 特別講演を含む）

No. 1 3月 福田廣志, 橋本賢二, 吉増秀実, 塩田重利：

治療計画に工夫を要した顔面変形症の1例。

第1回顎変形症研究会（京都）, 3月, 1982

No. 2 5月 鳥飼勝行, 内沼栄樹, 黄金井康己, 福田廣志, 塩谷信幸, 上石弘：

Craniofacial surgery の術後の問題点（その1）合併症の検討とその対策。

第25回日本成形外科学会総会（金沢）, 5月, 1982

No. 3 11月 石橋利文, 永野知一, 田所重映, 染谷さき子, 福田廣志, 根本一男：

下顎骨中心性血管腫の1例。

第124回日本口腔外科学会関東地方会（神奈川）, 11月, 1982

1982年（放射線医学グループ）

原 著

- No. 1 1月 Gmeinwieser, J., Gullotta, U., Reiser, M., Saida, Y., and Mack, D. :
Extramedulläre Hämatopoese als Ursache paravertebraler Tumorbildungen
im Thorax.
Fortschr. Röntgenstr. 137 (1), 68-72, 1982
- No. 2 1月 河合千里, 牧正子, 奈良成子, 日下部きよ子, 重田帝子, 土田桂蔵, 関口守衛, 林久
恵, 平松慶博, 山崎統四郎:
血液プールシンチグラフィにて描出し得た心膜血管腫の1例.
臨床放射線 27 (1), 119-122, 1982
- No. 3 2月 小林久人, 大島統男, 黄田保光, 菊池陽一, 小林盛子, 秋貞雅祥:
Tc-フチン酸による肝シンチグラムで一時的に肺野に取込みを来した全身性エリテ
マトーデスの1例.
核医学 19 (1), 167-171, 1982
- No. 4 2月 石川演美, 館澤堯, 石川悟, 平松慶博:
癌治療における画像診断—泌尿器.
癌と化学療法 19 (2), 197-203, 1982
- No. 5 3月 斎田幸久, Reiser, M., Rupp, N., Feuerbach, S. and Anacker, H. :
膝関節交叉靱帯のCT診断.
臨床放射線 27 (3), 369-373, 1982
- No. 6 8月 平松慶博, 松野博志, 館澤堯, 松本邦彦:
CT (Review) による前庭水管撮影の試み.
断層撮影法研究会雑誌 10 (1), 23-27, 1982
- No. 7 9月 石川演美, 中川眞也:
胆石症のCTについて.
医学と薬学 8 (3), 909-914, 1982
- No. 8 9月 小山捷平, 東郷順子, 宮本二郎, 中原朗, 川北勲, 柴田裕身, 山形迪, 武藤弘, 福富久
之, 崎田隆夫, 大原潔, 秋貞雅祥:
食道癌に対する硫酸 pepleomycin と放射線併用療法.
癌と化学療法 9 (9), 1562-1567, 1982
- No. 9 10月 赤塚孝雄, 秋貞雅祥:
デジタルラジオグラフィ.
計測と制御 21 (10), 949-958, 1982
- No. 10 11月 松本義一, 木下幸次郎, 秋貞雅祥, 兵藤一行, 楠本敏博:
NaI (Tl) シンチレータのフィルター効果.
放射線像研究 11 (4), 141-143, 1982
- No. 11 11月 平松慶博, 松本邦彦, 館澤堯, 菊池陽一, 秋貞雅祥, 北川龍一:
CTによる腎癌切除可能性の判定.
脈管学 22 (7), 815-817, 1982

- No. 12 12月 Kitagawa, T., Kakehi, M., Kunieda, T., Tsukiyama, I., Hamada, M., Inakoshi, H., Sakudo, M., Suemasu, K., Matsumoto, K., Yoneyama, T., Iizuka, T., Nomura, K., and Kawachi, K. :
Aferloading technique for interstitial irradiation of lesions in deep-seated oreans,
RADIOLOGY 43 (2), 543-547, 1982
- No. 13 12月 北川俊夫他, 築山巖, 寛正兄, 柳川繁, 影本正之, 片岡正明, 米山武志, 宮沢直人, 斎藤明男 :
肺癌術後照射結果の検討.
肺癌, 22 (4), 449-457, 1982
- No. 15 12月 北川俊夫 :
放射線治療の適応と方法.
消化器外科, 5 (6), 437-443, 1982
- 総 説
- No. 1 1月 館澤堯, 平松慶博 :
CT スキャン; 脳血管障害と外傷性疾患.
検査診断の世界 2 (1), 167-181, 1982
- No. 2 1月 秋貞雅祥 :
骨盤 (CT他), 座長のまとめ.
日本医放誌 42 (1), 79-80, 1982
- No. 3 2月 館澤堯, 平松慶博 :
頭頸部浸潤範囲の決定における CT の有用性.
癌と化学療法 9 (2), 177-181, 1982
- No. 4 2月 石川演美, 館澤堯, 石川悟, 平松慶博 :
泌尿器.
癌と化学療法 9 (2), 197-203, 1982
- No. 5 3月 秋貞雅祥, 中島禎一, 黄田保光, 大島統男, 平松慶博 :
悪性リンパ腫の画像診断.
臨床医 8 (3), 102-106, 1982
- No. 6 3月 秋貞雅祥, 平松慶博, 石川演美, 館澤堯, 松本邦彦, 大島統男, 大原潔, 和田光功, 殿岡玲子, 名越和夫, 宮本二郎 :
脾疾患の画像診断.
内科 49 (3), 433-438, 1982
- No. 7 3月 平松慶博 :
腹部 CT スキャンの適応と手技.
胆と脾 3 (3), 446-451, 1982
- No. 8 3月 松本邦彦, 平松慶博 :
悪性リンパ腫の画像診断; CT スキャン.
臨床医 8 (3), 447-449, 1982

- No. 9 4月 石川演美, 松本邦彦, 平松慶博:
胆道疾患の CT (肝外胆管).
胆と脾 3 (4), 566-572, 1982
- No. 10 4月 館澤堯, 平松慶博:
画像の読みかた, 腎疾患.
臨床医 8 (4), 609-612, 1982
- No. 11 5月 石川演美, 平松慶博:
肝内胆管疾患の CT.
胆と脾 3 (5), 684-690, 1982
- No. 12 6月 秋貞雅祥:
サイクロトロン産生 ^{14}C アミノ酸による脾シンチグラフィー.
医学のあゆみ 121 (10), 853-854, 1982.6.5
- No. 13 6月 石川演美, 平松慶博, 中川真也:
胆嚢疾患の CT.
胆と脾 3 (6), 51-57, 1982
- No. 14 7月 赤塚孝雄, 兵藤一行, 武田徹, 秋貞雅祥:
ディジタルラジオグラフィによるアンジオグラフィー.
映像情報 14 (11), 754-760, 1982
- No. 15 7月 平松慶博:
脾の CT (1).
胆と脾 3 (7), 950-956, 1982
- No. 16 8月 秋貞雅祥, 赤塚孝雄, 武田徹, 兵藤一行:
Digital subtraction angiography—その歴史, 現在, 未来.
医学のあゆみ 122 (6), 607-623, 1982.8.7
- No. 17 8月 平松慶博:
脾の CT (2).
胆と脾 3 (8), 1086-1091, 1982
- No. 18 8月 平松慶博:
X線診断.
診断と治療 70 (8), 105-111, 1982
- No. 19 10月 平松慶博, 館澤堯:
CT 読影に必要な基礎知識.
耳鼻咽喉科 54 (10), 745-752, 1982
- No. 20 11月 北川俊夫:
放射線療法.
臨床医, 8 (11), 149-152, 1982
- No. 21 11月 館澤堯, 平松慶博:
CT スキャン No.4. 眼科および耳鼻科領域のコンピュータ断層撮影.
検査診断の世界 2 (2), 130-136, 1982
- No. 22 12月 秋貞雅祥:
乳腺, 座長のまとめ.
日本医放誌 42 (12), 1176-1177, 1982

- No. 23 12月 監物久夫, 澤口重徳, 大川治夫, 高橋正彦, 坂庭操, 金子道夫, 越智五平, 平松慶博:
小児悪性腫瘍のCT診断の有用性.

小児外科 14 (12), 1559-1566, 1982

著 書

- No. 1 4月 秋貞雅祥:
肝, 胆, 脾, 膵: リンパ系, 軟部.
X線診断学(御園生圭輔)改訂12版, p.303-349, p.471-491,
文光堂, 東京, 1982
- No. 2 4月 平松慶博:
泌尿器(総説, 奇形), 新小児医学大系30B.
小児放射線医学Ⅱ(小林登他編) pp.179-198,
中山書店, 東京, 1982
- No. 3 4月 平松慶博:
泌尿器・副腎・性器.
X線診断学改訂第12版, p.351-386, 文光堂, 東京, 1982
- No. 4 8月 秋貞雅祥:
画像診断のための解剖図譜7.
単純撮影からみた甲状腺の解剖 p.42-48, メジカルビュー社, 1982
- No. 5 8月 松本邦彦, 秋貞雅祥:
CTからみた甲状腺の解剖.
画像診断のための解剖図譜7, pp.58-65, メジカルビュー社, 1982
- No. 6 11月 秋貞雅祥, 編著:
Digital radiography. デジタルラジオグラフィー—臨床応用へのパースペクティ
ブ.
近未来の放射線医学と digital radiography の位置づけ,
ライフサイエンスセンター, p.1-24, 1982
- No. 7 12月 秋貞雅祥:
放射線医の新しい地平.
日本医師会編, 日本医師会講座56年度版, p.157-166, 1982.12
- No. 8 12月 北川俊夫:
分坦「大腸癌診断治療の進歩」.
へるす出版, p.181-190, 1982

学会発表(シンポジウム, 特別講演を含む)

- No. 1 1月 Izima H., Hori M., Abe T., Nagasawa T. and Akisada M.:
Angiographically abnormal findings of finger and/or toe in essential
thrombocytopenia.
19. Congress. Internat. Soc. Haematol. and 17. Congress. Internat.
Soc. Blood Transf. (Budapest), 1982, Aug, 1-7
- No. 2 1月 倉本憲明, 和田光功, 黄田保光, 菊池陽一, 大島統男, 秋貞雅祥:
ガリウム, 骨シンチおよび肝シンチグラムにて陽性を呈した mycosis fungoides
の1例.
第322回日本医学放射線学会関東部会(東京), 1982.1.16

- No. 3 1月 黄田保光, 和田光功, 倉本憲明, 菊池陽一, 館澤堯, 大島統男, 平松慶博, 秋貞雅祥, 高橋茂樹:
腎 oncocytoma の1例.
第322回日本医学放射線学会関東部会(東京), 1982.1.16
- No. 4 2月 和田光功, 平松慶博, 石川演美, 館澤堯, 中島禎一, 殿岡玲子, 秋貞雅祥:
ダイナミックCT スキャンにおける肝及び肝門部の血管解剖.
第1回日本臨床画像医学研究会(東京), 1982.2.16-17
- No. 5 2月 倉本憲明, 和田光功, 菊池陽一, 黄田保光, 大島統男, 秋貞雅祥, 花田尚:
血小板減少症を伴った血管腫の1例. ^{111}In オキシニ標識血小板による検討.
16, 日本核医学会関東甲信越地方会(東京), 57.2.27
- No. 6 2月 武田徹, 兵藤一行, 館澤堯, 平松慶博, 秋貞雅祥, 赤塚孝雄:
digital radiography の基礎的研究.
第323回日本医学放射線学会関東部会(東京), 1982.2.20
- No. 7 2月 松本邦彦, 平松慶博, 殿岡玲子, 中島禎一, 武田徹, 秋貞雅祥:
腹水貯留の画像診断—少量腹水の分布—.
第1回日本臨床画像医学研究会(東京), 1982.2, 16-17
- No. 8 3月 秋貞雅祥, 兵藤一行, 大島統男, 木下幸次郎, 松本義一:
ガンマ線-Na (Tl) 結晶系の発光機序に関する研究.
第42回日本医学放射線学会総会(東京), 1982.3, 24-26
- No. 9 3月 殿岡玲子, 平松慶博, 中島禎一, 和田光功, 松本邦彦, 館澤堯, 秋貞雅祥:
ダイナミックCT スキャンによる腎機能評価.
第42回日本医学放射線学会総会(東京), 1982.3, 24-26
- No. 10 3月 中島禎一, 平松慶博, 菊池陽一, 倉本憲明, 殿岡玲子, 石川演美, 秋貞雅祥:
脾のダイナミックCT スキャン.
第42回日本医学放射線学会総会(東京), 1982.3, 24-26
- No. 11 3月 稲田哲雄, 西沢正明, 丸橋晃, 大原潔, 秋貞雅祥, 平松慶博:
陽子線治療計画.
第43回日本医学放射線学会物理部会(東京), 1982.3.22
- No. 12 3月 館澤堯, 平松慶博, 松本邦彦, 石川演美, 殿岡玲子, 中島禎一, 秋貞雅祥:
側頭骨のCT 診断—冠状断層撮影と横断断層撮影を比較して.
第42回日本医学放射線学会総会(東京), 1982.3, 24-26
- No. 13 3月 大原潔, 海老原玲子, 秋貞雅祥, 吉井与志彦:
転移性脳腫瘍の放射線療法後のCT による経時的変化.
第42回日本医学放射線学会総会(東京), 1982.3, 24-26
- No. 14 3月 武田徹, 大原潔, 平松慶博, 秋貞雅祥:
肺癌放射線療法後の効果判定におけるCT の有用性について.
第42回日本医学放射線学会総会(東京), 1982.3, 24-26
- No. 15 5月 秋貞雅祥, 赤塚孝雄, 兵藤一行, 武田徹:
ディジタルサブトラクションシステムの開発.
第21回日本ME学会(仙台), 1982.5, 13-15

- No. 16 5月 加藤和明, 秋貞雅祥:
個人レベルに於ける診療被曝の benefit-risk 評価.
第17回日本保健物理学会(東海村), 1982.5, 27-29
- No. 17 6月 竹島徹, 桜久徹志, 秋貞雅祥, 畠山六郎:
PSSの食道病態—食道内圧と胃食道シンチグラムによる検討.
第24回日本平滑筋学会(東京), 1982.6.13
- No. 18 6月 中島禎一, 秋貞雅祥:
リンパ造影の拡大撮影の意義について.
第10回日本脈管学会関東甲信越リンパ研究会(東京), 1982.6.16
- No. 19 10月 館澤堯, 斎田幸久, 倉本憲明, 殿岡玲子, 千葉登, 平松慶博, 秋貞雅祥:
斜台に平行なCT スキャン法の検討, 後頭蓋窩の space occupying lesion について.
第11回断層研究会(福島), 1982.10.8
- No. 20 10月 松本邦彦, 館澤堯, 平松慶博:
多脾症.
第11回断層研究会(福島), 1982.10.8
- No. 21 10月 松本邦彦, 平松慶博, 倉本憲明, 和田光功, 斎田幸久, 館澤堯, 石川演美:
小児肝胆道系CT.
第11回臨床小児放射線研究会(東京), 10月, 1982
- No. 22 11月 秋貞雅祥, 兵藤一行, 楠本敏博:
Tablet digitizer を用いたシンチレーション光量の計測.
第1回医用画像工学シンポジウム(東京), 1982.7, 8.10
- No. 23 11月 秋貞雅祥:
Digital subtraction angiography の現況と未来像.
第223回順天堂医学会(特別講演)(東京), 1982.11.13
- No. 24 11月 兵藤一行, 武田徹, 赤塚孝雄, 秋貞雅祥, 松田光生, 前田肇:
X線画像による造影剤分布の経時的変化追跡についての一考察.
第2回医学生物学に関する情報学連合大会(東京), 1982.11, 20-21
- No. 25 11月 永嶺謙忠, 秋貞雅祥:
 μe 崩壊・ μSR 法の医学利用の可能性.
中間子の医学生物学への応用検討(東京), 1982.11, 25-26
- No. 26 11月 木村敬二郎, 大塚盛男, 長谷川堯, 渡辺宏, 長谷川鎮雄, 畠山六郎, 大島統男, 秋貞雅祥:
Aerosol 吸入シンチグラムの局所沈着率と局所クリアランスの臨床的検討.
第22回日本核医学会(東京), 1982.11.17
- No. 27 11月 中島禎一, 和田光功, 館澤堯, 秋貞雅祥, 小形岳三郎:
拡大リンフォグラフィの検討.
第23回日本脈管学会(岐阜), 1982.11, 4-6

班研究報告

- No. 1 12月 秋貞雅祥, 烏塚莞爾, 野崎正, 飯尾正明, 田中榮一, 館野之男, 上村和夫, 松沢大樹, 井戸達雄, 入江五朗, 小嶋正治:
加速器産生放射性核種によるがん診療の基礎的研究.
文部省がん 特 I, 秋貞班 57010012
- No. 2 12月 加藤和明, 秋貞雅祥:
個人レベルにおける診療被曝の risk-benefit ratio.
文部省がん特 I, 秋貞班 57010012,
- No. 3 12月 丸橋晃:
血清微量元素の定量と癌診断—制動放射線による微量元素定量の検討—.
文部省がん特 I, 秋貞班 57010012,
- No. 4 12月 秋貞雅祥, 永嶺謙忠:
中間子による基礎科学の研究—中間子による元素分析—
(文部省総合A広領域) 山崎班, 東京, 1982.12.14
- No. 5 12月 Nagamine K. and Akisada M.:
On the possible medical application of μe decay and μSR measurements.
中間子の医生物学への応用検討会, (東京), 25-26, 1982.11
- No. 6 12月 秋貞雅祥, 兵藤一行, 武田徹, 赤塚孝雄, 丸橋晃:
高 LET 放射線によるがん治療及び診断の基礎的研究—筑波大学粒子線医科学センターにおけるプロトン診断の基礎的研究—.
文部省がん特 I (坂本班) 高LET放射線によるがん治療及び診断の基礎的研究
- No. 7 12月 諏訪繁樹, 秋貞雅祥, 稲田哲雄, 赤塚孝雄, 近藤都登:
学内プロ (一般甲): 粒子線医科学センターの陽子ビームを用いた診断の基礎的研究,
1982
- No. 8 12月 秋貞雅祥, 丸橋晃, 兵藤一行, 鈴木正慶:
陽子線診断システムの開発.
厚生省がん研究助成 (稲田班) (がんの診断及び治療を目的とする陽子線照射制御システムの開発)
- No. 9 12月 赤塚孝雄, 井戸川徹, 秋貞雅祥, 松田光生, 高谷治, 早川吉則:
動態画像の画像解析に関する実践的研究
一般研究 B, 1982
- No. 10 12月 秋貞雅祥, 稲田哲雄, 平松慶博, 赤塚孝雄, 丸橋晃, 早川吉則, 高田義久:
プロトンラジオグラフィの基礎および臨床的研究.
一般研究 B, 1982
- No. 11 12月 秋貞雅祥, 中村俊彦, 松本邦彦:
“Cアスパラギン酸の合成および生体内分布について,
がん特 I, 57010012, 秋貞班 (加速器産生放射性核種によるがん診療の基礎的研究),
1982
- No. 12 12月 秋貞雅祥, 平松慶博, 館澤亮, 松田光生, 前田肇, 赤塚孝雄:
放射線像ビデオサブトラクション法による臨床診断システムの開発.
試験研究 No.57870073, 1982

No. 13 12月 館澤堯, 秋貞雅祥:

膀胱腫瘍における直接拡大連続血管撮影とサブトラクションの併用.

昭和54年度学内プロ, 1982

その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 2月 平松慶博:

RSNA(北米放射線学会)感想記.

臨床放射線 27(2), 277-278, 1982

No. 2 3月 秋貞雅祥, 坂本澄彦, 入江五朗, 館野之男, 竹中栄一, 山口昂一, 山崎統四郎:

巨大科学としての放射線医学.

Medix 7(2), 5-23, 1982

No. 3 4月 秋貞雅祥:

粒子線医科学センター.

桐医会会報 No. 4, 1982.4.26

No. 4 9月 秋貞雅祥:

偶感.

病院ニュース No. 60, 1982.9.16

No. 5 9月 斎田幸久:

西ドイツと日本の医学・医療.

臨床放射線 27(9), 935-938, 1982

No. 6 12月 秋貞雅祥:

Digital radiography—臨床応用へのパースペクティブ—, 近未来の放射線医学と
digital radiography の位置づけ,

第307回LSCメデイカルセミナー, (東京), 1982.12, 4-5

1982年度（臨床病理グループ）

原 著

- No. 1 1月 村井哲夫, 及川淳:
検査依頼カードへの自動ID番号マーク装置（自動IDチェッカー）の開発,
機器試薬5（1）: 170-172, 1982
- No. 2 5月 Murai T.:
High cystine-aminopeptidase(CAP)activity in some cases of liver disease
and malignant neoplasm,
ADVANCES IN PATHOLOGY I: 255-258, 1982
- No. 3 6月 中山典子, 飯塚昌子, 仲村妙子, 蛸原紀枝, 沢畑辰男, 村井哲夫:
腸内殺菌簡易同定キット, パイオテスト1号の検討.
臨床と細菌9（2）: 202-204, 1982
- No. 4 7月 石島道邦, 菅谷孝雄, 松尾京子, 堀越晃, 村井哲夫, 及川淳:
Glucose Dehydrogenase 法を用いる尿糖測定法の自動分析装置への適応.
JJCLA 7（3）: 223-225, 1982
- No. 5 7月 藤崎洋子, 村井哲夫, 及川淳:
ABA 200 による Aminopeptidase 活性値定量の自動化.
JJCLA 7（3）: 259-263, 1982
- No. 6 8月 沢畑辰男, 村井哲夫, 及川淳:
Cefmetazole の薬剤感受性について.
薬理と治療 10（8）: 4843-4848, 1982
- No. 7 10月 村井哲夫, 及川淳:
検査部のシステム化（第5報）, コンピュータ自動電源オフシステムの開発.
機器試薬5（4）: 894-897, 1982
- No. 8 10月 沢畑辰男, 蛸原紀枝, 仲村妙子, 藤代典子, 飯塚儀明, 村井哲夫, 及川淳:
最近2年の臨床材料分離株のコンピュータによる統計的観察.
臨床病理 30: 補冊, 133, 1982
- No. 9 10月 小池益史, 村井哲夫, 及川淳, 中島延行, 渡部聡:
新しい合成基 L-leucyl-Tyramin による AA 測定と, これによる血中アミノペプ
チダーゼの臨床的意義の解明,
臨床病理 30: 補冊, 238, 1982
- No. 10 9月 菅谷孝雄, 石島道邦, 松尾京子, 岡野芳幸, 堀越晃, 村井哲夫, 及川淳:
新しい尿酸測定法の自動分析装置への適応（アスコルビン酸オキシターゼによる
V,C 干渉の除去）.
JJCLA 7: 補冊, 119, 1982
- No. 11 9月 沢畑辰男, 蛸原紀枝, 仲村妙子, 藤代典子, 飯塚儀明, 村井哲夫:
細菌検査データのコンピュータによる統計処理.
JJCLA 7: 補冊, 77, 1982

- No. 12 11月 Murai T., Isigima M., Sugaya T., Matumoto K., Horikosi A., Oikawa K. :
The Use of Glucosedehydrogenase (GLU-DH) for the Determination of
Urine Glucose.

J. Clin. Lab. Inst. Reag. 5 : 217-219, 1982

総 説

- No. 1 6月 村井哲夫 :
髄液.

臨床看護 8 : 880-884, 1982

- No. 2 6月 村井哲夫 :
検査依頼情報のマークシートによる入力.

臨床病理 30 : 595-600, 1982

- No. 3 7月 村井哲夫 :
検査部のコンピュータによるシステム化.

病院設備 24 : 28-35, 1982

- No. 4 9月 村井哲夫 :
筑波大学附属病院検査部.

検査と技術 10 : 822-823, 1982

- No. 5 10月 村井哲夫 :
検査室のコンピュータによるシステム化.

モダンメディア 28 : 492-500, 1982

- No. 6 10月 及川淳, 村井哲夫 :
コンピュータ内部処理の仕組.

臨床検査 26 : (臨時増刊) 1274-1277, 1982

- No. 7 10月 村井哲夫 :
臨床検査のシステム化. 筑波大学病院

臨床検査 26 : (臨時増刊), 1302-1307, 1982

著 書

- No. 1 9月 村井哲夫 :
糞便検査法.

ハンディ臨床検査法 (小酒井望他編) 改訂第13版, pp. 75-90, 宇宙堂八木書店, 東京, 1982

- No. 2 9月 村井哲夫 :
放射性同位元素 (RI) を利用する検査.

ハンディ臨床検査法 (小酒井望他編) 改訂第13版, pp. 764-784, 宇宙堂八木書店, 東京, 1982

- No. 3 12月 村井哲夫, 及川淳 :
筑波大学附属病院システム.

臨床検査とコンピュータ (河合忠他編) pp. 119-127, 医典社, 東京, 1982

学会発表

- No. 1 9月 菅谷孝雄, 石島道邦, 松尾京子, 岡野芳幸, 堀越晃, 村井哲夫, 及川淳:
新しい尿酸測定法の自動分析装置への適応.
第14回日本臨床検査自動化学会総会 (大阪), 9月, 1982
- No. 2 9月 沢畑辰男, 蛭原紀枝, 仲村妙子, 藤代典子, 飯塚儀明, 村井哲夫, 及川淳:
殺菌検査データのコンピュータによる統計処理.
第14回日本臨床検査自動化学会総会 (大阪), 9月, 1982
- No. 3 10月 小池益史, 村井哲夫, 及川淳, 中島延行, 渡部聡:
新しい合成基質, L-leucyl-Tyramin による AA測定と, これによる血中アミノペ
プターゼの臨床的意義の解明.
第29回日本臨床病理学会総会 (岐阜), 10月, 1982
- No. 4 10月 沢畑辰男, 蛭原紀枝, 仲村妙子, 藤代典子, 飯塚儀明, 村井哲夫, 及川淳:
最近2年間の臨床材料分離株のコンピュータによる統計的観察.
第29回日本臨床病理学会総会 (岐阜), 10月, 1982

あ　と　が　き

今回は編集に山下亀次郎助教授が参加し、原稿の集りも順調に進みました。本業績集の内容についてお気づきの点は、私共にお伝え下さるようお願い致します。

昭和59年3月

編　集　担　当

中	西	孝	雄
柏	木	平	八郎
山	下	亀	次郎